



月見の宴 兼 凌派会90周年記念全国大会

於 出光佐三記念六甲台講堂

2014.09.24(Sat)

2011 **90**th
凌泳会
KOBE Univ. Swim Team



凌泳90周年記念全国大会は月見の宴を兼ねて開催されました。記念式典に先立ち、月見の宴恒例のOBvs現役のポロ・マッチが行われました。(於：六甲台プール)



記念式典は出光佐三記念六甲講堂で野田会長の開式の辞から厳かに始まりました。



来賓・石田廣史副学長からご祝辞を頂戴いたしました。



日本水泳連盟・佐野和夫会長、鈴木大地氏ほか、多数の日本代表級の現役選手の皆さんからもご祝辞を頂戴しました。



ミュンヘン五輪の金メダリスト、鹿屋体育大学教授・田口信教氏がインタビュービデオに登場。故・小林喜楽水泳部長から学んだスポーツの経済学という興味深いお話をいただきました。



井出健太主将の決意表明や、月見恒例の監督表彰も行われ、応援団総部の演舞による激励も頂戴し、大変充実した記念式典となりました。



会場をアカデミア館「さくら」に移して、レセプションが開会しました。



昭和27年卒の石井先輩から、平成20年代卒の若い世代、そして現役まで60数年間の同士が同じ時を共有しました。

凌 泳

表紙題字 藤井正太郎 先生

凌泳会90周年特別編集号(後編)

90周年特集

凌泳会 90周年記念 全国大会	4
ポスト凌泳70年史 ～70年史以降卒業の会員が綴る水泳部の思い出	6
昭61卒～平元卒 熱を発し続ける世代 甲野 賢(昭63)	7
平2卒 平成元年度号 幹部決意表明より 「水球への意欲」	林 均(平 2)	10
平3卒 平成3年度号 卒部の辞より	井上 達晃(平 3)	11
平4卒 平成4年度号 卒部の辞より	原田久富美(昭62)	12
平5卒 平成3年度号 水泳部活動報告より 「関ポロ Jr.総合優勝」	西島 淳一(平 5)	14
平6卒 平成5年度 活動報告より	西尾 泰紀(平 6)	15
平7卒 平成6年度号より 「水泳部における自己実現」	門 謙次(平 7)	16
平8卒 見方を変えると...	小柳 勝義(平 8)	17
平9卒 未来への系譜	諫山 大介(平 9)	19
平10卒 神戸大学水泳部員のいつかの、そして誰かの1年	福岡 達信(平10)	21
平11卒 継承すべき凌泳魂 栄光の西日本選手権制覇、夢の関ポロ制覇	成田 康修(平11)	24
平12卒 扇矢のねぎとろ井	井村 大智(平11)	25
平13卒 泳げないのに水泳部	井畑 陽平(平12)	29
平14卒 平成14年度号 卒部の辞より	藤田麻希子(旧姓 三留、平13)...	31
平15卒 平成14年度号より「韓国合宿体験記」	久保 達也(平14)	33
平16卒 新世紀を迎えた Team Bkue Sky	川本 陽介(平15)	34
平17卒 平成17年度号より 海事科学部出身の初めての卒部者 松浦 剛氏の卒部の辞	福本 守(平16)	35
	松浦 剛(平17)	37

平18卒	平成18年度号より「富岡凌泳会会長を偲ぶ」	松本 和也(平18)	39
平19卒	平成19年卒の記録	松村 將由(平19)	40
平20卒	平成20年度号 卒部の辞より	加藤 亮二(平20)	42
平21卒	平成21年卒90周年記念編集	芝井 隆(平21)	44
平22卒	現役時代の思い出	北野 達也、飛田 陽祐、横尾 晋、 井上陽介、臼井景子(以上平22)	47
野田会長メッセージ	凌泳会会長 野田 浩志(昭36)		51

通常編集

【平成23年度 活動報告】	
平成23年度 活動報告	
長谷川幹事長	52
関東支部平成23年度活動報告	
田淵副会長	54
Photo Report 得丸副会長	55
幹事会	55
5月の関西OB会	56
平成23年度凌泳会総会	57
同 懇親会	59
6月の関西OB会	60
昭和46卒同期会	60
凌泳90周年記念全国大会	
実行委員会	61
秋の昭和46年卒同期会	62
11月の関西OB会	62
関東支部忘年会	63
関西地区忘年会	64
新年女子会カニツアー2012	
川本 典子(昭51)	65
Photo Report 得丸副会長	67
平成24年 初泳ぎ	67
平成24年1月の関西OB会	68
昭和46年卒同期会広島ツアー.....	68
追い出しコンパ	70

【現役部員寄稿 I】

幹部決意表明

主 将	井出 健太	73
競泳主任	木村 由斉	74
水球主任	真志田 仁	75
主 務	吉竹 望	76

【追悼】

三宅先輩を偲んで	
石井 義章(昭27)	77
山本幸夫君の思い出	
石井 義章(昭27)	79

【リレーエッセー】

平成代表① 加藤 晃裕(平19)	82
平成代表② 一越 健治(平4)	83
女性代表① 上田久美子(平19)	84
女性代表② 中北 路代(昭58)	85
昭和代表① 吉岡 宏之(昭59)	86
昭和代表② 高部 高博(昭42)	87

【マスターズ活動記録】

(平23年1月～12月)	89
--------------------	----

【会員からのお便り】

凌泳会総会	102
月見の宴	110

【卒部の辞】	120
--------------	-----

【現役部員寄稿Ⅱ】	
水球 名大合宿	134
競泳面何でもランキング	136
【平成23年度 水泳部活動報告】	
■年間競技カレンダー	139
関西学生春季短水路公認記録会...	140
兵庫県学生選手権水泳大会	141
関西学生水球オープンリーグ	145
関西学生夏季公認記録会	147
関西学生水球選手権	149
関西国公立大学選手権水泳競技大会...	151
大阪市立大学・神戸大学定期戦.....	155
同 Photo Report	157
関西学生選手権水泳競技大会	159
同 Photo Report	163
全国国公立大学選手権 水泳競技大会	163
同 Photo Report	168
西日本選手権	169
近畿地区国公立体育大会	170
同 Photo Report	175
旧三商大戦	176
日本学生選手権水泳競技大会	178
なみはや館長杯	181
【現役部員寄稿Ⅲ】	
現役部員紹介(集合写真) ..	183
4回生	186
3回生	190
2回生	194
1回生	203
【歴代記録】	
水球歴代戦績	209
歴代10傑(競泳男子)	211
(競泳女子)	214

平成23年度 凌泳会総会報告	217
平成22年度 神戸大学体育会 水泳部会計報告	221
平成23年度 同 予算案	222
平成22年度 凌泳会会計報告	223
平成23年度 同 予算案	223
■編集後記	224

ここに90周年記念編集の後編をお送りします。「ポスト凌泳70年史」の原稿の収集・出筆にご協力くださいました編集委員は以下の通りです。(敬称略)

- 甲野 賢(昭63) 諫山 大介(平9)
- 成田 康修(平11) 松村 將由(平19)
- 北野 達也(平22)

お忙しい中、お骨折りいただきまして有難うございました。また、編集委員からの依頼に応じてご出筆くださいました皆々様、心より御礼申し上げます。

~~*~*~*~*~*~*~*~*

「勸学文」、「部歌」等に関しましては、平成24年発行の凌泳会名簿の方に掲載しております。今後も、不変的なものは3年に1回改訂する凌泳会名簿への掲載を基本と致しますので、ご了承ください。

90周年特集

凌泳会 90周年記念 全国大会

2011年9月24日(土)

■プログラム

記念式典

於:出光佐三記念六甲台講堂

司会進行 加藤あずさ(マネジャー)

- ・開式の辞 凌泳会 会長 野田 浩志
- ・祝辞 神戸大学 副学長 石田 廣史
凌泳会 前会長 石井 義章
凌泳会 副会長 田淵 五郎
水泳部 部長 柳田 泰義
- ・ビデオ祝辞披露 日本水泳連盟 会長 佐野 和夫 様
競泳日本代表選手の皆様
- ・新主将挨拶・決意表明 水泳部 主将 井出 健太
- ・監督賞授与 水泳部 監督 金 一波
- ・記念講和 鹿屋体育大学 教授 田口 信教 様(インタビュー・ビデオ)
- ・90周年記念映像 「凌泳90年のあゆみ」
- ・応援団 総部 演舞
- ・閉会の辞 凌泳会 副会長 得丸 哲士

なお、記念式典の映像、及び、式典の中で上映した田口信教様インタビュー・ビデオ、「凌泳90年のあゆみ」は、DVDに収録し、後日出席者・希望者に配布しました。

レセプション

於:アカデミア館「さくら」

司会 長崎 真人(昭59)

■出席者(敬称略)

柳田 泰義	本間 正信	石井 義章(昭27)	佐藤 一夫(昭30)
田渕 五郎(昭30)	岡村 司(昭34)	北村 敏(昭34)	宇賀 史郎(昭35)
酒井 孝栄(昭36)	野田 浩志(昭36)	井上 隆史(昭37)	岡田 重義(昭37)
丸山 昱也(昭40)	井上与志男(昭45)	大橋 進(昭46)	得丸 哲士(昭46)
岩切 博(昭46)	小林 育夫(昭46)	佐敷 定雄(昭49)	藤森 一男(昭50)
瓜生誠二郎(昭50)	川本 典子(昭51)	松井 玲子(昭52)	平石 康(昭53)
酒井 正人(昭53)	大林 良和(昭53)	村田 邦夫(昭53)	上田 剛弘(昭56)
藤田 弥門(昭57)	金 一波(昭58)	田中 俊哉(昭58)	長崎 真人(昭59)
吉岡 宏之(昭59)	坂田 純孝(昭60)	浦野 敏明(昭60)	中川 善雄(昭62)
浜田 昌巳(昭62)	日比 勝巳(昭62)	加地 恵(昭63)	甲野 賢(昭63)
徳永 守(昭63)	羽瀬 智文(平 2)	松下 直子(平 6)	濱出憲一郎(平11)
濱出 美帆(平12)	田中 宗親(平19)	加藤 晃裕(平19)	上田 章生(平19)
土田絵里奈(平19)	芝井 隆(平21)	末森 香織(平21)	池鍋 正雄

多数のご参加ありがとうございました。

■実行委員会メンバー(敬称略)

凌泳会会長	野田 浩志(昭36)	同 副会長	得丸 哲士(昭46)
同 幹事長	長谷川 健(昭49)	同 幹事・監督	金 一波(昭58)
同 幹事	長崎 真人(昭59)		
平成23年度主務	後藤 駿介	平成24年度主務	吉竹 望
競泳マネジャー	林 勇樹		

ポスト凌泳 70 年史

70 年史以降卒業の会員が綴る水泳部の思い出

2010 年10月14日に90周年特別編集に関するミーティングを開催。同年11月末に、4学年に1名の編集委員をお願いする手紙を発送することから、ポスト凌泳70年史に掲載する原稿集めが始まりました。その約3ヶ月後に東日本大震災が起り、直接大きな影響を受けられた会員や編集委員もおられ、また、全国的に震災対応に追われる状況が数か月は続いたことかと存じます。被災された皆様、影響を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、そんな中で編集にご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

さて、2010 年11月のアクション開始後も、2011 年5月に開催された凌泳会総会時、原稿締切前の2012 年2月にもご協力をお願いを繰り返し、同年3月に入りましてからは、E-mail やお電話でブッシュ作業を行いました。それでもなおかつ、すべての対象卒業年からご寄稿を集めきることができませんでした。ご寄稿が叶わなかった卒業年につきましては、勝手ながら過去の凌泳誌から当時を語るに相応しいと思われる文を抜粋させていただき、当誌に再編集いたしましたので、ご了承ください。

■編集に際しての視点

- 『凌泳七十年史』では、吉田不二彦氏(昭60)の寄稿が最後になっておりました。従いまして、当誌では昭和61年(1986 年)卒以降の方々に寄稿をお願いしました。
- 過去の凌泳誌から再編集する場合は、水泳部及び凌泳会の歴史においてエポックメイキングな事柄にスポットをあてております。具体的には以下のような事柄です。

(平3～平5ごろ)	競泳面・水球面分離への経緯
(平15ごろ)	韓国济州島での合宿
(平17)	旧神戸商船大学統合後初の卒部生の排出 富岡道雄会長ご逝去

その他、後輩への強力なメッセージ性のある力作なども選択の対象としました。

■当誌のためにオリジナルで寄稿いただいた原稿は、表題まわりを除いてフォーマットは自由としましたので、いろいろなデザインが混在しています。

■もし、ご寄稿いただいたのに掲載から漏れているケースがございましたら、ご連絡ください。

(編集委員 記)

熱を発し続ける世代

甲野 賢・昭63

- (昭61卒)主 将 川原田 貢(自・水球/教育) 黒川 良介(背・水球/経済)
渡辺久美子(マネ/文、旧姓:太田) 松本 典子(自/教育、旧姓:木村)
小島 みか(マネ/工)
- (昭62卒)主 将 三好 岳(個メ・水球/法) 競泳主任 島崎 昌彦(自・背/農)
水球主任 原田久富美(個メ/農) 田中 真司(自・水球/工)
中川 善雄(自・水球/工) 浜田 昌己(自・水球/経営)
日比 勝己(平・水球/法) 安井 啓史(自・水球/経済Ⅱ)
吉岡 成人(蝶・水球/工) 大島磨智子(自/教育、旧姓:林)
和泉 千里(平/農、旧姓:三住)
- (昭63卒)主 将 甲野 賢(蝶・水球/理) 競泳主任 後呂 忠詳(平・水球/経済)
水球主任 有利 英明(平・水球/経済) 主 務 近藤 直明(自・水球/経営)
木下 憲臣(自・水球/教育) 郡 幸雄(蝶・水球/工)
坂田 亨(自・水球/農) 徳永 守(背・水球/農)
中塚 泰弘(平・水球/農) 森田 武士(自・水球/法Ⅱ)
近藤 えり(マネ/工、旧姓:井口) 加地 恵(背/法)
近藤 智子(マネ/甲南大、旧姓:高元)
- (平成卒)主将・水球主任 守沖 敦(平・水球/法) 競泳主任 竹本 和広(背・水球/工)
主 務 黒田 茂(自・水球/農) 植松 忠士(平・水球/工)
奥村 直樹(自・水球/経済) 岡崎 景子(個メ/教育、旧姓:川上)
西村 美和(背/教育、旧姓:村上)

恐らく全ての凌泳会員の方々が、自らの時代が黄金期であったと自負されていることでしょう。神戸大学体育会水泳部というのは、それほど強烈で、二十歳前後というエゴの塊りの時期を過ごすには申し分の無いステージであったことが、凌泳諸氏の方々とお話しさせて頂く度に感じられます。

小生が本寄稿で担当させて頂く昭和61年～平成元年卒の面々も、間違い無く黄金期を支えた世代であったことが思い起こされます。

とはいえ、実は何を記して良いものやら、悩みながら書き綴っています。

古い凌泳誌をひも解いて、戦績やタイムを記すのは野暮でしょう。時代の違いや、高校生の勧誘で戦力強化を図れない国立大にとって、運に左右される新戦力の違いなどにより、世代間で比較しても仕方のないことです。

武勇伝の数々も、文字に残してはいけないことだらけで、まして個人名など怖くて出せません…。

思い出されること全てが、熱く、暑く、厚かった(どの字が適当かも分かりません)。そういう記憶、逸話から、時代を超えて「黄金期」といえるエピソードを記してみたいと思います。

昭和 61 年卒の世代は、文字通り少数精鋭といえるメンバーでした。男子 2 名、女子 3 名というメンバーながら、全国区としての神戸大学体育会のポテンシャルを保ち続けた世代です。練習への取り組み、戦績はもとより、全体育会を震撼せしめる気合い、宴席の破壊力、器物損壊…おっと失言。K 川先輩が O 阪 I 立大のプールにヤバイ薬品を撒いたことを思い出してしまいました。

近寄り難い存在の方々でもあられたと記憶しています。うかつに近寄ると怪我をする。同期の K 君は K 原田先輩のミニに、鳥由の前(だったと思う)で、足を轢かれたことがあったなあ。

アイドルだった K 美子先輩が、パンチパーマで現れた時も近寄れなかったよなあ。

これ以上書くと危なくなりそうです。

昭和 62 年卒の世代は 11 名。一つ下の小生には、「一生懸命」であられた世代だったことが思い出されます。学内のソフトボール大会で勝ち抜くために早朝練を敢行したり(惜しくも準優勝)、学祭に来た本田美奈子(合掌)のステージ中に「本田美奈子は俺のモンじゃああ」と絶叫宣言してみたり、駅伝大会の気合いの入れ様ったらハンパ無く…あれ？水泳の思い出が無いぞ？いまだにええ年して水球されている H 比先輩のことぐらいかな？(ウソです。輝かしい戦績は古い凌泳誌をご参考ください。)

小生の代は優等生揃いでした。男子 10 名女子 3 名の精鋭で、特に勉学に勤しんだ男子は 5 割のメンバーが卒業を見送りました。5 回生になって 1 回生と一緒に体育の授業受けてるヤツがいたなあ。男子はフェミニストが多かった時代です。草食系の走りといえるかもしれません。少々暴走してお父様のタウンエースを血染めにしてしまった A 利君や、同期の K 地さんのコップに目薬を入れようとしていた T 永君など、ここには書けないことも少～しありました。

麻雀もよくしたよなあ。小生が無実の罪で器物損壊の弁済義務が負わされたとき、トップが気持ち分カンパしてくれる「甲野救済麻雀」で、一晩で数万集めてくれたよなあ。O 田さん、有難うございました。

女子は酒豪揃いでした。呼び出せば深夜でも飲みに出てきてくれました。K 地さん、明日カッパ 23 時集合ね。酒の逸話は書くとヤバイですよ(全凌泳会員)。あ、今更か。K 藤君、電車止めた

ら賠償金払いきれませんよ、気を付けて。K 幸雄君、Y 門さんのマンションのエントランスのガラス扉を蹴破ったらダメですよ。Y 門さんに謝りましたか？

最後は平成元年卒。62、63年卒が人数多かったせいか、やや少数の7名の世代ですが、やはり神大水泳部に入ろうかというメンバー、妙～な個性派集団でした。熱かったですねえ。

水泳では女子二枚看板が歴代女子メンの中では結構センセーショナルでした。タイムはもとより、かなりヤバイ部員揃いの中、四年間立派にお勤めを終えたのは、余程の気合いか無神経か。普通18、19歳の乙女が、入部早々風呂で回されたら(誤解無きよう)退部しそうなものなのに、あれは喜んでいたのでしょか？ 今度会ったら教えてください。

平成世代というわけではないのですが、バンカラという言葉が、良い意味で少し変わりかけてきた世代でもあったような気がします。自分達で新しい価値観を築こうと、必死で抗っていた熱さが思い出されてきます。

何やら水泳と関係のない思い出ばかりになってしまいました。どこが「黄金世代」やねん！？

いえいえ、前述の繰り返しになりますが、敢えて水泳の思い出はできるだけ割愛しました。タイムや戦績は、鍵のかかる引き出しに入れてしまっておきましょう。取り出して見せるのは野暮。

我々の世代は、恐らく、いまでも熱く生き抜いているはずです。K 原田先輩、ご病気からの文字通りの「生還」おめでとございます。先輩の「熱」で蘇られたのですよね。

我々は神戸大学体育会水泳部から、熱とエゴで戦いを楽しむ心を教えてもらいました。人生の、たかが四年間ですが、何物にもかえ難い宝物を与えてもらったと信じています。時代ごとに様相を変えながらも、神戸大学体育会水泳部が未来永劫熱いステージであり続けることを祈り、寄稿とさせていただきます。

次ページ以降の平成2年卒からは、水球の話題が続きます。競泳面の方には申し訳ありません。平成18年頃だったと記憶しますが、月見の宴でのある出来事がきっかけで、最近の水球面はかつて先輩たちが競泳と水球の両方を掛け持ちしていたことを知らないため、凌泳会のOBを自分たちの先輩とっていないのではないかという話になりました。ただ、そこに参加していたOBに何時からどのように水球面が独立分離したのかを正確に把握している人は居ませんでした。

そこでこの機会に、当時の経緯を物語る記録をたどってみることにしました。

なお、過去の凌泳誌からの掲載に際しては出筆なさったご本人の了承を得るべく連絡しましたが、名簿不備のため連絡不能の会員もありましたのでご了承下さい。

(編集担当)

平成元年度号 幹部決意表明より「水球への意欲」

林 均・平2

(平2卒)主 将 岡崎 憲之(蝶・水球/教育)

水球主任 林 均(平・水球/工)

浅川 明弘(背・水球/医)

田中 和彦(自・水球/教育)

村田 功(蝶・水球/経営)

競泳主任 小笠原朝隆(蝶・水球/工)

主 務 谷 拓裕(自・水球/経営)

是枝 良文(自・水球/理)

羽瀬 智文(自・水球/法)

松平百合子(自/教育、旧姓:枝菊)

水球は団体競技だ。また、7人だけうまければそれでよい、とも言えない。レギュラーの7人だけが水球を知っていてもチーム力が上がるわけがない。部員全員が水球をよく知り、レギュラーメンバー7人に、いや、13人に入るにも個々の部員同士の激しい競争があることが、強いチームであるための必要条件だろう。今、我がチームには数々の先輩方の協力を頂いてはいるが、上から見てもらえるコーチがいない。上からたたかれることなく、自分達で考えて練習していかなければならない。自分の意志というものが水球の技術の向上に大きく影響するわけだ！

うちのチームで感じることは、皆冷めていること。レギュラーだから、どうせ練習しても試合に関係ない、という雰囲気蔓延している。上級生は責任感や緊迫感などからヤル気は出てくる。下級生に言っておきたいことは、上に

なってくるとどうせやらなければならない、ということである。その時になって焦るのだ。その時になって、きっと後悔するのだ。自分はポロがわかっていないから口出ししにくいとか、自分はずまいから言われなくていいとか、プレーを後で言い訳するとか、きっと誰もが思い当たる節があるだろう。それらは何一つチームの向上にはつながらない。あまりわかっていなくても、上級生に対してであろうと、思ったことは何でも言えばよい。団体競技にはコミュニケーションが必要だ。

冬の間は維持しておくだけでいい。しかし4月になったら、せめてClubの時間だけでも水球のことを考え、何でもいから水球について話してみよう。まずそうすることがポロを知る上で最短距離であろう。聞けばきっと、誰でも答えてくれるはずだ。

平成3年度 卒部の辞より

井上 達晃・平3

(平3卒)主 将 當麻 尚正(自・水球/農)
水球主任 笠田 幸介(平・水球/法)
井上 達晃(背・水球/理)
中川 篤俊(自・水球/医)
河瀬 浩子(マネ/教育、旧姓:戸井)

競泳主任 東 圭紀(個メ・水球/工)
主 務 三宅 正樹(自・水球/経済)
柴田 英之(自・水球/農)
竹内 未央(マネ/教育、旧姓小島)

中学・高校時代は、制限された環境でどれくらいやれるか、ということに頭を悩ませ続けた。ちなみに、練習は週三日、ピークでも一週間の練習量は計一万メートルだった。大学に行ったら、まともな水泳部に入ろうと実は心に決めていた。地元神戸大には速い選手がたくさんいることも知っていた。

いざ入部してみると、中高時代の水泳部との違いに愕然とした。神大水泳部は、私が理想としていた水泳部よりはるかに素晴らしい水泳部だった。練習は毎日あるし、一日 5000 mは泳げる。合宿もあるし、遠征もある。試合の時は、全員が一心同体となってチームメイトの応援をする。初めて県以上のレベルの試合を経験することも出来た。こんな今となっては当たり前のことが何もかも新鮮だった。また、神大水泳部は、本業の水泳以外にも、サーオリ、六甲祭での活躍には素晴らしいものがあった。他のクラブを寄せつけないパワーが漲っている。四年の大学生活を振り返ると、自分は、神戸大学理学部の学生であるより、神

戸大学体育会水泳部の部員である、とはっきり言える。もちろん、途中で練習がいやになった時もあるけれども、それを考慮してもそう言える。こういう気持ちで卒業できる自分は幸せ者だと思う。

ところで昨年、競泳面と水球面が出来て、それぞれが本格的に活動し始めた。しかし、部員の頭数の確保はもちろんだが、精神面でも技術面でも後輩を引っ張って行ける強力なリーダーが毎年二人も必要なわけで、そういう意味でも新体制が軌道に乗るまでの困難は多いだろう。長い歴史からみると弱い時代があってもおかしくはない。その時はクラブ内の体制を整えるのが先決だと思う。四回生はいい成績を残したいという気持ちが先行してしまうのは当然だが、先のことを考えて後輩を指導してくれ。決して日雇いのような選手に頼らないで下さい。地道に努力している下級生が大勢居るのだから。余裕を持って勝つのが理想だよ。(後略)

平成4年度号 卒部の辞より

原田 久富美・昭 62

(昭 62～平 3 水球コーチ)

(平4卒)主 将	染谷 光裕(水球/理)	競泳主任	井上 聡(自・水球/工)
水球主任	一越 健治(水球/経済)	主 務	城 一男(自・水球/経営)
	青木 浩介(個メ・水球/経済)		小南 裕明(蝶・水球/医)
	高岡英一郎(蝶・水球/工)		安居 武彦(自・水球/法)
	加藤 有通(蝶・水球/教育)		宮下 静子(平/経営)
	加藤由里子(自/経営、旧姓:村本)		山口 明子(マネ/経営)
	飯田 正子(平/松蔭女短大)		

とうとう9年間にわたった長い学生生活が終わった。当然、これまでとは神大水泳部との係わり方も変化してゆくだろう。その前に神大水泳部で過ごしてきた9年間を振り返ってみたい。

神大水泳部で水球と出会ったことは、私の大学生活を非常に豊かにしてくれた。それまで、他人に勝ちたい、早く泳げるようになりたいと思いながら、プールの往復を繰り返す競泳しか経験のなかった私には、ボールを扱い縦横に泳ぎ回る水球は非常に新鮮で魅力的だった。当時水球は、競泳の試合が少ない春先と夏の終わりにしか練習しておらず、また、春先の六甲台プールの冷たい水の中でウェットスーツもなく、競泳の練習が終わってから水球の練習を始めていたので、下手で、面白さのわからない新入部員には特に、水球は甚だ不人気であったように思う。また、ほとんど水球経験者がいなかった部内では、水球だけをやりたいという希望は、ほとんど受け入れ

られなかった。私自身も3年生までは、リレーメンバーに入りたい、もっと早く泳げるようになりたい、という思いが依然として強かった。

しかし、神大の水球チームが、高校生に負け、関東リーグの2部下位校に負け、関ポロで京大に勝てなかったことは、私には余りにも悔し過ぎる事実であり、自分のチームが弱いことは非常に不満だった。水球主任になった時には、神大の水球をもっと強くすることが、私の最大の関心事になっていた。そこに、卒業の年の4月に、非常にタイミングよく田中さんがアメリカ留学から帰国され、神大の水球コーチを引き受けていただけることになった。田中さんのコーチングに対する熱意、戦術に対する知識、チーム作りのうまさで、シーズン前には一層の弱体化が危ぶまれていた神大チームは、力をつけて、'87年(昭和62年)にもそれなりの成績を残すことができた。この田中さんのコーチングを真似することでコーチとしてスタートすることが出来た。

コーチをしていた最近の5年間の神大チームを大まかに振り返ると、'87、'88年は、ボールを持つプレーヤーに対する徹底したマンツーマンディフェンスと強いフローターのチーム、また'89、'90年は、それに加えて相手フローターを抑えられるフルバックと、得点力のあるドライバーのいるチーム、そして'91年(平成3年)は、6人全員にある程度の泳力と得点力、ディフェンス力があり穴が少ないチームだったように思う。その時の水球主任のチーム作りの結果がみごとに反映されており、確実に強くなってきている。しかし、最近5年間の戦績では、関ポロ、三商大では、ほとんど2位ばかりで、優勝経験は'91年の三商大戦と関ポロJr.だけで、誇れるものは少なく、自分自身のコーチとしての未熟さを感じます。しかし最近、上位校同士の力の差が縮まり、乱戦気味の関ポロで安定した成績を残してきたことは、共に優勝を目指して何年も厳しい練習に耐えて頑張ってきた後輩諸君の輝かしい記録であり、それを分かちことが出来たことは非常にラッキーだったと思います。私は神大の水球コーチとして、素晴らしい戦績こそ残せなかったものの、神大の水球チームが強いチームとなるための条件を整えるという仕事はできたように思っています。

ここで話は変わるが、水球チームの独立を進めた当事者の一人として、説明をしておきたい。私がプレーをしていた大学4年間には、関西ポロリーグ戦の誕生、阪大、京都教育、関学が水球を始めるなど、関西の大学水球

が新しい方向へと進み、その底辺を広げてゆく時期だった。その頃は、プレーのレベルも低く、チームの力の差も歴然としており、試合前からその順位もほぼ予想できた。ところが卒業後の5年間では、関学、市大、阪大のレベルアップはめざましく、さらには立命が、スポーツ推薦により有力選手を獲得して優勝するなど、プレーヤーの実力が大幅にアップしてきているばかりでなく、上位校同士の力が均衡し、戦略やゲーム展開で勝敗が左右されるようになり、試合が非常に面白くなってきている。

このような状況は率直に言えば、各チームの水球経験者が増えることにより生じている。さらに現在ではレギュラーメンバーとなるためには、水球初心者ばかりでなく、水球経験者でさえもかなりの練習を必要とされる水準までレベルが高くなってきている。従ってチームをもっと強化するためには、じっくりと腰をすえて練習できるようにすると同時に、競泳をあまりやりたがらない水球経験者も獲得することが大切である。このためには、水球独自のシーズン計画をたて、力のある新人を獲得し、かつ不断の練習によりプレーに磨きをかける体制を確立するためには、水球チームを独立させることが必要と思われたからです。(水球チームのメンバーは、その辺の事情を理解して、現状に甘えることなく練習に励んで、ぜひ日体大のような常勝チーム目指して頑張ってください)。

最後に、神大水泳部は、本当に魅力のある

人物に出会える場所だった。異なる考え方を
持つ人と議論を戦わせたり、思いを同じにする
人に自分を確認したりすることが出来た。先輩
方から多くの愛情を注いでもらい、ほんの

少しだけ後輩をかわいがった。人としての基
本の多くを教えられ、鍛えられて、すこしはま
ともになれた。水泳部が私の大学生活の中心
だった。水泳部のみんなに感謝したい。

こうして水球面独立への胎動が始まりましたが、完全に独立するまでには、まだ暫く年数がかか
った模様です。でも、“水球だけやる”でも OK になったのです。 (編集担当)

平成3年度号 水泳部活動報告より「関ポロ Jr.総合優勝」

西島 淳一・平5

(平5卒) 主 将 藤本 克彦(自・水球/農)
水球主任 西島 淳一(水球/教育)
家門 秀行(平・水球/理)
藤本 博之(自/教育)
中山 祥子(自/)
篠原 弓(マネ/神戸女短大)

競泳主任 中畑 寛之(自・水球/教育)
主 務 富村 英三(背・水球/経営)
下坂 浩(水球/理)
井上 優子(自/文)
富谷佳津子(マネ/工、旧姓:吉元)

前評判通り決勝リーグに上がってきたのは、
立命館、府立高専、そして我が神戸大であっ
た。

3日目、第1試合、我々は府立高専と引き分
けた。そして我々は第4試合、立命館vs府立
高専の結果を待っていた。関ポロ優勝チーム
の立命館は、戦力が少しダウンしたものの、
いい試合をするだろうと誰もが思っていたに
ちがいない。ところが終わってみれば7点差、
府立高専の圧勝である。

しかし、我々にもまだチャンスはある。その
立命館との試合で8点差をつければいいので
ある(そんな無茶な……)。そして、ついにvs

立命館戦が始まった。私は無我夢中だった
せいか、はたまた頭が悪いせいなのかよくわ
からないが、この試合の記憶があまりない。気
が付くと終わっていた。「点差は?」「8点で
す」

- 1位 神戸大
- 2位 大阪高専
- 3位 立命館
- 4位 京都大
- 5位 関西学院大
- 6位 京都教育大

平成6年度号掲載 平成5年度 活動報告より

西尾 泰紀・平6

(平6卒)主 将	西尾 泰紀(平・水球/経済)	競泳主任	山田 基洋(自/経済)
水球主任	木村 一也(水球/理)	主 務	上山 敏正(背・水球/経済)
	高倉 信之(自・水球/経営)		松島 英樹(平・水球/経済)
	吉岡 晋一(自・水球/経済)		松下 直子(マネ/文,旧姓武田)
	伊藤真理子(自/教育)		井上麻由美(背/松蔭大,旧姓上村)
	鈴木知寿子(蝶/神戸女薬大,旧姓:北)		

昨年度、関西国公立戦6位、関西インカレ、なんとか二部残留という不本意な成績であった競泳、対照的に関ポロ初優勝、関ポロ Jr.2 連覇という成績を残した水球。

冬の間、例年のようにイトマンのプールを借り、週5日の泳ぎ込みを行い、六甲台では筋力トレーニングに励み、体を造っていった。春には、金監督の指導のもとイースタン・リゾートで合宿を行ない、来るべき夏に備えて泳ぎ込みを行なった。

競泳陣は、競泳主任山田、上田、竹田、寺井らの主力選手と、期待の若手磯山、河原の

6人が、5月の連休中に金監督の紹介でジュニアのトップ選手の合宿に参加し、水球陣は、同じく5月の連休に名古屋での愛知国体チームの合宿に参加し、国体チームと名古屋学院大学相手に練習試合を行なった。

今シーズンは、競泳は神戸復活のノロシをあげるべく全国公立出場を目標に、そして水球は木村、松島の両エースを軸に、昨年のレギュラーに加えて大型新人大場の加入で関ポロ連覇をステップとし、インカレ1勝を目標にした。それぞれの期待を胸に秘め夏へと向かった。

(上記目標に関する戦績)

競泳	関西国公立	男子:7位、女子:5位…団体での全国国公立出場ならず
	全国国公立	リレー1種目、個人のべ5種目の出場…いずれも入賞ならず
水球	関ポロ	優勝(7勝1敗)
	インカレ	神戸大 4 - 19 中央大…1勝ならず

平成6年度号より「水泳部における自己実現」

門 謙次・平7

(平7卒)主 将 門 謙次(水球/教育)

水球主任 高橋 一弘(水球/理)

長谷川哲也(水球/農)

渡辺 雅人(水球/工)

杉田 雅子(平/教育、旧姓:斎藤)

島田多恵子(マネ/聖和短大)

長谷川久美子(/山手女短大、旧姓:林)

競泳主任 上田 純也(自・水球/経済)

主 務 竹田 匡志(自・水球/経済)

藤川 壮太(水球/法)

稲嶋 恭子(自/経営、旧姓:小笠原)

小南美穂子(蝶/文、旧姓:寺井)

寺田加奈子(マネ/甲南女短大)

A.H.マズローは、人間を、単なる生存を保つための生理的欲求や緊張解消にのみ動機づけられて行動する「生きている」存在として捉えるのではなく、環境との相互交渉によって、積極的に自らの可能性に挑戦していく「生きていく」といった力動的な存在として捉えている。それは、自己実現を果たそうとする存在、ということになる。

自己実現の欲求は、人間の潜在可能性を実現しようとするものであり、その欲求が満たされると、更なる自己実現へ向けて次々と高い欲求が生じてくる。そのため、自分自身の内的充実によってのみにしか満足を覚えることが出来ない。

これは、大学における運動部活動にも当てはめることができる。

運動部員の多くは、マスプロ化した大学の中でクラブに人間性の解放の場を求め、試合の勝利、あるいは活動行為というクラブの共通目標を目指して、技術の向上、体力の養成、心身の鍛錬等によって、自己の向上を目指

そうとしている。そうすることが、彼らにとって自己実現を果たすことになるのである。

では、自己実現の場である、部自体からこの問題について考えてみる。すると部にとっては、こういった部員の主体的な部活動への参加が、より部を発展させ、部員に対して自己実現しやすい環境を提供することになる。また、他に部員の意見を聞き、意思の統一を図りながら、部を動かし方向づけるリーダーの存在も、部活動発展においては重要な役割を果たすと思われる。これを、われわれの水泳部において考えてみると、そのリーダーシップを発揮するのは主将である、わたしであり、幹部学生なのである。

では水泳部をまとめていく上で、主将であるわたしが、水泳部員一人一人に対して、覚えておいてもらいたいことがある。それは、自己の可能性に挑戦する人間であると同時に、他者にも開かれた存在であってほしい、ということである。自己への理想を目指すとは、利己的な意味ではなく、愛他的で、献身的で、社

会的なものである。それらをふまえた上で、真剣に勝負にこだわり、勝ってうれし涙を流し、負けては悔し涙を流すといったような、今しかできない学生スポーツ、水泳部活動を精一杯頑張ることにより、各個人個人において自己

実現を果たしてほしい。そして、そうすることが、水泳部の発展につながることで、私は信じている。

信じよ！ さらば救われん！

栄光は常にわれらに！！

見方を変えると・・・

小柳 勝義・平8

(平8卒) 主 将 小柳 勝義(水球/農)
水球主任 鈴木健太郎(水球/工)
井上 泰宏(水球/法)
宮崎 浩司(自/工)
今村美衣子(平/文)
坂上 京子(マネ/経営)
池永 佳子(自/松蔭女大)
鶴田 理早(マネ/松蔭女短大)

競泳主任 磯山 正則(自/法)
主 務 河原 知成(自/経済)
北中 宏一(個メ/農)
安井 努(水球/教育)
岡 晶子(マネ/文)
長野 稔(水球/法)
中塚 恵子(マネ/松蔭女短大、旧姓:太田)

2年間のオランダ勤務を終え、昨年末に帰国しました。久しぶりに日本で正月を迎えた2012年。日本での新しい生活に徐々に慣れ始めていた頃、凌泳90周年記念誌の寄稿依頼をいただきました。今、16年以上も昔の遠い記憶を思い出しながら、この原稿を書いています。

私達の学生時代は1995年(平成7年)1月17日の阪神大震災を抜きには語れません。震災はすべてを狂わせ、水泳ができる幸せを思い知らされました。部活動の再開には言い知れぬ苦勞がありました。

だからこそ、大好きなこのチームで喜びを分かち合いたかった。1995年春の関ポロは2部リーグに所属していたものの、無傷の全勝優勝を果たした時の感動は、今でも昨日のこのように思い出せます。ともすれば、崩壊寸前だったこのチームで、自分の非力さも省みず、ひたむきに頑張れたのはみんなのおかげです。

前年の1994年は主将として気苦勞と決断の毎日と負けることの繰り返しでした。水球では1部リーグで2連覇した主力の先輩方が卒業され、競泳では決勝に残り点の取れる選手は数名で順位は彼らに頼るしかないという大幅な戦力低下。多くの人が競泳と水球を兼任し一

つにまとまっていた水泳部という組織から、それぞれの競技を専門とする人の集まりとなった組織への変化による競泳面と水球面の分裂。きれいな50m プールを持つ大学が多い中で、緑色の歴史ある六甲台プール以外で練習できる場を必死で探した環境整備。そして、当時は幹部交代時期が7月だったのですが、試合や練習の年間計画は4月を起点に立てられるため、組織として非常に効率が悪かったことから、思い切って幹部交代の時期を7月から4月に変更したこと。色々なことが懐かしく思い出されます。

今、神戸大学体育会水泳部はどのような様子なのでしょうか？ 長い目で見ると、私達の時代はいい成績を残せなかったものの、神戸大学水泳部の長い歴史の中では、大きな転換期の一つだったのかもしれない。

さて、話題が変わりますが、オランダでの水泳の話をさせてください。オランダは日本とは全く水泳事情が異なります。

赴任当時、オランダでは7歳で全員50m泳げると聞かされました。私はきれいなクロールで50m を泳ぐ姿を想像し、私の子ども達がまだ顔をつけることしかできないため、どうなることやら心配していました。しかし、実際はカッコいいクロールではなく、運河に落ちた場合を想定し、体力の消耗を防ぎ、楽で呼吸の練習もいらない仰向け泳ぎ(イカ泳ぎ？背泳ぎでは

ありません)で、しかも着衣で泳ぐのです。オランダではディプロマ(資格免状)試験があり、その試験の科目は立ち泳ぎ、仰向け泳ぎ、顔上げ平泳ぎ、着衣水泳、飛込み潜水です。まさに、水難事故防止を目的とした生き残るためのスイミングでした。私の子どももいきなり平泳ぎの足を練習し、3回目には着衣水泳をしていました。

一方で、日本の子どものスイミングスクールでは、クロール→背泳ぎ→平泳ぎ→バタフライ→選手育成と型にはまった指導法で、正しいフォーム、長い距離、早く泳ぐということが進級の基準です。同じ水泳でも、日本とオランダで見方を変えると、目標が異なると、練習方法がこれほど違うのかと、水泳に対する価値観が大きく変わりました。

固定観念に縛られて、型にはまった「練習のための練習」をこなし、結果が出なくても自己満足するのではなく、まずは目標を決め、その目標を達成するために水泳に対する見方を変えて、「試合に勝つための練習」とは何なのかと柔軟な発想で考え出すことも大切ではないかと思います。

そして、結果がでることが一番ですが、結果より、もっと大切なことは、結果を恐れず、二度とない大学での水泳部生活に悔いが残らないように、勇気を出して自分を試すことではないかと思います。

未来への系譜

諫山 大介・平9

(平9卒)主 将 平山 義浩()

水球主任 大場 理世(水球/工)

西野 茂(水球/経営)

加藤 智子(マネ/国文)

齋藤 寿(自/国文、旧姓:松井)

競泳主任 諫山 大介(自短/発達)

主 務 中村 洋平(水球/工)

服部 陽宏(水球/経済)

番場 順子(個メ/発達)

吉川 智子(背/理)

凌泳会90周年、おめでとうございます。卒業してから15年近くたちますが、現在も灘区に職場があり、近郊に在住していますので、気持ちはまだ六甲台プールにあるような錯覚に陥ることがあります。

振り返ってみますと、この場で伝えるほどの当時のエピソードもないですね。ただ、先輩・後輩と一緒に、車2台やバイクで、やたら深夜ドライブに行っていました。瀬戸大橋見学、伊勢への日の出参拝、広島への水球の試合観戦、流れ星ツアー……。帰りにスピード違反につかまって、Tシャツ、トランクでバトカーに連れられていったO氏の姿はまだ目に焼き付いています。彼が、「違反金を全員で割り勘すべきだ。」と主張し、紛糾した記憶があります。企画の中心になる鈴木水球主任は面倒見が良く、私達の学年は、何かとお世話になりました。

この学年だけのエピソードではないですが、男子更衣室が盗難によくあいました。プーマラン水着や電話連絡網が盗まれ、いわゆるホ〇も仕業でしようと言うことに。ここでは書けない置き土産もありました…。朝5時からイタ電がか

かってきて、水着のデザインが前の方が良かったなど、筋違いの苦情を言われたのも、今では、「すべらない話」ですね。犯行現場の第一発見者が、いつも同期のN氏なので、彼に疑惑の目がかけられていました。残念ながら、今も疑念を晴らせていません。

平成9年卒の学年について思い出してみると、女子は1学年だけでリレーが組め、充実した活動をしていたと思います。仲間良かったです。男子は、経験者が多かったのですが、浪人生が多く、競泳選手のレベルとしてもそんなに高くなかったですね。退部者も数人いました。当時、1年生は競泳・水球の両方に所属し、水球の選手も競泳の試合に出ていました。私も両面ですて、どっちつかずの中途半端な選手の一人でした。水球で思い出すのは、2回生の時に、六甲台プールで行われた5日間の水球強化練習です(木村鬼コーチ主催)。午前アップが1500m5本から始まり、メインは50m×200、400m×30…と日替わり距離メニュー、午後はほとんどボールを使わない基礎練習と、最後は50m×20のSD…。全日、意地で

参加しましたが、さすがに微熱が続きました。水球は、上手になれず先輩方には迷惑かけました。

3回生のときに、競泳専門を1人、つまり競泳主任を決めるということで、私がすることになりました。ややさみしい面もありましたが、結果的にベストが出て、選手としては一番充実していた時期だと思います。

私たちが2・3回生のとき、力不足で競泳も水球も結果がなかなか出なかったですね。ただ、競泳は1つ下から、水球は2つ下から、技術も意識も高い後輩が入部し、水泳部の未来への胎動が始まっていました。競泳では福岡君が、水球では井村君達为中心となり、一つの時代を築いたと思います。また、濱出君を中心に一致団結し、どんどん強くなる水泳部を、嬉しくも、羨ましくも感じていました。このときから、専門化が顕著になったのではないのでしょうか。

結果が出なかった時期や負け続けるチームに所属していたことから、何が得られたのか。卒部して、社会人になってからわかることもあるのかなと…、いや、何か無理やりにも意味づけをしようとしているのかなと。順風満帆でないときに、視点を変える力が必要であり、それは過去の経験が礎になると思いますが。

現在、私立中高で水泳部顧問を10年以上続けています。大学でも水泳を続けていた事は、採用された一つの理由にもなり、神大水泳部は私の血・肉になっているかもしれません。数年前に、たまたまインターハイに行く選手を指導する(引率だけですが…)機会がありまし

たが、特に強い部活でもありません。教え子が神大水泳部に入部することが、夢の一つですね。過去に数名、水泳部員が神大に入学したのですが、残念ながら入部していません。

神大水泳部の一つの系譜が、現在も流れて続けています。現在は過去の集積であり、また未来へ体験・経験を紡いでいます。神大水泳部があるから、凌泳会があり、凌泳会があるから神大水泳部がある。双方の発展を願ってやみません。

2011年度現在、凌泳会の会計を務めている関係で、現役(主務・会計)と話をする機会があります。当時と比べては申し訳ありませんが、目指す目標も意識も練習内容も各段に高く、いつも試合結果を、尊敬の念を抱きながら見えています。その誇りある水泳部を、OBとして少しでも援助できる機会を与えて下さった凌泳会、諸先輩方に感謝いたします。最後までつたない文章を読んで頂きありがとうございました。



神戸大学水泳部員のいつかの、そして誰かの1年

福岡 達信・平 10

(平10卒)主 将 中尾 順一(水球/工)
競泳主任 福岡 達信(自/工)
田中 智之(自/経営)

主 務 梅本 哲矢(水球/農)
安部 泰史(平/経済)
田所 照代(自/工)

この度は凌泳会90周年おめでとうございます。
卒業以来、とても真面目とはいえないOBになっちゃったにもかかわらず、声をかけていただいて面目ありませんが、今回90周年の記念に原稿を書かせていただくにあたって、当時の事を振り返って何か書けとのこと、いろいろ思い出そうとしてみました。かなり記憶も入り乱れておりますので、いっそのこと水泳部員としての1年間のエピソードを通して皆様の当時の記憶を刺激してみようと思います。

さて、入部して間もない、先輩の名前と顔も一致しない頃、新入部員にとって最初の関門プレ新歓がやってきます。OBさんや応援団も顔を出す新歓コンパで右も左もわからない新入部員が粗相をすることのないように、自己紹介の練習をさせてあげようと言う先輩達の思いやりでしょうか、いやいや、神大水泳部そんなに甘くはありません。ある意味カルチャーショックです。

放課後に集められ、簡単に自己紹介の方法だけ教えられると、なぜか神戸大学の顔、六甲台の正門へ。正門ではバスを待つ長い列ができています。先輩達は正面階段の一番上で既に宴会始まっています。新入部員は気がつ

けば正門の門柱の上に登らされ、手には缶ビール。神戸の街を独り占め！なんて景色も目に入らず、「間違えたらやり直し！」のプレッシャーに緊張で固まります。

いざ始まると今度は自己紹介が終わりません。(笑) 嘸んだらやり直し。声が小さいとやり直し。途中で話しかけられて「はい？」と返事したらやり直し。やっと言えたと思ったら「出身校が悪い！」。何ソレ？と思ったころには赤い顔した先輩達が次々に門柱に登ってきては自己紹介を始めます。もう、新入部員の出る幕はありません。若干引き気味の新人部員を尻目に大盛り上がりです。多分誰も新入部員の名前は覚えてないでしょう。(いやあ、幹部の時は楽しかった。)

プレ新歓が終わるとすぐに新歓です。新入部員のミッションは間違えずに話しかけられるようにこっそり先輩達の名前を仕込んで、後はビール瓶とコップを持って飲んで自分の名前を連呼するだけです。先輩の名前を仕込む相手を間違えた時には悲惨なことに…。いつしかビールが日本酒に変わり、気がつけば夜更けの六甲台、うっそうと茂った林の中、部室なのか納屋なのかよくわからない場所に新入部

員が独り取り残されているのです。まだプールが六甲台のどの辺りに位置しているかもよくわからない状態で明かりもほとんどない部室は本当に怖い。目と鼻の先にあったトイレの場所すら知らないのですから…。



じゃあ朝までどうしたのかは置いておいて、新歓の後は本格的に水泳部員としての生活が始まります。私達競泳面は、神戸四大戦(今はもうない?)、兵庫インカレに始まり、最初に訪れるビックイベント、関西国公立に向けて猛練習の日々です。この試合で京○大学や大○教育大学、○阪府○大学を蹴散らして、全国国公立で、昼も夜もブイブイ言わせるためにひたすら泳ぐのです。

しかし、この時期の六甲台プールは寒かった。このプールを作った諸先輩のご苦労にはただ敬意を表すだけですが、山間の湖といったシチュエーション、藻が繁殖して自分の指先が見えない中、ターンでかかとをすり減らして練習を続けていると、屋内プールが恋しくなります。ひ弱な現代っ子なのに、よくもあれだけの人数が集まっていたものです。今の六甲台プールがどうなっているのか卒業以来足を

向けていないのでわかりませんが、今なら絶対泳がないでしょうね…。

そんな苦労に苦労を重ねて挑んだ関西国公立ですから、蹴散らせたか蹴散らされたかはさておき、その後の打ち上げは大変な騒ぎになります。悔しさの余り、水泳部員に靴なんていらぬわっ!とばかりに靴を捨ててしまう者、精根尽き果てて阪急宝塚線を何回も往復する者、試合の興奮冷めやらず、テンションそのままに騒いでゴルフクラブを掲げたおじさんとバトルする者達、OBとして打ち上げに参加しただけなのに開始10分でトイレ送りにされた。

まさに地獄絵図(笑)。

その後も関西学生選手権、全国国公立、市大戦、三商船、近畿国立、インカレとレース漬けの日々です。大学水泳の面白さは、個人競技なのに、団体競技でもあり、誰もが主役になれることだと思います。一定の水準を要求するレースもありますが、誰でも出場できるレースもあり、誰もが試合で優勝する、組で1位になる、隣に勝つ、自己ベストを更新する、沢山のチャンスがあります。例え結果はそれぞれでも皆で純粋に一喜一憂できるのは学生だけの特権かもしれません

9月になると、シーズンを締めくくる月見の宴が六甲台のプールで開催されます。その年1年の成績をOBさんに報告し、怒られたりけなされたり…まあ一応激励なのでしょう。新入部員もここで最後の自己紹介です。長いシーズンがこれでやっと終わり、感慨もひとしおですが…やっぱり誰も聞いてないし。

シーズンが終わると、全体で集まる練習日は少なくなります。個人練習やアルバイト等に精を出し、来季に向けて力とお金と脂肪を蓄える日々が始まります。練習やバイトに明け暮れながらも、部員達の交流は益々深まっていきます。下宿している部員の家に夜な夜な集まっては熱い熱い(笑)トークを繰り返したり、夏に落ちた恋に破れた後輩のためになぜか夜中の六甲山に原付で繰り出したり、後輩がいない間に侵入しては下宿の模様替えをしたり、後輩同士の部屋を入れ替えてしまった猛者もいたり…そんな風に朝まで遊んでいても朝練にはきちんと参加していたのですから大したものです。起きない後輩は張り飛ばされましたが。

冬が来て年の瀬も訪れる頃、1年を締めくくる最後の行事が行われます。これまで虐げられたお世話になった4回生を送る追い出しコンパがやって来ます。夏のレースを最後に引退し、体育会を離れて久しいせいでしょうか、性格も体も丸くなってしまった先輩の姿に明日は我が身かと不安を抱えつつ、この日ばかりはこれまでの恨み感謝の気持ちをいっぱい、飲ませて飲ませてやっぱり飲まされて、そこらじゅうで笑い涙に溢れた宴はまた朝まで続きます。

追い出しコンパが終わると新幹部主体で新

シーズンに向けた動きが活発になります。私達の時は年度末に行われた春合宿です。ロクに授業も出なかったツケをかるうじて払うことなく済んだ喜びにひたる間もなく、朝から晩まで二部練・三部練の体が乾く暇もないぐらいの水泳漬けです。原稿を書いているも、ふやけた手足を思い出して少し気持ち悪くなった程です。でも、どんなに疲れていても、苦しくてもやっぱり最後は宴会で終わってしまいます(笑)。若いですね。合宿が終わると新学年が始まり、新入部員の勧誘を経て、またプレ新歓と続きます…。

神戸大学水泳部員のいつかの1年間、いかがでしたでしょうか。練習やレースよりも飲み会や打ち上げの話ばかりで少しあきれた方もいるかもしれません。もっと激しかったよと、今の若いやつはパワーねえなあと仰るつわものもきっといらっしやるでしょう。皆さんかけがえのない思い出をたくさんお持ちだと思います。そんな皆さんが現役当時を思い出し、私同様密かに赤面していただければ、私にとっては大成功です。さらに言うならば当時の仲間と久しぶりに集まるきっかけになれば光栄です。駄文ですが最後までお付き合いくださりありがとうございました。

継承すべき凌泳魂

成田 康修・平 11

(平11卒)主 将	濱出憲一郎(自・水球/発達)	主 務	土井 祥宏(水球/工)
競泳主任	山田 篤(自/工)	水球主任	井村 大智(水球/経済)
	沖代 直也(自/国文)		奥野 満(水球/理)
	玉田 浩介(自/工)		中村 浩爾(平/農)
	成田 康修(水球/経営)		平山 道夫(水球/工)
	藤尾 宏子(個メ/発達,旧姓:加島)		執行 敦子(マネ/神戸松蔭女大)
	高木美登里(自/神戸松蔭女大)		増田亜希子(平/神戸松蔭女大,旧姓:館石)
	堀内香予子(自/神戸松蔭女短大)		松島 多美(自/神戸松蔭女短大,旧姓:神尾)

六甲台のプールは、われわれの魂である。

人生は、二度と同じことが起こらない。変化の連続である。その変化のただ中では、何らかの判断基準に基づき、状況の判断を下し、実践し続けなければならない。判断基準いかんによっては、一度きりの人生の行く末が大きく異なってくる。したがって、どのような判断基準を形成するかは、人生の重大な問題でもある。われわれの判断基準とは、奥深き歴史と縁であふれる六甲台プールの中で形成される凌泳魂である。

六甲台のプールでは、多彩な学生が集まり、青春を謳歌した結果、友情、コミュニティへの愛、困難に立ち向かう勇気などを学んでいく。ここでいう六甲台のプールとは、目に見える場所ではなく、確固とした魂を形成するための精神的空間である。魂は、人生における稀有な無形資産ともなる。人生をかけるに値する真善美そのもの、それが凌泳魂である。

すぐれた魂を育むには、どのような組織が望

ましいか。結論から先に言えば、困難を乗り越えてきた歴史を組織がもち、その歴史を組織成員が知りつつ、新たな未来を切り拓こうとする組織である。苦闘から紡ぎだされた歴史から意味を見出し、それを普遍化、概念化、言語化し、将来の糧として次世代に伝えていくような組織である。

神戸大学水泳部は、偉大な歴史をもつ。その歴史を築いた人々は、すぐれた魂のリーダーでもあった。たとえば、神戸大学水泳部の精神的支柱は、大東亜戦争前後、長らく水泳部をリードした古林喜楽先生である。口伝と文献からの情報で恐縮だが、彼は日本経営学会のトップである理事長を務め、神戸大学学長をも歴任した。ドイツ哲学を代表する学者でもあった古林は、ヒトラー政権下のドイツを自ら訪れ、ドイツ経営学を代表するニックリッシュと対話し、ニーチェに関する逸話をのこすほどの学者だった。そんな古林は神戸大学水泳部を組織化するために、数々のシンボリックアク

ジョン、水泳部歌、そして魅力的な人々を育て、われわれに残してくれた。まさに、「組織は人なり」を地で行き、復興の礎を築いたような不屈の魂をもつリーダーだったと感ぜられる。

私が学生の頃は、石井義章会長の時代だった。石井会長は思いやりの精神である「仁」をもたれた方であり、いつも笑顔で励ましてくれた。それをサポートしていた富岡道雄先輩は、月見の宴ではサントリーモルツをケースでいくつも届け、宴を盛り上げていた。「世のため人のため」を説く「義」の人でもあった。われわれ

学生は、このような多くの先輩に愛されていたことを遺伝子レベルで感じていた。だから、三商戦においてトロフィーを独占した際は、石井会長が満面の笑みで「他校の奮起を」と話されるのがとても嬉しかった。学生の私は、恥ずかしくて面と向かってその喜びを先輩方に言えなかったが。

遅ればせながら、われわれに偉大な歴史を残し、それを支え続けてくれた凌泳魂をもつ先輩方に感謝の意を表したい。後輩には、偉大な伝統の飽くなき革新を期待したい。

栄光の西日本選手権制覇、夢の関ボロ制覇

井村 大智・平 11

OBの戯言と現役生にぼやかれるのを承知で、自らの現役当時を振り返り(ほぼ自慢話)、後輩への提言(身勝手な思いつき)を述べさせていただく。

■平成23年から思い出す現役当時

今年、平成23年は、現役当時を思い出す出来事が起きている。

東日本大震災は、入学前に発生した阪神淡路大震災を思い出させた。被災した神戸の街や先輩方から聞いた被災体験は忘れられない。

また、今年、サッカー女子日本代表(なでし

こジャパン)がW杯で優勝した。なでしこ達は、組織力と一瞬の個人技によって身体能力に勝る欧米勢を倒していった。その戦い方は現役当時の神大水球チームを思い出させた。

我々は、セレクション入学の選手を主力とする関学、立命の2強を倒すべく、組織力をベースに勝負どころでは個人能力を活かす戦いを展開した。思い出を語ると紙面がいくらあっても足りないので、戦績を別表に示すことで割愛するが、我々の4年間を要約すると、どん底から這い上がり、カップ戦タイトルを獲得するまでに成長するも、リーグタイトルには手が届かなかった、というものだった。

平成7～10年度 水球部門 主な戦績(H4-H6、H11 は参考)

年度	大会	対戦校						備考 (※:トーナメント)
		関学	立命	京都	大阪	市大	一橋	
H4-H6	関ポロ	H4、H5・1部優勝、H6・1部6位2部降格						
H7	関ポロ (2部)					○ 4-2 ○ 6-2	2部優勝 12勝0敗	
	入替戦	●京教大(スコア不明)						1部昇格ならず、 2部残留
	三商戦					● 3-11	● 8-9	
	市大戦					○13-10		
	関ポロ Jr		● 1-15	● 3-4				(2勝2敗)※
H8	関ポロ (2部)			● 8-9 ○ 5-4			2部優勝・9勝1敗 (2位と得失点差)	
	入替戦	○府立高専(不戦勝)						1部昇格
	市大戦					○ ?-?		
	三商戦					○16-3	● 9-11	
	関ポロ Jr		● 7-15					(1勝1敗)※
H9	関ポロ・春	● 4-14					予選リーグ 2位・3勝1敗	
		○ 5-3	● 8-13	△ 6-6	○12-9		決勝リーグ 3位・3勝1敗1分 (2位と得失点差)	
	三商戦					○24-7	○22-6	
	市大戦					○16-6		
	西日本 学生選手権		(準決) ● 7-13		(3決) ○ 8-7			3位(3勝1敗)※
	関ポロ・秋	● 6-8	● 7-13	○ 8-4	● 5-6			3位・インカレ出場権獲得 2勝3敗 (4位と得失点差)
インカレ	1回戦:○21-8 鹿児島経済、2回戦:●4-19 慶応						9位タイ(ベスト16)※	
H10	関ポロ・春	● 4-12 ● 6-9	● 6-7 ● 4-6	○10-2 ○12-5	○11-4 ○10-4			3位 6勝4敗
		市大戦				○22-4		
	西日本 学生選手権	(準決) ○11-10	(決勝) ○ 9-7					優勝(4勝)
	三商戦					○14-4	○15-6	
	関ポロ・秋	● 3-15	● 8-10	○16-1	○ 9-7			3位・インカレ出場権獲得 3勝2敗 (4位と得失点差)
インカレ	1回戦:●0-15 中央							
H11	関ポロ	1部2位						
4年間の対戦成績		2勝5敗	1勝8敗	5勝2敗1分	5勝1敗	9勝1敗	2勝2敗	

■3年ぶりのインカレ出場権獲得

平成4、5年のリーグ連覇から一転、2部降格後のチームに我々は入部した。先輩達がかつて達成した関ポロ優勝やインカレ出場という

フレーズに憧れ、それは目指すべき目標であった。2回生時によりやく1部昇格を決め、3回生で遂に頂上への戦い・1部リーグに臨んだ。そこで春、秋と3位を譲らず、とうとうインカ

レ出場権を獲得し、目標を一つ達成した。

この年のベストゲームは、当時リーグ3連覇を目指していた関学との春の戦い。圧倒的泳力を活かしたカウンターを武器とする関学に対して、攻守の切り替えに注意を払いロースコアゲームに持ち込むという、言わば、なでしこドイツ戦の如き戦いを展開。見事撃破し、関学の連覇を阻止した。チームスポーツの醍醐味を味わい、何より自分達の可能性を確認できた。

この試合に代表されるように、我々は他校を驚かさず戦いを見せることもあったが、詰めも甘かった。春最終戦で京大に引き分けてしまい、2位の座を関学に明け渡してしまった。また、秋には両雄撃破はならず、得失点差で辛くも3位をキープしたにすぎなかった。

しかし、ともかく、我々は目標をひとつ達成した。感極まり、打ち上げ後梅田東通りでみんなして泣いたことを覚えている。1回生の入替戦以降、我々は飲むとよく泣いた。平山君がいちばん泣いていた。

■インカレ初勝利への道

我々流のチーム運営方法は、遠慮なく各自の意見をぶつけ合うことだった。試合中でも遠慮なし。傑作は、勝利した試合後の挨拶時まで味方同士で言い合い(ほぼ喧嘩)をしたとき。審判に「神大は大丈夫か？」と声を掛けられたこともあったが、我々はこれこそチーム力を高める近道だと信じていた。我々には、平山君を筆頭とする大阪・茨木高校出身者(岡本君、

林君、塚本君・いずれも H12)を中心に、水球経験者が揃っていた(成田君は千葉・八千代、筆者は熊本・済々黌、H13 中島君は岐阜・大垣東など)。そんな経験者が遠慮なく物を言い合う雰囲気の中、濱出君や奥野君のような大学デビューの人材も負けじと実力を伸ばしていった。土井君は総務部長としてチームを陰でサポートした。こうしてチーム力はより高まった。それは正しい道だったのだ。なぜなら、その先に、我々神大水泳部は史上初のインカレ勝利を得たのである。

■西日本学生選手権優勝と最後のリーグ戦

我々はいくつかの優勝を達成した。三商戦、市大戦を除き、最も重い獲得タイトルは4回生時の平成10年度・西日本学生選手権である。カップ戦とは言え、2強である関学、立命を連覇しての優勝である。4年間の積み上げの結果、このタイトル獲得が成った。この大会、平山君らが院試で欠場したものの、中島君や西村ゲーリー君(いずれも H13)が大きく成長。W杯決勝・アメリカ戦のなでしこ達の如く、後輩の成長と先輩の経験がかみ合い、シーズンゲームに勝利した。最後のリーグ戦に期待を抱かせる内容と結果であり、チーム力はピークに達したと確信した。

我々は遂に頂点に立った。勝つのは本当に気持ち良かった。打ち上げ、翌週の三商での勝利報告、実に誇らしかった。しかし、そこまでだった。三商戦の翌週、迎えた最後の関ボロ。我々には勝ち続けるメンタリティは備わっ

ておらず、リーグ制覇という目標は夢に終わってしまった。

■現役後輩諸君へ

それなりの結果を残しつつ詰めの甘さを露呈した経験を分析し、水球部門強化の提言をさせていただきます。

・歴史を知る

我々は結局のところ、かつて先輩方にはあったであろう、リーグ戦を勝つ、あるいは勝ち続けるメンタリティを備えていなかった。後輩諸君には、神大水球が歩いてきた道のりを知り、感じてほしい。本来は我々OB自身が六甲台に語りに行くべきだろうが、身近な媒体として「凌泳」誌をお勧めする。例えば平成 10、11 年度の成田君執筆モノは、今読んででも最高に面白いと思う。刺激にしてくれると有難い。

・見る、感じる、吸収する

我々は高校水球経験者が揃っていたことで、新しい戦術や練習法、メンタルトレーニング等を求める食欲さが、不足していたかもしれない。

後輩諸君には、経験不足を補うためにも、有り余る時間という学生の財産をつぎ込み、国内外のゲームを勢力的に観戦してほしい。お勧めは高校生のゲーム(インターハイ、国体)。本大会はもちろんのこと、各地域予選でも素晴らしいゲームの連続である。また、今年の世界水泳では日本代表の戦いを中心に数試合が放映されていた。チャンスを逃さず、トップレベルの水球を感じてほしい。

さらには、多くの高校チームには指導者がついている。できることなら先生方とのコネクションを築き、ともに練習する機会を得るとよい。知らない大人と仲良くなる方法は、成田君を始めOB諸兄に聞いてみるといい。

・人材の獲得

チーム強化の肝は、人材の獲得である。未経験者を育成するためにも、経験者の獲得は必須である。我々のチームには自ら入部してきた水球バカがたまたま揃っていた。たまたまをコンスタントにする仕掛けを構築しなければならない。

ほとんどの現役諸君が巻き込まれるであろう就職活動、企業側で言えば採用活動。神大水球も採用活動を仕掛けるべきである。ターゲットは、神大入学実績のある高校の水球プレーヤーだ。個人情報の厳格な管理が叫ばれて久しいが、ここは凌泳会を頼る一手である。まずは、茨木、八千代、済々黉、大垣東といった高校にアプローチはいかがか。OBの利用方法は現役諸君に任せる。

・エンジョイ ウォーターポロ

(水球を通じて本当の楽しさを味わう)

これが我々の合言葉だった。我々なりに楽しんだと思う。後輩諸君も努力の先にある楽しみ、気持ちよさ、悔しさを精一杯味わってほしい。水球なんてスポーツ、今しか楽しめない。後輩諸君の健闘をお祈りし、結びとさせていただきます。

扇 矢 の ね ぎ と ろ 井

井 畑 陽 平 ・ 平 12

(平12卒)主 将	井畑 陽平(自/法)	主 務	田中 亨(個メ/経済)
競泳主任	西田 憲史(背/経営)	水球主任	岡本 康宏(水球/経済)
女子主将	濱出 美帆(自・水球/法、旧姓:多田羅)		
	生山 裕(背/工)		岡部 達也(自/理)
	田中 俊輔(平/農)		塚本 善隆(水球/農)
	津田 英毅(自/工)		林 輝彦(水球/農)
	森山 匠(自/工)		田中 理恵(自/発達)
	石井 依子(蝶水球/国文、旧姓:村山)		矢澤 清歌(自・水球/農)
	山本 奈穂(平/文)		林 恭子(自/神戸松蔭女大、旧姓:中野)
	石原 靖子(自/神戸松蔭女短大)		新里 麻美(平/神戸松蔭女短大)
	善家 真由(マネ/神戸松蔭女短大)		

そのとき

「僕はねぎとろ井で」。

大学に入って間もない4月半ば。私は、他の同回生が注文しようとしないうちに首をかしげつつ、先頭を切って注文した。

体育会水泳部に入ることを内心で早々に決めていた私も、入部する決意を促されるために、ならわしに従って、そのとき扇矢にいた。中学・高校と片田舎の寄宿舎で過ごした私は、これから外食する、という事実がまぶしくて、のぼせていた。妙だと思われるだろうが、都会の大学生になったのだと実感したのもまた、このときだった。

水泳部の練習を終えて夕飯を食べるといえば、多くがこの店だった。特に、例年4月から5月の連休にかけて、新歓のため、上回生が一回生を夕飯に誘い出し、入部を決意させるためおごるの

がならわしだった。

「なんでも食べたいものを頼めばいい」と、上回生は、私たち新入生に気前よく指示した。上回生の指示を真に受けた私は、食べたいと思うものを、素直に頼んだのだ。

おごられる側の「きまり」

おもえば、そのときが、私にとって、ひとの厚意に甘えて食事をおごってもらった初めての機会だった。

私は、「きまり」を知らなかった。

あえて言葉にするほどのことでもないが、実は、おごるよりもおごられる方が難しい。とりわけ、相手の厚意に甘えておごられるときには、繊細な「きまり」があるからである。

まず、厚意でおごる側は、能力に裏打ちされた覚悟があれば必要かつ十分である。要

するに、財布と相談しておごるだけの余力があるならば、あとは気持ちだけの問題である。

対して、厚意でおごられる側には、思いっくだけでも、次のような「きまり」がある。

- ✓ 注文をするタイミング——厚意でおごるひとを差し置いてはならない
- ✓ 注文する品目——厚意でおごる人の頼むものを凌駕してはならない
- ✓ 着席する場所——上席は、厚意でおごるひとに譲らねばならない
- ✓ 食べ方——厚意でおごる人よりも先に箸を付けてはならないし、たとえ、頼んだものの味が期待を裏切ったとしてもそれを表情に出してはならない
- ✓ 食べ終わったのちのこと——厚意でおごる人が会計を終え、万事済んだことを見計らって、お礼を述べねばならない

改めて書き出してみると、社会人 1 年生向けマナー講座で教授されるべき高度な内容である。

そのときの、私の行動を「きまり」に照らして評価してみよう。

私は、少なくとも、注文するタイミングと注文する品目とについて、「きまり」に従わなかった。これらの「きまり」を逸脱した理由は、いま思い返しても、子供じみたものである。練習に参加した後だから腹が減っていたので早く食べたかったからであって、また、うどん屋で鮮魚ネタ(ねぎとろ)を出しているということに興味を覚えたからであった。

厚意でおごる側——上回生——が、まだ誰も注文していなかったことと、ねぎとろ丼が、当時、店の都合により桶うどんが提供されていなかったことを受け、扇矢の品書きの中で一番高い品目であったことを考慮する余裕など、のぼせていた私には、全く、なかった。

「きまり」を学ぶ営み

「きまり」とは、社会生活上のルールであって、それに違反したら何らかの制裁がなされるものをいう。そして、「きまり」を学ぶという営みは、家庭や学校での教育を通じて、暗黙のうちに行われる社会的なものである。「ひとのものを盗んではならない」、「ウソをついてはならない」等々の、社会で生きていくにあたって必要な「きまり」は、何もおごられる側のそれだけに限ったものではない。

それにしても、他の同回生は、いったい、いつ、どこで、誰からおごられる側の「きまり」を学んだのだろうか。周囲の状況を冷静に分析し、安全策として様子見を決め込んでいたのだとすると、当時の私には、とうていマネできることではなかった。

私は、おごられる側の「きまり」に違反し、制裁を受けた。いや、制裁を受け続けている。ねぎとろ丼の一件について、未だに、非難され茶化され続けているのである。曰く、「世間知らず」。また曰く、「無礼もの」。

こうして、ねぎとろ丼の一件は、私の心に深く刻まれることとなった。私は、水泳部員としての初日に失敗したことを通じて「きまり」を叩き

込まれたのである。

むすび

本稿が、凌泳会90年誌への寄稿文として期待される「きまり」を守れているか、疑わしいところであるが、お許し願いたい。水泳部を卒部して、もう10年以上経過した。一方で、良い思い出は、甘くぼんやりとしてつかみ所のないものとなっている。他方で、苦い思い出は、その瞬間とその後しばらくの心の動きのみが、くっきりと、しかし断片的なものとなっている。忘却は世の常とはいえ、困ったことだ。

最後に近況を述べて、稿をむすぼう。

私は、いま、大学で、独禁法という「きまり」を研究し、その「きまり」を学生に教え伝える立場にある。当然ながら、「きまり」の教え方にも「きまり」がある。赴任して以来今日まで、私は、教え方の「きまり」を会得するのに四苦八苦していて、私の講義の受講生に、教えた方の

「きまり」を教わっている。私にとつての「きまり」を学ぶ営みは、これからも続く。

私は、自分の経験から、よくわかっているつもりである。

「きまり」を学ぶには、失敗も必要だということ

(付記)

期せずして、女子大学に赴任することとなった。私は実質的な男子校で教育を受けたこともあつてか、女子校には、それなりの先入観(期待)を持っていた。私の先入観は、いい意味でも悪い意味でも、裏切られている。おそらくは諸兄諸姉の想定を超えた、女子校ならではの挿話もある。これから先、奉職する大学を異動するなりして現況を客観視できるときがきたら、稿を改めて述べることにしよう。

泳げないのに水泳部

藤田 麻希子(旧姓 三留)・平 13

(平 13 卒) 主 将 西村 祐作(水球/経済)

競泳主任 藤尾 幸平(平/工)

女子主将 藤田麻希子(水球/農、旧姓:三留)

神薊 卓海(個メ/工)

塚本 孝子(マネ/神戸松蔭女大、旧姓:幹)

主 務 芦名 裕司(個メ/工)

水球主任 中島 大平(水球/経済)

谷川 美里(水球/工)

もともと運動音痴な私は、高校入学時に、鍛えるなら今しかない！と、運動部に入ることを決意しました。ところで何部がいいかしら？ 泳げ

るようになれば溺死の危険性が減るかも！ こんな安易な考えで入部したのが大阪府立茨木高校の水泳部。それはそれは水球の盛んな部

でした。男子先輩方が国体だのインターハイだのと夢のような世界で戦っている傍ら、私はという毎日溺死の危険と隣り合わせでした。卒業時にはコーチから「泳いでいるのか泳いでいるのかわからなかった」「一番に辞めると思っていた」と評されるほどに、見事な補欠っぷりでした。しかし無我夢中の高校生活をなんとか無事に生きながらえた頃には、私はすっかり水球好きになっていました。

そして入学した神戸大学。水泳部には多くの先輩方もおられます。まずはご挨拶をと勧誘ブースへ行くと…当然のごとく「〇日に朝練あるからきてね。」

「でもやるなら水球がいいんです(下手だけど)」「一緒にやればいいんじゃない？」

なんと、あの憧れの先輩たちと一緒に練習ですとー！やってみよう！

こういうわけで私は体育会水泳部に所属することとなったのでした。

いざ入部してみると、大学の水泳部は衝撃の連続でした。

あの、高校時代に雲の上にいるかのように思っていた先輩たちはなんと普通の人だ！というちょっと考えれば当然なことから始まり、大自然に囲まれたプール、女子更衣室から侵入され男子水着が盗まれる部室。そして何よりも衝撃的だったのは、六甲台プールからバス停にむかって放送禁止用語を連呼する某先輩の姿でした。一般的にはどう考えてもあ

かんやろ、というレベルのセクハラ行為でも堂々とやってのける姿に、ああ、自分が知らなかっただけで世の中にはこういう人もいるんだ。と思っていました。が、未だにそんな人は他には出会わないままです。今なら言えます。全裸でプールに入らないでください。

そんなこんなで半分マネージャー、半分はみんなのおまけのように練習をしていました。しかし練習をしていると試合を試してみたいくなるものです。ちょうど、ひとつ下に水球専門マネージャーが入部したため、マネージャーとしてお役ごめんになりつつあったのと、競泳陣の先輩方が水球もやってみよう、と下ってきたことから、女子も水球大会に出よう！となりました。

ところが教える自分が説明はできても実行できないという下手っぷりだったものですから、練習でできたのは基本中の基本のみ。戦績は推して知るべし、というものでした。しかし競泳陣の泳ぎの速さは水球大会の中では尋常でない目立ちっぷりで、対戦した各チームには非常に驚かれました。大会上位常連チーム相手に得点し、会場がどよめいていたことを覚えています。

この女子水球チーム結成については、当時の先輩方がかなりいろいろと動いてくださいました。自分は良くわからないままに女子水球主任という肩書きだけいただいて、のんきに練習していましたが、今考えると周りの皆様方の多大な協力があってこそその活動であったの

だな、と今更ながらに感謝の気持ちでいっぱいです。

こんな水泳部生活でしたが、結局、私が水泳部で何を得たかという、少しの泳力と大きな人間関係だったと思います。今は母として仕事や子育てに忙しい毎日ですが、先輩・後輩・同回生の存在が、憧れであったり意地で

あったり癒しであったり…いろんなかたちで大きな支えになっています。水泳部の皆さんはさすがの体力で？この少子化の中、子だくさん家庭が多いように思います。うちも先輩方を見習っていたら三人目がうまれました。これからも力いっぱい生きていきます。そして子育てがひと段落したら、優雅に現役生を応援しに行きたいと思います！

平成14年度号 卒部の辞より

久保 達也・平 14

(平14年)主 将 八十島 宏(自/工)

主 務 久保 達也(自/工)

勧誘の紙を片手に初めて六甲台を訪れた時、落ち葉で一杯のプールと廃屋のような部室を見て「この部は大丈夫なのかな」という不安を胸に入部したのが、1年の6月15日。あの日から約4年、もう卒部の辞を書く時期になったのだと思うのが今の正直な気持ちです。もし水泳部に入部していなかったら、おそらくつまらない大学生活を送っていたらと思うくらい、入部後の生活は、他では経験できない貴重な体験で一杯でした。もちろんそれは良い意味でもあり、悪い意味でもあります。しかし、今ではそのどれもが大切な思い出です。

今でもはっきり覚えているのが、女子が優勝した年の関国。2ヵ月遅れで入部した私は試合に出ることができなかったのも、男女ともが白熱したその試合の様子をただ応援席から

見ていただけでした。けれども、関国までの練習や対策、そして試合にサポートとしてその場に一緒に参加できたことは本当に良かったと思います。中学、高校と顧問に見放された遊泳部にいた私にとって、味わう事ができなかったあの日の感動と優勝カップで飲んだお酒の味は忘れることができないものです。

3年になり、人数不足のため半ば強制的に決まった幹部。幹部になったことで、今までどれだけ先輩任せに過ごしてきたのかということと共に、それをこなしてきた先輩たちの凄さを感じさせられました。主務という仕事を通して幹部学生の責任の重さ、部を支える難しさなど言葉でいえないほど多くのことを勉強させてもらいました。頼りない私になんとかやり遂げることができたのは、考えるまでもなく支え

てくれた先輩や後輩、同回の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

(中略)

院試をひかえた最後の大会で、無事ベストタイムを出して終えることができたことは本当にうれしかったです。有終の美を飾ることはで

きましたが、悔いがないかと言えようそになります。最後に追い込まれてから、また終わってみてから「まだまだできたのでは？」と思える自分がいたからです。現役のみんなはそんな悔いが残らないよう、精一杯頑張ってもらいたいと思います。(後略)

平成14年度号より「韓国合宿体験記」

川本 陽介・平 15

(平15卒)主 将 川本 陽介(平/農)
競泳主任 村上 幸弘(背/経営)
女子主将 清水めぐみ(平/法)
高橋 克哉(自/経営)
安田 雅弘(背・自/法)

主 務 西島 研(自/工)
水球主任 福井 貞夫(水球/経営)
坂井 利彦(水球/経営)
古元 康介(水球/経済)
川田 悠子(マネ/農)

例年とは違い海外という慣れない土地での合宿に現地に行くまでには戸惑いも多かったが実際に合宿が始まってみると新しい発見の連続で非常に有意義な合宿生活を送れたように思う。またこの合宿を通して今シーズンを戦うメンバー同士の結束力もより硬くなったのではないかと思う。

まずこの合宿を計画していただいた金監督に感謝したい。一週間合宿に付き合ってください、また自ら御指導していただきありがとうございました。また現地でも旅行会社の方やホテルの支配人をはいめお世話してくださった方々、韓国の水泳連盟の方々、毎日美味しい昼食を出していただいたお店のおばちゃ

んたち、濟州大学校の方々、最終日に濟州島を観光案内していただいたガイドさん、その他大勢の人にお世話になりこの合宿が成功したと思います。本当に感謝でいっぱいです。カムサハムニダ！

また今年は大阪教育大水泳部の二名も合宿に参加しお互い刺激しあいながら練習ができたのではないのでしょうか。合宿途中、風邪でダウンしながらもメニューを考えていた松田主任もみんなをよくまとめ引っ張っていました。森、吉野も松田がいないときに部をまとめようとがんばっているのがわかりました。新二回生もまた積極的に部を盛り上げていく姿勢が見ることができたので今シーズンとても頼もしい

です。

一週間の共同生活を通して今までにお互い分からなかった部分も知ることができ、部員同士の信頼も生まれたのではないのでしょうか。意外な一面も多く見られました。本人も自分自身の新しい一面が発見できたのでは。初めは海外合宿に消極的だった吉野は食事もがつがつ食べ馴染みすぎていたように思います。逆に三日目で体調を崩した松田は日本が恋しくなっていて日本に帰りたいとぼやいていました。私は食事もおいしく、美しい海に囲まれた濟州島が大変気に入りました。日本に帰ってきてからも懐かしく思います。むしろ向こうの方が自分にあっているのではないかと思う

ほどでした。最終日には I love CHEJU! を連発していました。

それにしても現地のプールには驚きました。春のプールを思わせるような寒さです。長水で練習できたのはよかったです。ビミョーな寒さがこたえました。しかし泳ぎだすと皆寒さを忘れて必死に泳いでいました。今回長水プールで練習できたのはよかったと思います。シーズン中の大会は長水プールになるためその感覚をつかむためにもよかったのではないのでしょうか。

今回の初海外合宿はいろんな意味でよい収穫が大きかったと思います。この勢いで今シーズンみなで戦っていきましょう！

新世紀を迎えた Team Blue Sky

福本 守・平 16

(平16卒)主 将 福本 守(水球/工)
競泳主任 松田 有司(自/発達)
吉野 剛成(自・平/法)

主 務 森 宣幸(背/法)
水球主任 篠原 康彦(水球/工)
松本 有子(背/法)

凌泳90周年記念誌の発刊に心よりお祝い申し上げます。

凌泳70年史発刊より20年。この20年の一期間において神戸大学体育会水泳部に在籍した者として、凌泳90年史に寄稿できることを大変嬉しく思っております。この貴重な場をお借りして、私が在籍した2000年～2004年当時の神戸大学体育会水泳部の思い出話を記させていただきます。

「ミレニアム〇〇」という単語が一躍ブームとなった、2000年の4月某日。私は初めて六甲台プールに足を踏み入れました。入学前に花の大学生活を夢見たのも束の間。間もなく、大自然に囲まれた伝統ある六甲台プールでの、男達の熱い水球生活にのめり込んでいくことになりました。

当時、新入生勧誘をされていたひとつ上の坂井先輩、福井先輩、古元先輩の熱い水球トークに大いに影響を受け、私は水球メンバーの道を進むこととなりましたが、六甲台プールで初めて水球というスポーツに出会った、いわゆるド素人でありました。

私が入部した当初の水球部門はといいますと、そんなド素人の私ともうひとり同時期に入部した同じく水球初心者の篠原を加えて、やっと7人で試合に出られるという、今考えれば、とても厳しい状況でした。

後々に知ることになるのですが、前年までの偉大なる先輩方による西日本制覇(成田先輩邸でVTRを何度も見せていただきました)や、インカレ連続出場といった栄光から一転、この窮状に対し当時の先輩方が如何に這い上がろうと尽力されていたのか、当時の私には想像できませんでした。ただ、練習に付いていくのが精一杯でしたから。

中島先輩、西村先輩、坂井先輩、福井先輩、古元先輩、篠原、私の7人で迎えた2000年関西学生春季リーグ戦。前年に一部リーグ準優勝という偉大な成績を残した翌年であるこの大会の成績は、一部リーグの下から二番目という皮肉な結果でした。その後のリーグ入替え戦においても敗北を喫し、二部降格という惨めな結果が私達に待っていました。この時の先輩方のやり場のない怒りや悲しみの姿を見て、私の人生は変わりました。

絶対にこの窮地から這い上がろう。Team Blue Skyの名を再び轟かせよう。先輩方の背中を見て強くそう思いました。

こんな不甲斐ない成績を残した私達に喝を入れるべく、井村先輩、平山先輩、岡本先輩、塚本先輩、林先輩をはじめ、諸先輩方が練習指導に頻繁に来ていただき、まさに鬼が付く練習の日々を過ごしました。本当に水球一色の日々でした。当時は辛いことが多かったですが、今となっては私のかげがえない財産となっています。

時は流れ、一番頼りにしていたひとつ上の3人の先輩も引退され、最終学年を迎える前のシーズンオフ。残ったメンバーは篠原、岡田(リアル)、岡、私の4人。当然、少し前からこうなることは分かっていたのですが、心にポッカリ穴が空いたような状態になったことは否定できません。そんな時、ふと思い出したのが、一回生の時に見た先輩方の諦めない雄姿でした。

水球に人がいないなら競泳から参加してもらおう。そう思い立ち、当時の競泳の同期の松田らと相談し、西和田、信田、古谷、水谷といった競泳メンバーに水球練習に参加してもらうことになりました。当然、私達水球メンバーも競泳の練習・大会に参加しました。直前シーズンまで主将を務めていた私が言うのも恥ずかしいですが、この時初めて、水泳部が力を合わせて、伝統ある凌泳魂を守ろうとひとつになれた実感がありました。

結局、私は目指すべきインカレに出場することなく現役生活を終えましたが、その後、2年のパワ

ーアップ期間を経て、2005年、実に6年ぶりに後輩達がインカレ出場を果たしてくれました。私はこの6年ぶりの瞬間が、自分の現役時代も含めて、神戸大学体育会水泳部生活の中で一番嬉しい出来事でした。Team Blue Sky がまさに新世紀を迎えた瞬間でした。

この背景には、凌泳会の惜しめないサポートがあったことは言うまでもありません。この良き伝統が100周年、150周年と明るい未来にバトンをつないでいけるように今後も微力ながらお手伝いをできればと考えております。

末筆ながら、神戸大学体育会水泳部の益々の発展と皆様のご多幸を心よりお祈りいたします。

平成17年度号より 海事科学部出身の初めての卒部者 松浦剛氏の卒部の辞

松浦 剛・平17

(平17卒)主 将	西和田 靖(蝶/工)	主 務	信田 泰弘(平・水球/経済)
競泳主任	横山 千泰(自/経済Ⅱ)	水球主任	岡田 大(水球/経済)
女子主将	中本 あや(自/発達、旧姓:河原)		
	野一色亮平(背/工)		古谷 洋之(平・水球/工)
	水谷 直揮(個メ・水球/発達)		田中 桂子(背/法)
	横山 佳代(自/経営、旧姓:寺田)		古林 由美(マネ/発達)
	山崎 恭子(マネ/文)		横野恵里香(蝶/医)
	松浦 剛(自/海事)		安井 竜馬(個メ/海事)
	米田 晃士(蝶/神戸薬科大)		酒井真貴子(水球マネ/神戸松蔭女大)
	服部 清香(水球マネ/神戸松蔭女大)		

僕が水泳部に入部したのは入学後一年半過ぎた2001年の秋。ちょうどシーズンオフの1カ月を終え、次のシーズンの準備に入ろうかという頃だった。もちろん神戸商船大学だった頃の水泳部である。「入部したいんですけど…」とプールに足を踏み入れると、「なんでこんな時期に…」と頭を傾げる人や「人数が増

えた」と喜んでくれる人もいた。

最初の数カ月はなかなか水泳部のテンションについていけず、とけ込めなかったが、次の年の春、2002年度の入学生が入ってきた頃から「無理矢理テンションを上げる」ということを覚え、徐々にとけ込めるようになった。

さて、僕が何故、そんな時期に思いついた

ように水泳部に入ろうとしたのか、それには過去が関係している。

僕は三歳の時にプールに放り込まれ、中学三年生の夏まで某スイミングスクールで、今考えてもゾツとするような練習メニューをこなしていた。

今でこそぶよぶよしたお腹ではあるが、その頃には全国 JO(じゅにあおりんびっく)に出たこともある。そんな僕が中学三年生の最後の試合で、泳いでいる最中に隣のコースで泳いでいる人を見ていた。「ああ、がんばってるな。こいつ一年前まで俺より遅かったのに速くなってる。俺なんかよりずっと上の大会に行きたい気持ちが強いんやろうな。」・・・水泳に対する情熱を完全に失っていた。その試合の終わりと同時に僕の長かった水泳生活は幕を閉じた。またいつかここに戻ってくるのかな。とりあえず今はもういい。そんな感じだった。

それから五年、僕は思い出したようにこの場所に戻ってきた。

商船水泳部は冬場はほとんど泳がず、陸トレ中心のメニューをこなしていた。本格的に泳ぎ出すのは春からで8月いっぱいまで泳ぎ、9月

がオフといったサイクルだった。過去、年中温水で泳いでいた僕は、「泳ぐの半年なんや。少ないなー」と思ったのを覚えている。大学の水泳部はイトマンでひたすら泳いでいた時とは何かと違い、他大学との交流、部誌、OBとの交流等のイベントがてんこ盛りだった。

泳がないところで特に疲れていたような気がする。思っていた以上に怒涛の半年間だった。ワンシーズン終わると、その後は冬はひたすらバイト、夏はクラブとバイト、そんな事を繰り返していた。思えばここ数年、クラブとバイトという横文字に流され、縦文字である勉強をおろそかにし過ぎたように思う。そうこうしているうちに商船と神大が統合(吸収合併)してしまい、新神戸大学水泳部ができあがった。僕にとってはこれが最後のシーズンになったのだが、それまでで一番大変なシーズンだった。

泳ぐこと以外に考えるべき事が多すぎて、精神的に参った時期もあった。2つのクラブの統合とは容易な事ではなかったが、今では少しずつうまくいき始めているようだ。これからも時間をかけて解決して行ってほしいと思う。(後略)

平成17年、旧神戸商船大学水泳部との統合を記念して、深江キャンパスで凌泳会全国大会が開催されました。大会企画時には、練習船のデッキで大会が出来るかもと色めきだったのを覚えています。タイミングが合わず船上パーティは夢と終わり、校舎前のウッドデッキでの開催となりました。いつの日か船上パーティを実現したいものです。

(編集担当)

平成18年度号より「富岡凌泳会会長を偲ぶ」

松本 和也・平 18

(平18卒)主 将 宮岡 孝和(自/工)
競泳主任 小齋 一彰(個メ/経済)
石田 達朗(蝶・自/海事)
岡田 大希(自/経済)
串辺 由宇(蝶/海事)
長谷川堅一(背/海事)
佐伯 奈緒(マネ/発達)

主 務 松本 和也(背/工)
水球主任 岡 一成(水球/文)
伊藤 康敏(蝶/工)
川崎 大地(自/海事)
辻 英雄(平/海事)
石橋 通子(自/海事)
西川 弥穂(背/医)

まず、昨年御逝去されました、凌泳会会長富岡道雄先輩のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。

私が富岡道雄会長と初めてお会いしたのは、私が水泳部に入部した年、2002年の凌泳会総会での事でした。私自身、入部まもなく、まだ水泳部の年間行事等全く知らず、唯々連れられるがままに、慣れないスーツ姿で先輩方の後ろに座っていただけでしたが、この年の凌泳総会で前任の石井義章先輩が会長を退任され、富岡会長が就任されたのをよく覚えていています。

就任直後から、積極的にOB・OGと現役部員との意見交換やコミュニケーションの密接化を図られ、現役側にも凌泳会について思う事や意見を聞くシステムを作ってください、また、若手OB・OGの凌泳会への参加を模索されるなど、その素晴らしい行動力とアイデアで現役部員も驚くほど沢山の議案をこなさっていました。

また、富岡会長は神戸大学水泳部をこよな

く愛していられっしやる方でもありました。関西国公立大学選手権や関西学生選手権・全国国公立大学選手権だけでなく、近畿国公立大学選手権や水球の試合にも度々応援に来てくださり、現役部員を激励して下さいました。私にもレース前には『お、頑張ってこいよ！！』と言っただき、非常にうれしいものでありました。他の部員も同じような経験があるのではないかと思います。水球の試合では、インカレ出場がかかった関西学生秋季リーグの最終戦で、現役部員に混じり応援され、今年のインカレ出場を心から喜んで下さいました。富岡会長が提案されたベストヴァリュアブルプレイヤー賞やベストベンチウォーマー賞などは、このように現役の試合を良く観戦され、応援していただいた会長ならではのものではないでしょうか。

私が神戸大学水泳部の主務を務めさせていただく事になった頃には、富岡会長は既に闘病中の御身体でありましたが、凌泳総会や月見の宴・初泳ぎには欠かさず出席して頂き、

お会いするたびに貴重な御意見や御教授をいただきました。未熟な主務であり、至らない点も沢山ありましたが、なんとか一年間この役職をやり通せたのも、富岡会長を初め多くのOB・OGの皆さまのご尽力のおかげであります。その年の忘年会では、三国にある得丸先輩の経営されている韓国料理店で、非常に美味しい料理で苦勞を労って頂き、また、昨年度主務を務めてくれた松村將由君にも

様々なアドバイスをしてくださりました。

私も、今年で神戸大学を卒業し、富岡会長が凌泳会への参加を苦心されていた若手OBの一員となります。現役時代に受けた御恩を忘れずに、及ばずながら報いるため、凌泳会費の納入を欠かさぬようにしたいと思います。僭越ながら、以上をもちまして、故富岡道雄凌泳会会長の追悼文とさせていただきます。

平成19年卒の記録

松村 將由・平 19

(平19卒)主 将	小川 啓(自/経済)	主 務	松村 將由(背/国文)
競泳主任	田中 宗親(自/理)	水球主任	井口 靖之(水球/経済)
	泉口 将人(水球/法)		井領 祐介(蝶/海事)
	上田 章生(自/海事)		上田久美子(マネ/経営)
	加藤 晃裕(水球/経済)		土田絵里奈(自/経済)
	野村 真希(マネ/神戸薬科)		濱本 有紀(背/甲南女子)
	松本 章子(平/甲南女子)		坂田 まりあ(平/)

<関西学生選手権 3部降格 → 2部昇格>

3回生の夏、2部残留を目指した大事な試合、関西学生選手権。今までの先輩達が力を合わせて2部の位置を死守してきたが、私たちが幹部の学年の年に2部7位で3部降格という結果に終わってしまった。とても悔しい気持ちになったのを今でも鮮明に覚えている。

4回生、最後の夏。昨年のリレーメンバー2人が卒部しており、2部昇格は難しいだろうと言われていた。しかし、結果は3部優勝。堂々の2部昇格を決めることができた。4年間を通して、部活で頑張ってきたことが報われた瞬間だと感じた。



<水球インカレ出場&1勝>

3回生の時に、悲願のインカレ出場を果たした。4回生でも連続して、インカレ出場を果たし、インカレ初勝利を取めることができた。また、水球主任としてチームをけん引した井口とゴールキーパーの加藤が、関西ベスト7に選出された。

<同回の仲間>

私たちは2回生の時に神戸商船大学との統合があり、この時に新たに2人の仲間が加わった。さらに、神戸薬科大学、甲南女子大学も共に頑張ってきた。卒業時点では全14人のメンバーとなった。このメンバーとは、現役中も卒業後も交流が深い。



全体追いコン



城崎旅行(卒業後)

平成20年度号 卒部の辞より

加藤 亮二・平 20

(平20卒)主 将 加藤 亮二(蝶/海事)
水球主任 宮崎 仁志(水球/経済)
 穂山 早紀(水球マネ/文)
 田染茉莉子(自/工)
 柳瀬 美郁(水球/海事)

競泳主任 中村 友彦(自/法)
主 務 浦谷 正史(背/工)
 加藤 宏俊(平/工)
 畠山 秀一(水球/経済)

※勝手ながら抜粋掲載します(編集担当)

最後の一年間は、ほんまに人生をかけて望ませてもらいました。目標は100Flyでインカレ突破。そのためにはやれることはとことんやろうと決めました。

まず3年生の12月から近くのスイミングスクールの選手コースに入れてもらって部活の朝練とは別に夕方練習するようにしました。自分よりも速い選手もいる。練習もいままで自分のまわるサークルよりも数段階速いサークルでまわられる。そのときは気づかなかったけど体にはすごい疲れがたまっていたみたいで、月一回必ず風邪をひいてしまいました。

またお金と時間を贅沢に使うようにしました。一人暮らしだったのでご飯は自分で作ったのですが、食にも気を遣い安く済まそうとせずに贅沢に買い物をするようにしました。バイトもやる時間がなくなったのでやめました。

そのおかげで徐々にですが練習には強くなっていきました。サークルは格段に速いサークルで回れるようになりました。練習が終わってから1時間はストレッチと陸トレを行うように

していたことも効いて、体は誰の目にも変化がわかるくらい変わっていきました。

それなのに本格的にシーズンに入ってレースが始まるようになったころ、なかなか結果が出なくて真剣にあせりました。結局ずーっとタイムの出ないレースがその後も続いて、関西国公立の一週間前までだらだらと時間が過ぎていきました。

関西国公立の一週間前に京都で短水路の試合がありました。そこで100Flyを泳いだらベストプラス4秒ぐらいのタイムでした。冬の練習を考えたら確実にベストは出るはずなのにこのタイム。(中略)冬場あれだけやったのに、という気持ちもあったので、このときはほんまに水泳をやめようかと思いました。精神的にもけっこうやられていたのかもしれない。主任にもう水泳をやめたいと伝えたら、今の水泳部には俺が必要なんやって涙ながらに言ってくれました。そのときの主任の言葉でさあ頑張ろうと気持ちが変わることはなかったですが、それ以来こいつのことは心から信用するようになりました。一週間後に関西国公立が控え

ていましたが、主任をはじめとした幹部の勧めでその二日前まで練習を休みました。

関カレでも結果は出ませんでした。100Fly でベストプラス1秒。200Fly で1秒だけベスト。200Fly でベスト出たからよかったやんという声もありましたが、僕は今の自分はベストが出て当然だと春ごろからずっと思っていたので悔しかったです。

そんな中迎えた全国国公立は神大水泳部のホームである神戸でありました。1日目、結果は200Fly で3秒ベストでした。泳ぎ終わった時はそれほどしんどくなくて、これはひょっとしたら明日のレースもいけるんじゃないかと思ひ、気持ちも盛り上がってきました。そのレースが終わって水から上がってきたときにプールサイドで水泳部のメンバーがめっちゃ喜んでるのを見て、ずっと自分のことを気にしてくれてたんやと思ひほんまにうれしかったです。

二日目 100Fly。大学水泳生活のラストシーズン、ずっとこのレースの為にここまでやってきたようなものでした。うまくいけば決勝もいけた、といったら言い過ぎかもしれませんがこれはいけるんじゃないか、と思いました。でもレースを終えると2年前僕が2年生のときに出したタイムと100分の1秒まで同タイムでした。やっと全部終わったと思ってほっとして、俺の水泳人生はこんなしょもない形で終わるんやなと思って情けなくなりました。そのあと同期の友彦が400Frで見事ベスト、そして決勝進出をしてました。

レースが終わってから控え場所に戻ったら

地元神戸開催ということもあってOBさん方がたくさん来て下さっていました。そのかなの自分と年齢の近いK先輩の所に行って結果報告しました。そしたら「ようがんばった」と言っ肩をポンとたたかれました。その瞬間めっちゃ涙が出てきました。みんなに見られるのが嫌やと思っ、走って会場の門を出て思いっきり泣きました。ここまであほみたいに金かけて時間かけて体力つけて人生かけてやってきたのはなんやったんやろうと思っ悔しくてたまらなかったです。

その試合後の飲み会で同期の友彦にもうこれで俺の水泳人生は終わりやわと言ったら、絶対にここで終わるなと言っってきました。レース後にこいつの話を聞くまでは完全にあきらめきってましたが、話を聞き終わったらもう一回やらなあかんと考えが変わりました。

その2週間後に近畿国立が和歌山の秋葉山プールでありました。(中略)

1日目 100Fly はまたまたベストタイ。でもこのときはあまり落ち込まなかったです。それくらいリラックスできていて、心にも余裕があったのだと思います。

2日目 200Fly、もうやるしかないと思いました。隣に京都大学の1年生で自分よりもベストが5秒ぐらい速いやつがいましたが、こいつに勝てば表彰台にのぼれるという状況でした。レースがスタートして50mまではその選手には負けていましたが、100mではほぼ同着でそこから引き離して勝ってゴールタッチ。タッチした瞬間タイムは絶対出たと感じたので、電光

掲示板を見るよりも前に観客席の仲間に向かってガッツポーズしました。結果はベストを2秒更新、しかも三位入賞で表彰台。もうめっちゃめちゃ気持ちよかったです。それまで大学入って表彰台にのったことがなかったこともあってよけいにうれしかったです。

(中略)結局僕が後輩に伝えたいのは、簡単に速くなろうとするなどということです。スポーツを真剣にするためには、真剣にしようとするほどお金もかかるし時間も使うし体力も

使います。それに加えて神大水泳部はかなり本気の部活なので生活が水泳一色になるかもしれないし、ひょっとしたら遊ぶ時間も少なくなるかもしれません。水泳部で経験したことが将来すぐに役立つかはわかりません。でも長い目でみて、何十年か経ったときに絶対「ああ、大学で思いっきり水泳しててよかったなあ」と思うようになります。どうか水泳と正面から向き合って、こつこつと練習し、早くなってください。

平成21年卒90周年記念編集

芝井 隆・平 21

(平 21 卒)主 将 大川 広己(蝶/発達)
競泳主任 土方 了輝(自/経済)
水球主任 司馬 竜也(水球/海事)
嶋彦 剛(水球/海事)
吉岡 拓磨(平/農)
畠山 紗穂(自/神戸女学院大)

主 務 芝井 隆(背/農)
競泳主任 砂留沙季子(競泳マネ/法)
古谷 祐希(水球マネ/工)
西澤 翔(水球/海事)
末森 香織(自/神戸薬科大)

追いコンの写真(続葉参照)を見て「若っ!」と感じる歳になりました、そんな57回生です。

「現役時代の思い出を書け」とのことですが、常に高い目標に向かって前進するのみの私には過去を振り返る時間などありません。そこで同期に思い出話を募集したところ、ここに書き切れない程の寄稿がありましたので、適宜添削・脚色し、以下にご紹介いたします。

■和歌山大学合宿

1年目の夏、南海難波駅に登場したその姿は日焼けした茶色い肌に茶髪・茶色のタンクトップ・茶色がかかったサングラス。そんな彼が3日目の朝に最初に目にしたのは真っ白な世界(トイレに顔を向けたまま気を失っていたため)でした。

■1回生、山口春合宿

水泳部に入部して初めての強化合宿。当時の中村主任のもとメニューをこなす5日間でした。主任の部屋には欠かされることなく「パイの実」が置かれ、みんな「パイの実」をもらいに足繁く通ったものです(「パイノミング」と言っていました)。お世話になった施設には大広間がなかったので、各部屋の扉を開けて廊下から聞こえるマネさんの声を頼りにスタビラしたのも良い思い出です。

この合宿では同期の仲間たちが次々と倒れて行きました。200mFlyのターン後に大川が水面にひっくり返って浮いてきた姿は今でも鮮明です。3日目に設定された100m×100本のメニューでは『それではみなさん、2時間後に』とお互い言い合ってからスタートし無事終了したものの、吉岡は最終的にエネルギー切れでプールサイドに打ち上げられ、末森は脱水症状を起こし更衣室で動けなくなってしまいました。(吉岡はプールサイドでバナナを頬張り、末森はファンタオレンジを飲んで見事回復しました)2時間飲まず食わずで泳ぎ続けるのは危険です…、1本泳いではバナナを剥いて1本泳いでは一口食べてを繰り返していた土方さんは賢いですね☆ちなみに当時選手だった私(S・S)は、3日目はなんとか乗り越えましたが、4日目からは肩の痛さのせいで超不機嫌なオーラを身にまどって過ごしたため、話しかけてくれるのは加藤宏俊さんくらいでした。

■冬の朝練

部員にしか通じないであろう言葉、「アリゲロ/レイゲロ」が誕生。早上がり=“early get up”、遅上がり=“later get up”のことだけど、今更ですが英語おかしいでしょ、芝井さん。(えっ、俺!?)



追いコン

女装大会優勝したり、ピンタで鼓膜破れたり、大阪府人会立ち上げたり、朝路上で目覚めて鞆が無くなったり、裸足で花火踏んだり、ハンバーガー15個食べたり、色々ありましたが、4年間で得た一番大切なものはやはり、皆さんとの繋がりで、プライスレスです。産業戦士となり全国へ散ってなお、同期や先輩・後輩との繋がりは本当にかげがえないものだと感じます。

「みんなどこ行ったんでしゅかへ？にやあぁん♡」おっと、誰か来た。

まだまだ書き足りませんが、スペースがもうありませんorz(注1)

競泳の話ばかりになってしまったので、次回(20年後?)は水球編の予定です。お楽しみに。

これで、おわります。



好きで(注2) 1回生の六甲祭

(注1) orz: 落胆、失意、挫折の際の心理状態、または土下座や跪く様を、アルファベットで跪き頭を垂れる(頷れる)姿を表した日本発祥のアスキーアート。[Wikipedia より]

ちなみに“アスキーアート”とは、文字を用いて絵や図柄を描いたもので、顔文字v()vなどもその仲間。

(注2) 好きで: 平成21年卒の諸氏が在学中に部内で流行った言葉だそうです。微妙なニュアンスは当時を知る会員にお確かめください。

『凌泳七十年史』はインターネットでご覧いただけます。

平成23年、90周年事業の一環として、凌泳会のホームページがリニューアルされ、その中で『凌泳七十年史』をご覧いただけるようになりました。「凌泳会」で検索してください。

ヘッダーの、会員専用>凌泳70年史 pdf をクリックします。ID とパスワードを尋ねてきますので、ID のところに「kappa」、パスワードは「rokko70」と入力し、OK を押します。

凌泳七十年史 PDFダウンロードという大きい文字の下に本の写真があり、その下にあるダウンロードという文字のどれかをクリックしてください。

(編集担当)

現役時代の思い出

北野 達也(平 22)

(平 22 卒)主 将 北野 達也(水球/発達)

主 務 飛田 陽祐(自/工)

競泳主任 横尾 晋(自/医)

水球主任 井上 陽介(水球/海事)

臼井 景子(自/発達)

この度は、凌泳会 90 周年、誠にありがとうございます。私たちも現役時代に多大なるご支援をいただきました凌泳会及び、神戸大学体育会水泳部のますますの発展を願っております。

今回我々 2010 年卒部生は、それぞれの現役時代の思い出について書かせていただきます。

●北野達也 (右図は現役当時の部員紹介 HP 掲載写真)

～競泳面から水球面へ～

大学に入った 2006 年春、私は体育会水泳部の見学に行った。中高と水泳部に所属していたとは言え、これまで真面目に取り組めていなかったため、大学こそはといった気持ちだったように思う。水泳部は競泳というイメージであった私にとって、神戸大学体育会水泳部という1つの部の中に水球部門があることはとても衝撃的で、でも何だか魅力的に映った。



それもあってか、入部当初から宮崎さんに熱心に誘って頂き、2回生という中途半端な時期ではあったが水球面に移らせて頂いた。しかしながら、私の加入と時を同じくして神大水球面のインカレ出場はストップし、ついに引退まで関西3位入賞によるインカレ出場は叶わず、支えて下さった多くのOBさんに非常に申し訳ない思いでいっぱいであった。

3回生の幹部学年の際には、何年ぶりかで水球から主将をさせて頂き、同回やまわりの人たちに支えていただいて、たくさん迷惑をかけながらも無事に終えることが出来た。

私にとって水泳部とは、決して輝かしい戦績を残せた場所ではなかったものの、多くの挑戦の機会を頂いた、暖かい仲間と冷たくて緑茶のような六甲台プールのあるすてきな場所である。

●飛田陽祐（右図は現役当時の部員紹介 HP 掲載写真）

<いざ入部！！>

7月の中旬、私は発達科学部のプールを訪ねることにした。水泳部がどんな感じで練習しているのかを見に行くためだ。

着いてみると流れで泳ぐことに。久々すぎてなかなか進まない。そしてかなりしんどい。私は悟った。“このスポーツを続けるのは危険だ”と。

しかし、プールに入ったからには途中であがるわけにもいかないから、とりあえず泳ぎ続けることに。泳ぐのはいいが、泳いでいる途中で私にはプールが三途の川に見えました。

そんな感じでついにラスト！！ダッシュをしているはずなのに、泳いでいるのか溺れているのか不明な泳ぎで何とか練習終了。

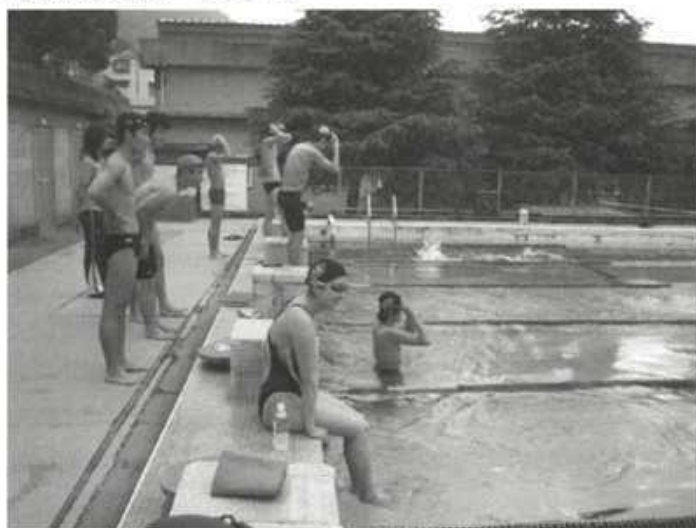
疲れ果ててあがった後、あたたかいココアをいただくことに。飲みながら私は思っていた。“ここまでしてもらってなんだが、入るのどうしよっかな・・・”と。

そんなことを思っているうちに、ある先輩から「入るんやんなあ？」の一言が。

不意を突かれた私は「え。ああ、そうですね。」と返答。そのときの心境は・・・“あ、言ってもうた。まあいいか。”といった感じだった。

そんなこんなで引退まで続けることに。いろいろありましたが、お世話になりました。

何だかんだ言っても、続けてよかったです。



改装前の発達プール

●横尾晋（右図は現役当時の部員紹介 HP 掲載写真）

現役時代を振り返って、一番印象に残っているのは、やはり自分が幹部として部の運営に関わった一年だと思います。

競泳主任を務めた私は、その年の目標として、「関西国公立で全国公の団体権獲得」「関カレ3部で総合優勝」が具体的な目標でした。また、800mリレーでのインカレ出場も目標でした。

その一年は、その目標がどれも達成されなかった年でした。

数点差で全国公の団体権を逃し、数点差で関カレ3位となり3部残留。夏季公認で臨んだ800mリレーもインカレには届きませんでした。おそらく、水泳部の歴史の中でも成績としては悪い方だと思います。先輩方の中には何をやってんだと言いたくなる成績だったと思います。

チームとしてのモチベーションは高かったと思います。個人それぞれがそのときできるだけのパフォーマンスは発揮されたと思います。自分としても、チームについてかなり考え、行動してきたと思います。

それでも結果が伴わない。部員数としても決して他校と勝負できる人数がそろわず。そんな辛い一年でした。

だからこそ、その次の年に関カレで総合優勝できたときに感慨深いものがあったのだと思います。



●井上陽介（右図は現役当時の部員紹介 HP 掲載写真）

- 思い出の六甲台プール -

オフシーズン中に堆積した落ち葉を掃除することから六甲台プールは始まります。落ち葉が大量に堆積し、底から取り出すだけでも一苦勞でした。プールがキレイになり、次は注水です。注水を行うために学生課の許可を取得したにもかかわらず、なぜか学生課より連絡が…。断水が起きているので、注水を停止してください、とのこと。キレイなプールに入るには時間が掛かります。

プールが六甲のおいしい水で満たされ、いざ練習。先輩に掛け声の有無も言えずに飛び込んだ瞬間の水温の冷たさには衝撃を覚えました。一年目は夏本番になるまで、あの水温を適温と感じることはありませんでした。

また濾過器の調子の悪いときは、塩素を入れてもプールの色は徐々に緑化していきます。あっという間に底が見えなくなる程色濃くなり、見た目はまるで青汁です。多少の臭いとヌメリ、そして、何らかの発病の危険を感じながらの練習は、はじめこそ気になったものの、練習となれば特別な環境ではなくなりました。



夏が過ぎれば季節は秋。暖かいお風呂がない状態で、六甲台プールに入るのはなかなか堪えません。練習後のお風呂には何より癒されました。

月見の宴を終え、一年の役目を終えた六甲台プールは再び眠りに入り、大量の落ち葉溜まりとなります。

そんな六甲台プールも入れなくなると寂しいものです。

肌寒く感じながらも、思い出のプールに入水できる月見の宴が毎年待ち遠しいです。



掃除中の六甲台プール(左)と、緑で1メートル先が見えなくなってしまった六甲台プール(右)

●白井景子（右図は現役当時の部員紹介 HP 掲載写真）

水泳部での夏の思い出は私にとって1度しかありません。しかし、その一度の夏はそれまでの水泳生活の中で最も水泳を楽しく感じた時間でした。それは女子メンバーでリレーを組んで全国国公立標準記録突破を目標に取り組んだことが大きいと思います。結果的に目標を達成することはできませんでしたが、とても充実した毎日でした。今から考えてみるとこんなにも充実した時間を送れる期間を自ら縮めてしまったことに対しては後悔があると思います。



しかし、この貴重な夏を送ることができたのは本当に暖かく受け入れていただいた先輩方、同期、そして後輩たちのおかげです。大学の部活動として水泳に関わることができて水泳以外の大きなものを得られたのは間違いありません。

ポスト凌泳70年史 おわり

【会長メッセージ】

凌 泳 魂

凌泳会会長 野田 浩志・昭36



90周年特集へのご協力御礼

平成23年から2カ年に亘って90周年記念特集を組みました。100周年への橋渡しの役割をも担った意欲的な企画であっただけに編集者の川本典子(昭51)さんには大変な負担をお掛けすることになった。深甚なるお礼を申し上げます。

凌泳魂貫く棒の如きもの

このメッセージを書き上げるに当っては、役得と言うものでしょうか、皆さんより一足先に後篇(今年度版)を読む機会に恵まれ、前篇(昨年度版)と共に通しで凌泳人の現役時代とその後の人生に触れることが出来ました。実に石井義章(昭27:1952)さんから北野達也ら(平成22:2010)君に亘る62年間、28人からの内容豊かな寄稿でした。水泳部のような運

動部にあつては、先輩は常に特別な存在であり、後輩は違った意味で特別な存在であり続けています。そのような異なった存在同士が極めて酷似した部活体験と人生教訓を得ていることは当然とは言いながら新鮮な発見でした。だからこそ、後輩がやがて先輩格ともなり、あの先輩がその大先輩に対しては後輩ともなることで一体感が生まれてくるのでありましょう。

歴史の力、凌泳会の力

前篇(昨年)の巻頭メッセージで私は正岡子規の「去年今年貫く棒の如きもの」なる新年の俳句を借用して、連綿と連なる凌泳魂を一本の棒になぞらえました。この一本の棒を輪切りにすれば、そこに年輪が現れます。その年輪には全国インカレに駒を進めた競泳面やポロ面の勝利の記録が所々に刻まれている一方で転落の悲哀など停滞を極めた時代も刻まれています。90年前の凌泳会発足(大正11:1921)直後の関東大震災(大正13:1923)が、昭和20年(1945)の大東亜戦争の敗戦と米軍の六甲台プール接收による流浪時代が。学園紛争(昭38:1963前後)、第1回凌泳全国大会(昭53:1978)、阪神淡路大震災(平7:1995)、東日本大震災(平23:2011)等々その時代を生きた凌泳人の人生に刻まれています。正に、凌泳会

の歴史です。

世間では1945年の敗戦以後、長くこの方、半世紀以上にわたり歴史を軽んずる風潮が蔓延し歴史から学ぶことを忘れてきた嫌いがあります。然しながら一本の棒のように連綿とつながる歴史を眺めると、そこから学ぶことの多いことが分かります。それが歴史の力、凌泳会の力というものでありましょう。

100周年に向けて

あと9年もすれば2021年の100周年を迎えます。その頃今の現役部員は社会の中堅とし

て、凌泳会の中堅として後輩の支援に当たってくれていることを期待したい。凌泳会にあっては両3年以内に企画立案して、100周年記念事業に向けて取り組みたいところです。

言うまでもないことですが、凌泳会の活動にはそれを支える財源が欠かせません。単刀直入に申し上げます。「何らかの事情によって凌泳会費を未納の会員諸氏にはその未納状態を解消してもらいたい。」と。

支援を受けた側から支援する側に回ることも「棒の如きもの」の流れではないだろうか。

平成23年度活動報告

幹事長 長谷川 健・昭 49

凌泳会幹事長 長谷川です。会員の皆様には本会の活動に対し多大なご支援ご鞭撻を賜り、この場をお借りして改めて厚くお礼を申し上げます。

昨年は東日本大震災とそれに続く原発事故という未曾有の大災害が発生しました。あれから1年余り、会員の皆様からは直接的な被害のお話は聞き及んでおりませんが、会員のご家族ご親族をはじめ友人知人の皆様には今も苦しんでおられる方が多数おられることと推察いたします。改めてこの場を借りて衷心よりお見舞い申し上げます。

水泳部の昨シーズンは、競泳が一昨年に続きリレー種目を含む4種目でインカレ出場を果

たし、活躍の年となりました。今シーズンも大いに期待できると思います。またボロは部員不足を解消し復活の兆しも見え、今後の活躍を十分期待できるところまで来たというところでしょうか。引き続き着実な前進を期待したいと思います。

さて、凌泳会の活動についてご報告させていただきたいと思います。昨年の総会で、水泳部による大震災への義捐金への協賛、インカレ出場に対する応援活動、凌泳会行事の活性化の推進、名簿の充実、の四点を重点項目として凌泳会の活動を行うこととなりました。第一点の水泳部による東日本大震災義捐金の募集への協賛につきましては、会員諸氏が

ら多額の募金を頂きました。大変有難うございました。その最終報告は総会でさせていただきますきたいと思います。

第二点のインカレ出場に対する応援活動につきましては、おかげさまで皆様の多大なご協力により、インカレ寄付金の形で現役諸君に援助金を渡すことが出来ました。また今回も関東支部の会員の皆様を中心に激励会を開催いただきました。水泳部員一同と共にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

第三点の凌泳会行事の活性化の推進に就きましては、お蔭様で盛大に90周年記念全国大会を六甲台講堂他で行うことが出来ました。多数のご参加をいただき盛会となりました。残念ながら遠方等でご参加いただけなかった会員の皆様も記念品と共にお送りしたDVDでその雰囲気を感じていただけたものと存じます。製作を担当いただいた現役部員の諸君にはお礼を申し上げます。また、卒業間もない世代からも多数の参加があり、大いに盛り上がりましたことを、今後の本会の活性化に繋げていきたいと存じます。どの機会でも結構ですので今年も一人でも多くの会員の皆様の行事や試合の応援への参加をお願いしたいと思います。全国大会においても現役諸君には企画や運営等、大会全般にわたり大変お世話になりました。改めてこの場を借りてお礼申し上げます。

第四点の名簿の充実については、川本幹事が中心となり、名簿の発行が出来ました。まだまだ不備な点も多いかと思いますが、現役主

務を中心とした活動により着実に前進しているものと思います。またメーリングリストも一部運用方法を修正し充実化の方向にあります。引き続き推進していきたいと思います。

一方、大変申し訳のない事態が発覚いたしました。既にご存知の会員も多いと思いますが、本会への会費・寄付金の取り扱いにおいて拠出者の会員名を同姓の会員と取り違えてしまうという重大ミスが発生させてしまいました。あってはならないことであり、大変申し訳ございません。ご迷惑をお掛けした会員様には改めて深くお詫び申し上げますと共に、今後二度とこのようなことの無いよう再発防止を徹底致します。

以上が昨年度の経過報告でございます。お陰様をもちまして、90周年記念大会も盛大に行うことが出来、また試合への応援や各行事への会員の参加は、徐々にではありますが、増加の傾向にあると思います。今シーズンも会員の皆様には会員同士横の連絡をお取りいただき、同じ時期に泳いだという旧交をプールサイドで暖めていただけたらと存じます。特に何年間も凌泳会にはご無沙汰になっているという会員の皆様も、どうかお気軽にお顔をお見せ下さい。その際に会員同士お誘い合わせいただければ尚結構かと存じます。そのためには、幹事一同少しでもお役に立てたらと思っております。

最後になりましたが、会員の皆様には引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

関東支部 平成23年度活動報告

副会長 田淵 五郎・昭30

東日本大震災で多難の年でしたが、関東支部では例年以上に次の様な多忙な日程をこなしました。

7月5日 関東支部夏季総会には神戸から野田会長、現役後藤主務も迎えて、いつもの「常連」中心に22名参集。9月のインカレ支援寄付金と90周年記念全国大会について討議。インカレ寄付には出席22名全員賛成。

8月21日 三商大戦は折からの冷夏の中でも最も寒い日でした。雨風の中で上村さん(昭35)が重そうな望遠レンズで撮影に奔走。日比さん(昭62)が水球のレフリーで大活躍。13人での雨中応援でした。

9月4日 インカレ最終日の晩、新横浜駅の近くで慰労会。神戸から本間先生、佐藤さん(昭30)、金監督(昭58)を含み約18名参加。プールでの熱戦ぶりは別稿井上隆史さん(昭37)が激写されているとおりです。

9月24日 神戸での90周年記念全国大会には関東から13人出席し、それぞれの世代の懐かしい同輩たちと旧交を温めました。

それからゴルフ 有志の集まりでは武政さん(昭39)のお世話で例年春と晩秋に賑やかに行われ、別途一橋 OB との懇親コンペも佐敷幹事(昭49)が苦心しています。



最後に12月5日 関東支部忘年会は次の1名で和気藹々と締めくくりました。

■出席者(敬称略)

田淵 五郎(昭30) 岡見 晴児(昭33)
井上 隆史(昭37) 山田 貴彦(昭37)

丸山 卓也(昭38) 荒井 康之(昭38)
鈴木 剛弘(昭38) 林 荘八郎(昭38)
武政 英幸(昭39) 鈴木 正弥(昭39)
前田 和彦(昭40) 山口 幸郎(昭41)
佐敷 定雄(昭49) 藤田 弥門(昭57)

久保田勝己(昭59) 浦野 敏明(昭60)
日比 勝巳(昭62) 徳永 守(昭63)
磯山 正則(平 8) 芝井 隆(平21)
吉岡 拓磨(平21)

Photo Report が○ページにあります。

追伸 以上のとおり平成23年度の多彩な行事を滞りなく運営できたのは、芝井名幹事(平21)のお蔭であり、改めてお礼申し上げます。

幹事会(2011年4月16日・土)

Photo Report

撮影・文:得丸 哲士・昭46

年次総会に向けての幹事会を行い、会計監査および収支報告、予算計画、おもな議題などについて討議しました。





5月の関西OB会(2011年5月9日・月)

Photo Report

撮影・文: 得丸 哲士・昭 46

在阪OBの元気な“おじさん”達が懇親のひと時を楽しみました。岡村さんのママな“全員集合”連絡には感謝します。



左から、岡村(昭 34)、佐藤(昭 30)、野田(昭 36)、得丸(昭 46)、酒井(昭 36)、石井(昭 27)

平成 23 年度 凌泳会総会(2011 年 5 月 28 日・土)

Photo Report

撮影・文:得丸 哲士・昭 46

神大・発達科学部にて平成23年度凌泳総会を開催しました。90周年記念特別編集号(前編)の発行やインカレ募金などで盛り上がりました。





比較的若い会員の出席も多数。議論は白熱しました。

平成 23 年度 凌泳会総会後の懇親会(2011 年 5 月 28 日・土)

Photo Report

撮影・文: 得丸 哲士・昭 46

今年は新入生が18名も入部し、内4名が水球面でやっと試合が組める環境になりました。



6月の関西OB会(2011年6月20日・月)

Photo Report

撮影・文:得丸 哲士・昭 46

在阪OBの元気なおじさまが集まり、恒例の食事会をしました。今年の新入生は期待ができインカレ出場選手の増加で話題が盛り上がりました。



昭和46年卒同期会(2011年6月27日・月)

昭和46卒部の3人で「題名の無い食事会」をしました。大阪駅周辺を見下ろす32Fの高層階でオジサンパワーを楽しみました。



凌泳90周年記念全国大会実行委員会(2011年7月10日・日)

Photo Report

撮影・文: 得丸 哲士・昭 46

凌泳90周年を祝賀する全国大会実行委員会の打ち合わせミーティングを学生2名とOB5名で行ないました。式次第や記念品、懇親会などで熟討しました。



秋の昭和46年卒同期会(2011年10月31日・月)

Photo Report

撮影・文:得丸 哲士・昭46

夕刻に同期の在阪4名で会食し楽しいひと時を過ごしました。年齢のせいかな“健康”に話題が終始しました。



11月の関西OB会(2011年11月1日・火)

在阪OBの懇親会で楽しいひと時を過ごしました。いつものように政治談議に花を咲かしたあと得意の咽喉を唸らせました。



関東支部忘年会(2011年12月5日・月)

Photo Report

撮影・文:得丸 哲士・昭 46

関東支部の忘年会が19名の参加で行なわれました。事務局は芝井隆(平21)、写真係りは吉岡拓磨(平21)です。



関西地区忘年会(2011年12月16日・金)

Photo Report

撮影・文:得丸 哲士・昭46

関西地区の忘年会が神戸元町・神戸大学クラブ・牡丹園にて21名の参加で行なわれました。
老兵の元気な姿をお楽しみください。

■出席者(敬称略) 石井 義章(昭27) 佐藤 一夫(昭30) 岡村 司(昭34)
北村 敏(昭34) 酒井 孝栄(昭36) 野田 浩志(昭36) 井上与志男(昭45)
大橋 進(昭46) 得丸 哲士(昭46) 長谷川 健(昭49) 酒井 正人(昭53)
大林 良和(昭53) 上田 剛弘(昭56) 山本 隆(昭56) 金 一波(昭58)
山野 和則(昭59) 長崎 真人(昭59) 大西 栄美(昭59) 川原田 貢(昭62)
甲野 賢(昭63) 森田 武士(昭63)



新年女子会カニツアー 2012

2012年1月20日(金)～21日(土)

川本 典子・昭 51



■開催までの経緯

昨年末、小笠原陽子さん(昭50)から連絡をいただき、ランチをしたとき、あまりに慌ただしかったので「来年落ち着いて新年会しましょ！」と言ったのが事の発端で、何と丹後へ泊りがけで松葉ガニを食べに行くツアーへと発展しちゃいました。

私は軽く集まって美味しいものでも食べる程度をイメージしていたのですが、陽子氏から大阪市内のホテルに泊まって泳いでというご提案があり、調べているうちに、いっそのことカニ+温泉+水泳の新年会にということになりました。

陽子氏、松井玲子氏(昭52)と私の3人で先にスケジュールを決めてしまってから、同時期に泳いだ女性諸氏に連絡したため、参加者は前出3人と、星合正子さん(昭53、通称アワち

ゃん)、高木史子さん(昭和53、通称フミちゃん)の計5人でした。

急なお誘いで参加が叶わなかった野田叔子さん、佐敷麻理子さん(昭51)、長谷川美智子さん(昭52)、大野智恵さん(昭54)、ごめんなさい！

■いざ出発だ！

さて旅行当日、アワちゃんとフミちゃんに会うのは卒業以来。顔を見ても分からないんじゃないかと心配していたのですが、全然大丈夫。変わってないワ！ 交通費節約のため9時50分発の高速バス利用で結構長時間かかったのですが、話は尽きず、あっという間に宮津に到着。そこから北近畿タンゴ鉄道で網野まで。旅館に着いたのは2時過ぎです。

■久しぶり、みんなで泳ぐ

旅館は純和風で目の前が日本海。私たちは

部屋に着くとすぐ、温水プールのある「静の里」という施設へ。私は泳ぐのが久しぶり。アワちゃんはわりと最近も泳いでるらしくて競泳用水着がはまっています。それに大学の時より上手くなってるじゃん！ 玲子さんも競泳用。フミちゃんと私はオバサン水着。1時間くらいでもういいかって切り上げ、次は温泉。海が展望できるお風呂で、もちろん露天風呂もあります。お天気が悪くて夕陽が見れなかったのが残念ですが、いいお風呂でした。

■いよいよカニ・フルコースじゃ！

宿に戻るともう5時半くらい。出張のため鳥取方面から合流の陽子さんも到着し、6時から夕食です。食事が終わったのはもう9時近くだったかな？ 茹でガニ、焼きガニ（もちろん目の前で焼いてくれる）、カニの刺身、カニの天ぷら、カニすき・・・堪能しました。ここでの飲み物は陽子さんがご馳走してくださいました。有難うございます。

■もう1回温泉に入るぞ～

私たちが現役の頃は、春合宿といえば温泉地にある温水プールを利用というのが普通だったので、早朝練習→温泉→朝食→朝練習→昼食→温泉→休憩→午後練習→夕食→温泉みたいな感じで1日に何回も温泉に入っていました。それでみんな温泉大好きになっちゃって、今回は合宿じゃないんですけど、お腹一杯なのにまた宿の温泉に入りましたよ。かなりヌルヌルのアルカリ泉だったので、お肌の角質が取れたみたいでした。

温泉から上がってから酒盛りもしたし、なか

なか皆元気です。

■2日目は天橋立へ



もちろん起きたら3回目の温泉。そして朝食。この朝食がまたすご〜く美味しかった。卵かけご飯に、笹ガレイの干物、茶碗蒸し、お浸しとか佃煮などですが、器がカワイイし、干物は焼きたてを出してくれるし、大満足でした。

帰り仕度をしてお土産を買いに。そこで、丹後ちりめんの染色体験なんかもしてから、天橋立へ向かいました。

あいにくの小雨。天橋立見えるかなあ？ 「誰が雨女やねん！」とかブツブツ言いながら傘松公園という“股のぞき”で有名な展望台へ。天橋立は綺麗に見えました。良かったよかった。後から思うに、「雪女がいなくて良かったね！」だったんですよ。次の週から大雪になったのですから。

天橋立を見ながら飲んだビールは旨かったア。そうそう、昔から体が硬かったフミちゃんは股のぞきが怖い怖いと大騒ぎ。そんなこんなでバリバリの観光をして締めくくったというわけです。

久しぶりに懐かしい顔に出会えて、本当に楽しいツアーでした。今度は、今回参加できなかった方のスケジュールを優先して別のプランを作りたいと思いますので、よろしくお願いします。

平成 24 年 初泳ぎ(2012 年 1 月 22 日・日)

Photo Report

撮影・文:得丸 哲士・昭 46

9:00にJR六甲道駅そばのいつも早朝練習で使用しているセントラルウェルネスクラブのプールで初泳ぎを行い、そのあと大学に戻り正門そばの学生食堂にて懇親会を行いました。野田会長と井出主将の挨拶のあと、OBと学生が一緒になって焼肉を舌鼓み歓談し、熱気あふれる楽しい懇親のひと時を過ごしました。

■OBの出席者(敬称略) 佐藤 一夫(昭30) 野田 浩志(昭36) 得丸哲士(昭46)
長谷川 健(昭49) 平石 康(昭53) 金 一波(昭58)



平成24年1月の関西OB会(2012年1月30日・月)

Photo Report

撮影・文:得丸 哲士・昭 46

夕刻から在阪OBの新年懇親会をおこないました。美味しい“ごちそう”を舌鼓しながら楽しいひと時を過ごしました。



昭和46年卒同期会広島ツアー(2012年2月3日・金~4日・土)

岩切(単身赴任)さんの激励をかねて昭和46年卒部の同期会を広島にて行ないました。平和大通りそばの東急オアシスプールにて汗を流してから中国料理(敦煌)を会食しました。



翌日は宮島に渡り厳島神社を拝宮し彌山(みせん)の頂上まで上りました。下山してからは広島名物「焼き」を舌鼓して楽しいひと時をすごしました。直前に芳川が母親の介護で欠席したためメンバーは4人(岩切、大橋、小林、得丸)になりましたが、泳力と健脚はみんな維持できています。



追い出しコンパ(2012年2月26日・日)

Photo Report

撮影・文: 得丸 哲士・昭 46

六甲台キャンパスのアカデミア館3F『さくら』にて平成24年度卒部生の『追い出しコンパ』が行なわれました。今年の卒部生は①安福拓斗(主将)、②吉田俊(主務)、③櫻田侑佑(競泳主任)、④渡辺祥子、⑤須藤茜、⑥大脇幸之助(水球主任)、⑦藤丸晃弘、⑧林和弘、の8名です。

会場には多くの先輩が訪れ卒部生・部員・OB/OGたちと食事を舌鼓しながら楽しいひと時を過ごしました。

野田会長の挨拶、乾杯のあと懇親・会食に入り恒例の儀式である感謝・激励の花束贈呈・記念品授与で追いコンを締めくくり、お開きとなりました。

■OB等出席者(敬称略) 柳田 泰義先生 本間 正信先生 佐藤 一夫(昭30)
野田 浩志(昭36) 得丸 哲士(昭46) 長谷川 健(昭49) 金 一波(昭58)
土方 了輝(平21) 西澤 翔(平21) 横尾 晋(平22) 加藤 優(平23)





宴会は盛り上がり、ビールが林立していますね～。



いよいよ始まる記念品贈呈式！



お祝いのケーキも用意されていました。



主将として

主将 井出 健太・工4回



今シーズン主将を務めさせていただきます井出健太です。

昨シーズンは副将として前幹部のチーム作りを間近で見ておりました。その経験を活かし、今シーズンのチーム作りをより良いものにできればと思います。

水泳部の代表としての責任の重さ、難しさをひしひしと感じているところではありますが、今シーズンを私の水泳人生の集大成として臨んでいこうという所存であります。

昨シーズンは競泳・水球ともに前年を上回る成績を残し、正にチーム全体が上り調子であると言えるでしょう。

これを受け、競泳・水球の部員全員が安心

して練習に打ち込め、昨シーズンからの勢いを更に盛り上げることに心がけるとともに、チームとして関西そして全国へとトップを目指してチャレンジし続けるべく、主将として粉骨砕身していこうと心を新たにしているところであります。

そのために何ができるのか、何をしなければならぬのかは日々の活動の中から見つけていくこととなりますが、中でも特に大切にしていきたいのが「高めあえるチームにする」ということです。練習が辛くて自分に負けそうになる時、誰かのやる気に触発されて更に頑張れることがあります。また、選手が互いを意識することによって、共に高めあえる関係が築けます。そんな活気のあるチームにすることが私の目標です。その実現のために率先してそういった雰囲気を作り、チームに活力を与えていこうと思います。

最後になりましたが、凌泳会会員の皆様の日頃の厚いご支援、ご指導への感謝を述べさせていただきます。本当にありがとうございます。今後とも応援よろしくお願い致します。

競泳主任として

競泳主任 木村 由斉・工4回



今シーズン競泳主任を務めさせていただくことになりました、木村由斉です。

昨シーズンは、櫻田前主任のもと、関西国公立で男子準優勝、女子4位、関西学生で男子2部4位という成績をおさめることができました。次の競泳主任ということで、昨シーズン以上の成績を残すというプレッシャーを感じていますが、より良いチームを作れるように努力していきますので、よろしくお願いします。

今シーズンは「関カレ1部昇格～全国公全員出場～」という目標を掲げています。近年、部員数が増えてきたため、試合に人数制限で出場できない人もでてくるようになりました。チ

ームとしては嬉しいことですが、個人としてはやはりモチベーションに差がでてくるということで、全員が高い意識を持っていただけるように、この目標を立てました。全員が神戸大学水泳部として自覚を持ち、チーム一丸となって目標を達成できるように努力していきます。当然、結果は求めています、結果を求めること以上に全員が水泳部を通して、人として大きく成長し、飛躍して欲しいと思っています。

最後になりましたが、OB・OGの皆様の期待にこたえられるように努力していきますので、応援よろしくお願いします。

水球主任として

水球主任 真志田 仁・理4回



前年度に引き続き、今シーズンも神大水泳部水球面の主任を務めさせていただいております、真志田仁です。

昨シーズンおきましては、慣れない主任業で色々拙い所もあったかとは思いますが、OBやOGの方々のご助言の数々、現役部員の皆さんの手助けのおかげで何とか1シーズンを終えることができました。この場をお借りして皆様に感謝申し上げます。

水球面は昨シーズン、4人の新しいメンバーを加えることができ、共に誰も欠けることなく1年を過ごすことができました。人数が足りない苦しい状況だった水球面に入ってくれた4人は少しずつではありますが確実に日々実力を付け、どんどん頼もしい後輩になってきています。

しかし、一つ上の先輩が抜けた現状、まだ

多くの部員を獲得する必要があるため、OBとOGの皆様がおっしゃったような、もっと賑わいのあるチームを目指してさらなる部員獲得を目指したいと思います。

今年は僕にとって、主任として、また、神大の水泳部の現役としての最後のシーズンです。ここ数年、公式戦で勝利を逃している阪大や京大に勝つことを第一の目標に、そこからさらに高い順位を目指す飛躍のシーズンにしたいと思います。

残り半年もない、短い間ですが、僕が出来ること、後輩に残せることを3年間ともにやって来た中務と一緒に精一杯にやっていきたいと思っています。1年間やってきたとはいえ、僕自身、まだまだ至らない点多々あるかとは思いますが、温かいご声援の程、どうかよろしくお願い致します。

主務として

主務 吉竹 望・海3回



今年度主務を務めさせていただきます、吉竹望です。

昨年度は後藤前主務の元、副務としてチームを見させて頂きました。歴代主務の諸先輩方を考えておりますと、自分がどこまでこの神戸大学水泳部に貢献できるか不安ではありますが、凌泳会 91 年目という長い歴史をより輝かしいものにする為、粉骨碎身の覚悟で頑張っていきますのでよろしくお願い致します。

今、神戸大学水泳部は着実に大きなチームになりつつあります。昨年度、競泳においては多数のインカレ出場者に加え、全国国公立大学選手権男子総合第7位と好成績を収め、

水球においても人数不足が懸念された中、新たな一回生の入部によりチームが活気づきました。この流れを絶やすことなく、水泳部に所属する全部員が自分の競技に集中できるよう、事務的な面ではございますが、主将・主任と連携を取りながら益々のよりよい環境づくりに努めていきます。それに伴いまして、OB・OGの皆様方にはご迷惑をお掛けすることもあるかと思えます。現役部員だけでなく、凌泳会会員皆様あつての神戸大学水泳部だと思いますので、ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

栄光の 91 年目を作りあげたいと思います。今後ともご声援お願い致します。



【追悼】

三宅先輩を偲んで

石井 義章・昭27

平成23年6月24日、野田会長より電話が入った。昨日三宅林先輩(昭21卒、旧姓・中村)が亡くなられたとの報である。「嗚呼！遂に・・・」の思いが脳裏を走った。数年前よりお加減の悪いことはお聞きしていたが、奥さんもお丈夫ではないとの事なので気になりながらお見舞いにも行ってなかったのである。

翌25日、JR 須磨浦海浜公園駅近くの斎場へ向かった。浄業寺という木造瓦葺きの立派なお寺である。受付で記帳し斎場に入ると野田会長始め岡村、江川、酒井の諸君がすでに着席していた。大きな祭壇の中央には懐かしい三宅先輩のご遺影が飾られ、その左右から両袖まで一面の白菊で埋め尽くされ、その中に川崎重工業初め関係各社の名札が立ち並んでいる。ご遺影に向かって正面中央寄りに「神戸大学水泳部 凌泳会」の名札も立っており、その右に並んで「(元)海軍航空隊第十四期飛行専修予備学生 元山戦闘機隊同期生一同」の名札が立っていた。

私が三宅さん(以下さんと呼ばせて頂く)と初めてお会いしたのはもう65年も昔の事になる。当時旧制神戸経済大学には予科があった。旧制高校3年間に相当する学部直結の附属学校である。予科は昭和15年の創立で三宅さんはその2回生として16年に入学されたがその年の暮れには大東亜戦争勃発、緒戦の戦果も空しく3年生になられた18年には

就学年限が6か月短縮されて9月に学部進学、同年12月には遂に「学徒出陣」となった。

昭和18年12月、相の浦海浜団に入団された三宅さんは前記飛行専修予備学生に合格、戦闘機搭乗員として土浦海軍航空隊を初め各地の航空隊で訓練を重ね最後は福島の郡山航空隊で特攻訓練中終戦を迎えられた。この間の御苦勞、武勇伝は「凌泳七十年史」221頁に「赤禪野郎」と題して十詳述されている。

式も終わりに近く最後のお別れにとお花一枝を御棺に差し入れた。三宅さんは穏やかなお顔で眠っておられた。一礼して下がろうとしたとき、「林さん、やっと楽になったのう！」と大きな声が聞こえた。振り向くと白髪の老人である。恐らく海軍飛行予備学生で苦樂を共にされた方であろう。往時を偲び万感を込めた一言だと思おう。

三宅さんは終戦とともに復員、復学され昭和22年9月(旧制)神戸経済大学16回生として卒業された。私は20年4月に予科に入学したが8月の敗戦に伴うどきくさの中でその年は暮れ21年と22年だけ水泳部員としてご一緒させて頂いた。

昭和21年春、プール掃除など始めようとした矢先、肝心のプールが講堂、テニスコートと共に占領軍に接收され使えなくなってしまった。我々は近隣の小学校、中学校等のプールを借り歩くジブシー練習だったがそれでも翌22年7

月には戦時中の4年間中断していた伝統の三商大戦が宝塚遊園地のプールを借りて復活、開催され見事総合優勝に輝いた。

さて昭和22年9月に卒業された三宅さんは川崎車輛に就職された、と同時に凌泳会の幹事役を前任の前田壽先輩から引き継がれた。当時神戸経済大学は三年制の単科大学であった事と学徒出陣に依る戦死、或いは復員未了等で学生総数は千人に満たず、一方OBも少なく古林喜楽教授を水泳部長兼凌泳会会長に戴いていたが事務方は幹事役の三宅さんお一人というささやかな体制であった。

この体制がいつ現在の役員体制に変わったのか、又それに伴う「会則」は何時できたのか、今回その経緯をここに書こうとしたがあまりに紙数を使うのを恐れて割愛した。これらの原案は三宅さんが作られたものなのである。昭和39年度号の凌泳誌をお持ちの方は4頁を開いて頂きたい。その間の経緯が詳しく書いてある。

三宅さんは水泳を生涯スポーツとして退職後もマスターズ水泳で活躍されたことは御承知の通りであるが、そのほかにも俳句を嗜まれた。

私の手元に三宅さんから頂いた一枚の色紙がある。

泳者発つ一瞬の虹知らずして 花波

とあり、その下に一匹の蛙が泳ぐ洒脱な画も描かれている。これは「凌泳七十年史」が無事完成し、その慰労会にと須磨海岸の川重海の家編集委員一同を招いて慰労会をして頂いた折貰ったように思う。



今回この追悼文を書くため久しぶりに前記凌泳誌を開き何気なく頁を繰っているうち 12頁に「虹・寒泳七題」として九句の俳句が掲載されているのを見つけてびっくりした。昔頂いた色紙の一句が掲載されていたのである。句の傍らには、

三商大戦に主審を務めた。号砲一発！

若人は一斉にスタート台を蹴った。

その飛沫が一瞬の虹を描いた。

泳者は知らず力泳、自分にもこの一瞬があったのだ。

との解説もついている。そうかこの句はこんなに早く作られたものだったかと気がついた。三宅さんお気に入りの一句なのだろう。俳号の花波は「かは」と読むのだろうが、その心は「かっぱ」だろう。泳いでいる蛙もご自身だろう、三宅さんの専門は平泳ぎだった。

私はこの色紙を仏壇に立てて遥かに三宅さんを偲びつつ初盆を送ろうと思っている。

合掌

山本幸夫君の思い出

石井 義章・昭 27



平成 23 年 10 月 7 日、同期の友人より山本君死亡の報が入った。数年前より肺気腫を病んでいるとは聞いていたが思い掛けない知らせに驚いた。ご葬儀は 10 月 9 日、御影の西方寺で厳粛に執り行われ、供花で飾られた祭壇の中央で君は微笑んでいた。

君は昭和 20 年 3 月、旧制灘中学より海軍兵学校に 78 期生徒として入学した。しかし戦局はいよいよ急を告げ B29 が日本各地に焼夷弾をばら撒いている頃で、憧れの短剣を腰に吊ったものの僅か半年で敗戦となり、兵学校は廃校となった。

翌 21 年 4 月、君は神戸経済大学予科に入学、ここで水泳部に入り浜川を筆頭に西岡、中井、石井の 5 人は共に予科 3 年、学部 3 年、計 6 年間の水泳部生活を楽しむ事になった。

予科の学舎は阪神御影駅の北側にあったが 20 年 6 月の空襲で校舎、寮とも全焼した為、授業は六甲台の学部学舎で行われた。ここには 25m8 コースの立派なプールがあった。

21 年春、シーズン開幕に備えてプールの整備に掛かろうとしていた頃、進駐軍による学舎接收問題が起こった。全面接收は免れたが講堂とプールとテニスコートが取られてしまった。この間の事情は「凌泳七十年史」112 頁に書いたから、インターネットで読んで頂きたい。

この頃の水泳競技会のシーズンは 6 月から 9 月末までと短く、オフになると他の倶楽部を楽しむ事もできた。君と私はグリークラブに入り昭和 24 年の関西合唱コンクールでは学生の部で第 3 位に入り「JOBK」から放送したこともあった。

昭和 27 年、学部 22 回生として卒業した君は江商(株)に入社、綿花部門に携わっていたが、昭和 42 年江商が兼松と合併するに当たり退社し、富士ゼロックス(株)に入社した。此頃ではフィリピンその他東南アジアの各支店に勤務し、最後はタイ富士ゼロックスの社長として活躍した。退社後は御影の自宅で

悠々自適の日々を送っていた。

君と最後に会ったのは平成 21 年 11 月 27 日、JR さくら夙川駅前の眼科医院であった。私はこの年 9 月に白内障の手術をしたが、その後診察に訪れたところ待合室で君を見つけた。君は酸素ボンベを携え鼻にチューブを差し込んでいたが昔と変わらず元気そうだった。

今回図らずも君の追悼文を書くことになり古いアルバムをめくっていると、ビーチパラソルを担いだ君の写真を見つけ、あの日のことが蘇ってきたので此処に紹介する次第である。

昭和 28 年 5 月 16 日の六甲台は創立 50 周年記念祝賀会で沸き返っていた。明治 36 年、上筒井に神戸高等商業学校が開学してから 50 周年に当たるのである。之に呼応してわが水泳部も初泳ぎ会を企画し、古林先生、小山先輩はじめ多数の OB が参加された。

やがて祝賀会が終わり我々もお開きにしようとしたとき、雨が降り出した。昼間は上天気だったので誰も傘を持っていない。困っていると誰かが米軍が残して行ったビーチパラソルが部室にあったがあれなら 4~5 人は入れるぞと言いつ出した。それは名案と早速持ち出し、茶目っ気半分ワイワイ言いながら坂を下った。ところが阪急六甲駅、国鉄六甲道駅と次々仲間が減ってゆくと最後は君一人になってしまった。町の真中で紅白のビーチパラソルをさして歩くのはさすがに恥ずかしい。君は傘を畳んで走って帰ったと言う。添付の写真はその時の君の雄姿である。

三途の川では三宅さんがまだ泳いでおられるだろう、宜しく伝えてくれ。

合掌

【追悼】

富中 暁 様(昭18) 平成23年1月28日ご逝去

石田 賢二 様(昭47、元海事科学部教授) 平成24年1月17日ご逝去

松野 圭吾 様(昭59) 平成24年3月14日ご逝去

「リレーエッセー(第6回)」

リレーエッセーは、平成19年度号からスタートし、今号で第6回になり、のべ35名の会員にご出筆いただきました。リレー経緯は次の通りです。(敬称略)

	平成卒世代男性	
第1回(平成19年度号)		甲野 賢(平 1)
第2回(平成20年度号)	森 宣幸(平16)	羽瀬 智文(平 1)
第3回(平成21年度号)	信田 泰弘(平17)	↓
第4回(平成22年度号)	↓	
第5回(平成23年度号)	岡 一成(平18)	當麻 尚正(平 3)
第6回(今号)	加藤 晃裕(平19)	一越 健治(平 4)

	女 性	
第1回(平成19年度号)		小笠原陽子(昭50)
第2回(平成20年度号)	河原 あや(平17)	川本 典子(昭51)
第3回(平成21年度号)	西川 弥穂(平18)	星合 正子(昭53)
第4回(平成22年度号)	濱本 有紀(平19)	桑本 万里(昭55)
第5回(平成23年度号)	砂留沙季子(平21)	土井 紀子(昭57)
第6回(今号)	上田久美子(平19)	中北 路代(昭58)

	商船大OB・OG 「みずむし会」	
第1回(平成19年度号)	西村 尚	
第2回(平成20年度号)	※多忙のため未掲載	本間 正信(海事科学部教員)
第3回(平成21年度号)		沖浦 征治(11N)
第4回(平成22年度号)	恵美 裕(平9)	石田 憲治(昭47)
第5回(平成23年度号)	加藤 亮二(平20・海事科学部)	※次号から再開予定
第6回(今号)	石田 達朗(平18・海事科学部) ※未掲載	

	昭和卒世代男性	
第1回(平成19年度号)		石井 義章(昭27)
第2回(平成20年度号)	島崎 昌彦(昭62)	野田 浩志(昭36)
第3回(平成21年度号)	川原田 貢(昭61)	林 荘八郎(昭38)
第4回(平成22年度号)	長崎 真人(昭59)	前田 和秀(昭40)
第5回(平成23年度号)	谷水 利行(昭59)	真喜志好一(昭41)
第6回(今号)	吉岡 宏之(昭59)	高部 高博(昭42)

食と水球と私

加藤 晃裕・平19

岡さん、パス確かに受け取りました。ゴールキーパーだったもので、試合でパスをいただく機会はほとんどありませんでしたね。

2003年、水球初心者2名(井口、泉口)とともに水泳部(水球)に入りました。当時、8名の先輩のうちオリジナルの水球面は4名。それに競泳面から4名の応援でチームが成り立っていました。

50m泳ぐのもやっと、水泳自体も初心者であった私は、上述のチーム事情もあり、入部して2ヶ月の6月に初めての試合、市大戦に出場しました。しかし、結果は惨敗。試合が始まるとすぐ、市大フロッターのシュートが次々とゴールネットに収まり、完全にいいようにやられました。止めなければならないロングシュートやフロントからのプレッシャー付きシュートが入ってしまう。思い通りに動けない自分へのもどかしさと、チームの足を引っ張っている申し訳なさで涙したこと(そして寒かったプール)を忘れません。

なお、この頃の私は一番の成長期にあり、食欲も急成長。聞くところによると、私の口癖は「中ライスおかわり」とのことでした。無論、国文の学食で食べた「蒸しご飯ヘルメット盛り」も忘れません。同期の井口から「プチライス大盛り」なる技を聞いて感心したことも記憶に新しいです。

と、そこからチーム力の向上とともに個人的

にも成長し、3回生時にはインカレに出場。4回生時には(相手が同じ関西の阪大であるものの)念願のインカレ1勝をあげ、卒部しました。なお、この頃ある女性から、「加藤君ってラーメンの話をしなければ悪くないのに」と言われたことを未だに覚えています。

就職後は年2回ほど試合に出場していましたが、練習まではなかなか出来ず。昨年初の試合で体力の限界を感じたため、ここで仕切り直してトレーニングを始め、再起を図っています。直近では1月になみはやカップに出場しましたが、正月明けのコンディションのせいとか、プレイ内容は良いとも悪いとも言えません。ただ、思い返せば現役時代からなみはやカップにいい思い出はないため、まあこんなものでしょう。今後に向けて精進します。

最近では日々料理を作るのを楽しみにしています。現役時代の役職は『鍋奉行』でしたが、もはや加藤は鍋のみに非ずです。和洋中、イタリアやスペインに始まり、東南アジアや南米料理にも挑戦しています。最近作ったものではブラジル風・豆と豚肉の煮込み、フェジョアード。豆の煮込みというさっぱりとしたイメージがありますが、これは力強くクリーミーでとてもおいしいです。今後は、食べたことはないものの簡単なレシピで作れる、コロンブスの卵的な料理を探しています。

と、こんな感じで食と水球のバランスを取りなが

ら、健康に楽しんでいければと考えています。

また、現在名古屋市内に住んでいますので、お近く立ち寄りの際は是非我が家に料理を食

べに来て下さい。

では、ジャストバスを前線 宮崎仁志(平20卒)に繋ぎましょう！

卒部20年を迎え

一越 健治・平4

去年末にスキャナーを買った。子供の頃からの写真をデジタル化する為だ。帰省の際に実家から段ボールで山の様に持ち帰って来た。

溜まった写真を次々とスキャンしていく。何しろ40年分なので、凄い分量だ。産まれたばかりの頃、歩き始めた頃、学生時代、社会人生活、結婚式。どれも懐かしいが、一番思い出深い大学時代の写真が全く出て来ない。何故？ 当時は練習ばかりで写真を撮る理由もなかった。遠征で日本各地に行ったが、そこで写真を撮った記憶もあまり無い。携帯もデジカメも無かった時代の事。仕方がないか。それでも同じ時代を過ごした先輩方、同期、そして後輩のみんなの様子は実に良く覚えている。鬱蒼と生い茂る樹に囲まれた年期の入った部室と緑色に濁ったプール。年中冷たい水での練習の後に入るお風呂が何よりの楽しみだった。酒は弱かったが、本当に良くご馳走して頂いたものだ。試合では全く成績を残せなかったが、最後のインカレは4年間の集大成として納得のいく物であった。当時はきっと辛い事の方が多かったのだろうが、不思議と楽しかった思い出ばかりが蘇る。

スキャンの作業はなかなか進まない。いつの時代の写真も懐かしく、つい作業の手が止まってしまう。見ると完全に忘れていた過去が瞬時に蘇る。昨年不惑の年を迎えたからだろうか。過去が懐かしくはあるが、全く後悔の念が湧いてこない。昔はもっと悩んでいた気がする。あの特別の選択をすれば良かった。結果は全く異なっていたのでは？と良く自問していた。しかし40を超え、そうした雑念がかなり自分の中で薄まった。己の人生に責任をとれるのは己だけ。やっとその覚悟が出来る齢になった。それでも六甲台グラウンドを見学に行く途中で、勧誘されるがまま水泳部の門を叩いてしまった偶然の出会いには本当に感謝している。個性豊かな部員のお陰で、自分1人では到底成し得なかった素晴らしい経験をさせて頂いた。現役世代の様子は凌泳を通じて知る程度だが、未だ我々の頃と同じ匂いが漂っているのは文面からも読み取る事が出来る。脈々と引き継がれるその伝統をこれからも絶やさずにいって欲しい。神戸大学水泳部に幸あれ。

では、富村君(平5)次回はよろしくお願ひします。

マネージャーとして・・・

上田 久美子・平 19

卒業して早5年近くが経ちますが、今でも水泳部でのいろんな出来事を時々ふと思い出します。朝練・夕練の慌ただしさが今では懐かしい思い出です。

社会人になったものの、水泳界にも未だ片足を突っ込んでおり、マスターズチームH20のマネージャーをやり始めて今年の夏で5年目に入りました。社会人生活にも慣れた頃、ふとしたきっかけから今所属するチームに入れてもらい、主に関西で行われる試合に参加しています。所属するチームは、スポーツジムや会社の組織で構成されたチームではなく、学校も職業も年齢もバラバラ、練習は各自で行うというスタイルのため、普段はなかなか集まることができません。試合の当日に集まって、泳いで、とことん飲んで帰宅するのがチームの定番コースとなっています。ただただ楽しいチームです。

飽きっぽく、長続きしない自分がまさかここまでどっぷりと水泳に関わるようになるとは、入部したての18歳の頃は考えてもいませんでした。ですがそのおかげで、たくさんの人とのつながりができたと改めて感じています。マスターズの試合でも、見たことのある顔、聞いたことのある名前の方がたくさんいて、皆それぞれ水泳が好きで続けているのだなとひしひしと感じています。そんな私も水泳好きの一人です。これから10年、20年と年月を経て、プールサイドで声を張り上げられなくなっても、マネージャーとして頑張っていられたら・・・と願っています。

では、次のリレーエッセイのバトンは、一つ下の後輩、田染茉莉子さんにつなぎます。まりこ元気かな?? それではよろしくお願ひします。

私の水泳回顧録

中北 路代・昭58

ある日突然、土井紀子さんからリレーエッセイ出筆依頼のお電話をいただき、目の前が真っ暗になって何か月が過ぎたことでしょうか。「土井さんと過ごした日々は大分重なっているのに・・・」(土井さんの文章をお借りしました。)何を書こうかとあれこれ考えているうちに今度は川本典子さんから「締切迫る！」のお手紙をいただき、大あわてで書いております。

ふり返れば水泳とは長いおつきあいです。小学校時代はスイミングスクールで水泳の基礎を教わり、すっかり水泳の虜になってしまいました。中学・高校・大学では学校の水泳部に所属しました。社会人になって少し水泳と離れたのですが、妊娠中にマタニティ・スイミングに出会い、とても健康的なマタニティライフを過ごすことができました。体重増加は最小限で、出産後は見事に元の体重に戻れました。そして子供と通ったベビースイミング。いろいろなプールで泳ぎましたが、最も印象に残っているプールは六甲台プールです。とにかく水が冷たく、そして深かったです。春先は度々足がつって練習が中断してしまいました。そして身長の高い私にとっては、練習中の休

息に足がぎりぎり届くか届かないかという状態は本当に苦しかったです。現在は地球温暖化の影響で、少しは水温も上がっているのでしょうか。

どんなに苦しい練習でも皆で励まし合いながら乗り越えることができたこと、目標は個人個人違っても苦しい練習を終えた後の達成感を皆で共有したこと、etc. 今はすべてなつかしい思い出となり、心に刻まれています。そして、水泳で養われた体力、精神力のおかげで、人生の難題にぶつかったときにもくじけず、解決することができました。

子どもが小さい頃は、家族でプールに出かけることもよくありましたが、今はそのような機会もなくなりました。気がつけば水泳と離れた生活をしています。残りの人生を楽しく健康的に過ごすためにも、いつか水泳を再開したいなと思う今日この頃です。そして「水泳」と「水泳を通じて出会ったすべての人」に感謝しています。

次は高校の後輩でもある山中えみこさん(昭60)にお願いしたいと思います。よろしくね!

バタフライとともに10年

吉岡 宏之・昭59

皆様こんにちは。S59年卒の吉岡です。同期で同じバタ面の谷水君より今回寄稿の指名を受けました。昨年の掲載内容では春合宿で2人でチンタラ泳いだ15百のやり直しの思い出話がつづられていました。思い返すと私はどうも練習嫌いや手抜きのイメージがあったかもしれません。確かに苦手なものは2バタとマラソンと階段のぼり(同期の鈴木君もそうであったかと思えます)。しかしながら実は知られていないことかもしれませんが、私の2バタのベストは六甲台のプールで3千ほどの練習をした後に自ら志願してタイムトライアルを行った際のものであり、また大学1年からほとんど朝練も含めクラブには皆勤賞でした(法学部だったせいもあるかもしれませんが)、ポロについては幾度となく谷水君をはじめ他選手がぶっちぎられたのをカバーしていました。皆さんの同世代にも必ずおられたと思いますが、春先の低温時に水の冷たさに耐え切れずよく足をつったり、風呂に入りながら練習をしていた選手、そんな中でじっと耐え続けて練習をしていたのも私でした。確かに持久力や粘りといったものはあまりなかったかもしれません。どちらかといえばセンスで何とかこなすタイプであったように思います。

シーズンオフのなぜか水泳部が力を入れるソフトボール大会では1年からクリーンアップ、そういういえばポロも1年秋からレギュラーをい

ただいていましたし、水泳とは全く関係ありませんが冬のスキーでは同期のスキー自慢の呉竹先生より「よっちゃん、器用やね」とお褒めの言葉もいただいたことがあります。とかく批判にさらされがちなバタ面ではありましたが、そもそもバタ面であること自体が器用な選手でないとできないことなのかもしれません(ブレ面の人は大抵変なバタフライを泳いでいたような・・・、ごめんなさい)。

しかしよくもまあ中学以来10年間もバタフライとお付き合いをしたなあと思います。それに大学時代には競泳の練習後にポロの練習、よくやったなあと今となっては自分自身に感心をします。これもそこに苦勞を共にする仲間がいたからだと思います。一人では弱い自分自身もチームメイトがいたからできた、水泳は個人競技ですが、試合にいたるまでは団体競技だと思います。今社会人になって振り返ってみても精神力や対人関係能力などまさに水泳部という組織にいたからこそ今日の私があるのだと思います。水泳部に感謝です、また一緒に頑張った先輩、後輩の皆さんにも感謝です。つらつらとめどもないことを書きましたが、最後に「神大水泳部、ありがとう」

今回は、私の記憶ではあまりセンスがなく持久力と根性を持ち味として、我々の時代にポロのヒーローとして登場し活躍した「ミスター浦野」さんにバトンを渡したいと思います。

リレーエッセー [あれ これ]

高部 高博・昭42

沖縄でご活躍中の真喜志先輩から「凌泳」の原稿を託されました。

その真喜志さんが時々テレビの画面に登場されるので、その時などは、半世紀前の先輩の面影を懐かしく感じています。

昭和38年大学に入学して間もなく、私は沖縄についての知識や理解が全くと言ってもいいほど不足していました。そして、真喜志さんがパスポートを携えて留学していることを知り、たいへん驚いたことが今も記憶の一部として鮮明に残っています。今日の沖縄も米軍の基地移転問題で揺れています。私の沖縄に対する知識や理解が、ひょっとして学生時代と余り変わっていないのではと想い至った時、先輩に少し申し訳ない気持ちになりました。

昨年3月11日に東日本大震災がありました。その時のことを少し書きたいと思います。私は千葉県習志野市に住んでいます。先の震災の際には、激甚災害都市に指定されました。沿岸部の埋め立てた地一帯の液状化現象が災害都市指定の主な理由だとは思いますが、我家もかなり揺れました。あの日は妻が息子宅の応援に出かけていたので、その時、私は一人で炬燵の中でウトウトしながらテレビを見ていました。今まで経験したことのない大きな揺れが来ましたが、首都圏に住んで40数年、何度も地震は経験してきましたので、すぐにも収

まるだろうと思っていました。ところが何度も何度も揺れが来て、本能的にこれは危険と判断し、炬燵を消し、外へ出られるように逃道を確保するべく玄関を開けると電信柱が大きく揺れ、電線が唸っていました。

阪神・淡路大震災では両親の住宅が半壊しましたが、首都圏で暮らしておりましたので被害は勿論何もありませんでした。しかし今回の経験を顧みると、日本列島に住む以上地震から逃れることは出来ないのだと改めて思い直した次第です。

遙か昔の水泳部の事について心に残っていることを書いておきます。凌泳会の会員名簿を見ていただければ判りますが、私たちの1学年下の会員がおりません。何人かの人達が入部してきましたが長続きせず去って行きました。旧三商大戦を終えて4年生が退くと、3年生が4人に1年生が5人になりました。

ところがこの年は近国体の当番校になっており近畿一円の国立大学が六甲台に集いました。試合当日では主務の久保君は進行係として場内放送や記録の整理そとして選手としても忙しく飛び回っていたことをよく覚えています。幸いも、翌年に有望な新生が入部し、何とか部活動を継続できました。翌年和歌山大学で開催された近国対で神戸大が優勝出来たことが嬉しく思い出されます。

私は仕事を離れて約2年になります。最初の頃は「毎日が日曜日」状態に戸惑うこともありましたが、近頃では健康維持と頭のボケ防止を心がけて暮らしています。去年は一日に2万歩をノルマにして散歩をしていましたが昨年の秋に少し体調を崩しましたのを機に、1万2～3千歩を目途にして歩いています。ボケ防防止ですが、歴史に興味があつて。その方

面の小説や雑誌を読んだり、英語のラジオ講座を聞いたり漢字検定に挑戦したりしています。

以上思いつくままに書いてきました。不慣れをご容赦ください。次は、熊岡禎二君(昭44)にお願いしたいと思います。



講堂の壁画(凌泳90周年記念全国大会時に撮影)

マスターズ 活動記録 (平成23年1月~12月)

表の表示

氏名	年代区分	種目	ランク	タイム
----	------	----	-----	-----

第12回 CMC 新年フェスティバル

1月15日~16日 千葉県国際総合水泳場 L

佐敷定雄	[60]	50M蝶泳	①	31-87
------	------	-------	---	-------

2011新春マスターズ大阪

1月22日~23日 なみはやドーム S

今年もマスターズが始まりました。1/22、23なみはやドームに2,420名のスイマーが集まりました。凌泳会からは毎回出場の小南さんと私の2名でした。

昨年11月の鈴鹿以来2ヶ月ぶりの大会で水泳仲間とは久しぶりの再会でした。とりわけうれしかったのはいつもビデオ撮影をしてくださる菱山さんが不整脈で休養されていましたが手術の結果、回復され好成績をあげられたことです。又ジャパンでは皆のビデオを撮ってもらえそうです。

成績の方は小南さんが100バタ3位、200バタ2位で、いつみても迫力のある泳ぎです。私は平泳ぎ4種目に出場しましたが25m6位、50m5位、100m3位、200m5位で1種目しか入賞できませんでした。2ヶ月ぶりのレースと、正月休みをはさみ調子が

もどりませんでした。このあとは3月のFIAマスターズを目指して調子を上げていきたいと思っています。(安茂 弘・昭39)

安茂 弘	[70]	25M平泳	⑥	19-87
"	["]	50M平泳	⑤	43-77
"	["]	100M平泳	③	1-35-06
"	["]	200M平泳	⑤	3-32-04
小南裕明	[40]	100M蝶泳	③	1-03-18
"	["]	200M蝶泳	②	2-22-97

第11回町田市マスターズ

2月6日 町田市室内立プール L



今年もマスターズ水泳が始まり、大阪の新春マスターズは安茂さん、町田マスターズは井上さんから報告がありました。町田マスターズの方は記録はまだまとまっていませんので写真だけここで報告させていただきます。

今年の皆様のご健闘を祈ります。

(米田 啓祐・昭37)

プロ野球のキャンプ便りが報道される頃

新年度のマスターズの開幕試合があります。11 回目の町田マスターズですが、歴史は古く15年以上前に私が藤沢市に住んでいた頃に開催され、当時は冬の大会は少なく、みんなで「寒い、寒い」と言いながら参加した記憶があります。交通の便が悪かったですが、プールサイドが完全に床暖房されており、快適だったのを記憶しております。また、市長名の立派な表彰状を頂ける大会でした。運営を町田市から協栄スポーツに移管され今年が11 回目の大会ということになります。

今年は初参加の玉置さん久保田さんに加え、HP の浦野さん、濱出さんが久しぶりに参加と総勢 8 名となり大いに盛り上がった大会になりました。

+280~319 区分のメドレーリレーで、新メンバーの玉置さんをバタフライで起用し立川水協に昨年の雪辱を期しましたが、2.56.35 で残念ながら今年も銀メダルに終わりました。出場チームは 8 チームもありましたので、銀メダルでも誇れる立派なものでした。

個人種目2+リレー1=3 個の金メダル奪取の浦野さんを筆頭に金 7 個、銀 3 個、銅 5 個と出場種目 16 競技の内 15 個のメダルを獲得しました。

圧巻は浦野、井上、久保田、濱出で+200~239 区分の 4×50Fr.リレーで1.59.44 の大会新記録を樹立したことでした。

私も学生の頃リレーに偶に出場したことはありますが、2 分を切った記憶は無いので、望外の感動でした。

みなさん有難うございました。

新春 M. FIA. 神奈マス、ショートと大会はこれから佳境に入りますので、体調に注意しながら元気で再会しましょう！！

(井上 隆史・昭37)

田淵五郎	[75]	100M背泳	①	1-42-35
井上隆史	[70]	50Mフリー	③	35-02
"	["]	200M個メ	③	3-41-15
丸山卓也	[70]	50M平泳	①	45-79
前田和秀	[70]	50M背泳	④	48-75
"	["]	100M背泳	③	1-49-66
玉置 明	[60]	50Mフリー	②	35-26
"	["]	50M背泳	①	46-42
久保田勝巳	[50]	200M蝶泳	②	3-13-35
"	["]	400Mフリー	③	5-15-81
浦野敏明	[45]	200Mフリー	①	2-36-64
"	["]	200M蝶泳	①	2-54-91
濱出憲一郎	[35]	200Mフリー	①	2-16-13
"	["]	100M平泳	③	1-25-49
田淵・丸山・ 玉置・前田		[280+] 200Mメドレー リレー	②	2-56-35
浦野・井上・ 久保田・濱出		[200+] 200Mフリー リレー	①	1-59-44 (大会新)

中日スポーツマスターズ

2月6日 日本ガイシスポーツプラザ L

慈幸弘樹	[55]	50M平泳	④	39-17
"	["]	200M個メ	①	3-07-10

新春マスターズ千葉

2月12日~13日 千葉国際総合水泳場 S

新春マスターズ千葉へは田淵、岡見(セントラル本郷台)丸山、武政、前田、久保田、

井上が参加し、佐敷は競技役員でスターターとしての活躍でした。初日の夜は+240~279歳の200FR. R.(武政、前田、井上、久保田)で金メダルを獲得したので、また前田君が個人種目では初めて金メダルを取ったので、駅前の「花の舞」で祝勝会をしました。前田君は金メダル2個獲得でした。町田に続いてのレースなので、流石に疲れましたが、若手の久保田くんは元気一杯で、2日間の競技に最初のレースと最後のレースに出場し馬力あるところを見せて貰いました。人数も段々増えてきて、賑やかになりました。東水会に対抗してか京水会は若手の参加が目立ちましたね。(京大出身者かどうかは確認できていませんが)細田さんがいないので、焼酎のボトルは1本で済みました。

次は3月のFIAで安茂君と会えるのは楽しみですですね。(井上 隆史・昭37)

第一日目の前田さんの200背泳ぎ優勝おめでとう。古希を過ぎて目覚めたようですね。私は2日目に出ました。午前の100背泳ぎは1'47"54、タイムはまずまずでしたが、5位という結果にいさかガッカリ。50背も同じメンバーなのでメダルは諦めていました。昼休みに水着販売の若くてきれいな女性から勧められ、体がよく浮くというニューモデルを大枚をはたいて買いました。午後の50背泳ぎでこれを試したところ、46"98で3位に入りメダルをゲット。やはり、美女の言うことは聞く(効く)ものだなと実感

した次第です。(岡見 晴児・昭33)

田淵五郎	[75]	200M背泳	⑤	3-47-03
岡見晴児	[75]	100M背泳	⑤	1-47-54
"	["]	50M背泳	③	46-98
丸山卓也	[70]	50M平泳	⑤	20-75
武政英幸	[70]	25M蝶泳	④	16-89
"	["]	100M個メ	②	1-31-76
井上隆史	[70]	100M個メ	④	1-33-64
"	["]	25Mフリー	⑥	15-74
前田和秀	[70]	25M背泳	⑦	21-74
"	["]	200M背泳	①	3-49-62
久保田勝己	[50]	100M個メ	⑥	1-17-71
"	["]	200Mフリー	③	2-20-29
"	["]	100Mフリー	③	1-02-74
"	["]	200M個メ	④	2-59-20
山田基洋	[35]	200Mフリー	⑬	2-17-99
"	["]	100M個メ	⑩	1-13-10
田淵・丸山・ 武政・井上	[280+]	200Mト レー ル	②	2-45-22
武政・前田・ 井上・久保田	[240+]	200Mフ リー ル	①	2-16-20



岡見さんおめでとうございます!

新年は旧友に会えるのが楽しみです。岡見さんの繊細な感性で綴るエッセイを頂くのが、もう一つに楽しみでした。今年は町田を欠席されて、千葉の新春も出場日が異なりお会いできずにエッセイを読んでいないのが淋しいですね。

しかし、流石ですね。若い妙齢のコーチ

の指導の効果については、この掲示板でご披露したところでしたが、流石、年の功でしょうか、メーカーの女性社員まで味方につけて、即実績を出すあたり、驚いている次第です。現代に通用するスピード感ですね。

「年々歳々若返り、タイムを上げる」是人生の最高の喜びでしょうね。

FIA、神奈マスでじっくりとお話しをお聞きたいものですね。(井上 隆史・昭37)

FIM マスターズ2011

3月5日～6日 千葉県国際水泳場

田淵五郎	[75]	50M背泳	④	45-30
岡見晴児	[75]	50M背泳	⑥	49-44
武政英幸	[70]	100Mフリー	⑤	1-22-79
"	["]	50M蝶泳	④	41-27
井上隆史	[70]	100Mフリー	⑥	1-23-08
"	["]	50M蝶泳	⑨	47-17
安茂 弘	[70]	50M平泳	⑤	43-14
"	["]	100M平泳	②	1-37-55
"	["]	200M平泳	③	3-37-36
久保田勝己	[50]	100Mフリー	⑤	1-05-88
"	["]	200Mフリー	⑥	2-26-67
"	["]	100M蝶泳	④	1-16-29
"	["]	200M蝶泳	②	3-08-42
田淵・安茂・ 武政・井上	[280]	200M外レー ル	①	2-46-52



第33回 JSCA 全国マスターズ in 近畿

3月12日～13日 尼崎スポーツの森 S

佐敷定雄	[60]	200Mフリー	①	2-32-84
"	["]	50M蝶泳	①	31-87
"	["]	100M蝶泳	①	1-17-47
"	["]	100M個メ	①	1-18-29

2011年日本マスターズ短水路大会

本大会は、(社)日本マスターズ水泳協会が主催する公式大会で、全国各地で開催され、全国大会はありません。

■各会場での結果

神戸会場

4月3日 エス・パディオスポーツクラブ

東日本大震災の影響で仙台ははじめ4会場の開催が見送られていますが4月3日短水路大会が開幕、神戸会場に1,100名のスイマーが集まりました。

凌泳会からは毎年参加の山野さん、小南さん(コナミ東加古)と私の3名でした。結果は山野さんが25平 1位、200平は最後に抜かれおしくも2位、小南さんは25・200バタ共豪快な泳ぎで1位、私はタイムはよくありませんでしたが50バタ、200平共に1位でした。

大会中ジャパンマスターズの会場「東京辰巳国際水泳場」が施設の復旧見通しがたたないため「なみはやドーム」に変更されたこと、また国際ゴールドマスターズ開催中止の情報が流れていました。

受付で2010年度全国50傑ランキングを

販売していたので帰りに購入しました。昨
年前半は調子がよく高速水着のおかげで
短水路、長水路合わせて10種目トップ10
入りで内6種目が5位以内に入っていまし
た。出来すぎです。(安茂 弘・昭39)

安茂 弘	[70]	200M平泳	①	3-32-84
"	["]	50M蝶泳	①	40-98
山野和則	[50]	25M平泳	①	16-77
"	["]	200M平泳	②	3-09-57
小南裕明	[40]	25M蝶泳	①	13-77
"	["]	200M蝶泳	①	2-23-90

佐伯会場

4月10日 佐伯市民総合プール

柴矢尚武	[70]	25M平泳	①	21-10
"	["]	50M平泳	②	46-49

安城会場

4月29日 安城市スポーツセンター

手嶋忠之	[65]	50Mフリー	③	35-72
------	------	--------	---	-------

明石会場

5月3日 コナミスポーツクラブ明石

5/3関西での第2戦が明石で開催されま
した。参加人員670名のこじんまりした大会
で凌泳会からは千葉からはるばる参加の岩
切さん(印西水協)、10年振り出場の平石
さん、それに常連の山野さん、小南さん(コ
ナミ東加古)と私の5名でした。酒井さんも
出場予定でしたが障害者水泳のコーチを
頼まれ不参加となりました。

岩切さんは200自、距離が中途半端で残
念ながら4位でした。平石さんは久々ながら

50平2位、100平3位でした。山野さん50・
100平、小南さん50・100バタ、私100・2
00個メはそれぞれ1位でした。

(安茂 弘・昭39)

安茂 弘	[70]	100M個メ	①	1-31-70
"	["]	200M個メ	①	3-34-50
岩切 博	[60]	200Mフリー	④	3-00-06
平石 康	[55]	50M平泳	②	45-12
"	["]	100M平泳	③	1-35-99
山野和則	[50]	50M平泳	①	37-40
"	["]	1000M平泳	①	1-24-24
小南裕明	[40]	50M蝶泳	①	29-58
"	["]	100M蝶泳	①	1-04-58

相模原会場

5月8日 相模原市立総合水泳場



マスターズのショートの大会が5月8日
(日)相模原で開催されました。関東では3
ヶ月振りの大会でした。凌泳マスターズの
面々が朝早くから集まり大いに気勢を上げ
ましたが、紅一点嶋田さんの欠場が残念で
した。

埼玉県から参加の武政君が9.00の1個メ
で銅を確保し、まだ、半分寝ている状態の
9.39には4*25のメドレーリレーで宿敵立
川水協を最後の前田君が力泳して、抜き

去り、銀を獲得しました。田淵五郎、丸山卓也、武政英幸、前田和秀のメンバーでした。前田君は背泳のスペシャリストでしたが、フリーも25Mはたいしたもの、ピッチは上がるし、ストロークも大きくバックより筋が良いのではないかと焼鳥屋で一番の話題でしたね。そのほか、丸山君が50Brで45秒を切り、試合ごとに調子を上げているのは今後の楽しみがありますね。50Baでは+75で田淵、岡見がワンツーフィニッシュで圧巻でしたね。

田淵五郎	[75]	25M背泳	②	20-16
"	["]	50M背泳	①	45-76
岡見晴児	[75]	50M背泳	②	47-16
丸山卓也	[70]	50M平泳	③	44-45
武政英幸	[70]	25M背泳	④	19-66
"	["]	100M個メ	③	1-31-77
井上隆史	[70]	25M蝶泳	③	17-95
"	["]	100M個メ	④	1-34-14
前田和秀	[70]	25M背泳	⑥	20-68
"	["]	50M背泳	⑧	50-69
玉置 明	[60]	100M背泳	④	1-45-82
"	["]	50Mフリー	⑥	34-74
田淵・丸山・ 武政・前田		[280+] 100Mメドレー リレー	②	1-14-97
武政・前田・ 井上・玉置		[240+] 100Mフリー リレー	③	1-00-37

玉置君も100Baは初めて出場したとか、新しい物へ挑戦しながら、今後の方向を探すのも良い選択ですね。4*25Frリレーは武政英幸、前田和秀、井上隆史、玉置明の277歳でがんばって③1.00.37でした。来年は+280にはなるし、できれば、60秒をきりたいですね。

段々と仲間が増えてきて、楽しくなりそう

な予感がしますね。

J.マスターズの大阪の参加の可否は結論は出ませんでした。(井上 隆史・昭37)

門真会場

5月7日～8日 なみはやドーム

安茂 弘	[70]	25M平泳	⑤	19-66
"	["]	50M平泳	③	43-61
"	["]	100M平泳	②	1-36-82

江戸川会場

5月15日 江戸川区スポーツセンター温水プール

佐敷定雄	[60]	100M蝶泳	①	1-14-88
久保田勝己	[50]	100M蝶泳	②	1-15-16

神奈川(川崎)会場

5月15日 川崎多摩スポーツセンター



400Mメドレーには大学時代に出場したことはありますが、その後約50年経験が無い種目ですね。前田和秀(S40)、丸山卓也(S38)、浦野敏明(S60)、井上隆史(S37)が262歳で240～279歳の区分のメドレーに挑戦し、見事に大会新記録の6.12.81で金メダルをゲットしました。嬉しかったですね。

(内緒の話ですが、今年から開催された大会であることと、+240歳は我々に恐れをなしたのか、参加チームは凌泳会だけでした。) +280に参加したライバルの立川水協は①6.43.82でしたから、大差をつけましたね。これで一気に氣勢が上がりましたね。

金は+75の田淵五郎さん(S30)の1バック、銀は丸山君の1ブレ、浦野君の2個メ、井上50バック、銅は前田君の1バックでした。

残念なことに金が確実な紅一点の嶋田陽子さん(S57)が欠場だったことですね。彼女が出場すれば更に盛り上がり、ワンランク上のメダルが獲得できたのではないかと考えております。

因みに、立川水協の宮内さんは個人2種目のほか、400メドレー、400混合メドレー、400Frリレー、800リレーと出場できるものに全てエントリーして、6個の金を獲得しました。

田淵五郎	[75]	100M背泳	①	1-40-83
丸山卓也	[70]	100M平泳	②	1-44-35
井上隆史	[70]	50M背泳	②	45-25
"	["]	100Mフリー	④	1-20-72
前田和秀	[70]	100M背泳	③	1-51-21
浦野敏明	[45]	200Mフリー	⑥	2-34-23
"	["]	200M個メ	②	2-52-20
前田・丸山・浦野・井上	[240+]	400M外リレー	①	6-12-81 (大会記録)

この大会は今年始まったばかりで、特色を出そうとして、長い距離に重きを置いている感じですね。またリレーに力を入れているので、会場は大変盛り上がりますね。新しいプールで泳ぎやすいのですが、1面

しかプールがないので朝早くと昼しかアツプが出来ないのが残念ですね。

来年は凌泳会も800リレーに記念に挑戦したいものですね。(井上 隆史・昭37)

京都会場

5月22日 京都アクアリーナ

安茂 弘	[70]	25M蝶泳	⑦	18-85
"	["]	100M蝶泳	②	1-39-70

■全国20傑に入られた方の記録

田淵五郎	[75]	25M背泳	⑧	20-16
"	["]	50M背泳	⑩	45-76
"	["]	100M背泳	⑦	1-40-83
岡見晴児	[75]	50M背泳	⑫	47-16
武政英幸	[70]	100M個メ	⑪	1-31-77
井上隆史	[70]	100M個メ	⑬	1-34-14
安茂 弘	[70]	25M平泳	⑪	19-66
"	["]	50M平泳	⑭	43-61
"	["]	100M平泳	⑪	1-36-82
"	["]	200M平泳	⑤	3-32-84
"	["]	50M蝶泳	⑪	40-98
"	["]	100M蝶泳	⑥	1-39-70
"	["]	100M個メ	⑩	1-31-70
"	["]	200M個メ	⑪	3-34-50
佐敷定雄	[60]	100M蝶泳	②	1-14-88
山野和則	[50]	25M平泳	⑪	16-77
"		100M平泳	⑪	1-24-24
"		200M平泳	⑨	3-09-57
久保田勝己	[50]	100M蝶泳	⑨	1-15-16
浦野敏明	[45]	200M個メ	⑬	2-52-20
小南裕明	[40]	25M蝶泳	⑮	13-77
"	["]	100M蝶泳	⑩	1-04-58
"	["]	200M蝶泳	②	2-23-90

(次ページに続く)

武政・前田・井上・玉置	[240]	100Mフリー リレー	⑭	1-00-37
田淵・丸山・武政・前田	[280]	100M外レー リレー	⑪	1-14-97
前田・丸山・浦野・井上	[240]	400M外レー リレー	②	6-12-81

第6回コナミスポーツクラブ マスターズ西日本大会

6月5日 スポーツコナミ西宮本店

安茂 弘	[70]	25M平泳	③	19-97
"	["]	100M平泳	②	1-36-73
平石 康	[55]	50M平泳	⑥	42-79
"	["]	100M平泳	④	1-33-98

2011年大阪マスターズオープン

6月18日～19日 大阪プール

安茂 弘	[70]	50M平泳	④	45-62
"	["]	100M平泳	④	1-39-53
"	["]	200M平泳	③	3-42-48
"	["]	100Mフ蝶泳	③	1-43-49

第4回CMCマスターズ

6月18～19日 千葉県国際総合水泳場

佐敷定雄	[60]	50M蝶泳	①	31-81
------	------	-------	---	-------

コナミスポーツクラブ マスターズ大会東日本大会

6月25日 横浜国際プール

コナミスポーツクラブマスターズ水泳大会が6月26日横浜国際プール(L)で開催され、
 凌泳マスターズの田淵五郎(S30)、井上隆

史(S37)、丸山卓也(S38)、前田和秀(S40)の4名が参加しました。本来なら7月のJ. マスターズへ繋ぐ大会ですが、今年はJ. マスターズが大阪開催となるので、関東のメンバーには前半戦最後のレースとなりました。



横浜国際プールも震災の影響で閉館しておりましたが、長水路は何とかオープンしました。短水路は目下修理中です。

今年になって、メンバーは異なりますが、200MのメドレーはFIAで金、新春と町田で銀でしたので、銀が1個先行していました。ここはゴールデンメンバー(立川水協の宮内氏の言葉)が踏ん張って金を確保して、2勝2敗になりましたね。

申告タイムは我々が2.58.00 相手が3.00.00なので「アンカー勝負だなあ。前田君頼むよ」と言ってレースに臨んだら、前田君は頑張っ隣の240歳区分のチームも追い抜いての堂々の優勝でした。

快勝という格別の味ですね。

9月17(土)、18(日)に神奈川マスターズ長水路大会(正式の要項は未発表です。)

が横浜国際で開催されるので、それまでに研鑽を誓って散会しました。

(井上 隆史・昭37)

田淵五郎	[75]	50M背泳	②	45-25
井上隆史	[70]	50M背泳	②	44-94
"	["]	200M個メ	①	3-42-30
丸山卓也	[70]	50M平泳	④	45-35
前田和秀	[70]	100M背泳	③	1-53-26
"	["]	200M背泳	③	3-58-26
田淵・丸山・井上・前田		[280] 200M外リレー	①	2-53-54

第55回セントラルスポーツマスターズ

7月2日 千葉国際総合水泳場

第55回セントラルマスターズが7月2日千葉国際プール(短水路)で行われました。関東各地から88チーム1300余名のスイマーが集いました。

私は25mと50mの背泳ぎに出場し21"00、47"69で共に1位でした。欲を言えばあと0秒5ほど速く泳ぎたかったのですが、ライバルに勝てたので満足しています。

ただ、レース中右に寄っていくようになり、2度コースロープにぶつかってしまいました。右ひざ関節炎のせいかな、ブルに問題があるのか、課題が残りました。次の神奈川マスターズまで2か月程あるので、それまでに修正しなければと思っています。

9月に横浜プールでお会いしましょう。

(岡見 晴児・昭33)

岡見晴児	[75]	25M背泳	①	21-00
"	["]	50M背泳	①	47-69

ジャパンマスターズ2011

7月15日～18日 なみはやドーム

安茂 弘	[70]	50M平泳	⑫	45-02
"	["]	100M平泳	⑦	1-38-19
"	["]	200M平泳	⑦	3-42-42
"	["]	100M蝶泳	⑩	1-45-13
岩切 博	[60]	400Mフリー	⑫	6-22-89
佐敷定雄	[60]	200Mフリー	③	2-38-04
"	["]	50M蝶泳	①	32-08
"	["]	100M蝶泳	①	1-16-06
慈幸弘樹	[55]	200M個メ	⑥	3-00-98
小南裕明	[40]	50M蝶泳	⑦	29-63
"	["]	100M蝶泳	③	1-04-84
"	["]	200M蝶泳	①	2-30-94

マスターズ水泳の祭典ジャパンマスターズ2011が7/15～18の4日間「なみはやドーム」で開催され5,030名が出場しました。当初は「東京辰巳国際水泳場」で予定されていましたが東日本大震災の影響で6年ぶりに大阪での開催となりました。

凌泳会関係の出場者は今回20回出場で表彰の岩切さん(S46 印西水協)、競技役員をしながら出場の佐敷さん(S49 柏洋 S)、昨年に続いて参加の慈幸さん(S55 しんまいこ)、毎年バタフライ3種目出場の小南さん(H4 コナミ東加古)と安茂(S39)の5名でした。私のほかは「凌泳会」以外のチームからの出場でもリレーが組めなかったのが残念でした。200Mメドレーリレー(280歳区分)の優勝タイムは2-49-41で宮内さんの立川水協は2位でした。もしいつものメンバーで出場していれば優勝できたでしょう。

佐敷さん、小南さんが金メダル獲得で金3個、銅2個、ブロンズが4個の計9個でした。

来年の開催地は「千葉県国際水泳場」だそうです。多数の参加でリレーも頑張りますよ。(安茂 弘・昭39)

なみはやマスターズ2011

9月4日 なみはやドーム L

なみはやマスターズ(なみはやプール)は、9/3は短水路、9/4は長水路と同じ大会で短水路と長水路に出場できる新しい試みの大会です。3日は台風の影響で中止となり4日の長水路大会だけになりました。

凌泳会でエントリーしていたのは平石さんと私の2人で、平石さんは短水路だけしかエントリーしていなかったので出場できませんでした。私は短水路バタフライ、長水路は平泳ぎにエントリーしていましたので平泳ぎ2種目に出場しました。結果は100は3位、50はスタート違反で失格になりました。スタート直前に少し動きましたが、これぐらいなら大丈夫と思って泳ぎました。電光掲示板には2位の表示が出ましたが直後に失格のアナウンスがありました。残念でしたがマスターズ大会も違反を厳しくとることは良いことだと思います。(安茂 弘・昭39)

安茂 弘	[70]	100M平泳	③	1-41-05
------	------	--------	---	---------

第19回神奈川マスターズ長水路

9月19日～18日 横浜国際プール

前田和秀(S40)君、久保田勝己(S59)君が欠場しましたが、田淵五郎(S30)さん、岡見晴児(S33)さん、丸山卓也(S38)君、埼玉

県から参加の武政英幸(S39)君、紅一点の嶋田陽子(S57)さん、将来の凌泳スイマー二人と参加の呉竹正人(S59)君、井上隆史(S37)の9人が集まりました。

呉竹君が「凌泳」の旗を持参しましたので、玄関前で写真を撮りました。今回は「マスターズでメドレーリレーを組む日か2個メのある日かのレースに出来るだけ大勢の人がエントリーして、プールサイドの壁に掲揚したいものですね。

2週間前のインカレの興奮とは違って変って、マスターズでは「参加する」、「レースを楽しむ」というのんびりとした時が流れますが、それもまた良いものですね。

それでも、結構厳しく反則を取り失格は相当ありましたね。

①一番ビックリしたのはマスターズではA側スタートとB側スタートとプールの両方からスタートして、試合時間の短縮を図っていますが、(大体、プールの半分まで行くと、笛が鳴り、残り25Mになると飛び込みます)2個メのレースで女性がプレストで来ているところで、男性側の笛が鳴りました。スターターが泳いでいるのを見落としているのかなあと心配していましたが、泳いでいる女性は1コースでスタートする男性の方は1コースの選手がいないので、スタートさせたのでした。

今まで、永い間試合に出ていますが初めてでしたね。

200Mで皆より50M以上遅れて泳ぎ、拍手

されるより、次の組の男性と一緒に泳いでいる方が、注目もされずに気楽に泳いで良いのではないかというのがスタート待ちしている選手の感想でしたね。

②神奈川県もレベルが高くなりなかなかメダルが取れなくなりました。

金は嶋田さんの1バタと2個メの2個だけでした。男性は田淵さんの1バタの銅1個と200メドレーの銅だけでした。

メダルは保管するのも大変ですが、取れないとなると寂しいものですね。

③参加賞はバッジとか水泳の小物が従来はありましたが、今年は「がんばろうニッポン！」ということで岩手名物南部せんべいでした。少しでも貢献できるのは良いですね。

また会場ではがんばろうニッポンの東北の物産展が開催されており、これもなかなかの評判でしたね。

3月13日が神奈川マスターズ短水路大会が計画されていましたが、震災のため中止になり、エントリーフィーは即全額寄付しました。そのときから神奈川水連は震災対応をしていましたね。

④数時間掛けて埼玉県へ帰る武政君を空腹で帰すわけにもいかんだろうということで簡単な反省会をしましたが、解散した時には、残暑は厳しいのですべて夏バージョンですが、この時間でこんなに薄暗いのかと確実に秋の気配を感じましたね。



田淵五郎	[75]	50M背泳	⑤	46-37
"	"	100M背泳	③	1-47-09
岡見晴児	[75]	50M背泳	⑦	48-17
"	"	100M背泳	④	1-52-94
丸山卓也	[70]	50M平泳	⑥	46-89
武政英幸	[70]	200M個メ	⑥	3-39-91
井上隆史	[70]	50M背泳	⑤	45-16
"	"	50M蝶泳	④	46-89
"	"	200M個メ	⑦	3-44-46
呉竹正人	[50]	200M背泳	④	3-45-29
嶋田陽子	[50]	100M蝶泳	①	1-32-62
"	"	200M個メ	①	3-21-27
呉竹・丸山・武政・井上	[240]	200M外レー ル	③	2-45-29

2011スポーツ報知マスターズ

9月19日 大阪プール L

安茂 弘	[70]	50M平泳	③	44-36
"	"	100M平泳	②	1-37-80
平石 康	[55]	100M平泳	⑥	1-36-91

レインボーカップマスターズ 2011

9月23日～25日 日本ガイシアリーナ L

丸山卓也	[70]	50M平泳	⑫	48-17
安茂 弘	[70]	50M平泳	⑦	44-99
"	["]	100M平泳	⑤	1-40-00
"	["]	200M平泳	④	3-37-77
"	["]	50M蝶泳	⑤	42-52
"	["]	100M蝶泳	③	1-49-94
手嶋忠之	[65]	50Mフリー	⑫	34-94
"	["]	100Mフリー	⑨	1-21-94
"	["]	50M背泳	⑥	45-96
"	["]	100M背泳	④	1-40-93
慈幸弘樹	[55]	200M個メ	③	3-02-56

ウーマンズ・スイム・フェスティバル

10月1日～2日 千葉県国際水泳場 L

嶋田陽子	[50]	100M背泳	⑬	1-40-55
"	["]	200M個メ	⑤	3-27-26

第 15 回千葉マスターズ

10月15日～16日 千葉県国際総合水泳場

佐敷定雄	[60]	50M蝶泳	①	31-59
------	------	-------	---	-------

第 18 回サクラマスターズ

10月29日 横浜国際プール



サクラマスターズが 10 月 30 日(日)に横浜国際プールで開催されました。嶋田(S57)

さんが席を確保すべく朝 7 時 30 分から並びましたが、参加者が多く、椅子席は一杯、ジムにやっと小スペースが確保できたところ
です。

その他に凌泳会からは田淵(S30)さん、岡見(S33)さん、丸山(S38)さん、前田(S40)さん、井上(S37)の計 6 名が参加しました。

100M のメドレーリレーが最初のレースですが、前田さんが 2 ヶ月前に歩道で転んで骨折したので、レースに参加できるかどうか当日にならないと分からない状況でした。前田さんは信号がvariそうなので、急いで渡ろうとして、歩道でスリップして転び、骨折したようです。

ロッカールームへの階段では手すりを持ってやっと歩ける状態ですし、針金の入っている膝を見るとかなり腫れておりますので、これは出場は無理の感じでした。しかし、お医者さんも出場を駄目とは言わないし、ゆっくりと動かすならこれもリハビリのうちということで、レースに出場しました。

無事完泳して、280 歳区分で大会記録の更新は出来ませんでしたが見事金メダルを獲得しました。

我々の世代は「転ぶな、風邪引くな、義理を欠け」を合言葉にしております。

このようなことは誰にでも起こりうることで、皆さんも十分に注意をする必要がありますね。

現役時代はスピードは命とばかりに、何事も急いで処理する必要がありましたが、こ

れからは、少しゆったりと時間を使い生活を
楽しみたいものですね。

水泳の試合も長距離に挑戦するのも面白
いかなあと話し合った次第です。

(嶋田さんの隣りは凌泳レディースの候補
者です?)(井上 隆史・昭37)

田淵五郎	[75]	25M背泳	①	20-02
"	"	100M背泳	①	1-42-67
岡見晴児	[75]	25M背泳	③	20-99
"	"	50M背泳	②	47-32
井上隆史	[70]	25Mフリースタイル	④	15-94
"	"	50M蝶泳	③	47-41
前田和秀	[65]	25M背泳	⑥	25-61
嶋田陽子	[50]	200M個人メドレー	①	3-13-02
田淵・丸山 井上・前田	[280]	100M外レー ル	①	1-19-27

第13回オールマスターズ スイミングフェスティバル

11月19日～20日 鈴鹿スポーツガーデン

安茂 弘	[70]	50M平泳	③	43-19
"	"	100M平泳	②	1-34-04
"	"	200M平泳	③	3-33-52
"	"	100M個人メドレー	⑥	1-33-69

第56回セントラルマスターズ 長水路大会

11月23日 辰巳国際水泳場

11月23日辰巳国際プール(長水路)で
今年最後のレースでした。50m背泳ぎ48”

21で2位、50m自由形44”15で7位の成
績でした。

背泳ぎでは前後半オープンペースの泳ぎ
を試みましたが、後になって考えると前半も
う少し飛ばせたなという思いもあり、ペース
配分はなかなか難しいものですね。来年の
課題となりました。いい改善方法あれば教
えてください。

自由形のレースは今年初めてだったので、
スタートはぶっつけ本番、ビートもうまく打て
ません。しかし面白いので腰の調子さえ良
ければ、来年は100mに挑戦したいと思っ
ています。

今年のマスターズも終わりました。タイム
は年々遅くなりますが、泳ぐ楽しみは年を
取るごとに増してきます。これも凌泳のみな
さんのおかげです。ありがとう。来年も元氣
で泳ぎましょう。(岡見 晴児・昭33)

岡見晴児	[75]	50Mフリースタイル	⑦	44-16
"	"	50M背泳	②	48-21

KAKAGAWA マスターズ 2011

12月11日 平荘湖アクア交流館

平石 康	[55]	25M平泳	③	18-65
"	"	100M平泳	①	1-33-40

会員からのお便り

【総会】

柳田 泰義 部長

附属小学校の行動ため、残念ですが
出席させて頂きました。

4月より、定年まで2年間に附属幼稚園長、
小学校長を兼任することになり、皆様には
おしくご理解くださいたいようにお願い
申し上げます。

山本 幸夫(昭27)

この3~4年同体期とくし各税合
のへの参加と夫礼とて盛つてあり
つて今回と去年とせし便り
新いとは今年度合身付全
に詳細説明書並に銀行振込用紙と
向う欲するの速し便工に
申す。

富中 暁(昭18)

夫、富中 暁は平成23年
1月28日逝去致しました。
昨年8月10日長野運動公園の
大会、折は、皆様の「厚意」を
じからよるこんで居りました。
お世話にはなりました。
ありがたうございます。

富中 好枝

岡澤 幹夫(昭29)

相変わらず週3~4回のフットボール
には続けています。

堂本 直正(昭30)

水泳会の益々の繁栄に
期待しております。

荻野 茂希(昭18)

年齢をとりよしの外土す
ことが少くなりました。

自分の高や池で野草
や池を咲かせて愉んでいる。
一緒に泳いだりお風呂と
之くおられ淋しい限りです

佐藤 一夫(昭30)

春光の記録から²⁰²³年
も記録に期待でき
るでしょう。楽しんで
います。

田淵 五郎(昭30)

出席できなくて済みません。
何とか泳いで居ります。
皆様 順調なシーズンスタートと
切られたことと思っております。
関東支部夏季総会は7月5日(火)
に予定しております。

橋本 力(昭30)

長らくご無沙汰をしております。
会員諸氏のご健康
と現役諸君のご活躍を
お祈りいたします。

岡見 晴児(昭33)

相変わらずプールに通い、例年
と同様ようにマスタースの大会
に出ています。長い距離(100m)
はハードですが下地……。
ご盛会をお祈ります。

高橋 靖周(昭33)

今年76歳になりました。6月には車輪を
退任し、杖杖に任ります。毎月の水泳をお蔭に
元気です。

昭和33年入水以来、演習会大分支部
お世話になっております。
演習会は、折用のため、今年も出席
できません。ご寛恕ください。
ご盛会にお祈りいたします。

石本 茂樹(昭33)

目眩、腰痛、パーキンソン病候群の
運動障害で杖を杖ってリハビリ科へ
行ってあります。内臓の方は元気に
行っております。

谷 和朗(昭34)

水には無縁の生活をしておりますが、
今も健康に遊んでおります。
盛会をお祈ります。

榮川 泰介(昭34)

今年一杯で現役を
引くつもりです。

河村 雍彦(昭34)

演習会のお盛会をお祈
りいたします。皆様には
お返さす。

小郷 讓(昭35)

口先は遠者ですが
耳が少し弱くなりました。

今中 進(昭35)

右膝痛のため加療中

原 謙三(昭35)

74才になりましたが、この冬には
10日余りスキーに参りました。

今頃は、何の気にも過して
おりませう。

神大水泳部の 益々の発展
を祈念いたしておきます。

岡田 重義(昭37)

教室、研究室などでは、
運動の活動が、又、学術的「+」に
身をつけて、新年の11-21を自満の
下とし。

水泳の(個人)競技のようでは、4-
7月まであるので、経験は人格
形を以て意義あると思ひます。

高岡 保宏(昭37)

清静な流るる水は、
冬の先鋒があり、失脚出陣せん
皆様のよろこばしき下とし。

米田 啓祐(昭37)

凌泳会HPの最初の方を見まし
た。とてもいいですね。なつかしい
ルールがあり「管」に育つたか
となり心にひびいてきます。

「マスターズ」のページ、協力
していただきと思っております。

井上 隆史(昭37)

いよいよ水泳の本格的なシーズンに
なりました。現役諸君の記録には
驚いて期待していますが、他の学校も
強くなっているのにはビックリです。

ご盛会をお祈り致します

萩原 武(昭37)

無益絶望の毎日でも、
おれた健康のおかげで、
元気に過ごしています。

太平洋戦争の敗戦にも
不屈の精神、
今日も、
水泳部の発展を
祈念いたします。
皆様のご活躍を
祈念いたします。

山田 貴彦(昭37)

数年おきに心筋梗塞を患ってから
水泳もまよならず、孫と犬との
散歩などで精気上養っています。

凌泳会の発展と現役諸君の
活躍を祈っております。

藤岡 治男(昭38)

又席ばかりで中々ありません
羊合もありませんので、役職も
ろくろに依頼を以て大変です。

丸山 卓也(昭38)

今年もマスターズ出場予定に
あります。参加するのに意義感
は年により長く出場したいもの
思っております。

諸君のご健康を祈りに
おります。

林 莊八郎(昭38)

現役諸君の今年の一年の活躍を
祈っています。

遠方のため欠席しますが
娘会、懇親会、盛会を
祈っています。

鈴木 正弥(昭39)

遠路のため、欠席します。

今年ごちねを迎えますが、太極拳
・ゴルフ・大の散歩などで
何とか元気にたっています。

武政 英幸(昭39)

マスターズ水泳を続けること
で現役とつながっている
気分です。それにはもう
800Mリレーで8分を大中に
切るのには驚くはかりです。

滝沢 章三(昭39)

東京日比谷の特別地下2階にある
東京凌瀬クラブは一般社団法人
神户大学東麻六甲クラブにて新発足
しました。会員制で、凌瀬会員の枚
は従来通りの会費納入方法で継続
されます。それ以外の学都出身の方
はぜひ会員登録して下さい。
ホームページは神户大学東麻六甲クラブです。

安茂 弘(昭39)

自治会の行事とかさなり出席でき
ません。高速水着が使用できなく
なり、体力もあせてきて、タイムが
下ってきていますが、変りなく泳
いでいます。

前田 和秀(昭40)

大急ぎで道にります。7月のスイムと
水泳のタイムは悪くなる一方です。
現役諸君の今年一年の活躍と盛会
を願っています。

丸山 晁也(昭40)

親戚の志望の理由出席不能
です。愛いへさす。

友かたさあ、水泳と水泳は
続ける。4回/週です。
節心配なく。

手嶋 忠之(昭41)

総会には、欠席の多い中、又列子
せん。今年の福水路マスタ-2km。地方
安城市の大会に参加。大会一直
岸に左肩の痛く。5km79-80km出場
。この大会は、昨年より2倍近く通
。今年の、平二厚の大会で。

宮部 高博(昭42)

六甲台の長い山行を終せん。
おひん。私の記憶は、遠くまで、
。今や阪急で、大阪と神戸を往來
。この年、何処かあるまで、
。車窓から、大層の、自然に、
。この年、皆、
。下さる。

玉置 明(昭45)

昨年より、リタイア人生に、
結構忙しい毎日です。
。又、振りに、水泳マスタ-ズに、
。水泳会行事にも、
。楽しんで、います。

以西 吉一(昭45)

寄る年波には、勝れません。水泳は、
。2年寄、ゴルフと散歩に、
。運動不足解
。消さ任せて、います。
。聖会を、
。行な、います。

井上与志男(昭45)

東日本、特に東北の惨状を、
。見て、
。自然の力、
。で、
。自分達、
。どう、
。人類の歴史、
。あり、
。平和に、
。いる、

大橋 進(昭46)

仕事の都合で、
。下、
。2月、
。全、

得丸 哲士(昭46)

水泳生活は、
。週、
。腰痛のため、
。仕事と水泳と、
。幸、

岩切 博(昭46)

広島に、

佐敷 定雄(昭49)

今年の活躍を祈念します。
漫泳90周年の良き年にしま
しう。東日本大震災の志を
らぬ年になりました。
元気を与えて下さる。

平石 康(昭53)

当日は学校の運動会とちょうど重なりますのですみませ
ん。ご盛会をお祈りいたします。只今、抽選待ちの神戸マ
ラソンに向けてトレーニング中。はずれたらどうしよう。マス
ターズ水泳も今年から55才~60才の部で復帰しました。
現役たち！ボランティアで東北へ行けよ！

桑本 万里(昭55)

お相. 職場のバレーボール大会が
あり、何時にか行かれません。
まだ参加できる日を楽しみにして
漫泳会に
お電話に付しておきます。いつかお話し
しよう。
今年、春に臨時講師として小学校に
復帰し、そのお仕事をしています。元気が
あつたら、お返事をいたします。いつか
お話ししよう。

土井 祐二(昭55)

埼玉県に居るので何か忙しいです。
ご出席の皆様にお礼を申し上げます。

上田 剛弘(昭56)

大変ご無沙汰しております。
当日は、早く行事の準備が済んでいません。遅延
を祈念申し上げます。
私は、教育委員会委員とむかし、予て2人で
存続の力を注いでいます。親子ともに教育委員
会の中に入ります。
子どもは親戚から預けられています。漫泳会に
参加の機会をいただいております。お話しは
漫遊会、いかにして見ようかと。

藤田 弥門(昭57)

4月末に29年勤めた日本HPを退職し、日本オカル
トのギョウバースやハードウェアを作っている同じIT会社
に5月に入社しました。
今もHPのHPにまつお話をいろいろと、新しい
連絡先への登録変更をお願いいたします。

金 一波(昭58)

今年度もイカレ、全国公認めて
がんばって下さい。
手帳に幸部OB. OGのお子さん、
現役時代を思い出して、漫遊会
並に現役部員のお礼を申し上げます。
お礼いたします。

杉野 誓(昭58)

欠席ばかりで申し訳ありません
(土曜日が休みとはなっています...)

久保田勝巳(昭59)

昨年の5月から水泳を再開し、毎週2、4回
泳いでいます。

谷水 利行(昭59)

福岡在住23年になります。
昨年は藤田駅内・浦野敏
明化の語りを受けました。来
福の折はご連絡下さい。

浦野 敏明(昭60)

東日本大震災で被害に遭われた方々に
心よりお見舞い申し上げます。
私も台場の東京ビッグサイト付近中に遭い、25km
の道のりを歩き最後10kmは京浜線が断れたため
歩いて帰りました。道中燃えたと匂いもあつた歩
人々の姿と休憩場所や水を提供している方々を
見て、日本人了不起!と思いました。
水泳の練習場所が見つめにくかり、街が暗か
ら(物理的に)不便は続きますが、笑顔で
生活したいと思います。

吉田不二彦(昭60)

日本語教師として外国人留学生
を研修生本員に指導しています。
夜は兵庫教育大学大学院生
として修士課程に組み組んで
います。予定では、2年後海外
の大学院で日本語を専攻している予定

渡辺久美子(昭61)

現在は週に一度、上智大学の生活学習コース
で日英同時通訳のクラス通っています。

黒川 良介(昭61)

40才です。そろそろ寿命を延ばすために、
泳ぎを始めたいという思いはありますが、
なかなか時間コントロールができません。

徳永 守(昭63)

震災後、関西、四国、沖縄と
避難にありました。

今は、東京に戻っています。

東京電力の成田君が、大変な状況の中
奮闘(いそいそ)と見えます。
頑張ってください!

甲野 賢(昭63)

元文士

坂田 亨(昭63)

執筆の疲れ様&案内ありがとうございました

黒田 茂(平元)

(しばらくご無沙汰しており、申し訳ありません。
現在、仙台に赴任して3年目です。
色々ありますが当面元氣にやっております。
当日が御盛会となりますように、お祈り申し上げます。
現役の皆様、長シーズンもお疲れ下さい。
頑張ってください!

奥村 直樹(平元)

現役の皆様、今シーズンも頑張ってください。

盛会をお祈り申し上げます。

村田 功(平2)

大阪から高知に転勤となりました。
住所変更お願ひします。

上山 敏正(平6)

東京勤務 8年目です。なかなか関西に
戻れません。

盛会も初をいたします。

安井 努(平8)



恵美 裕(平9)

4月より 海上勤務から
陸上(東京)勤務となりました。

井村 大智(平11)

が近くに住んでいますが、所用で
欠席させていただきます。

大震災で「なるから」皆様の
生活にも影響があることですが、
スポーツは心を元気にしてくれ。
現役の皆様の「ご活躍」を期待
しています。

土井 祥宏(平11)

ベストを目指して
頑張ってます。

森山 匠(平12)

皆様の御活躍をふりかえり申し上げます。

岡部 達也(平12)

現役のみならず、ご活躍
されているようで何よりです。
学生生活を、精一杯
楽しいものにして下さい!!

米田 晃士(平17)

元気にしてよ〜!!

井領 祐介(平19)

現在日本丸に乗っております。
現役の皆様のご活躍を速くご応援して
います。

土方 了輝(平21)

めきり泳いでおりません。
それでも心は常に水泳部と
共に。

井上 陽介(平22)

競泳・水球が共にインカレ出場
を待ちをお待ちしております。

北野 達也(平22)

教職大学院 M2 をしています。
現在 小学校で 35日間の実習中
です。

【凌泳90周年記念全国大会】

従来は近況などが記されているお便りのみ紹介しておりましたが、今回は90周年へのお祝いなど多数寄せられましたので、出欠の挨拶のみの方も掲載しております。

荻野 茂希(昭18)

90才と載るには流石で外主するとは
少なすぎた。
水泳部の三年間、懐しく過すとは
よい思い出になります。
現役のオスの活躍を期待
しております。

中崎日出男(昭24)

中学はプールがない水泳部で加古川で
泳いでました。予科士官学校は沼津海岸
航空士官学校は入間川が夏の練習場
で神戸聖済大学でプールで泳ぐと思
水泳部に入りました。進駐軍に
挨拶と、在学中六甲台プール
は、だらけ珍しい凌泳会員が入り
ました。

石井 義章(昭27)

大正6年、白山源三郎氏が、翌7年野田曾一氏が神戸
高商に入学、共に自由形の名手であった。それまで敏馬
の浜で専ら遠泳に励んでいた河童達は俄然競泳に目覚
め、青谷の池に杭を打ちスタート台を作り練習に励んだ。
その内泳力を試さんと、大阪高商に挑戦状を送り交渉、
大正9年9月12日茨木中学校のプールを借りて第1回の
阪神高商戦が実現した。これを契機に翌10年、校友会
から水泳部の独立が公認された。
この大正10年を凌泳会発足の年と定めた。
凌泳会90周年を壽ぎ益々の発展を祈る。

遠山 節空朗(昭29)

御盛会をお祈り致しております。

岡澤 幹夫(昭29)

週3回ほどのプール通いは続けて
います。最近では遠出の遠征も1回
又耳も聴えづらくなっております。
今回の大会は欠席とさせて頂き、
500円のお便りは10円まで好
みます。

佐藤 一夫(昭30)

90年の伝統に敬意を込めて、
おめでとうございます。水泳部の強大な
陣容に、先輩の一人として
誠に誇らしく、盛大な賛辞
を呈します。(心から)

橋本 力(昭30)

20年前の70年史の編集には、
三宅、石井両先輩のお手伝いで
同期の田沢、佐藤、堂本と
とも参加させて頂いたことが懐
しく思い出します。当時の
小山先輩は実に偉大でした。

村田 邦夫(昭30)

お祈り致します。
皆様のお盛会をお祈り
致します。

田淵 五郎(昭33)

伝統を培って来た
諸先輩に感謝。更に今後
の浸泳会の発展に皆の
総力を結集しよう。

堂本 直正(昭30)

足が弱くなり、歩くのが苦労している
脈合で、欠席させていただきます。
当日の盛会を祈ります。
皆様様に宜しく。

石本 茂樹(昭33)

記念グッズ フォルダ等といたす。
寄付は 9千円 (3千円)

岡見 晴児(昭33)

プールの中では 芝草
元気がすが、陸に上ると
カッパリです。い盛会を
祈ります。

榮川 泰介(昭34)

節目の年ながら、前回の予定
があり、残念ながら欠席致します。
特に学長時代の若林先生の
思い出も多く、申訳ありません
盛会を祈っています。

河村 雍彦(昭34)

通事係の申しわけありません。
当日はどうしても都合が
つかず申しわけありませんが、
欠席させていただきます。
皆様によろしくお祈り
致します。

岡村 司(昭34)

90周年おめでとう！ 浸泳90年の歴
史の流れの中、^{昭和}年間を浸泳の一員
として過ごせたことに改めて誇りを
感じている。OB、現役全ての方に
感謝！

原 謙三(昭35)

90周年おめでとうございませう。
私はこの7月医療保険でいうところの「後期
高齢者」と相成りました。山登り、釣り、スノー
ボードなど元気に遊ばせておきます。
6月～7月にかけての神大公園雑遊(Euro園)の
際、正面奥西側に竜舌蘭が見事な花に
見付けました。8年生の私が在学中
に植付けたゆえに雨か、一茎に一花の
花を付けていたので、感心既深く
一ヶ月に亘って見守りました。
浸泳会の趣意のご隆昌を祈ります。

小郷 讓(昭35)

先週子供や孫連七人で島根県
北海岸の海岸で一緒に泳いだりもした
と聞いてきました。子供孫が大人
になるまで一緒に泳ぐことになり
水泳をやっていた条うしつてはあつた。

宇賀 史郎(昭35)

90周年 おめでとうございます。
現役の件に40周年だ、と
思っています。
現役の皆様のご活躍
祈っております

野田 浩志(昭36)

10年、20年、30年、40年、50年と又
と刻人がこれに先輩と思ひ感慨
に浸っています。
現役諸君！ 次の100年は君達
の番です。

米田 啓祐(昭37)

今日は都合がつかず欠席します。
100周年の時は、今から言うと
笑われますが、ぜひ元気に参加
したいと思っております。

萩原 武(昭37)

水泳会 90年の歴史を重く感じます。
支え下さる皆様への感謝を込めて。
その中で、現役は競泳、水球と情熱を傾け
神大水泳部へ名を高く掲げ下下さる皆様
に改めて感謝を覚えます。
渡津会より永遠なれ!!

井上 隆史(昭37)

90周年記念大会に参加出来る
喜びを感じています。これから1年
1年と積み重ねる努力が必要ですね
期待しております

山田 貴彦(昭37)

水泳会のみすへの発展と
水泳部のご活躍をいっしょ
お祈り申し上げます。

竹元 忠彬(昭37)

残念な欠席致します。
盛会をお祈り致します。

岡田 重義(昭37)

90年を振り返ると先づ先輩の
意を解いて継続出来ることを祈ります。

藤岡 治男(昭38)

70歳を過ぎると体のあちらこちらに
障害が出て来て困っております。
ご参加の皆様によろしくお返す所。

平岡 昭朗(昭38)

残念ながら私用があつて出席できません。ご盛會
を祈ると共に現役諸氏のご活躍をお祈りします。

荒井 康之(昭38)

90周年おめでとう。
35名有る伝統を存続させて
下す。
(駒尾が、9月24日は、関東地方では
土曜日となっていますが、……)

林 莊八郎(昭38)

記念大会の盛大に挙行されまよう
祈っています。
水泳部に心身を鍛えられ、友人知人の
人脈が広がったことを思い
感謝の念でいっぱいです。
遠征のため大会には欠席です。

滝沢 章三(昭39)

せいかくの御企画ですか、当日看診
がうきません。申し訳ありませんが
欠席いたします。

武政 英幸(昭39)

現役諸君の活躍振り
好みにハ驚くばかりです。
マスターズスズーにて拍車を
贈ります。

安茂 弘(昭39)

ラインボーカップ"マスターズ"(9/23~25)
に出場のため 出席出来ません。
盛衰をお祈りします。

鈴木 正弥(昭39)

90周年記念全口大会を祝します。
遠路のため、欠席します。
9月4日の横浜口際プールでは
仁カレには応援に加わらず
予定通り。その時に久し振りに
現役の皆と懇談するの
楽しみにしています。

丸山 昱也(昭40)

前回の70周年から20年と
経たぬに驚きです。
昔の仲間と会ふことと楽しみに
しています。
幹事役には御苦労です。

前田 和秀(昭40)

90周年おめでとうございませう。卒業40年、よく
伝統を承継してくれと感無量です。
また、現役の仕事、マスターズ、ゴルフ、旅行と
人生を楽しみ、又おぼろしい先輩後輩との会
ぶせて度々しているのも水泳部のおかげだと
感謝している次第です。
90周年記念大会の盛衰を願っています。

手嶋 忠之(昭41)

水泳会90周年おめでとうございませう。20年と
50年近く経ちました。その間に
盛衰は保たれておりました。大会日には、
ラインボーカップ"マスターズ"に出場のため
欠席させていただきます。

真喜志好一(昭41)

フェルは現在まで大甲台に
あるのではありませんか。
泳ぐのは海でフカフカ
浮いているくらいなので、
XマスTマスにはTより浮く

中畑 勝明(昭41)

今年で卒業45年になりますので、水泳部は在部
にいたのは約45年前ということになります。
月日の経つのは早いのでつくづく思います。
練習フェルは今年同じで下か。当時の部員も今と
は多少少く感じています。12月の大会はか
と思います。40周年記念大会には非常に
校舎で文席まで見て頂く
金の盆と現役諸君の活躍を
百折りにして。

宮部 高博(昭42)

私の卒業は45年目です。~~卒業~~卒業半分の
の厂史が経て済みます。神大の史は
このように甘くしていいか? OB会では
でお聞きしたいところか。決して
恵水に環境でなければ
ようでもネ 部が栄誉を
お祈り致します。

阿部 洋三(昭42)

卒業してから40年以上と経りますが相
も変らず「極(?)」のバタフライを求めて泳
いでいます。退屈してからまたなつて泳
泳法を再研究しています。現在の興味
は「タイムマシンがあるなら」です。

玉置 明(昭45)

主席を承す申請ありせし、
今年、一橋大(山平)のヨシ高史典
大塚に行きました。大変楽しかった
です。これからはまた
参加の機会あります。

井上与志男(昭45)

一期一会、神大水泳部に入部し
たのも何の縁。多岐の方との出会い
と今有難く感謝します。
古林喜栄先生との出会いは特別。
浪浪で深い行家は今も心に
思い出されます。

以西 吉一(昭45)

当日、城南高校同窓会と重なり、
先約で「私の」残念ながら欠席
します。盛会を祈念致します。

得丸 哲士(昭46)

水泳会の90周年をお祝い申し上げます。
最近の記録を見ていますと我々の時代
では考えられない、凄まじいタイムです。
選手層も厚くなり毎年より強い選手が
登場してくることを心強く感じます
これからの練習に励み、更なる記録
の挑戦して下さい。
意気創造、挑戦貫徹、感謝・祈念

大橋 進(昭46)

六甲台のプールに浄化装置
がついて きれいな水で泳
げることの感謝を、思い出
ます。

長谷川 健(昭49)

勤務先の行事と重なり出席出来なく
なりました。立場上からも
大変申し訳なく思っています。
盛会をお祈り致します。
出席の皆様様に宜しく
お伝え下さい。

藤森 一男(昭50)

現役時代の20才の時、凌泳会は50
周年でした。それから40年……
凌泳会は90周年になり、私は還暦を
迎えました。

松山 玄彦(昭51)

90周年おめでとうです。

当日は出席できずとごまかして、盛大な

ご馳になることとごめんなさる。

平石 康(昭53)

凌泳会 90周年おめでとうです。
私自身が、泳を素晴らしい歴史のある
組織の中身をおいては誇りに思
います。今更凌泳会を愛して泳ぐ方に
感謝いたします。
不甲マラソン完走です!!
(編1回) (11月20日)

酒井 正人(昭53)

卒部30余年、今に、水泳とは縁の切
れぬ生活を送っている私ですが、水泳
と関わる事がいかに自身の心の支
となり健康維持につながっているかを
痛感します。水泳部及び
凌泳会の増えの発展
をお祈りいたします。

慈幸 弘樹(昭55)

並日、仕事のため残念ですが欠席
させていただきます。御出席の皆様
にお礼をお伝えします。
盛会をお祈りです。

土井 祐二(昭55)・土井 紀子(昭57)

なかなか出席できず申し訳ありません。
血圧を下げるため walking の毎日。
単身赴任も長く、体調管理が
大変です。皆様のご活躍を
お祈り申し上げます!

上田 剛弘(昭56)

凌泳会 90周年記念大会の企画ありがとうございます。喜
んで出席させていただきます。また、当日、田口信教先
生もお越しになられるとのこと感慨深いものがあります。
思えばミュンヘンオリンピックで泳法違反の汚名を一気に
返上すつような見事な金メダルと世界新記録の樹立、そ
して古林喜楽先生の追悼式にはわざわざ神戸大学まで
お越しいただき、当時は大学生であった私達と親しくお
話をいただいた記憶が昨日のようによみがえってきます。
六甲台で往年の先輩・同僚・後輩と出会い、30年前にタ
イムトラベルできることを楽しみにしています。
最後になりましたが、この大会の準備にいろいろと汗を流
していただいた諸先輩並びに現役の皆様には心からお
礼申し上げます。

山本 隆(昭56)

近くにおやすみお出陣おめでとうございます
残念です
盛会をお祈りします

嶋田 陽子(昭57)

ご案内、ありがとうございます。
盛会をお祈りしています。

金 一波(昭58)

90周年 おめでとうございます。
100周年に向け、現役は村村の精進
を。OB各位は健康に留意され
増スのご健勝と、水泳部へのお力をお
ご支援にお祈りいたします。

長崎 真人(昭59)

準備お疲れ様です。
多くの先輩・後輩の皆様とのお会いを楽しみに
しております

山野 和則(昭59)

水泳会90周年記念全国大会が盛会の元で開催されますことをお喜び申し
上げます。

90年にわたる歴史は大先輩方の本会に対する熱い思いに支えられてきた
たまものと考えますと感慨深いものがあります。また我々後輩もこれからも
引き続き歴史を紡いでいかなければという思いを痛感します。

私事ながらこの11月に開催されます神戸マラソンにチャレンジいたします。
50歳にして初マラソンに挑戦できるのもマスターズ水泳で維持してきた体
力のおかげです。

これからも水泳会会員としてマスターズ水泳大会には生力現役として参加
していきたいと思っております。会場で皆様方にお会いできることを楽しみに
しております。

谷水 利行(昭59)

90周年おめでとうございます。
ますます継続の力ですね。
次の10年や充実した歳月に
なることを祈ります。

浦野 敏明(昭60)

90周年とは長い歴史を感じます。その中で
私もいつかと思うと感懐です。
学生時代の水泳部での経験、出来事は今でも
鮮明に覚えている事が多いです。社会人にならぬ
ことはみんな忘れていたのに不思議です。
当日、同期、先輩、後輩と皆様に
会えぬと楽しみにしています。

吉田 不二彦(昭60)

ご盛会をお祈り
します！

池辺 正雄(昭60)

全国大会の日、用事があるため出席
できません。すみません。
皆様によろしくお伝え下さい。

渡辺久美子(昭61)

90周年おめでとうございます！
先月の上海での「世界水泳」をTV観戦しながら、
解説の高橋繁浩さんにオーストラリアのサイエ
もつたにこれ思い出してしまいました！
(もう25年以上前のことだから……)
来年のロンドンオリンピックも楽しみます。

松本 典子(昭61)

凌泳会創立 90周年 おめでとございます。
毎年度、頂いた、この凌泳誌を懐しく思
いながら拝読して、いつも御無沙汰がかり
で、申し訳ありません。当日、出勤日なので、
TI人か、ヤリくりして、皆様に お会いできなくて
思っています。幹事の皆様、学生の皆さん
ご苦労様です。ご盛会 お祈り申し
あげます。

大島磨智子(昭62)

盛会にお祈りいたします。

三好 岳(昭62)

90周年、お二事です。毎回高願も出ます。
また、今回も所用で、欠席となり申し訳
ないです。すっか、水着に、なる事もあり
ませんが、体には、あつた、お二事、へき年代
になりました。
当日の、ご盛会を、お祈りして、お祈ります。

日比 勝巳(昭62)

90周年 おめでと
ございます。
100周年に向けて、新たな
伝統を創って、いさまよう。

近藤直明・近藤えり(昭63)

遠方のため、出席できませんが
ご盛会を祈念、いたします。

加地 恵(昭63)

凌泳会90周年記念全国大会 おめでと
ございます。
永らくご無沙汰して、ありまして、
今年、は、5才の娘と、ともに、出席させ
たいと思っております。皆様、にお会い
する、楽しみに、しております。

坂田 亨(昭63)

幹事様 お疲れ様です。

奥村 直樹(平元)

90周年記念全国大会 開催
おめでとございます。
当日は、他用あり、残念乍ら、出席できず
が、本州の、端より、盛会を
お祈り申し上げます。

西村 美和(平元)・西村 尚(平6)

当日都合が、つきれ、ら
出席して、い、思っています。
よろしく、お願いいたします。

羽瀬 智文(平2)

当日、楽しみに、いたします。

村田 功(平2)

90周年おめでとございます。
遠方のため、欠席といたします。

加藤 有道・加藤由里子(平4)

90周年おめでとうございませう。
今後も水泳部の活躍を期待
してございませう。

松下 直子(平6)

おめでとうございます
松下直子

小南美穂子(平7)

せっかくの機会ですが、あいにく
当日は予定が入っておりまして
参加できず申し訳ございません。
ご盛会をお祈りしております。
後輩の皆様のご活躍ぶり
後援等ご拝見し頼もしく
思っております。来シーズンのご健闘を
お祈りしております。

諫山 大介(平9)

90周年おめでとうございませう。
水泳部のご発展をお祈り
いたします。

田所 照代(平10)

90周年の記念に念に参加できず申し訳ございません。
記念大会のご盛況をお祝い申し上げます。

井村 大智(平11)

近くにいるから参加できず申し訳
ありません。
最近、泳泳を語り近可機会が
ありません。
現役当時の
した。読み終り、たとき、当時のチームメイト
飲みたて、思わず電話をかけ
ました。
仲間を創った神戸水泳部に
感謝です。

高橋 克哉(平15)

90周年おめでとうございませう。
長期出張中につき、欠席した
いたたきませう。
益々のご活躍を祈念しております。

濱本 有紀(平19)

皆様、元気に活躍されている
より何よりです。
私も自己ベスト目指して
修業中です!!

田中 宗親(平19)

昨年に引をうけ参加させてもらいます。
多くの方と交流できることを楽しみに
しています。

加藤 亮二(平20)

神戸大学体育会水泳部、ますますのご盛況
を心よりお慶び申し上げます。

亮二(平20)のNTAU修業中のため、代筆してお祈り

西澤 翔(平21)

90周年おめでとうございます!!!
倉口の、神大水泳部の活躍、
倉口の、平成身流泳衣展の成功、
世界の海より、バカら
願い、祈っております。09年 西澤

芝井 隆(平21)

後藤君、主務おつかれ様。
アメリカは元気よ、てすね。
全国制覇

土方 了輝(平21)

ここ数年で現役の選手の活躍が
めざましく、大変嬉しい反面少し寂しい
です。100周年記念では、その選手たち
と仲良く語り合えるよう、90周年で交流
を深めたいと思います。

井上 陽介(平22)

90周年おめでとうございます。
関西に参りました際は
寄らせていただきたく思いますので、
よろしくお願い致します。

加藤 優(平23)

今年の夏は楽しませていただきました。
90周年にふさわしい夏だ、たのびたいで
しょうか。来年の活躍も、今から楽しみに
しております。応援行きます。

ご寄稿をお待ちしています！

同期会の報告、他大学OB・OGとの交流、現役へのメッセージなど、どしどしご寄稿ください。

■メールでの寄稿

Microsoft Wordで作成し、メールに添付して下記までお送りください。

kawamoto_noriko@cosmopolis.co.jp 川本典子 宛て

別途写真添付の場合はjpgをお願いします。

■手書き原稿での寄稿

送り先：〒657-0013 神戸市灘区六甲台町2

神戸大学体育会水泳部 凌泳会 宛て

【卒部の辞】

安福 拓斗 農・Fr・元主将



私が水泳を始めたきっかけは、通っていた保育園で近くのスイミングスクールに連れていってもらってからで、気が付けばかれこれ20年間、水泳を続けています。

どちらかというと球技や陸上スポーツが苦手だったこともあり、小学生の間も週に1・2回スイミングスクールに通っていました。

本格的に水泳を競技として始めたのは中学の部活動からです。

当初は、練習メニューのウォーミングアップからサークルを回れず溺れかけたりしていた自分が、曲がりなりにも水泳を続けてこられたのは、部活の顧問、コーチ、先輩、チームメイト等多くの方々との出会いがあったことに他なりません。

これまでの水泳人生を通して、メジャーな

大会での入賞や記録更新等の華やかな足跡を残すまでには至らなかったのは心残りですが、休むことなく常に練習を継続できたこと、試合に臨む際の緊張感、競技を終えた時の充実感と徒労感を体験したこと、中学・高校・大学で主将を務めることができたことが、自分の誇りです。

特に神戸大学水泳部を通して知り合った方々との交流、部活動で経験したチームワークの重要性は私の部活への姿勢を大きく変えました。大学での部活は中学・高校とは異なり、自分たちで主体的に活動し、結果を残すものでした。入部した時には先輩方についていくのが精一杯で自分が何をしているのかもわかっていませんでしたが、部活にも慣れ、次第に周りが見えてくると自分がどんなに面白いこ

とをしているのがわかってきました。自分で自分を高め、自分の力でチームや仲間の向上に少しでも貢献できるという喜びは今でも忘れられません。

これまで部活で色々な仕事をさせてもらい、失敗や成功を繰り返してきましたが、最後の1年間を主将としてチームに貢献できる最高の立場に就かせてもらえたことは本当に感謝しています。主将として「どのように振る舞えば良いか」を自問したこと、任期中に同回生や後輩が楽しそうに部活をしている姿を見られたことは自分自身のかけがえのない財産とな

っています。

今年度を最後に20年間続けてきた水泳という競技に、ピリオドを打ちたいと思います。

これからは、水泳部で得たかけがえのない宝を活かし、社会というコースロープのない広大なプールを競技の場として、大学院での2年間を飛び込みに臨むためのウォーミングアップに充てます。

そして、競泳では達成することが出来なかった標準記録を切るべく、遠い先にあるゴールに向かって邁進していこうと思います。

これを以て、卒部の辞とします。

櫻田 侑佑 工・Bk・元競泳主任



櫻田侑佑です。どうもこんにちは。

というわけで、とうとう僕が卒部の辞を書く時がきてしまいましたね。

信じられないという人もいるでしょう。

そうですね。

ええ、僕もびっくりしています。今もびっくり

しながら書いています。
と文字数稼ぎもほどほどにしておきます。

言いたいことは

4年間なんかすぐに終わるよってこと

いやー早かったです。入部当初のことめっちゃめっちゃ覚えてますからね。

坊主頭がおるッ！とか、でかいなこの人ッ！
て思ったこと。

人一倍記憶を消去する能力が高い僕が言ってるのですから本当です。

でもそんな短い時間ですっごい変われます。
1回生の時の僕を見てる人は特にわかるはずです。

入部当初、神大水泳部なめくさっていた僕が
4回生で主任になってチームがどうたらとか
語るようになるとか誰が想像するでしょうか。
まあ変わらなくていいんです。

とりあえず、密度濃い4年間にして欲しいんです。

中途半端なことすんなよってこと

中途半端なことするってことは、限られた時間を無駄に使うってこと。

そう思ったらそんなことしてる自分に腹が立ちます。

ぼくも1回生の時、ちょっと中途半端なこと
してた時期のこと少しだけ後悔してます。

薄っぺらな4年間になんかしないで欲しいです。

今を生きろってこと

とりあえず行動すること。一生懸命に。

なんか違うことしてたら仲間がなんか言ってくれるはずですよ。たぶん。

意見ぶつけあって、それで真っ直ぐ突っ走ったら良いやん。

それって、すてきやん。

限界を決めないってこと

たぶん正しいことしてたら絶対成長します。でも正しいことをするのが難しいです。

間違ったことしてる自分に気付かないで、伸び悩んでストップしてるそこが自分の限界って思ったらアカンです。

どうやったら成長するんやろ、どこがアカンのやろって考えること。

そこが水泳の面白いとこだと僕は思います。

ONE PIECE を読めってこと

ひとりよがりになるなよってこと。

僕はみんなもわかっている通り喋るのも苦手だし、薄情な人間であります。

そういうわけで安福、後藤を始め同回、先輩に頼りまくってました。

ただ、レースできるだけ多くの点を取ってチームを盛り上げる、チームに貢献する。

僕はこれだと思って頑張ってた。

絶対、長所・短所が人それぞれにあります。

得意なこと、苦手なことがあります。

だから仲間に頼ります。

そして頼られます。

最後に

本当に水泳部入って良かったなって思います。

OB・OGの皆様、そして後輩ども、大変良い経験をさせて頂きとても感謝しています。

ありがとうございました。

4月からは院に進学しますので、また練習とか試合とかに顔出します。

その時はよろしく願います。

追伸

あずにゃん(加藤あずさ)へ。

提出が遅れてしまい申し訳ありませんでした。

また、最初にしょうもないこと書いて文字稼いだ割に 1000 文字いかになくて申し訳ありません。

いつものように蹴るなり殴るなりして頂いて結構です。

以上です。

吉田 俊 経営・Br・元主務



活字に関しては、書くのも読むのも苦手な私ですが、「凌泳」に載せていただけということで、恥ずかしい卒部の辞にならないよう頑

張ってみます。

4年間、自他共に認める「全くたいしたことのない選手」で終わってしまったことは残念に思

います。その割には、周りの人々に本当によくしてもらいました。「周りの方々の導き」という言葉で、私の4年の月日は話せると思います。

1年のとき、水泳を続けることを決めたのは同じ高校の先輩のすすめがあったから。

2年のとき、関西学生で表彰台に立っておいしい思いができたのは特に他のリレーメンバーのおかげ。

3年のとき、主務として日本学生の激励金を集めて、その目標額を大きく超えられたのは凌泳会の皆様のご支援があったから。

4年のとき、最高学年のシーズンに関西国公立、関西学生、全国国公立の全てで前季を上回る総合順位に神戸大学の名前を刻めたのは他のチームメイトのおかげ。

もちろん、以上で挙げたことだけには収まりませんが、私が恵まれた環境の中で水泳部生活を送れたのは確かです。ある先輩に「人間的にも成長したね」という言葉をいただいたのも、間違いなく周りの方々のおかげです。ここまで聞いていると、私の4年間を他力本願の4文字で揶揄されそうですが、私は別に構いません。元々、人見知りで自己主張が苦手な人間なので、チームの顔として引っ張ることもできませんでしたし、競技でも凡人だったのでエースにも当然なれませんでした。ですので、周りから恩恵を受ける代わりに、要所要所

で私にしかできないことをして居場所を見つけるようにしました。よく言えば、「うまいことやった」ということです。同じようなことを違う表現で何度も言っているだけですが、自身の4年間のどの出来事を振り返っても「周りの方々の導き」に帰結します。それが私にとっては大変貴重でありがたい経験だったのです。

3歳から始めた水泳ですが、しばらくは離れて違うスポーツをしたいなと思っています。しかし、これから始まる長い社会人生活をうまいことやっていけるように、神戸大学水泳部の日々を忘れずに糧にしていこうと思います。

さて、後輩の皆さん。水泳部での生活の中で、最初から私のように「うまいことやろう」なんて思わないでください。自分の思い通りになかなかならなくて思い悩んだときに、私のような劣等選手がいたことを思い出してください。それまでは、引退式のときに言った、「いけるときにいっとけ」ということで。

最後になりましたが、今まで面倒を見ていただいた金一波監督・柳田泰義先生・本間正信先生、事あるごとに激励して下さった凌泳会のOB・OGの皆様、共に練習してきたチームメイトのみんな、それぞれに対してお礼を申し上げて締めたいと思います。

ありがとうございました。

渡辺 祥子 発達・Bk



卒部の辞、何書こう…と思って試合のビデオ振り返ってみました。ひどいなあ、クロール。昔から苦手で小学生の頃背泳ぎで1分20秒が切れたぐらいにフリーも同じぐらいで先生があきれていたのを思い出します。

4年分振り返ると、思い出いっぱいですが、特にリレー。最後の夏は全国公で泳げたとか近国で表彰台乗れたと嬉しい思い出がありますが、やはり景子さん、優さん、茜と組んだのが一番心に残ってます。悔しい結果ばかりだったし、私は今よりもっとひねくれ者で色々ありましたが、だからこそ強く響いてます。景子さんは翌年出られないのに、卒論忙しい(っぼい)のに2月まで泳いでくれ、

優さんはチームへの熱い気持ちを教えてくれて、茜とは一番腹割って話せる仲になれたし、腕引っ張ってくれた。最後の記録は幻になっ

たけど、成長のきっかけになりました。あれ無かったら4年目に関国4位とか全国公でリレーなんて言ってなかった！感謝しています。

感謝すべき方々は水泳部で関わった全ての人だと改めて思います。尊敬できる人に出会え、様々なきっかけをもらいました。高校で全然泳いでなくて迷いもあり、何度もくじけました。速い選手でもありませんでした。でも4年間選手として水泳や水泳部と向き合ったり人と関わって得たものは大きく、しんどいことばかりでもどれも笑って話せることで、何より、びびらんと挑戦できる人間に少しは成長できたかなと思います。

監督、先生方、OBの先輩方のおかげで部活ができたことは言うまでもなく、感謝しきれません。佐藤さんはいつも応援に来て下さり、2回生の関国の決勝前に「3位以内で全国公だ」と声をかけていただいたのが嬉しかったで

す。ありがとうございました。歳の近い先輩方には練習でお世話になり、相談乗ってもらったりと多くの方のおかげで卒業の年を迎えられました。ありがとうございます。

さてと、後輩へ。

笑わせてくれて、刺激くれて、困らせてくれて。そんな中 4 回の私のわがままに付き合ってくれた子がいて。この子らのためならプライドなんか捨ててもいいなあと思えて専門外の種目に挑戦できました。でも、本気で勝負したい年にどういう形で勝負するかは大事なことも思いました。専門で勝負することが正解だったかもって迷いました。けど、あの時の私は、この先も女子の“チーム”に戦ってほしいと思って、きっかけ作りたかったのが一番だったので、それでよかったと思います。(今でもつついバック出たかったって言うのは私がひねくれてるから。ごめんね、許して下さい。) 最近の男子の飛躍はすごくてついていくの大

変かもしれないけど、2011 年のシーズンに全国公出られた経験を大切にしていってもらえたら嬉しいです。そして絶対最後の年まで続けて、自信もって臨める勝負の形で結果を残してください。

最後に同期のみんなへ。

自由な学年だったなあ。同じ目標見てるけど、マイペース。だからこそバランス保てた学年だったかも。神大女子は茜だけだったけど、茜のおかげで最後まで来れたし色々な目標持てた。侑佑は信頼できるエースで、俊はツッコミで、わっきーはなんか鋭い、まるは合宿にヒッチハイク、カズは愛されいじられ役、みんな大切です。薬科と南女の皆も。あ、あと不器用で几帳面なアンプ…やすふく。居心地よかったです。ありがとう。

大学の 4 年間で神大水泳部でよかったです。ありがとうございました。

後輩のみんな、がんばって！お腹がすいたら俊くんにおごってもらってくださいね！

須藤 茜 経済・Fr



「お～すっ！神戸大学体育会水泳部所属、学籍番号 0892117E 経済学部 1 回、須藤茜です。専門は 50Fr と 100Fr です。～(以下略)」と行事がある度に叫んでいた日々から早くも卒部する身となりました。卒部の辞を書くにあたって今までの生活を振り返ってみると本当に短く感じます。

わたしにとって大学の4年間は今までの人生の中でもっとも充実した日々であったと感じています。そしてこの4年間の様々な経験のなかでも最も時間と情熱を注いだ活動がこの水泳部での活動です。勉強もそれなりにしましたよ……たぶん。

思い返せば始まりは1回生の4月、新歓祭が行われていた六甲台グラウンドに入るや否や肩が盛り上がった某部の厳つく、エネルギッシュなお兄さまお姉さま方に囲まれ、流れでそのままブースへ強制連行。あたふたしながらも

なんとか抜け出し、ホッとしていたまさにそのとき水泳部のブースに辿り着きました。ガラガラでした。新入生の私が心配になるほど閑散としており、多少ブースに近づきにくかったのですが中学高校共にプールがない学校に通っていた私にとってプールは憧れだったので部活紹介を聞きにブースに入ったのが始まりでした。その後、中学高校の部活で経験があったテニスと迷ったのですが新歓イベントで水泳部員の雰囲気私と合っていると感じ、入部しました。直感のみに頼った判断でしたが正しい選択だったと思います。ただ入部するにあたって不安な点もありました。競泳の経験がなかったという点もですが一番気になっていたことは部員が少なかったことです。特に女子の場合リレーが組めないということが気になっていました。しかし実際入部してみると想像以上に多くの同回が入部し、初心者も女子も多

く驚きました。身近に競える相手や協力し合う仲間が多かったことは4年間部活を続ける上で大きな支えとなりました。

このように恵まれた幸せな環境とはうらはらに練習は過酷でした。単純にプールで泳ぐことに憧れていた私にとって競泳という競技は想像以上に厳しい練習を必要とすることを知りました。頑張る気持ちがあるのに体がついてこない時が練習で一番悔しかったです。

また今となっては珍しくないですが生まれて初めて本気で選手が全速力で泳いでいるのを見たり、水の上を滑るように泳ぐ選手を見たりと毎日が衝撃の連続でした。自分も同じようなレベルに近づかないとタイムが上がらないと考えると気が遠くなりました。最も衝撃的だったのは侑佑のバサロを水中で横から見たときのことです。脚の動きがしなやか過ぎて人間じゃないと思いました。

2, 3回生では選手としての立場に加え、会計係に就かせていただきました。至らない点多々ありましたがこの役職に就いたことで水泳部の運営がOB・OGさんのお力添えで成り立っていることやOB・OGさんのお話の中で現役部員に対する思いを知り改めて感謝の気持ちを抱きました。ありがとうございます。また私が会計の業務をスムーズに行えたのは田畑さん、俊、後藤の3人の主務のおかげです。あり

がとうございました。

最後に4回生ですが、だめでした。あまり振り返りたくないです。大学生活4年間の中で様々なことに一番深く悩んだ時期でした。部活動に関しては引退まであと数ヶ月の時期に部活を辞めよう決めていました。1回生の時からの目標だった全国公出場も諦めていました。それを思いとどまらせてくれたのが神大女子唯一の同回、祥子です。私は頑固な性格なので意見が衝突し、鬼気迫る状態にもなりました。最終的には私が退部思いとどまり、全国公にリレーで出場し、無事卒部し、今卒部の辞を書いています。辞めなくて本当に良かったです。仲間と一緒に全国公に出場できたことももちろん嬉しいですが自分で気付かないうちに身近に本音を言える友人がいることに気がつけたことが一番嬉しく思います。

4年間を振り返ると入部、役職、練習、卒部全て人によって支えられてきたことがわかります。自分だけの殻に閉じこもらずに周りを見渡して広い視野で物事を捉えていくことが大切だと思います。

最後になりましたがOB・OGさん、先生方、先輩、同回、後輩のみなさん、4年間本当にありがとうございました。これからもよろしく願います。

大脇 幸之助 経済・Polo



卒部の辞を書くにあたり水泳部での4年間を振り返ってみると、ここでは書ききれないほど本当に色々なことがありました。なので、いくつかだけ振り返りたいと思います。

まず、まさかの1回生の秋から2年間水球主任をすることになりました。自分なりに努力したつもりですが、私の経験不足と不器用さで、主任として良い結果を残すことが出来ず申し訳ありません。ただ、主任をすることで人として大きく成長できたと感じています。3回生のときは、水球面だけではチームが組めないという状況に陥りました。当然公式戦では勝つことも出来ず、モチベーションも上がらず、来年もこの状態が続いたらという不安もあり、チームの雰囲気

良いとはとても言えませんでした。そんな中なんとか頑張ることが出来たのは、水球面の個性豊かな(?)仲間がいたおかげだと思います。この1年間を共に耐え抜いたカズ・丸・まっしー・務には本当に感謝しています。ありがとう。4回生のときは、無事新生が入部してくれて、水球面だけで試合に出ることが出来ました。チームの雰囲気も自然と良くなっていきました。そして、4年目にして初めて学生リーグで勝利することも出来ました。最後の1年は部活そして水球が本当に楽しく、もっとこのチームで水球がしたかったです。正直4年間で辛いことの方が多かったですが、その分喜びも大きくなったと思います。

振り返りはこのくらいにして、ここで水球面の後輩たちに2つお願いがあります。1つ目は、体調不良で練習を休まないでほしいということです。水球はチームスポーツで、水球面は部員が少ないので1人休むだけで練習に大きな支障が出ます。そこで、みんなに教えたいのは先輩から言われた「泳げば治る」という言葉です。私も最初は嘘だと思いましたがそんなことはありません。本当です。その言葉のおかげかはわかりませんが、練習を体調不良で休むことは(ほとんど)ありませんでした。その点は、主任として唯一誇れた部分かなと思っています。そこだけは見習ってください(笑)。2つ目は

新歓に1番力を入れてほしいということです。勧誘の大変さもよく分かっていますが、先輩が引退する度に水球面だけでチームが組めるか心配するのは時間がもったいないです。何より私たちと同じ様な苦労はしてほしくありません。

最後になりましたが、凌泳会の皆様、OB・OGの皆様、同回のみんな、後輩たちには大変お世話になりました。特に司馬さん・西澤さん・剛さん・古谷さん・井上さん・北野さん・菊地さんには言葉に出来ないほどお世話になりました。本当にありがとうございました。

藤丸 晃弘 農・Polo



入部から早や4年、とうとう卒部の辞を書く番が回ってきました。ちょうど卒論を書きな

がらこちらにも書いています。もちろん卒論も卒部の辞も締め切りギリギリ。まだまだ先だと思っていたのに、とってしまうのはやはりそれだけ年をとったからでしょうか。それでは水泳部の4年間を振り返ってみたいと思います。

実は神大水泳部には水球面なるものがある、ということは高校生の頃から知っており、神大に合格したら水球面に入る、ということも決めていました。水球の経験者でも無い私がなぜ入学前からそんなことを決めていたかという、当時高校の水泳部の行事で水球をやったことがあり、興味があったから

です。

無事、神大に合格した私は水球面に入ることを決めていたので他の部活やサークルの新歓には行かず、水泳部の新歓にだけ行きました。はじめて行った水球面の新歓は、関学での練習でした。はじめての水球は予想以上にしんどく、こんなしんどいもん4年も続けられんわと思いましたが、練習は週3回でそんなにしんどくないで、という口説き文句に釣られて入部してしまいました。

入部した当時の水球面は上回生の方が5人だけで、試合には必ず1回生が出なければならぬ状況でした。そのため練習は非常にきつく(もちろん週5)、あの頃は体重計に乗って日々減っていく自分の体重を見ることだけが楽しみでした。しかし、この頃厳しい練習をやり、未経験ながら試合にもよく出させてもらえたから途中で退部せず引退できたのだと思います。

退部というと、当時は水球面の同期は今の倍の6人いました。酔っぱらって告白したあげく振られ、おまわりさんに振られたんですーと泣きつく奴や、来年3回目の2回生をやる伝説の元水泳部員、人の多い朝の国文 K 棟で食パンの耳を食べる男マネージャーがいたことを思い出すと懐かしいです。また後輩の代でも同様に退部者が多く、現3回生の代ではやめた人が多すぎてもう何人いたのかも思い出せません。そんな中で残ったのが、電車オタクの変人主任の真志田とシーズン後に入部した物好きの中務

2人で、変な奴しか残らんかったかと憂いました。

3回生の時は、前年度の退部者がとても多かったことと、新入部員が一人も入らなかったこともあり、選手が同い年の5人のみという異常な状況でした。さらには鬼マネージャー菊池さんの独裁も始まり、水球への気持ちが離れがちになることもありました。そんな状況でも練習に参加し、試合にも出てくれた競泳面の4人には本当に感謝しています。また、8時間にも及ぶすごい会議を主催したり、練習や飲み会で厳しく指導し、肉体的にも精神的にも鍛えていただいた菊池さんにも感謝しています。菊池さんのことを思い出すと社会の荒波も乗り越えていけるだろうと思います。

最後のシーズンは、4年間で最も充実したものとなりました。それはやはり新入生の4人のおかげです。試合に必要な人数が揃い、また経験者の新見も入って久しぶりにまともに水球できると俄然やる気も湧いてきました。この年の1回生は自分が1回生だった頃と同じ状況で、青木、神谷、松田はほぼ未経験ながら試合に出なくてはならず、練習も大変だったと思います。それでも一度も辞めたいと言わなかった神谷以外を見ていると、自分もがんばらないと、とやる気もらいました。ワンシーズンで3回も辞めたいと言った神谷も、辞めたい辞めたいといいながらもよく頑張っていたと思います。試合に関しては、決めなければいけないと

ころでシュートが決まらないことが多く、最後の公式戦の高専戦でこれを入れれば勝ちというシュートを外したことが今でも悔やまれます。結局今シーズンも成績も良くなかったですが、最近新しいコーチが決まり、マネージャーも入ったらしいので、来シーズンに期待しています。

最後になりましたが、凌泳会の諸先輩方、熱くご指導頂いたOB・OGの皆様方、現役

部員の皆さんには大変お世話になりました。また、ここまで同期のカズと脇田君についてなにも書いてこなかったですが、程よい距離感でドライな関係の彼らがいたから楽しく4年間続けてこられたのだと思います。彼らには本当に感謝しています。だらだらと長くなりましたが、以上を卒部の辞とさせていただきます。4年間ありがとうございました。

林 和浩 経済・Polo



私は大学生活で何か打ち込めるものが欲しいと考え、水球を選択しました。世間ではマイナーなスポーツであり、少しは活躍できるのではないかという理由からです。

しかし、入部したもののそんなに甘くなく、

一年目は試合に出場することもなく、偉大な先輩たちのプレーに頼りきりでした。二年目は少し試合には出場できましたが、泳力不足のため敵チームのカウンターの起点となってしまう穴でしかありませんでしたし、

またチームとしても何の戦術もなく試合をこなすだけで最下位という無惨な結果。部員全体としても水球に対し消極的になっていました。それと比例するかのように退部していく部員たち。もがき苦しんだシーズンでした。

三年目はそれにも増してつらい一年でした。新入部員が入らなかったため、五人で試合に臨まなければならず、前年よりも増して内容共にひどい結果となり、情けなさだけが残りしました。自分も GK にポジションを変え試合に臨みましたが、慣れないポジションのために低調なプレーに終わりました。

ですが、このポジションコンバートや部員不足が僕にとって転機だったと思います。時間がない中、考える質を高めて練習することができましたし、部員一体となってモチベーションを維持できたからです。

四年目になりなんとか新入部員を獲得し、シーズンに突入しました。オープンリーグでは一年間の辛いシーズンを送ってきた中でかなり部員個人のレベルが向上したこと、新人たちの活躍もあり、今までには勝てなかった相手にも勝利することができました。自分自身もかなり体にキレを感じ、手応えはありました。こうして迎えた学生リーグ。予選を4位で通過し、迎えた5位京大との決勝トーナメント一回戦。5P 合戦まで持ち込まれ自分が止めきれず敗れてしまいました。

ラストシーズンがこんな終わり方で悔しさは残りましたが、チームにしぶとさが出て来たのは間違いないと思います。来年こそはインカレに出場してくれるはずです。

四年間水泳部に在籍してきて思いましたが、上手くなるには多少無理難題を押し付けられても素直に応える度量が必要だと感じました。理不尽なことを先輩方や自分より上手い同期から言われるかもしれませんが、そこで怒るのではなく、我慢してやってみることでプレーが上達し、人間としても成長できるのだと思います。自分は部内では劣等生の期間が長かったので、伸び悩んでいる人は参考にしてくれると幸いです。

最後になりましたが、色々と支えてくださった OB、OG の方々ありがとうございました。

私が一回生の時からの先輩である司馬さん、西澤さん、剛さん、古谷さん、井上さん、北野さん、菊地さんには本当に感謝しています。

また同期や後輩たちにも感謝の気持ちでいっぱいです。特につかさは自分のくだらない冗談をいつも拾ってくれてありがとう。また練習に顔を出すことがあればよろしく！

水球 名大合宿

2011年3月14日～17日・名古屋大学プール



3月14日から17日の4日間にわたって我々神大水球面は名古屋大学にて合宿を行いました。参加大学は名古屋大学・京都大学・大阪市立大学・広島大学・神戸大学・地元のOBさんなどでそれぞれ参加した期間はまちまちでしたが多くの人達と練習をすることが出来ました。

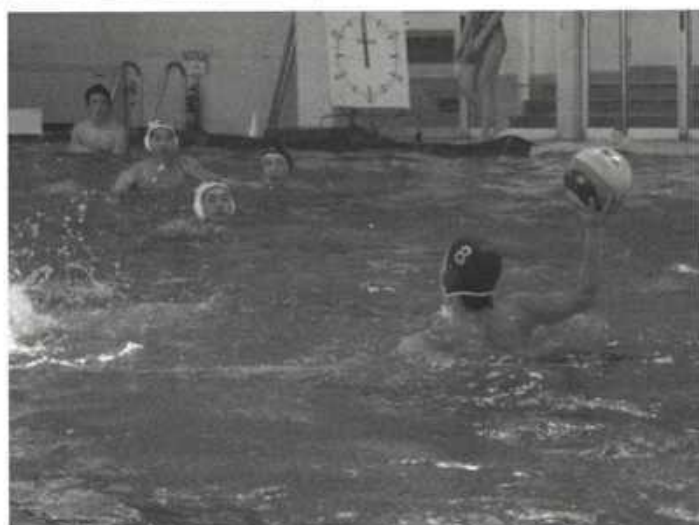
初日、広島大学とチームを組んで試合を行いました。広島大学のフローターに頼り切ったプレーが多く、自分たちがやらなければならない細かい所ができておらず反省

点が多かったけれど思っていたよりも皆泳げていたと思いました。広島大学は水球チームができたばかりでこれからという感じでしたが中国地方で頑張って水球を盛り上げて欲しいと思います。

2日目以降からは4回生の方々も合流していただいてほぼ神大のみのチームで試合をすることが出来ました。自分達が目指すDFを重視した水球をしようと皆で話し合い、最後の方には少しは形にすることができたかなと思いました。

4 日間にわたった水球合宿でしたがシーズンオフの練習環境があまりない時期の貴重な練習でした。名古屋大学、その他一緒に練習していただいた他大学、社会人の

みなさん本当にありがとうございました。この経験を生かしてこれからインカレ目指して頑張っていきます！！



何でもランキング(競泳面)

女子力の高い人

- 1位 赤松優輝
2位 平 佳苗
3位 松田拓也・中村粹恵

さすが赤松くん！
女子部員全員を押さえての
堂々の一位でした★

無人島でも生きていけそうな人

- 1位 平川 翔
2位 林 勇樹
3位 井出健太
4位 今瀬将太・森島大詞・林 佑樹
★番外編：安福拓斗



いやし系な人

- 1位 中村粹恵
2位 佐藤 文
3位 足立瑛里



筋肉のかっこいい人

- 1位 矢野尊彦
2位 平川 翔
3位 木村由斉

てつおさんは「筋肉の塊」だ
という意見を書いた人も！

砂糖と塩はなめて見分けるものだと 本気で思っていそうな人

- 1位 加藤あずさ(得票率 50%！)
2位 諸岡 舞
3位 安倍健登

日本人離れている人

- 1位 森島大詞(得票率 60%！)
2位 平川 翔
3位 加藤あずさ
☆森島くん＝モリシマ・ドミンゴ・タイシ

スウェットといえば？

- 1位 林 勇樹
2位 木村由斉
3位 松田拓也・井出健
☆単に着る服がないだけ…ではない。



めがねといえば？

- 1位 松田拓也
2位 井出健太
3位 植原興平・山本望・上田信也
★番外編：本間先生



全員マネージャーという結果
になってしまいました…。

毒舌な人

- 1位 平 佳苗
2位 加藤あずさ
3位 足立瑛里・林 勇樹

<p>猫をかぶっているけど、最近ボロが出てきている人</p> <p>1位 加藤あずさ 2位 諸岡 舞 3位 赤松 優輝</p> 	<p>もっと知りたいあの子</p> <p>1位 後藤元成 (得票率 60%！) 2位 平 佳苗 3位 足立瑛里</p> <p>★番外編：俺！ (ある意味そうかもしれない。)</p>	<p>お酒といえば。</p> <p>1位 木村由斉 2位 加藤あずさ 3位 原 祥吾</p> <p>★番外編・・・日本酒、カルーアミルク、焼酎、「吐く」、ロックンロール</p>
<p>頼りになる人</p> <p>1位 井出健太 2位 林 勇樹 3位 平佳苗・後藤駿介</p> <p>★番外編：本間先生</p>	<p>将来出世しそうな人</p> <p>1位 吉竹 望 2位 上田信也 3位 平川翔・吉田理人</p>	<p>よく食べる人</p> <p>1位 井出健太 2位 今瀬将太 3位 木村由斉・原祥吾</p>
<p>血が赤くなさそうな人</p> <p>1位 青木達矢 2位 加藤あずさ 3位 赤松優輝</p>	<p>自分のS1を愛している人</p> <p>1位 林 佑樹 (得票率 70%！) 2位 後藤哲弥 3位 青木達矢</p>	<p>今瀬くんは、常にパンを持っているという噂！</p> 
<p>速そうな人</p> <p>1位 吉竹 望 2位 平 佳苗 3位 平川翔・加藤あずさ</p>	<p>熱い人</p> <p>1位 平川 翔 2位 林 勇樹 3位 林 佑樹</p>	<p>男らしい人</p> <p>1位 平川 翔 2位 井出健太 3位 矢野尊彦</p>
<p>天然な人</p> <p>1位 諸岡舞 2位 安倍健登 3位 中村粹恵・加藤あずさ</p>	<p>さわやかな人</p> <p>1位 阪本清一郎 2位 吉竹 望 3位 松田拓也</p> <p>★番外編：櫻田侑佑 本間先生</p>	<p>どSな人</p> <p>1位 平 佳苗 (得票率 70%！) 2位 林 勇樹 3位 平川 翔</p>
<p>今シーズン活躍しそうな人</p> <p>1位 井出健太・安倍健登 2位 森島大詞 3位 阪本清一郎</p>	<p>トークカのある人</p> <p>1位 原 将吾 2位 吉竹 望 3位 林勇樹・吉田理人</p>	<p>どMな人</p> <p>1位 山本 望 2位 加藤あずさ 3位 佐藤 文</p>

実際に見た人にし
かわからない、山本
君の家の綺麗さ！

部屋がきれいそうな人

- 1位 山本望
- 2位 平 佳苗
- 3位 上田信也

恋人の前では

キャラが変わりそうな人

- 1位 上田信也
- 2位 松田拓也
- 3位 諸岡 舞

「ドラえもん」ランキング

ドラえもん 1位 原 祥吾 2位 林 勇樹	のび太くん 1位 赤松優輝 2位 上田信也・後藤哲弥	ジャイアン 1位 今瀬 将太 (得票率 80%!)
スネ夫 1位 松田拓也 2位 上田信也	出来杉君 1位 上田信也 2位 松田拓也	

好きな練習メニュー

- 1位 Power 系
- 2位 Goal Set・乳酸生成
- 3位 Des・Down・Dive

好きな部活行事

- 1位 和大との交流・OFF
- 2位 関カレ・全国公
- 3位 90周年記念式典

(おまけ) おもしろい回答など

- 今シーズン活躍しそうな人
 …全員！！(みんなが活躍できるシーズンにしたいですね)
 …4回生全員(ラストシーズン、有終の美を飾って欲しいです)
- 好きな練習メニュー
 …とりあえずしんどそうなやつ
- 今シーズン活躍しそうな人
 …北島康介(確かに活躍していますが。)
- 好きな部活行事
 …100周年記念式典(まだ行われていません！)
- 募集したランキングの項目で掲載できなかったもの(一部)
 - ・一番好きな柔軟剤
 - ・こんなあずなすは嫌だ。
 - ・アップから全力でプレを泳ぎそうな人
 - ・飲み会の問題児

【平成23年度 水泳部活動報告】

年間競技カレンダー

4月	10日(日)	競泳	第18回 関西学生春季 短水路公認記録会	尼崎スポーツの森
6月	5日(日)	競泳	2011年度 兵庫学生選手権	神戸市立ポートアイランドス ポーツセンター
	18日(土) 19日(日)	水球	関西学生水球オープンリーグ	京都大学プール
	19日(日)	競泳	第10回 関西学生夏季公認記録会	尼崎スポーツの森
	25日(日)	競泳	第10回 石川学生選手権★	白山市松任総合運動公園
	25日(土) 26日(日)	水球	関西学生水球選手権	大阪市立大学プール
2日(土) 3日(日) 9日(土) 10日(日)				
7月	2日(土) 3日(日)	競泳	第62回 関西国公立大学選手権 水泳競技大会	京都アクアリーナ
	16日(土)	競泳・水球	第92回 大阪市立大学・神戸大学 定期戦	神戸大学六甲台プール
	29日(金) 30日(土) 31日(日)	競泳	第85回 関西学生選手権 水泳競技大会(女子:第47回)	大阪プール
	10日(水) 11日(木)	競泳	第58回 全国国公立大学選手権	京都アクアリーナ
8月	13日(月) 14日(火)	水球	西日本選手権	京都大学プール
	18日(木) 19日(金)	競泳	第49回 近畿地区国公立大学 体育大会	京都アクアリーナ
	21日(日)	競泳・水球	第79回 旧三商第戦	一橋大学プール
	1日(木) ~4日(日)	水球	第86回 日本学生選手権 水泳競技大会★	相模原市立総合プール
9月	2日(金) ~4日(日)	競泳	第86回 日本学生選手権 水泳競技大会	横浜国際プール
	4日(日)	競泳	第5回 関西学生冬季公認記録会★	京都アクアリーナ
24年 1月	14日(土) 15日(日)	水球	なみはやカップ水球競技大会	なみはやプール
	14日(土) 15日(日)	競泳	兵庫県短水路選手権水泳競技大会★	尼崎スポーツの森
2月	5日(土)	競泳	兵庫地域春季チャレンジミート★	尼崎スポーツの森
3月	3日(土)	競泳	第34回 関西学生春季室内選手権 水泳競技大会★	大阪水泳学校 長吉プール

★印の結果は未掲載

第 18 回 関西学生春季短水路公認記録会

2011 年 4 月 10 日・尼崎スポーツの森

3 月の強化練習や合宿を終え、十分な調整を行ってからの今年度初の試合だった。インカレ突破 3 人、全国公突破 2 人という快挙を成し遂げ、また大幅なベスト更新をした選手も多く、強化練習や合宿の成果が数字となってあらわれた。今シーズン初の試合として良いスタートを切れた。

■男子 400m 自由形

山本 望 4'40"85
安福 拓斗 4'32"98

■女子 100m 平泳ぎ

中村 粹恵 1'29"69

■男子 100m 平泳ぎ

吉竹 望 1'11"57
後藤 駿介 1'06"84
林 佑樹 1'05"46
吉田 俊 1'08"12

■女子 100m 背泳ぎ

渡辺 祥子 1'13"16

■男子 100m 背泳ぎ

平川 翔 58"73
真木 謙造 58"39
櫻田 佑佑 56"18

■女子 100m 自由形

中村 粹恵 1'13"28

■男子 100m 自由形

松田 拓也 1'01"08
矢野 尊彦 52"81
井出 健太 52"58

■男子 400m 個人メドレー

山本 望 5'12"31
木村 由斉 4'57"33

■男子 50m 自由形

吉竹 望 26"57

■男子 200m 平泳ぎ

後藤 駿介 2'22"86
林 佑樹 2'25"55
吉田 俊 2'24"16

■男子 200m 個人メドレー

松田 拓也 2'25"09
木村 由斉 2'14"03

■女子 200m 背泳ぎ

渡辺 祥子 2'38"22

■男子 200m 背泳ぎ

真木 謙造 2'04"87
櫻田 佑佑 2'01"39

■男子 200m バタフライ

安福 拓斗 2'20"64

■男子 200m 自由形

平川 翔 1'59"06
矢野 尊彦 1'52"78
井出 健太 1'52"67



2011年度 兵庫学生選手権水泳競技大会

6月5日・神戸市立ポートアイランドスポーツセンター

久々の長水路での試合となった。今シーズン初の公式得点レースということもあり、チーム一丸となって臨んだ。調整をおこなわず、体力的には厳しい試合であったが、そんな中でも新たなチームメイトとなった1回生の活躍が目覚ましく、チームに活気を与えた。1回生を中心とした応援にも力が入り、これからチーム全体で戦うことを十分に意識し、団結力を強めることができた。

■女子50m自由形

1位 遠藤 奈々(関西学院)	26"75 (大会新)
2位 山本 紗希(武庫川女子)	27"94
3位 松本 真希(武庫川女子)	30"32

■男子50m自由形

1位 樋口拓夢(関西学院)	23"95
2位 森本 秀(関西学院)	24"62
3位 九米 亮(関西学院)	24"77
予選落ち 吉竹 望	26"87
予選落ち 今瀬 将太	27"02
予選落ち 森島 大詞	27"35
オープン 矢野 尊彦	25"51
オープン 阪本清一郎	26"31
オープン 吉田 理人	27"06
オープン 大下 恭佑	27"50
オープン 上田 信也	29"07
オープン 後藤 元成	30"79
オープン 植原 興平	31"33
オープン 赤松 優輝	31"90

■女子100m自由形

1位 遠藤 奈々(関西学院)	59"39
2位 山本 麻利(関西学院)	59"63
3位 成瀬 柚紀(武庫川女子)	1'00"06

■男子100m自由形

1位 樋口拓夢(関西学院)	52"85 (大会新)
2位 文野 知弥(関西学院)	53"01
3位 九米 亮(関西学院)	53"41
5位 井出 健太(神戸大学)	55"01
6位 矢野 尊彦(神戸大学)	55"66
予選落ち 森島 大詞	1'00"54
オープン 阪本 清一郎	57"43
オープン 安倍 健登	58"73
オープン 吉田 理人	59"11
オープン 大下 恭佑	1'00"17
オープン 植原 興平	1'10"17
オープン 赤松 優輝	1'14"35
棄権 上田 信也	

■女子200m自由形

1位 南野 咲紀(武庫川女子)	2'05"27
2位 成瀬 柚紀(武庫川女子)	2'07"75
3位 木村 友紀(関西学院)	2'08"64

■男子200m自由形

1位 中村 豊(関西学院)	1'53"57 (大会新)
2位 文野 知弥(関西学院)	1'55"93
3位 齊藤 寛弥(関西学院)	1'56"76

4位 井出 健太(神戸大学) 1'57"96

6位 矢野 尊彦(神戸大学) 2'00"65



■女子 400m自由形

1位 山本 紗希(武庫川女子) 4'27"26

2位 木村 友紀(武庫川女子) 4'35"15

3位 小西 歩美(武庫川女子) 4'36"92

予選落ち 渡辺 祥子 5'35"15

■男子 400m自由形

1位 森芳 慎平(関西学院) 4'03"44
(大会新)

2位 中村 豊(関西学院) 4'04"57
(大会新)

3位 一ツ矢亮平(関西学院) 4'13"75

4位 安倍 健登(神戸大学) 4'23"96

■男子 1500m自由形

1位 森芳 慎平(関西学院) 15'48"22
(大会新)

2位 加藤 拓也(関西学院) 16'24"56
(大会新)

3位 阿部 真大(甲南大学) 17'10"71

8位 安倍 健登(神戸大学) 18'14"99

予選落ち 山本 望 19'41"49

予選落ち 安福 拓斗 19'45"00

■女子 100m背泳ぎ

1位 清水 梓帆(武庫川女子) 1'04"57

2位 田部井美里(関西学院) 1'07"67

3位 樽美 菜々(甲南大学) 1'08"76

5位 南谷 夏未(神戸大学) 1'20"97

■男子100m背泳ぎ

1位 今別府俊成(関西学院) 58"52

2位 田島 初(関西学院) 59"57

3位 縄田 岳(関西学院) 1'00"08

4位 櫻田 佑佑(神戸大学) 1'00"54

6位 平川 翔(神戸大学) 1'01"80

■女子 200m背泳ぎ

1位 清水 梓帆(武庫川女子) 2'20"31

2位 樽美 菜々(甲南大学) 2'22"74

3位 田部井美里(関西学院) 2'22"93

6位 渡辺 祥子(神戸大学) 2'50"18

7位 諸岡 舞(神戸大学) 2'58"18

■男子 200m背泳ぎ

1位 今別府俊成(関西学院) 2'08"57

2位 田島 初(関西学院) 2'08"62

3位 櫻田 佑佑(神戸大学) 2'09"12

6位 真木 謙造(神戸大学) 2'19"61

■女子 100m平泳ぎ

1位 久保田有貴(武庫川女子) 1'12"73

2位 平原 雪子(関西学院) 1'12"98

3位 森下 明香(武庫川女子) 1'15"19

8位 中村 粹恵(神戸大学) 1'32"68

■男子 100m平泳ぎ

1位 平谷 源(関西学院) 1'05"17
(大会新)

2位 山本 譲(関西学院) 1'05"96

3位 山口貴裕(関西学院) 1'06"88

6位 後藤 駿(神戸大学) 1'08"46

8位 林 佑樹(神戸大学)	1'10"71
予選落ち 吉田 俊	1'11"35
オープン 吉竹 望	1'11"85
オープン 後藤 哲弥	1'14"53
棄権 今瀬 将太	

■女子 200m平泳ぎ

1位 久保田有貴(武庫川女子)	2'37"19
2位 藤ノ井麻優香(武庫川女子)	2'40"26
3位 森下 明香(武庫川女子)	2'40"94
7位 中村 粹恵(神戸大学)	3'23"90

■男子 200m 平泳ぎ

1位 平谷 源(関西学院)	2'21"00
2位 山本 譲(関西学院)	2'23"86
3位 山口 貴裕(関西学院)	2'25"39
8位 後藤 駿介(神戸大学)	2'32"83
予選落ち 吉田 俊	2'34"58
予選落ち 林 佑樹	2'37"18
オープン 後藤 哲弥	2'47"57

■女子100mバタフライ

1位 眞繼奈緒子(武庫川女子)	1'02"59
2位 小林 広果(関西学院)	1'03"21
3位 三村 知美(武庫川女子)	1'03"38
8位 諸岡 舞(神戸大学)	1'27"00

■男子 100m バタフライ

1位 那須野 論(関西学院)	57"72
2位 竹下 祥平(関西学院)	57"85
3位 清田 大介(関西学院)	58"16
予選落ち 平川 翔	1'03"84
予選落ち 原 祥吾	1'11"72
予選落ち 青木 達矢	1'12"87
予選落ち 後藤 元成	1'16"51
オープン 真木 謙造	59"84

オープン 安福 拓斗	1'07"92
------------	---------

■女子200mバタフライ

1位 眞繼奈緒子(武庫川女子)	2'16"59
2位 山本 茜(武庫川女子)	2'19"57
3位 小林 広果(関西学院)	2'19"92
6位 南谷 夏未(神戸大学)	3'25"23

■男子 200m バタフライ

1位 松本 卓也(関西学院)	2'06"63
2位 那須野 論(関西学院)	2'06"67
3位 鈴鹿 臣(甲南大学)	2'07"42
8位 安福 拓斗(神戸大学)	2'30"31
予選落ち 原 祥吾	2'36"98

■女子200m個人メドレー

1位 平原 雪子(関西学院)	2'22"84
2位 小林 美希(武庫川女子)	2'24"06
3位 三村 知美(武庫川女子)	2'24"51

■男子 200m 個人メドレー

1位 出井 義也(関西学院)	2'07"67 (大会新)
2位 前家 空(甲南大学)	2'08"78 (大会新)
3位 木村 亮太(神戸学院)	2'09"44 (大会新)
5位 真木 謙造(神戸大学)	2'21"34
6位 木村 由斉(神戸大学)	2'21"58
オープン 平川 翔	2'25"14
オープン 青木 達矢	2'43"29

棄権 松田 拓也

■女子 400m個人メドレー

1位 藤ノ井麻優香(武庫川女子)	4'57"68 (大会新)
2位 栗林 優子(武庫川女子)	5'01"51
3位 鶴丸 舞(神戸学院)	6'09"19

■男子 400m 個人メドレー

1位	鶴飼 建吾(関西学院)	4'36"34 (大会新)
2位	木村 亮太(甲南大学)	4'38"35 (大会新)
3位	加藤 拓也(関西学院)	4'38"92 (大会新)
5位	木村 由斉(神戸大学)	5'07"33
6位	山本 望(神戸大学)	5'25"59
	棄権	松田 拓也

■女子400mメドレーリレー

1位	関西学院大学	4'20"03
2位	武庫川女子大学	4'20"72
3位	神戸薬科大学	5'07"21
6位	神戸大学	5'30"98

渡辺・中村・南谷・諸岡

■男子 400m メドレーリレー

1位	関西学院大学	3'48"79
2位	甲南大学	4'01"44
3位	神戸大学	4'05"42

真木・林佑・櫻田・井出

**■女子 200mフリーリレー**

1位	関西学院大学	1'47"67 (大会新)
2位	神戸薬科大学	2'00"22
3位	神戸学院大学	2'05"88
5位	神戸大学	2'12"45

諸岡・中村・南谷・渡辺

■男子 400m フリーリレー

1位	関西学院大学	3'33"46
2位	神戸大学	3'38"71
		矢野・平川・井出・安倍
3位	甲南大学	3'38"99

■女子 400mフリーリレー

1位	武庫川女子大学	3'58"95
2位	関西学院大学	4'02"33
3位	神戸学院大学	4'38"60
5位	神戸大学	4'52"90

諸岡・中村・南谷・渡辺

■男子 800m フリーリレー

1位	関西学院大学	7'45"34
2位	甲南大学	7'57"12
3位	神戸大学	8'02"42

安倍・平川・井出・矢野

■女子 800m フリーリレー(オープン)

1位	武庫川女子大学B	8'31"86
2位	武庫川女子大学	8'37"03
3位	関西学院大学	8'48"32

■男性総合成績 3位 神戸大学**■女子総合成績** 6位 神戸大学

関西学生水球オープンリーグ

2011年6月18日・19日・京都大学プール

新チームとして初めて臨む試合であったがチーム内でうまく連携を取ることが出来ず、格上相手に自分達の力を発揮することが出来ない試合が多くあり、次週からのリーグ戦に向けてやる事が多く残る試合となった。

vs 大阪大学 A(6月18日)

	1	2			計	得点者	藤丸3
神大	1	2			2		
阪大 A	3	4			7	退水	

vs MASH(6月18日)

	1	2			計	得点者	中務1 青木1 藤丸1
神大	1	2			3		
MASH	1	2			3	退水	中務1 青木1

vs 大阪府立高専(6月18日)

	1	2			計	得点者	大脇1 中務2 藤丸1 新見1
神大	2	3			5		
高専	1	3			4	退水	神谷2

vs 神戸水球(6月19日)

	1	2			計	得点者	新見2
神大	1	1			2		
神戸	5	8			13	退水	

vs 大阪大学 B(6月19日)

	1	2	3	4	計	得点者	大脇2 真志田1
神大	2	0	0	1	3		
阪大 B	6	3	3	4	16	退水	中務2 真志田2 新見2 大脇1

■総合成績(全10チーム)

- 1位 関西学院大学
- 2位 大阪大学 A
- 3位 京都大学
- 4位 神戸水球
- 5位 大阪大学 B
- 6位 神戸大学
- 7位 大阪府立高専
- 8位 龍谷大学
- 9位 MASH
- 10位 大阪市立大学



第10回 関西学生夏季公認記録会

2011年6月19日・尼崎スポーツの森プール

ベスト率100%をチーム目標として掲げ、十分な調整をおこない、準備万端で臨んだ。今シーズンでの短水ではラストの試合ということで、全国公やインカレの制限突破を目標として試合に臨んだ選手も多く、それぞれベストを尽くして本番を迎えた。大幅にベストを更新した選手や、制限を突破し嬉し涙を流す選手がいる一方で、目標としていた制限タイムに惜しくも届かず、涙をのんだ選手もいた。

■女子 400m 個人メドレー

渡辺 祥子 5'52"38

■男子 400m 個人メドレー

松田 拓也 5'19"48

山本 望 5'13"00

木村 由斉 4'53"88

■男子 100m バタフライ

後藤 元成 失格

青木 達矢 棄権

原 祥吾 1'09"00

吉田 理人 1'01"79

■女子 100m 平泳ぎ

中村 粹恵 1'29"31

■男子 100m 平泳ぎ

今瀬 将太 1'15"39

後藤 哲弥 1'13"86

吉竹 望 1'09"31

林 佑樹 1'06"97

吉田 俊 1'09"02

■男子 100m 自由形

上田 信也 1'04"87

植原 興平 1'07"08

赤松 優輝 1'08"80

森島 大詞 58"42

吉田 理人 56"83

大下 恭佑 58"39

安倍 健登 54"86

矢野 尊彦 53"10

井出 健太 55"39

■女子 200m 背泳ぎ

南谷 夏未 2'46"57

諸岡 舞 2'45"46

■男子 200m 背泳ぎ

松田 拓也 2'27"31

平川 翔 2'13"12

真木 謙造 2'05"68

櫻田 侑佑 2'01"57

■男子 400m 自由形

阪本 清一郎 4'23"41

山本 望 4'46"70

安福 拓斗 4'32"83

■男子 200m 個人メドレー

木村 由斉 2'14"07

■男子 200m 自由形

大下 恭佑 2'08"08

阪本 清一郎 2'00"19

■男子 200m バタフライ

原 祥吾 2'33"30

安福 拓斗 2'19"36

■男子 50m 自由形

上田 信也 27"36

赤松 優輝 31"34

後藤 元成 29"43

青木 達矢 28"82

森島 大詞 26"17

安倍 健登 25"79

吉竹 望 25"72

真木 謙造 24"88

矢野 尊彦 24"36

井出 健太 24"92

■女子 100m背泳ぎ

南谷 夏未 1'18"01

諸岡 舞 1'16"77

渡辺 祥子 2'14"03

■男子 100m背泳ぎ

平川 翔 58"05

櫻田 侑佑 57"45

■女子 200m 平泳ぎ

中村 粹恵 3'11"12

■男子 200m平泳ぎ

後藤 哲弥 2'41"73

今瀬 将太 棄権

林 佑樹 2'28"65

吉田 俊 2'27"93

■女子 200m フリーリレー

諸岡・中村・南谷・渡辺
2'05"34

■男子 400m メドレーリレー

真木・林・櫻田・井出
3'53"01

■男子 800m フリーリレー

矢野・平川・安倍・井出
7'37"03



関西学生水球選手権

2011年6月25日・26日・7月2日・3日・9日・10日/大阪市立大学プール

昨年度と同様5分×4ピリオドで総当たり戦を行い、その結果で8分×4ピリオドの順位決定トーナメントの組み合わせが決定する方式であった。予選リーグを4位で通過した我々神大チームは予選5位の京都大学とぶつかり惜しくも敗れてしまったため、インカレへの道がそこで閉ざされてしまった。全体的に競った試合が多く勝ちきれないところがあり、来年度の目標として競った試合をものにすること、また毎年のことであるが新入部員の獲得が必要である。

◇総当たり戦(5分×4ピリオド)

vs 大阪大学(6月25日)

	1	2	3	4	計	得点者	藤丸1 新見1
神大	1	0	0	0	2		
阪大	2	2	3	0	7	退水	真志田1

vs 立命館大学(6月26日)

	1	2	3	4	計	得点者	
神大	0	0	0	0	0		
立命	8	6	6	9	29	退水	

vs 関西学院大学(6月26日)

	1	2	3	4	計	得点者	真志田1 新見1
神大	0	2	0	0	2		
関学	8	2	8	6	24	退水	

vs 京都大学(7月2日)

	1	2	3	4	計	得点者	藤丸1 中務2 新見4
神大	2	3	1	1	7		
京大	2	1	2	0	5	退水	真志田3

vs 大阪市立大学(7月2日)

	1	2	3	4	計	得点者	大脇1 藤丸1 真志田1 新見4
神大	0	3	1	3	7		
市大	2	1	1	2	6	退水	中務1 新見1 真志田1

vs 大阪府立高専(7月3日)

	1	2	3	4	計	得点者	大脇1 新見1 青木1
神大	1	1	1	0	3		
高専	1	1	0	1	3	退水	中務1

◇順位決定トーナメント(8分×4ピリオド)

vs 京都大学(7月9日)

	1	2	3	4	計	得点者	藤丸3 大脇2 新見2
神大	1	1	5	1	8		
京大	2	2	2	2	8	退水	藤丸1 真志田2 中務1 青木1

※ペナルティー合戦4-5により敗北

vs 大阪府立高専(7月10日)

	1	2	3	4	計	得点者	藤丸1 大脇1 青木1
神大	2	1	0	0	3		
高専	1	2	0	1	4	退水	

vs 大阪市立大学(7月10日)

	1	2	3	4	計	得点者	藤丸2 大脇2 青木1 新見2
神大	1	2	2	2	7		
市大	0	2	1	0	3	退水	真志田2 青木2 新見1

■総合成績

- 1位 立命館大学
- 2位 関西学院大学
- 3位 大阪大学
- 4位 京都大学
- 5位 大阪府立高専
- 6位 神戸大学
- 7位 大阪市立大学



第62回 関西国公立大学選手権水泳競技大会

2011年7月2・3日・京都アクアリーナ

短い調整期間だったが、多数のベスト更新・決勝進出で、男女ともに団体権を獲得した。男子は総合で2位という快挙を成し遂げ、京都大学を制し、また女子も少ないながら4位という快挙を果たした。リレーなどでは応援にも熱が入り、関西学生選手権にむけて素晴らしい刺激となった。

■女子 50m 自由形

1位	田村 絵果(大教大)	28"06
2位	白本 愛(大教大)	28"27
3位	佐土 原愛(大阪大学)	28"82



■男子 50m 自由形

1位	森本 哲史(大教大)	24"38
2位	甲津 祐貴(大教大)	24"53
3位	上岡 俊也(大阪大学)	24"79
予選落ち	阪本 清一郎	25"93
予選落ち	吉竹 望	26"68
予選落ち	今瀬 将太	28"17

■女子 100m 自由形

1位	田村 絵果(大教大)	1'01"16
2位	白本 愛(大教大)	1'01"75
3位	佐土 原愛(大教大)	1'02"90

■男子 100m 自由形

1位	矢野 尊彦(神戸大学)	54"12
2位	井出 健太(神戸大学)	54"27
3位	山本 裕介(和歌山大学)	54"42
予選落ち	吉田 理人	57"44

■女子 200m 自由形

1位	篠原 有輝(大教大)	2'18"27
2位	今谷 律子(大教大)	2'18"61
3位	賀子 奈央(大阪大学)	2'23"01

■男子 200m 自由形

1位	井出 健太(神戸大学)	1'56"41 (大会新)
2位	矢野 尊彦(神戸大学)	1'58"27
3位	篠原 貴弘(大教大)	1'59"56
4位	安倍 健登(神戸大学)	2'00"19



■女子 400m 自由形

1位 橋口 若葉(大教大)	4'23"66 (大会新)
2位 松山 千尋(京都大学)	4'40"56
3位 賀子 奈央(大阪大学)	4'47"85
6位 渡辺 祥子(神戸大学)	5'26"30

■男子 400m 自由形

1位 佐藤 豪(京都大学)	4'09"48
2位 篠原貴弘(大教大)	4'15"37
3位 安倍 健登(神戸大学)	4'15"40
予選落ち 阪本 清一郎	4'30"52

■女子 100m 背泳ぎ

1位 高瀬 珠未(大教大)	1'09"98
2位 早瀬 有愛(神戸市外大)	1'10"06
3位 上田万里奈(奈良教大)	1'11"20
6位 南谷 夏未	1'21"06

■男子 100m 背泳ぎ

1位 櫻田 侑佑(神戸大学)	58"86
2位 平川 翔(神戸大学)	1'01"24
3位 中村数馬(和歌山大)	1'02"77
4位 真木 謙造(神戸大学)	1'01"68

■女子 200m 背泳ぎ

1位 高瀬 珠未(大教大)	2'30"90
2位 早瀬 有愛(神戸市外大)	2'32"22
3位 久保田美鈴(大阪大学)	2'36"37
6位 諸岡 舞(神戸大学)	2'51"71

■男子 200m 背泳ぎ

1位 櫻田 侑佑(神戸大学)	2'06"61
2位 平川 翔(神戸大学)	2'14"35
3位 粉 亮介(大阪大学)	2'15"20
4位 真木 謙造(神戸大学)	2'15"86

■女子 100m 平泳ぎ

1位 津田沙穂里(大教大)	1'18"26
2位 川上 紗季(大教大)	1'18"50
3位 松原 彩香(京都大学)	1'19"60
6位 中村 粹恵(神戸大学)	1'30"84

■男子 100m 平泳ぎ

1位 吉田 優輝(大教大)	1'06"79
2位 山口 純(大阪大学)	1'07"00
3位 江口 拓哉(大教大)	1'07"21
6位 後藤 駿介(神戸大学)	1'08"85
予選落ち 林 佑樹	1'10"04
予選落ち 吉田 俊	1'10"70

■女子 200m 平泳ぎ

1位 津田沙穂里(大教大)	2'58"05
2位 丸山 園加(滋賀県立)	3'07"84
3位 中村 粹恵(神戸大学)	3'21"80

■男子 200m 平泳ぎ

1位 坂本 一晃(大阪市立)	2'22"65
2位 江口 拓哉(大教大)	2'24"70
3位 吉田 優輝(大教大)	2'25"63
5位 後藤 駿介(神戸大学)	2'29"53
予選落ち 吉田 俊	2'31"90
予選落ち 林 佑樹	2'34"76

■女子 100m バタフライ

1位 田中 佑子(大教大)	1'05"05
2位 吉迫 佳織(奈良教大)	1'09"42
3位 仲垣 静夏(京都大学)	1'15"66
5位 諸岡 舞(神戸大学)	1'25"17

■男子 100m バタフライ

1位 平 拓也(大教大)	55"04
2位 小梶 幹太(大阪市立)	55"40
3位 古淵 義史(京都大学)	55"94
予選落ち 安福 拓斗	1'05"43
予選落ち 青木 達矢	1'09"55
予選落ち 後藤 元成	1'15"13

■女子 200m バタフライ

1位 田中 佑子(大教大)	2'23"93
2位 松山 千尋(京都大学)	2'30"39
3位 蟻田 真里(大阪大学)	3'13"23
4位 南谷 夏末(神戸大学)	3'21"45

■男子 200m バタフライ

1位 平 拓也(大教大)	2'05"58
2位 小梶 幹太(大阪市立)	2'07"70
3位 壇 隼也人(京都大学)	2'09"02
8位 安福 拓斗(神戸大学)	2'30"16
予選落ち 原 祥吾	2'41"34

■女子 200m 個人メドレー

1位 川上 紗季(大教大)	2'33"10
2位 鈴木 晴香(大阪市立)	2'38"88
3位 末廣美希子(大阪大学)	2'45"92

■男子 200m 個人メドレー

1位 玉木 壽成(大教大)	2'08"21
(大会新)	
2位 朝倉 佑揮(大阪大学)	2'14"97
3位 高木 祥一(大阪大学)	2'16"67
8位 木村 由斉(神戸大学)	2'20"37
予選落ち 山本 望	2'33"92
予選落ち 松田 拓也	2'35"34

■女子 400m 個人メドレー

1位 橋口 若葉(大教大)	4'52"80
(大会新)	
2位 岩井 麻衣(大阪大学)	5'42"76
3位 末廣美希子(大阪大学)	5'56"57
4位 渡辺 祥子(神戸大学)	6'03"57

■男子 400m 個人メドレー

1位 玉木 壽成(大教大)	4'39"20
2位 高木 祥一(大阪大学)	4'49"19
3位 朝倉 佑揮(大阪大学)	4'49"20
7位 木村 由斉(神戸大学)	5'05"30
予選落ち 山本 望	5'23"96

■女子 400m メドレーリレー

1位 大阪教育大学	4'32"81
2位 京都大学	4'55"58
3位 大阪大学	5'05"13
4位 神戸大学	5'30"25
渡辺・中村・南谷・諸岡	

■男子 400m メドレーリレー

1位 京都大学	3'53"99
2位 大阪教育大学	3'55"66
3位 神戸大学	4'00"53
櫻田・後藤・真木・井出	

■女子 200m フリーリレー

1位 大阪教育大学	1'52"16
2位 大阪大学	1'57"33
3位 奈良教育大学	2'02"06
5位 神戸大学	2'08"38
諸岡・中村・南谷・渡辺	

■男子 400mフリーリレー

1位	大阪教育大学	3'34"82
2位	京都大学	3'37"74
3位	神戸大学	3'37"83

矢野・平川・安倍・井出

■女子 400mフリーリレー

1位	大阪教育大学	4'06"57
2位	大阪大学	4'16"90
3位	京都大学	4'24"10
4位	神戸大学	4'46"29

諸岡・中村・南谷・渡辺

■男子 800mフリーリレー

1位	大阪教育大学	7'54"08
		(大会新)
2位	京都大学	7'56"40
3位	神戸大学	7'57"69

矢野・平川・安倍・井出

■男子総合成績 2位 神戸大学

■女子総合成績 4位 神戸大学



第 92 回 大阪市立大学・神戸大学定期戦

2011 年 7 月 16 日・神戸大学六甲台プール



神戸大学主催であり、試合を運営しながらの交流戦であったが、部員全員が力を合わせて、レースも運営もうまくこなすことができた。やや肌寒かったが、応援にも熱が入り、賑やかな交流戦となった。競泳の部では1・2・3位をほぼ独占することができた。水球の部では競泳面からの派遣選手も加わり、声援を受けながら選手は精一杯戦った。競泳の部においても、水球の部においても優勝を果たし、総合優勝となった。

□水球

vs 大阪市立大学

	1	2	3	4	計	得点者	不明
神大					13		
市大					8	退水	

□競泳

■女子 400mメドレーリレー

1位 神戸大学 5'38"21
渡辺・中村・諸岡・須藤

■男子 400mメドレーリレー

1位 神戸大学A 4'00"40
櫻田・後藤駿・井出・矢野
2位 神戸大学B 4'06"28
真木・林佑・安倍・平川
OP 神戸大学C 4'16"77

阪本・吉田俊・木村・吉田理
OP 神戸大学D 4'37"03

松田拓・吉竹・安福・山本
OP 神戸大学E 4'46"33

森島・後藤哲・原・大下
OP 神大水球 5'34"44

新見・真志田・神谷・大脇

■女子 400m自由形

1位 渡辺 祥子 5'23"33

■男子 400m自由形

1位 井出 健太 4'15"02
2位 安倍 健登 4'18"96
3位 阪本清一郎 4'21"16
OP 赤松 優輝 5'54"71
OP 安福 拓斗 4'46"57

■女子 50m自由形

1位 諸岡 舞 32"72

■男子 50m自由形

1位 木村 由斉 26"69
2位 吉田 理人 26"83
4位 吉竹 望 27"57

OP 植原 興平 29"90

OP 上田 信也 28"92

OP 後藤 元成 32"28

OP 原 祥吾 30"16

OP 今瀬 将太 26"91

OP 森島 大詞 27"96

OP 後藤 駿介 27"36

OP 林 佑樹 26"42

棄権 林 勇樹

■女子 200m個人メドレー

2位 中村 稔恵 3'04"22



■男子 200m個人メドレー

1位 櫻田 侑佑 2'10"13

2位 矢野 尊彦 2'12"45

4位 木村 由斉 2'21"84

OP 上田 信也 3'09"37

OP 青木 達矢 2'46"60

OP 後藤 元成 2'55"43

OP 後藤 哲弥 2'54"77

OP 阪本清一郎 2'17"80

OP 吉田 俊 2'32"94

■女子 200m背泳ぎ

1位 諸岡 舞 2'50"88

2位 南谷 夏未 2'51"39

■男子 200m背泳ぎ

1位 櫻田 侑佑 2'10"67

2位 真木 謙造 2'13"77

3位 平川 翔 2'15"15

OP 松田 拓也 2'33"78

OP 山本 望 2'49"28

■女子 200m自由形

1位 渡辺 祥子 2'34"96

■男子 200m自由形

1位 井出 健太 1'58"61

2位 矢野 尊彦 1'58"88

3位 安倍 健登 2'01"36

OP 植原 興平 2'40"42

OP 青木 達矢 2'37"39

OP 森島 大詞 2'21"09

OP 大下 恭佑 2'16"50

OP 吉田 理人 2'05"53

■女子 200m平泳ぎ

2位 中村 稔恵 3'19"84

■男子 200m平泳ぎ

2位 吉田 俊 2'33"14

3位 後藤 駿介 2'34"02

4位 林 佑樹 2'38"25

OP 赤松 優輝 3'32"17

OP 今瀬 将太 2'56"92

OP 後藤 哲弥 2'53"45

OP 松田 拓也 3'01"82

OP 吉竹 望 2'46"53

OP 山本 望 2'45"91

■女子 200mバタフライ

1位 南谷 夏未 3'15"46

■男子 200mバタフライ

2位 平川 翔 2'24"63

3位 真木 謙造 2'26"52

4位 安福 拓斗 2'30"33

OP 原 祥吾 2'55"08

OP 青木 達矢 2'54"41

■男女混合 400mリレー

1位 神戸大学女子

4'42"67

諸岡・須藤・中村・南谷

OP 神戸大学 OB 現役混合

4'28"40

西澤・渡辺・神谷・吉田楽

OP 神大水球 4'33"65

中務・大脇・松田龍・青木隆

■男子 800mリレー

1位 神戸大学A 8'00"43

矢野・平川・安倍・井出

2位 神戸大学B 8'04"94

阪本・真木・櫻田・吉田理

OP 神戸大学C 8'54"08

林佑・吉田俊・後藤駿・吉竹

OP 神戸大学D 8'50"75

木村・大下・安福・山本

OP 神戸大学E 9'58"77

森島・松田拓・青木達・赤松

OP 神大水球 10'05"61

真志田・新見・藤丸・神谷



【総合戦績】

競泳優勝 神戸大学

水球優勝 神戸大学

総合優勝 神戸大学

大阪市立大学・神戸大学定期戦(2011年7月16日)

Photo Report

撮影・文:得丸 哲士・昭 46

六甲台プールにて第92回神戸大学・大阪市立大学対抗の水上競技大会が開催されました。開会式につき、午前には競泳の試合を午後には水球の試合を行ないました。競泳の部は神戸大(192点)、市立大(82点)で男女ともに神戸大が優勝し、水球の部は神戸大(43点)、市立大(8点)で神戸大が優勝し、総合得点は神戸大(235点)、市立大(90点)で神戸大が総合優勝しました。





閉会式のあと懇親会に移り新入部員の自己紹介後、学生同士が親睦を深めました。



第85回 関西学生選手権水泳競技大会

2011年7月29～31日・大阪プール

去年必死の思いで2部残留を果たし、今年度は打倒京阪、2部で入賞という新たな目標を掲げ、この1年間必死で努力を続けた。OBやOGの皆様をはじめ、多くの方々からも応援を受け、期待と不安のなかこの日を迎えた。結果は、2部で4位と目標には届かなかったが、決勝に残る選手も多く、また応援にも力が入り、言葉通りチーム一丸となって長い3日間を戦い抜いた。

■男子50m自由形

1位 井原 健文(大経大)	23"98
2位 難波 郁実(大経大)	24"16
3位 金光 康祐(立命館大)	24"58
予選落ち 今瀬 将太	26"86
予選落ち 上田 信也	26"95
予選落ち 吉竹 望	27"41

■女子50m自由形

1位 遠藤 奈々(関西学院)	26"58
2位 中野 美里(四天王寺)	28"49
3位 前田 美紀(大阪国際)	28"73

■男子100m自由形

1位 五十棲亮平(立命館大)	52"90
2位 松永 太郎(立命館大)	53"33
3位 井出 健太(神戸大学)	53"40
6位 矢野 尊彦(神戸大学)	54"24
予選落ち 吉田 理人	57"54

■女子100m自由形

1位 遠藤 奈々(関西学院)	58"38
2位 山本 麻利(関西学院)	58"65
3位 荻野夕里弥(神戸大学)	1'00"88
予選落ち 須藤 茜	1'20"46

■男子200m自由形

1位 花森 友哉(立命館大)	1'53"89
2位 井出 健太(神戸大学)	1'55"99
3位 宮井 崇成(甲南大学)	1'56"72
予選落ち 矢野 尊彦	2'00"85
予選落ち 阪本 清一郎	2'02"70

■女子200m自由形

1位 池田 彩織(大阪国際)	2'08"31
2位 木村 友紀(関西大学)	2'10"22
3位 岡本 千明(びわこ成蹊)	2'10"26

■男子400m自由形

1位 花森 友哉(立命館大)	4'00"34
2位 新井 龍貴(大阪国際)	4'00"41
3位 高木 祥一(大阪大学)	4'11"98
6位 安倍 健登(神戸大学)	4'13"56
予選落ち 阪本 清一郎	4'25"58

■女子400m自由形

1位 木村 友紀(関西学院)	4'29"08
2位 岡本 千明(びわこ成蹊)	4'29"46
3位 池田 彩織(大阪国際)	4'30"97

■男子1500m自由形

1位	新井 龍貴(大阪国際)	16'19"73
2位	松岡 由紘(立命館大)	16'58"71
3位	濱石 龍(甲南大学)	17'02"51
6位	安倍 健登(神戸大学)	17'23"77
予選落ち	山本 望	19'17"48
予選落ち	安福 拓斗	19'27"77

■女子100m背泳ぎ

1位	辛島亜由子(びわこ成蹊)	1'04"79
2位	田部井美里(関西学院)	1'06"02
3位	青木なのみ(びわこ成蹊)	1'07"63
予選落ち	渡辺祥子	1'14"73

■男子200m 背泳ぎ

1位	櫻田 侑佑(神戸大学)	2'07"87
2位	天野 翼(甲南大学)	2'12"73
3位	平尾公利瑠(立命館)	2'12"87
5位	真木 謙造(神戸大学)	2'13"94
6位	平川 翔(神戸大学)	2'14"14

■女子100m 平泳ぎ

1位	平原 雪子(関西学院)	1'11"45
2位	松原 彩香(京都大学)	1'17"99
3位	谷口綾音(親和女子)	1'18"89
予選落ち	中村 粹恵	1'32"20

■男子100m 平泳ぎ

1位	立道 良輔(京都大学)	1'06"95
2位	安倍 大樹(大阪経済)	1'06"96
3位	尾崎 智也(甲南大学)	1'07"12
予選落ち	後藤駿介	1'08"58
予選落ち	林 佑樹	1'09"73
予選落ち	吉田 俊	1'10"93

予選落ち 南谷 夏未 1'20"65

予選落ち 諸岡 舞 1'20"75

■男子100m背泳ぎ

1位	櫻田 侑佑(神戸大学)	58"76
2位	平川 翔(神戸大学)	1'00"74
3位	天野 翼(甲南大学)	1'00"96
5位	真木 謙造	1'01"22

■女子200m背泳ぎ

1位	寺島亜由子(びわこ成蹊)	2'16"12
2位	田部井美里(関西学院)	2'21"56
3位	樽美 奈々(甲南大学)	2'25"37
8位	渡辺 祥子(神戸大学)	2'44"80

■女子200m 平泳ぎ

1位	平原 雪子(関西学院)	2'36"99
2位	堀美 沙子(大阪大谷)	2'44"74
3位	松原 彩香(京都大学)	2'47"85
予選落ち	中村 粹恵	3'19"27

■男子200m 平泳ぎ

1位	山口 純(大阪大学)	2'24"37
2位	麻布 諒(大阪経済)	2'24"41
3位	山田裕也(立命館大)	2'24"73
予選落ち	後藤 駿介	2'29"61
予選落ち	林 佑樹	2'35"68
予選落ち	吉田 俊	2'36"40



■女子100mバタフライ

1位 小林 広果(関西学院)	1'02"62
2位 田中美優夏(びわこ成蹊)	1'05"52
3位 伊藤かれん(関西学院)	1'06"78
予選落ち 諸岡 舞	1'24"06

■男子100mバタフライ

1位 五十凄亮平(立命館大)	54"86
2位 古淵 義史(京都大学)	56"06
3位 金光 康祐(立命館大)	57"11
予選落ち 吉田 理人	1'02"21
予選落ち 青木達矢	1'08"52
予選落ち 後藤 元成	1'13"77

■女子200mバタフライ

1位 小林 広果(関西学院)	2'18"00
2位 永岡 里彩(関西学院)	2'21"05
3位 田中美優夏(びわこ成蹊)	2'23"19



■男子200mバタフライ

1位 原 侑也(神戸学院)	2'07"59
2位 鈴鹿 臣(甲南大学)	2'07"82
3位 首藤 晃希(立命館大)	2'08"48
予選落ち 安福 拓斗	2'29"83
予選落ち 原 祥吾	2'34"08

■女子200m 個人メドレー

1位 山本 麻利(関西学院)	2'23"80
2位 永岡 里彩(関西学院)	2'24"83
3位 堀美 沙子(大阪大谷)	2'31"34

■男子200m個人メドレー

1位 佐藤 豪(京都大学)	2'04"30
2位 木村 亮太(甲南大学)	2'09"62
3位 吉田 昌平(立命館大)	2'12"36
予選落ち 木村 由斉	2'20"30
予選落ち 青木 達矢	2'40"89
失格 松田 拓也	

■女子400m 個人メドレー

1位 平山 絢子(びわこ成蹊)	5'05"19
2位 善才 桜(びわこ成蹊)	5'15"43
3位 松山 千尋(京都大学)	5'16"72

■男子400m個人メドレー

1位 佐藤 豪(京都大学)	4'26"04
2位 木村 亮太(甲南大学)	4'38"72
3位 吉田 昌平(立命館大)	4'42"34
予選落ち 木村 由斉	5'05"37
予選落ち 山本 望	5'24"68
棄権 松田 拓也	

■女子200m フリーリレー

1位 関西学院大学	1'46"46
2位 びわこ成蹊大学	1'51"50
3位 大阪国際大学	1'54"10
予選落ち 神戸大学	2'11"71

須藤・諸岡・中村・渡辺

■女子400m メドレーリレー

1位	びわこ成蹊大学	4'25"97
2位	大阪国際大学	4'39"99
3位	大阪大谷大学	4'46"97
予選落ち	神戸大学	5'31"94

渡辺・中村・南谷・須藤

■男子400m メドレーリレー

1位	京都大学	3'55"17
2位	神戸大学	3'55"96

櫻田・後藤駿・井出・矢野

3位	立命館大学	3'56"96
----	-------	---------

■女子400m フリーリレー

1位	関西学院大学	3'55"70
2位	びわこ成蹊大学	4'01"72
3位	大阪国際大学	4'10"12



■男子400mフリーリレー

1位	立命館大学	3'32"26
2位	大阪経済大学	3'36"32
3位	神戸大学	3'36"51

矢野・平川・安倍・井出

■男子800mフリーリレー

1位	立命館大学	7'47"03
2位	甲南大学	7'53"95
3位	京都大学	7'54"21
4位	神戸大学	7'55"64

矢野・平川・安倍・井出

■2部男子総合成績

1位	立命館大学
2位	京都大学
3位	甲南大学
4位	神戸大学

■2部女子総合成績

1位	関西学院大学
2位	びわこ成蹊大学
3位	大阪国際大学
22位	神戸大学



関西学生選手権水泳競技大会(2011年7月29～31日)

Photo Report

撮影・文: 得丸 哲士・昭 46

大阪プールで関西学生選手権が行なわれました。昨年同様の「2部を堅持」するだけでなく「4位」へと躍進する快挙を成し遂げました。若いOBたちの科学的な泳法トレーニングを導入してよい雰囲気の水泳部へと成長をしています。200mBK(決)では櫻田侑佑(4)が優勝し表彰台に立ちました。



第58回 全国国公立大学選手権水泳競技大会

2011年8月10日・11日・京都アクアリーナ

今年は男女共に団体権を獲得でき、個人種目出場者がさらに増えた。また、男子リレーにおいては、800m フリーリレー、400m フリーリレー、400m メドレーリレーすべて決勝進出を果たした。応援も盛り上がり、レースに出場できなかった選手もチーム一丸となって戦い、男子総合7位入賞を果たした。

■女子50m自由形

1位 押川 里奈(岡山大学) 26"08

2位 谷口実雅子(鹿屋体育) 26"22

3位 植田美由紀(鹿屋体育) 26"45

■男子50m自由形

1位 松浦 稔(岡山大学)	23"69
2位 久留 琢丸(筑波大学)	23"92
2位 半澤 啓(東北大学)	24"15
予選落ち 吉竹 望	27"27

■女子100m自由形

1位 村中まいか(鹿屋体育)	56"89
2位 橋口 佳世(筑波大学)	57"75
3位 押川 里奈(岡山大学)	58"01

**■男子100m自由形**

1位 河原 稔也(筑波大学)	51"94
2位 菅原 祐太(鹿屋体育)	52"58
2位 松浦 稔(岡山大学)	52"58
予選落ち 矢野 尊彦	54"69
予選落ち 井出 健太	54"93
予選落ち 阪本 清一郎	55"87

■女子200m自由形

1位 橋口佳世(鹿屋体育)	2'02"75
2位 前迫しおり(鹿屋体育)	2'04"36
3位 日野 薫(筑波大学)	2'05"04

■男子200m自由形

1位 西山賢太郎(筑波大学)	1'51"73
2位 廣村 駿幸(鹿屋体育)	1'53"66

3位 佐藤 雄大(鹿屋体育)	1'54"47
7位 井出 健太(神戸大学)	1'56"89
予選落ち 矢野尊彦	1'58"98
予選落ち 安倍 健登	2'00"05

■女子400m自由形

1位 太田 明成(鹿屋体育)	4'15"85
2位 増田愛美里(鹿屋体育)	4'20"22
3位 石村亜美依(香川大学)	4'22"16

■男子400m自由形

1位 山本 耕平(鹿屋体育)	3'54"25
2位 西山賢太郎(筑波大学)	3'57"96
3位 廣村 駿幸(鹿屋体育)	3'59"11
予選落ち 安倍 健登	4'21"80
予選落ち 阪本 清一郎	4'29"27

■女子100m背泳ぎ

1位 諸貫 瑛美(筑波大学)	1'02"78
2位 田浦 和歩(筑波大学)	1'02"96
3位 和家 有希(千葉大学)	1'03"91
予選落ち 渡辺祥子	1'15"71
予選落ち 南谷 夏未	1'19"51
予選落ち 諸岡 舞	1'19"78

■男子100m背泳ぎ

1位 田中 耕平(筑波大学)	58"43
2位 安原 遼(岡山大学)	58"43
3位 櫻田 侑佑(神戸大学)	58"57
予選落ち 真木 謙造	1'01"79
予選落ち 平川 翔	1'02"39

■女子200m背泳ぎ

1位 諸貫 瑛美(筑波大学)	2'16"77
2位 田浦 和歩(筑波大学)	2'17"32
3位 和家 有希(千葉大学)	2'19"22

予選落ち 渡辺祥子 2'42"49

予選落ち 南谷 夏末 2'51"41

予選落ち 諸岡 舞 2'52"27

■男子200m背泳ぎ

1位 金子雅紀(筑波大学) 2'02"70

3位 鏡味卓也(筑波大学) 2'02"80

5位 櫻田 侑佑 2'06"58

予選落ち 平川 翔 2'14"72

予選落ち 真木 謙造 2'15"16

■女子100m平泳ぎ

1位 小林明日香(筑波大学) 1'11"78

2位 福島成美(鹿屋体育) 1'12"58

2位 山下祐美子(広島大学) 1'13"74

予選落ち 中村 粹恵 1'31"90



■男子100m平泳ぎ

1位 若月 哲也(筑波大学) 1'02"27
(大会新)

2位 富永 航平(東京大学) 1'03"14

3位 菊池駿一郎(鹿屋体育) 1'04"28

予選落ち 後藤駿介 1'08"63

予選落ち 林 佑樹 1'10"58

予選落ち 吉田 俊 1'11"60

■女子200m平泳ぎ

1位 福島 成美(鹿屋体育) 2'32"03

2位 小林明日香(筑波大学) 2'33"03

3位 山下祐美子(鹿屋体育) 2'36"70

予選落ち 中村 粹恵 3'20"89

■男子200m平泳ぎ

1位 若月 哲也(筑波大学) 2'16"06

2位 林 佑樹(筑波大学) 2'17"81

3位 西林 大樹(九州大学) 2'18"87

予選落ち 後藤駿介 2'29"22

予選落ち 吉田 俊 2'37"34

予選落ち 林 佑樹 2'39"63

■女子100mバタフライ

1位 藤田 湖奈(鹿屋体育) 1'01"70

2位 三輪 彩奈(筑波大学) 1'01"83

3位 栃原 愛弓(筑波大学) 1'02"12

■男子100mバタフライ

1位 長堀 一輝(新潟大学) 54"40

2位 平 拓也(筑波大学) 54"48

3位 小梶 幹太(大阪市立) 54"93

予選落ち 吉田 理人 1'02"51

■女子200mバタフライ

1位 藤田 湖奈(鹿屋体育) 2'13"54

2位 中谷 みく(鹿屋体育) 2'14"82

3位 三輪彩奈(筑波大学) 2'15"26

■男子200mバタフライ

1位 菊池 皓大(筑波大学) 2'01"38

2位 佐野 公英(筑波大学) 2'04"27

3位 山中 大祐(鹿屋体育) 2'04"54

予選落ち 安福 拓斗 2'33"97

予選落ち 原 祥吾 2'36"81

■女子200m個人メドレー

1位	福嶋 沙織(鹿屋体育)	2'20"81
2位	倉松 真子(鹿屋体育)	2'21"13
3位	木下 綾乃(筑波大学)	2'23"53



■男子200m個人メドレー

1位	佐藤 豪(京都大学)	2'04"51
2位	玉木 壽成(大教大)	2'06"70
3位	石田 義樹(筑波大学)	2'06"74
予選落ち	木村 由斉	2'19"57
予選落ち	松田 拓也	2'37"03

■女子400m個人メドレー

1位	橋口 若葉(大教大)	4'50"65
2位	倉松 真子(鹿屋体育)	4'53"36
3位	福嶋 沙織(鹿屋体育)	4'54"94

■男子400m個人メドレー

1位	倉貫 壮(筑波大学)	4'25"04
2位	村川 諒(筑波大学)	4'25"42
3位	佐藤 豪(京都大学)	4'29"50
予選落ち	木村 由斉	5'08"27
予選落ち	山本 望	5'24"64

■女子400mメドレーリレー

1位	筑波大学	4'13"10
2位	鹿屋体育大学	4'15"19
3位	千葉大学	4'21"94

■男子400mメドレーリレー

1位	筑波大学	3'47"79
2位	岡山大学	3'50"55
3位	鹿屋体育大学	3'52"54
7位	神戸大学	3'58"74

櫻田・後藤・井出・矢野

■女子200mフリーリレー

1位	鹿屋体育大学	1'44"06
	(大会新)	
2位	筑波大学	1'46"26
3位	岡山大学	1'46"89

■男子400mフリーリレー

1位	筑波大学	3'29"33
2位	鹿屋体育大学	3'29"38
3位	大阪教育大学	3'31"63
8位	神戸大学	3'37"15

矢野・平川・安倍・井出

■女子400mフリーリレー

1位	鹿屋体育大学	3'50"11
2位	筑波大学	3'50"62
3位	岡山大学	3'57"39



■男子800mフリーリレー

1位	鹿屋体育大学	7'33"12
2位	筑波大学	7'40"58
3位	新潟大学	7'45"99
7位	神戸大学	7'55"98

矢野・平川・安倍・井出

■男子総合成績

1位	筑波大学
2位	鹿屋体育大学
3位	岡山大学
7位	神戸大学



全国国公立大学選手権水泳競技大会(2011年8月10日・11日)

Photo Report

撮影・文:得丸 哲士・昭 46

京都アクアリーナにて全国国公立大学選手権水泳競技大会がおこなわれました。外気温が37℃という茹だるような暑さにも負けず学生選手は全力で競泳して日ごろの成果をあげ、仲間たちは大きな声で応援し、マネージャー達は正確に記録をとり、多くの先輩たちは力強い声援を飛ばしていました。



西日本選手権

2011年8月13日・14日/京都大学プール

OBや4回生の力を借りて参加した大会だった。現役部員が来年のためにも頑張っていかなければならなかったが結果としてOBの方々の力を大きく借りてしまう試合が多くなってしまった。しかしながら意識したDFの形をとどこどこできる場面があり、来年に向けて収穫のある試合ができた。

vs 京都大学

	1	2	3	4	計	得点者	中務1 大脇1 (北野1)
神大	2	4			6		
京大	3	2			5	退水	

vs 龍谷大学

	1	2	3	4	計	得点者	真志田1 (北野1)
神大	1	1			2		
龍谷	1	4			5	退水	真志田1

vs なみはや

	1	2	3	4	計	得点者	藤丸3 中務1 (大槻2) (司馬1)
神大	0	3	1	3	7		
なみ	5	7	5	9	28	退水	大脇1 (大槻1)

vs 大阪大学 B

	1	2	3	4	計	得点者	中務1
神大	0	1			1		
阪大 B	4	3			7	退水	真志田1 大脇1

vs 大阪市立大学

	1	2	3	4	計	得点者	中務4 新見6 神谷2 大脇1 真志田1
神大	5	7	3	6	21		
MASH	1	1	5	2	9	退水	

vs 京都大学

	1	2	3	4	計	得点者	新見1 青木1
神大	1				3		
京大	2				12	退水	

第49回 近畿地区国立大学体育大会水泳競技大会

2011年8月18・19日・京都アクアリーナ

一昨年、昨年と2年連続で主幹が続いたが、今年度は京都大学が主幹でおこなわれたため、選手はレースのみに集中できた。また、今年から公式戦扱いをされ、従来とは異なって水着の規定をはじめとする厳格なルールのもと試合はおこなわれた。久しぶりに公式戦に出る選手も多く、また普段の試合とはまた違う種目に出る選手も多く、それぞれが楽しみながらの試合だった。

■女子200m自由形

- 1位 篠原 有輝(大教大) 2'16"73
- 2位 今谷 律子(大教大) 2'21"13
- 3位 末廣美希子(大阪大学) 2'22"56

■男子200m自由形

- 1位 井出 健太(神戸大学) 1'57"35
- 2位 矢野 尊彦(神戸大学) 1'58"92
- 3位 寺田 怜史(大教大) 2'00"01
- 4位 安倍 健登(神戸大学) 2'00"54
- OP 大下 恭佑 2'13"17

■女子50m自由形

- 1位 白本 愛(大教大) 28"21
- 2位 吉迫 佳織(奈良教大) 29"00
- 3位 末廣梨香子(大阪大学) 29"61
- 5位 中村 粹恵(神戸大学) 33"46

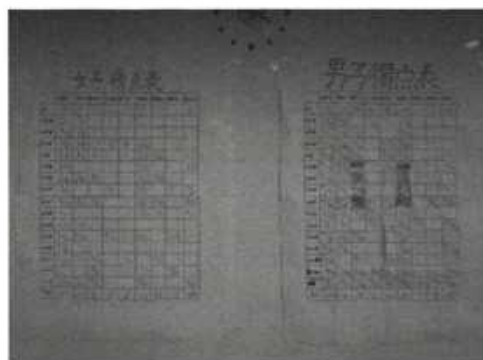


■男子50m自由形

1位 森本 哲史(大教大)	24"38
2位 甲津 祐貴(大教大)	24"57
3位 大畑 健介(大教大)	24"70
7位 森島 大詞(神戸大学)	26"10
予選落ち 吉竹 望	27"30
OP 青木 達矢	27"69
OP 上田 信也	27"70
OP 植原 興平	29"72
OP 後藤 元成	31"37

■女子100mバタフライ

1位 田中 佑子(大教大)	1'05"23
2位 白本 愛(大教大)	1'13"56
3位 中垣 静夏(京都大学)	1'15"17



■男子100mバタフライ

1位 平 拓也(大教大)	55"08
2位 安倍 健登(神戸大学)	1'00"01
2位 横田 堯大(京都大学)	1'00"01
4位 木村 由斉(神戸大学)	1'01"12
5位 吉田 理人(神戸大学)	1'01"62
OP 原 祥吾	1'10"12
OP 青木 達矢	1'12"53
OP 後藤 元成	1'14"01

■女子100m背泳ぎ

1位 田村 絵果(大教大)	1'09"72
2位 久保田美鈴(大阪大学)	1'11"47
3位 上田万里奈(奈良教大)	1'11"68
4位 渡辺 祥子(神戸大学)	1'14"87
6位 諸岡 舞(神戸大学)	1'20"43
7位 南谷 夏未(神戸大学)	1'21"10

■男子100m背泳ぎ

1位 清水一利(京都大学)	1'00"91
2位 真木 謙造(神戸大学)	1'01"63
3位 中村 数馬(和歌山大)	1'01"73
4位 平川 翔(神戸大学)	1'02"12

■女子100m平泳ぎ

1位 川上 紗季(大教大)	1'21"27
2位 加藤 杏奈(奈良女子)	1'30"16
3位 坂越 愛(京都大学)	1'33"86

■男子100m平泳ぎ

1位 吉田 優輝(大教大)	1'06"23
2位 山口 純(大阪大学)	1'06"32
3位 立道 良輔(京都大学)	1'08"00
6位 後藤 駿介(神戸大学)	1'08"62
8位 吉田 俊(神戸大学)	1'12"81
予選落ち 林 佑樹	1'11"26
OP 吉竹 望	1'11"86
OP 今瀬 将太	1'12"01
OP 後藤 哲弥	1'16"67



■女子400mメドレーリレー

1位	大阪教育大学	4'32"84
2位	大阪大学	4'55"45
3位	奈良教育大学	5'01"38
失格	神戸大学	
	渡辺・中村・諸岡・南谷	

■男子400mメドレーリレー

1位	大阪教育大学	3'56"98
2位	京都大学	3'57"01
3位	大阪大学	4'05"75
4位	神戸大学	4'10"29
	平川・林佑・井出・矢野	
OP	神戸大学B	4'08"96
	真木・櫻田・吉田理・安倍	
OP	神戸大学D	4'16"05
	阪本・後藤駿・木村・大下	
OP	神戸大学C	4'34"06
	森島・吉田俊・原・吉竹	

■男子400m個人メドレー

1位	高瀬珠未(大教大)	5'28"09
2位	岩井 舞(大阪大学)	5'46"43

■男子400m個人メドレー

1位	佐藤 豪(京都大学)	4'29"35
	(大会新)	
2位	玉木壽成(大教大)	4'34"57
	(大会新)	
3位	朝倉 佑揮(大阪大学)	4'51"26
7位	山本 望(神戸大学)	5'21"91
8位	松田 拓也(神戸大学)	5'43"40

■女子200mフリーリレー

1位	大阪教育大学	1'52"92
2位	大阪大学	1'57"62
3位	奈良教育大学	2'00"15
5位	神戸大学	2'09"96
	渡辺・南谷・諸岡・中村	

■男子400mフリーリレー

1位	大阪教育大学	3'33"98
2位	京都大学	3'37"50
3位	神戸大学	3'40"54
	矢野・平川・安倍・井出	
OP	神戸大学B	3'46"98
	真木・櫻田・阪本・吉田理	
OP	神戸大学C	4'00"34
	吉竹・吉田俊・後藤駿・林佑	
OP	神戸大学D	4'00"67
	森島・木村・上田・大下	

■女子200m個人メドレー

1位	川上 紗希(大教大)	2'32"26
2位	篠原 有輝(大教大)	2'34"67
3位	吉迫 佳織(奈良女子)	2'38"21

■男子200m個人メドレー

1位	佐藤 豪(京都大学)	2'06"56
	(大会新)	
2位	玉木 壽成(大教大)	2'07"74
	(大会新)	
3位	櫻田 佑佑(神戸大学)	2'12"91
6位	矢野 尊彦(神戸大学)	2'15"74
8位	木村 由斉(神戸大学)	2'20"66
OP	大下 恭佑	2'30"96
OP	山本 望	2'33"69

■女子400m自由形

1位 橋口 若葉(大教大)	4'22"17 (大会新)
2位 賀子 奈央(大阪大学)	4'37"56
3位 岩井 麻衣(大阪大学)	4'50"62

■男子400m自由形

1位 中村 允也(大阪大学)	4'22"26
2位 本田 光(大教大)	4'25"91
3位 藤井 亮輔(京都大学)	4'26"61
予選落ち 赤松 優輝	5'41"43

■女子100m自由形

1位 田村 絵果(大教大)	1'02"23
2位 末廣美希子(大阪大学)	1'04"07
3位 今谷 律子(大教大)	1'04"33

■男子100m自由形

1位 古淵 義史(京都大学)	53"60
2位 高津 祐貴(大教大)	54"21
3位 大畑 健介(大教大)	54"77
5位 阪本清一郎(神戸大学)	55"83
予選落ち 吉田 理人	57"80
予選落ち 森島 大詞	57"84
OP 上田 信也	1'04"95
OP 植原 興平	1'07"76

■女子200mバタフライ

1位 田中 佑子(大教大)	2'23"32
---------------	---------

■男子200mバタフライ

1位 平 拓也(大教大)	2'06"45
2位 熊倉 良太(大阪大学)	2'11"95
3位 篠原 貴弘(大教大)	2'12"13
予選落ち 原 祥吾	2'38"57

■女子200m背泳ぎ

1位 高瀬珠未(大教大)	2'30"09
2位 久保田美鈴(大阪大学)	2'33"31
3位 上田万里奈(奈良教大)	2'36"07
4位 渡辺 祥子	2'41"69
6位 諸岡 麻衣	2'50"45
8位 南谷 夏未	2'54"76

■男子200m背泳ぎ

1位 櫻田 侑佑	2'10"18
2位 清水一利(京都大学)	2'13"62
3位 加藤健太(大教大)	2'15"07
4位 平川 翔(神戸大学)	2'15"61
5位 真木 謙造	2'17"16
OP 阪本 清一郎	2'25"88

■女子200m平泳ぎ

1位 中村 粹恵(神戸大学)	3'18"90
3位 古池 美晴(滋賀大学)	3'25"22

■男子200m平泳ぎ

1位 吉田 優輝(大教大)	2'22"33
2位 中島 健蔵(滋賀大学)	2'24"11
3位 山口 純(大阪大学)	2'25"92
5位 後藤 駿介(神戸大学)	2'27"82
8位 吉田 俊(神戸大学)	2'36"66
予選落ち 林 佑樹	2'36"30
OP 後藤 哲弥	2'47"68
OP 今瀬 将太	2'47"74

■女子400mフリーリレー

1位	大阪教育大学	4'07"63 (大会新)
2位	大阪大学	4'14"83
3位	神戸大学	4'43"87 渡辺・南谷・諸岡・中村

■男子800mフリーリレー

1位	大阪教育大学	7'54"93
2位	京都大学	7'59"19
3位	神戸大学	8'00"43 矢野・平川・安倍・井出

OP	神戸大学B	8'27"80 阪本・櫻田・真木・吉田理
OP	神戸大学C	8'39"76 木村・吉田俊・後藤駿・大下
OP	神戸大学D	9'02"42 吉竹・森島・山本・林佑

■男子総合成績 4位 神戸大学

■女子総合成績 5位 神戸大学



近畿地区国立大学体育大会水泳競技大会(2011年8月18・19日)

Photo Report

撮影・文:得丸 哲士・昭 46

京都アクアリーナで近畿地区国立大学選手権水泳大会(体育大会)が行なわれました。井出健太200FR(1-57-35)が大会新で優勝、櫻田侑佑200BK(2-1018)優勝、安倍健登100FLY(1-00-01)2位、矢野尊彦200FR(1-58-92)2位、真木謙造100BK(1-01-63)2位、400継泳:男子&女子3位、団体総合で男子3位(昨年4位)、女子5位(昨年同位)でした。1年生から4年生までの全員が出場し、力泳した今季最後の公式戦でした。



男子 200m自由形

井出
矢野
寺田
安倍
小池
内田
中村

健太
尊彦
尊彦
尊彦
尊彦
尊彦
尊彦

神戸大学
神戸大学
神戸大学
神戸大学
神戸大学
神戸大学
神戸大学



第79回 旧三商大戦

2011年8月21日・一橋大学プール

今年は一橋大学で行われた。たくさんの先輩に応援に来ていただき、賑やかな試合となった。天候は雨、気温も低く、厳しい環境の中ではあったが、寒さに負けずに全員がレース・試合・応援と精一杯頑張って、競泳の部では優勝することができた。水球の部では惜しくも一橋大学に敗れたが、それぞれが楽しんで試合をおこなうことができた。

□水球

vs 一橋大学

	1	2	3	4	計	得点者	藤丸2 大脇1 真志田1 新見1
神大	1	1	1	2	5		
一橋	1	1	2	2	6	退水	藤丸2

vs 大阪市立大学

	1	2	3	4	計	得点者	不明
神大					15		
市大					3	退水	

□競泳

■女子200mメドレーリレー

3位 神戸大学 2'35"17

南谷・中村・渡辺・諸岡

■男子400mメドレーリレー

1位 神戸大学 4'19"28

平川・林佑・井出・矢野

OP 神戸大学B 4'23"76

真木・後藤駿・安倍・阪本

OP 神戸大学C 4'48"41

木村・吉竹・原・山本

OP 神戸大学D

松田・今瀬・後藤元・赤松

OP 神戸大学E 4'52"51

上田・吉田俊・青木・吉田理

■女子200m自由形

2位 諸岡 舞 2'38"92

3位 南谷 夏未 2'41"18

■男子200m自由形

1位 井出 健太 2'05"40

2位 矢野 尊彦 2'09"15

OP 赤松 優輝 2'53"85

■女子100m自由形

2位 南谷 夏未 1'12"19

4位 中村 粹恵 1'14"87

■男子400m自由形

- 1位 阪本清一郎 4'30"70
- 2位 安倍 健登 4'30"71
- OP 赤松 優輝 6'10"57
- OP 山本 望 5'00"31



■女子100m背泳ぎ

- 1位 渡辺 祥子 1'23"71

■男子200m背泳ぎ

- 1位 真木 謙造 2'21"71
- 2位 平川 翔 2'23"88

■女子100m平泳ぎ

- 3位 中村 粹恵 1'38"33
- OP 後藤 哲弥 1'25"66
- OP 吉竹 望 1'16"47

■男子200m平泳ぎ

- 3位 吉田 俊 2'45"90
- 4位 後藤 駿介 2'40"83

■女子100mバタフライ

- 3位 諸岡 舞 1'32"75

■男子200mバタフライ

- 1位 吉田 理人 2'27"38
- 4位 原 祥吾 3'00"83
- OP 後藤 元成 3'07"78

■女子200m個人メドレー

- 2位 渡辺 祥子 2'59"46

■男子200m個人メドレー

- 2位 木村 由斉 2'29"91
- 4位 林 佑樹 2'34"64
- OP 原 祥吾 3'11"17
- OP 青木 達矢 2'57"69
- OP 今瀬 将太 2'51"31
- OP 上田 信也 3'10"81
- OP 阪本 清一郎 2'26"98
- OP 安倍 健登 2'27"03
- OP 松田 拓也 2'43"52
- OP 山本 望 2'39"15
- OP 吉竹 望 2'47"59

■女子400mリレー

- 1位 神戸大学 4'53"39
- 諸岡・南谷・渡辺・中村

■男子 800m リレー

- 1位 神戸大学 8'22"50
- 矢野・平川・安倍・井出
- 2位 神戸大学 8'36"32
- 真木・阪本・吉田理・吉田俊
- OP 神戸大学C 9'16"09
- 木村・山本・後藤駿・林佑
- OP 神戸大学D 10'20"20
- 吉竹・原・松田・今瀬
- OP 神戸大学E 10'56"48
- 上田・青木・後藤哲・後藤元



【競泳成績】

男子

- 1位 神戸大学
- 2位 一橋大学
- 3位 大阪市立大学

女子

- 1位 一橋大学
- 2位 神戸大学
- 3位 大阪市立大学

【水球成績】

- 1位 一橋大学
- 2位 神戸大学
- 3位 大阪市立大学

【総合成績】

- 1位 一橋大学
- 2位 神戸大学
- 3位 大阪市立大学

第87回 日本学生選手権水泳競技大会

2011年9月2日・3日・4日・横浜国際プール

今年も昨年度に引き続き、たくさんの方々からご支援いただき、素晴らしい環境でレースに臨めた。出場選手たちは、念願の大舞台に緊張しながらも精一杯泳いだ。全国大会という舞台に立っただけでなく、トップレベルの選手の泳ぎを間近で見ることができ、大いなる刺激となった。この感動を来年度からも途切れることなく経験できるよう、出場選手だけでなく、すべての部員がますます練習に励むきっかけとなった。

■女子50m自由形

1位	雨宮 美侑(日本体育)	25"49
2位	松本 弥生(中京大学)	25"55
3位	前原 優理(山梨学院)	25"81

■男子50m自由形

1位	塩浦 慎理(中央大学)	22"11
2位	伊藤 健太(中京大学)	22"51
2位	松浦 稔(岡山大学)	22"86

■女子100m自由形

1位	松本 弥生(日本体育)	56"93
2位	山口 美咲(近畿大学)	57"00
3位	津田 尚子(日本体育)	57"07

■男子100m自由形

2位	伊藤 健太(中京大学)	48"78
	(大会新)	
3位	塩浦 慎理(中央大学)	48"85
1位	小西 一輝(早稲田大)	50"50

■女子200m自由形

1位	小野口由夏(中京大学)	2'00"81
2位	橋口 佳世(鹿屋体育)	2'01"10
3位	吉田 篤代(慶應義塾)	2'01"74

■男子200m自由形

1位	外館 祥(近畿大学)	1'49"58
2位	小西 一輝(早稲田大)	1'49"78
3位	石橋 千彰(中央大学)	1'49"85
予選落ち	井出 健太	1'56"95
予選落ち	矢野 尊彦	1'59"01

■女子400m自由形

1位	中村 咲子(日本大学)	4'12"52
2位	吉田 篤代(慶應義塾)	4'14"12
3位	岩永 美里(専修大学)	4'15"22

■男子400m自由形

1位	宮本 陽輔(鹿屋体育)	3'49"66
	(大会新)	
2位	東 隼平(法政大学)	3'51"49
3位	外館 祥(近畿大学)	3'51"60

■女子800m自由形

1位	岩永 美里(専修大学)	8'39"06
2位	中村 咲子(日本大学)	8'40"99
3位	小口 綾乃(日本体育)	8'43"97

■男子1500m自由形

1位 山本 耕平(鹿屋体育)	15'01"62 (大会新)
2位 宮本 陽輔(鹿屋体育)	15'14"28
3位 瀧口 陽平(中央大学)	15'15"05

■女子100m背泳ぎ

1位 酒井 志穂(九州産業)	59"90 (大会新)
2位 竹村 幸(近畿大学)	1'00"95
3位 久保 木怜(神奈川大)	1'01"74

■男子100m背泳ぎ

1位 入江 陵介(近畿大学)	53"59
2位 白井 裕樹(中京大学)	54"30
3位 松原 颯(法政大学)	55"29
予選落ち 櫻田 侑佑	59"14
予選落ち 真木 謙造	1'01"84

■女子200m背泳ぎ

1位 酒井 志穂(九州産業)	2'09"10 (大会新)
2位 久保 木怜(神奈川大)	2'10"52
3位 島添 紗妃(日本体育)	2'10"89

■男子200m背泳ぎ

1位 入江 陵介(近畿大学)	1'55"11
2位 白井 裕樹(中京大学)	1'56"26
3位 松原 颯(法政大学)	1'58"41
予選落ち 櫻田 侑佑	2'06"67
予選落ち 真木 謙造	2'15"65

■女子100m平泳ぎ

1位 鈴木 聡美(山梨学院)	1'07"85
2位 松嶋 美菜(日本大学)	1'08"33
3位 福留 尚子(鹿屋体育)	1'08"85

■男子100m平泳ぎ

1位 立石 諒(慶應義塾)	1'00"59
2位 若月 拓也(筑波大学)	1'00"72
3位 金子 貴宏(明治大学)	1'00"97

■女子200m平泳ぎ

1位 鈴木 聡美(山梨学院)	2'26"56
2位 福田 愛美(同志社大)	2'26"98
3位 越山あゆ美(日本大学)	2'27"22

■男子200m平泳ぎ

1位 立石 諒(慶應義塾)	2'10"40
2位 金子 貴宏(慶応義塾)	2'11"35
3位 富田 尚弥(中京大学)	2'11"47

■女子100mバタフライ

1位 星奈 津美(早稲田大)	59"62
2位 土橋 知佳(立教大学)	59"71
3位 杉野 紘子(同志社大)	1'00"21

■男子100mバタフライ

1位 池端 宏文(法政大学)	52"87
2位 野沢 拓矢(中央大学)	53"15
3位 前田 浩史(中京大学)	53"22

■女子200mバタフライ

1位 星奈 津美(早稲田大)	2'08"84
2位 眞繼奈緒子(武庫川女子)	2'10"31
3位 保志 場慶(日体大)	2'10"35

■男子200mバタフライ

1位 野沢 拓矢(中央大学)	1'57"74
2位 前田 浩史(中京大学)	1'57"86
3位 杉岡 郁哉(中京大学)	1'58"35

■女子200m個人メドレー

1位 加藤 和(山梨学院)	2'12"29
2位 福田 智代(前橋国際)	2'13"96
3位 末永 京香(中京大学)	2'14"30

■男子200m個人メドレー

1位 堀畑 裕也(日本体育)	2'00"14
2位 小坂 悠真(法政大学)	2'00"23
3位 藤森 太将(日本体育)	2'00"60

■女子400m個人メドレー

1位 加藤 和(山梨学院)	4'40"52
2位 末永 京香(中京大学)	4'41"48
3位 高橋 美帆(日本体育)	4'44"59

■男子400m個人メドレー

1位 堀畑 裕也(日本体育)	4'16"33
2位 藤森 太将(日本体育)	4'18"01
3位 内田 裕大(法政大学)	4'19"79

■女子400mメドレーリレー

1位 日本体育大学	4'05"96
2位 近畿大学	4'06"70
3位 山梨学院大学	4'07"51

■男子400mメドレーリレー

1位 中京大学	3'35"62
2位 近畿大学	3'36"49
3位 中央大学	3'37"79

■女子400mフリーリレー

1位 日本体育大学	3'45"17
2位 中京大学	3'45"99
3位 鹿屋体育大学	3'46"55

■男子400mフリーリレー

1位 中央大学	3'18"96
2位 近畿大学	3'21"76
3位 日本大学	3'21"89

■女子800mフリーリレー

1位 日本体育大学	8'07"62
2位 鹿屋体育大学	8'09"44
3位 近畿大学	8'11"35

■男子800mフリーリレー

1位 日本体育大学	7'20"19
2位 中央大学	7'20"22
3位 早稲田大学	7'20"84
予選落ち 神戸大学	7'56"25

矢野・平川・安倍・井出



なみはやカップ

2012年1月14日・15日/なみはやプール

年が明けてから最初の試合であったが内容の善し悪しが試合によって大きくわかれてしまった。最初の取れる試合を落としたのが大きく一日目は反省点が多かった。しかし2日目は初めから全員が試合に向けて準備をしっかり整え内容的には一日目よりも良かった。試合全体を通してみるとチームの目標はDFを重視していきはらずであったが、ところどころミスが多く今後に向けて課題が残る試合となった。

vs 茨木ボンバーズ

	1				計	得点者	真志田1
神大	1				1		
茨木	2				2	退水	神谷1

vs なみはやB

	1				計	得点者	新見2 真志田1 青木1
神大	4				4		
なみB	0				0	退水	真志田1 神谷1

vs 京都踏水会

	1				計	得点者	
神大	0				0		
踏水会	5				5	退水	神谷1

vs 豊中

	1				計	得点者	
神大	0				0		
豊中	4				4	退水	

vs 恒泳会

	1				計	得点者	新見1 中務1
神大	2				2		
恒泳会	1				1	退水	青木1

vs 京都大学

	1				計	得点者	新見2
神大	2				2		
京大	3				3	退水	新見1

■順位

神戸大学 18チーム中14位



凌泳90周年記念タオル

現役部員紹介 (本人作のイラストと共にお願いします)

4回生(2009年度入学生)

競泳面



(左上より) 林佑樹・井出健太・木村由斉・林勇樹 (左下より) 平佳苗・佐藤文

水球面



(左より) 真志田仁・中務晶太

3回生(2010年度入学生)

競泳面



(左より) 中村粹恵・山本望・矢野尊彦・平川翔・吉竹望・加藤あずさ

2回生(2011 年度入学生)

競泳面



(左上より) 原祥吾・吉田理人・安倍健登・上田信也
赤松優輝・植原興平・森島大詞・青木達矢・後藤哲弥・阪本清一郎
足立瑛里・諸岡舞・南谷夏未・今瀬将太

水球面



(左より) 青木隆幸・南谷夏未・新見卓也・松田龍介

井出 健太 (4回生・主将) 専門:Fr



あだ名: けんた、恐竜
 出身高校: 広島市立基町高等学校
 学部学科: 工学部機械工学科
 水泳歴: 17年
 水泳部に入った理由: あまりに暇だったため
 血液型: A(よくO型のレッテルをはられます)
 趣味や特技: サイクリング
 あなたにとって水泳部とは: 第二の故郷
 性格をひとことで: -200℃のパッション
 自分を動物に例えるなら: 恐竜
 好きなタイプ: 話が面白い人
 今ほしいもの: 島
 座右の銘: にんげんだもの
 あなたの元気の源は?: 肉類
 これからの目標、ひとこと:

悔いなくやること! そう、世紀末覇者ラオウのごとく!



木村 由斉 (4回生・競泳主任) 専門:IM



あだ名: 有楽
 出身高校: St. Andrew's
 学部学科: 電気電子工学科
 水泳歴: 15年くらい
 水泳部に入った理由: いろいろ有り
 血液型: A 型
 趣味や特技: おすすめ店『焼肉 有楽』
 あなたにとって水泳部とは: 大阪府大阪市北区
 大淀中 3-1-252F エレベーター前すぐ
 性格をひとことで: 安いうまい!アットホーム!
 自分を動物に例えるなら: 牛、豚、鶏
 好きなタイプ: ホルモン、上バラ
 今ほしいもの: 生もの。順次再開しております。
 座右の銘:

アクセス: JR 大阪環状線福島駅徒歩 8 分
 電話番号: 06-6454-4146
 定休日: 月、火(ただし、祝日、祝前日は営業)
 営業時間: 17:00~24:00(L・O 23:00)
 あなたの元気の源は?: 店長の人の良さ、他に類を見ないサービスの良さ
 これからの目標、ひとこと:

石焼ビビンバ、冷麺などメニューの豊富さ。盛り合わせ 5 人前 2500 円というリーズナブルさ。量は多く、質も高いが、値段は安い!おいしい焼肉を食べたいときは有楽へ!

林 佐樹※はやしゆうき(4回生・凌志システム)
専門:Br・Fr(短距離)・競泳マネ



あだ名:りんりん・いさむ

学部学科:工学部情報知能工学科

出身高校:大阪明星学園高等学校

水泳歴:22年目

水泳部に入った理由:

てつおが好きだから

血液型:A型

趣味や特技:パソコン

あなたにとって水泳部とは:下宿先

性格をひとことで:スーパーおせっかい

自分を動物に例えるなら:エリマキトカゲ

好きなタイプ:田中美保みたいな顔をしてい

て、田中美保みたいな髪型で、田中美保ぐ
らいの身長で、田中美保みたいなファッショ
ンで、てつおみみたいな性格の女性

今ほしいもの:てつおの写真

座右の銘:てつおと仲良くする

あなたの元気の源は?:

グリコマイルドカフェオーレ

これからの目標、ひとこと:まっとうな人生を送る

凌泳会のみなさまにはいつもお世話になり
ありがとうございます。ラストシーズンを後悔
なく終われるよう励みますので、応援よろしく
お願い致します。



林 佑樹(4回生・会計)専門:Br



あだ名:ライト

学部学科:工学部機械工

出身高校:東邦大学付属東邦

水泳歴:13年

水泳部に入った理由:

練習参加したら泳ぎたくなかった

血液型:O

趣味や特技:美味しいものを食べる

あなたにとって水泳部とは:前線基地

性格をひとことで:適当

自分を動物に例えるなら:山猫

好きなタイプ:背中を任せられる人

今ほしいもの:ブレない心

座右の銘:なるようになる

あなたの元気の源は?:美味しいもの

これからの目標、ひとこと:

泳ぎを完成させます!



後藤 駿介 (4回生・元主務) 専門: Br



あだ名: Goto-San, Shunsuke

学部学科:

Faculty of Letters, English literature

出身高校: Hyogo Prefectural Sanda Shoukan
Senior High School

水泳歴: 6 years

水泳部に入った理由: Nothing special

血液型: Blood type B

趣味や特技: Watching movie

あなたにとって水泳部とは: My home in Japan

性格をひとことで: Lazy

自分を動物に例えるなら: Penguin

好きなタイプ: a short and cute person

今ほしいもの: Single-lens reflex camera

座右の銘: Stay hungry, Stay foolish

あなたの元気の源は?: Japanese foods!!

これからの目標、ひとこと:

I wanna go back to Japan as soon as possible!!!

I really miss all members.



平 佳苗 (4回生・チーマネ) 専門: 競泳マネ



あだ名: かなえ・リブ

学部学科: 法学部法律学科

出身高校: 兵庫県立長田高等学校

水泳歴: 16年

水泳部に入った理由: 直感!

血液型: A

趣味や特技: 家事、一刀両断

あなたにとって水泳部とは:

入って良かったと思います。

性格をひとことで: おおざっぱ

自分を動物に例えるなら:

占いによるとペガサスらしいです。

好きなタイプ: 絶対振り向いてくれなさそうな人

今ほしいもの: 選手のベスト

座右の銘: なるようになる

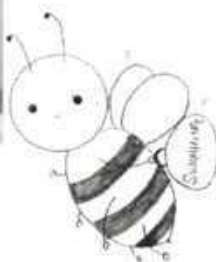
あなたの元気の源は?: 居眠り

これからの目標、ひとこと:

私のすべきことをするだけです。



佐藤 文 (4回生) 専門: Br



あだ名: ぶん

学部学科: 医学部医学科

出身高校: 神戸海星女子学院

水泳歴: 小学校～中2、大学

水泳部に入った理由:

意識の高い人の中で練習したかったから。

血液型: O 型

あなたにとって水泳部とは:

まだあんまり分からないけど、色んな人がいて面白いところ。

性格をひとことで: 頑固

自分を動物に例えるなら:

小動物系(って言われます)

好きなタイプ:

引っ張ってくれる人、何かを頑張ってる人

今ほしいもの: 頭に取りつけられるような USB

座右の銘: 努力は裏切らない

あなたの元気の源は?: 甘いもの

これからの目標、ひとこと: 生涯ベストを出すのが目標です。早くもっとみんなに馴染めたらいいなと思います。よろしくお願いします。

真志田 仁 (4回生・水球主任) 専門: 水球



あだ名: まっしー

学部学科: 理学部生物学科

出身高校: 私立広島学院高等学校

水泳歴: 9 年

水泳部に入った理由: いつの間にか

血液型: A 型(AO)

趣味: 鉄道、寺社仏閣、一人旅行

あなたにとって水泳部とは: 日課

性格をひとことで: 変人

自分を動物に例えるなら: ミミックオクトパス

(様々なものに擬態して(趣味が多く)臆病者)

好きなタイプ: 一緒にいてともに疲れない方

今ほしいもの: 一人旅する時間

座右の銘: 飛べない翼にも意味はある

あなたの元気の源は?:

一人旅の旅先の綺麗な景色

これからの目標、ひとこと: ついに後半年、自分

の部も学連もきっちり締め括りたいと思います



中務 晶太(4回生・元凌泳委員)専門:水球



あだ名:つかさ

学部学科:経営学部経営学科

出身高校:大阪府立北野高校

水球歴:3年

水泳部に入った理由:水球を甘く見てたから。

以前の生活がカスだったから。

血液型:O

趣味や特技:サイクリング、サッカー

あなたにとって水泳部とは:

いい感じのチームだと思います。

性格をひとことで:えらそうな小心者

自分を動物に例えるなら:ゴリラ

好きなタイプ:愛嬌ある人!!

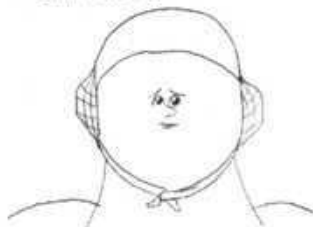
今ほしいもの:語学力

座右の銘:Changes for the Better

あなたの元気の源は?:コーラ

これからの目標、ひとこと:

最高のチームを作ります。



平川 翔(3回生・副将)

専門:Bk、トータルファイティング



あだ名:ひらしょう・御館様(おやかたさま)

学部学科:海事・海事技術マネジメント(機関)

出身高校:滋賀県立石山高校

水泳歴:15年ぐらい

水泳部に入った理由:

もう一度いくさ場に返り咲きたくなったから

血液型:A

趣味:ケーキを焼くこと

特技:愛馬の松風に乗ること

あなたにとって水泳部とは:民は宝よ

性格をひとことで:武士(もののふ)

自分を動物に例えるなら:ペリオロス亜種

好きなタイプ:身長低くてロリ顔で爆乳

今ほしいもの:あの耐久力

座右の銘:鷹の心を知り鷹を慈しみこの己に威

敵なければ鷹は従わぬ

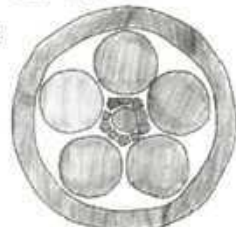
あなたの元気の源は?:

アニメ見て美少女たちにときめく

これからの目標、ひとこと:

神大のBkは

俺1人で十分だ!!



矢野 尊彦 (3回生・競泳副主任) 専門:Fr



あだ名:タカ、タカヒコ

学部学科:工学部機械工学科

出身高校:加悦谷高校

水泳歴:14年

水泳部に入った理由:

他にできる事がなかったから

血液型:O型

趣味や特技:マインスイーパー

あなたにとって水泳部とは:生活の一部

性格をひとことで:マヌケ

自分を動物に例えるなら:ノミ

好きなタイプ:ツンデレ

今ほしいもの:腕力

座右の銘:私は一向に構わぬ

あなたの元気の源は?:おやつ

これからの目標、ひとこと:

インカレでたくさんレースする

吉竹 望 (3回生・主務) 専門:Br



あだ名:牧場

学部学科:海事・海事技術マネジメント(機関)

出身高校:私立大阪桐蔭高校

水泳歴:11年

水泳部に入った理由:中学の時のある先輩と運命的な出会いを果たしたから

血液型:セイン・カミュと同じA型

趣味や特技:お喋り・バイク・ココリコ遠藤章造・平成ノブシコブシ吉村・ロザン菅

あなたにとって水泳部とは:

笑いの絶えない住み処

性格をひとことで:THE・気分屋

自分を動物に例えるなら:くま

好きなタイプ:

名谷在中、パン屋で働く女子大のもち肌の子

今ほしいもの:エンドルフィン

座右の銘:「楽」

あなたの元気の源は?:思い出の写真

これからの目標、ひとこと:力みなくして開放の

のまのん
のん

カタルシスはありえないので、体中引き締めて頑張りたいと思います。あと、リレメン狙います

山本 望(3回生・次期会計)専門:IM



あだ名:やまちゃん/プーさん
学部学科:理学部地球惑星科学科
出身高校:滋賀県立膳所高等学校・8年
水泳部に入った理由:新歓の時に、ある先輩
に大学入ってもまだタイムが伸びると言っ
ていただいて、続けようと思ったから。
血液型:A型
趣味や特技:ハチミツ採集
あなたにとって水泳部とは:居心地のいい場所
自分の性格をひとことで:DM
自分を動物に例えるなら:くま
好きなタイプ:イーヨー
今ほしいもの:ハチミツ
座右の銘:プーのおバカさん
あなたの元気の源は?:ハチミツ
これからの目標、ひとこと:
ハチミツ食べちゃダメ?ちょっとでいいんだ。
後で返すから。

松田 拓也(3回生・関西学連)専門:IM



あだ名:たくや
学部学科:発達科学部人間行動学科
出身高校:松山東
水泳歴:8年??
水泳部に入った理由:
生活にメリハリが欲しかった。
血液型:A型
趣味や特技:遊ぶ
あなたにとって水泳部とは:生活の大半
自分の性格をひとことで:negative
自分を動物に例えるなら:猿
好きなタイプ:後輩かつ先輩の年上
今ほしいもの:余裕
座右の銘:

なるべく無理はしない
あなたの元気の源は?:
甘いもの
これからの目標、ひとこと:
立ち位置を決める



中村 粹恵 (4回生・女子主将) 専門: Br



あだ名: キヨスク

学部学科: 農学部食料環境システム

出身高校: 土佐高校

水泳歴: 10年くらい

水泳部に入った理由:

引きこもりになりそうだったから

血液型: A型

趣味や特技: 寄り道

あなたにとって水泳部とは: 動物園

性格をひとことで: 優柔不断

自分を動物に例えるなら: 猫

好きなタイプ: 癒し系の変人

今ほしいもの: 野性の勘

座右の銘: 出されたものは残さず食べる

あなたの元気の源は?: たべること(〇)

これからの目標、ひとこと:

最近あんが
食べれるように
なりました!



加藤 あずさ (3回生・凌泳委員)



専門: 競泳マネ

あだ名: あずさ、あずなす、あずあず etc...

学部学科: 国際文化学部

出身高校: 愛知県立半田高校

水泳歴: 17年くらい(マネ歴あわせて20年目)

水泳部に入った理由:

水泳が好きだったら。あとは勢いで。

血液型: O型

趣味や特技: 落書き。

あなたにとって水泳部とは: 大切なものを得る場

性格をひとことで: 完璧にできない完璧主義者

自分を動物に例えるなら: 犬っぽいらしい(〇)

好きなタイプ: 頼りになる人・尊敬できる人

今ほしいもの: 料理のスキル・忍耐力

座右の銘: "ありのままでもいい"

→先輩にいただいた本に載っていたことば。

そのままの自分が一番だっけ気づきました。

あなたの元気の源は?: みんなのおしゃべり

これからの目標、ひとこと: ついに3年目です。

自分自身を見失わずに、今年も1年精一杯頑張れたらいいなと思います。



青木 達矢(2回生・体育会役員)専門:Fly



あだ名:あおびー

学部学科:経営学部

出身高校:大阪府立高津高校

水泳歴:3歳ごろから

水泳部に入った理由:元後輩に誘われて

血液型:Aがた

趣味や特技:ゲーム

あなたにとって水泳部とは:

自分を高められるところ

性格をひとことで:穏やか

自分を動物に例えるなら:ぱんだ

好きなタイプ:ノーマル

今ほしいもの:筋力

座右の銘:げんきがあればなんでもできる

あなたの元気の源は?:

他の人がくれるアドバイス

これからの目標、ひとこと:もっと速くなります



赤松 優輝(2回生)専門:Fr



あだ名:ありません。誰かいいの付けて下さい。

学部学科:法学部法律学科

出身高校:大阪星光学院高校

水泳歴:4年目

水泳部に入った理由:学生生活の最後に何か
に真剣に取り組む体験がしたくなったから。

血液型:A型

趣味や特技:珠算

あなたにとって水泳部とは:

面白くて真面目な方々の集まり

性格をひとことで:不器用すぎてイライラします。

自分を動物に例えるなら:

亀。水泳以外で急ぐの嫌いです。

好きなタイプ:

いつもニコニコしてて優しい雰囲気の人。

女性ですのお間違えなく!

今ほしいもの:知性と教養と大ベスト。

座右の銘:早起きは三文の得。この水泳部に入
ると改めて分かりました。

あなたの元気の源は?:毎日少しのぐ~たらタ
イムとたまのショッピング。

これからの目標、ひとこと:

試合出ます。大人になります。何かしらチー
ムを盛り上げます。こんな奴ですがこれからも
よろしくお願いします。

安倍 健登 (2回生) 専門:Fr



あだ名:あべちゃん、たけと
 学部学科:海事科学部
 出身高校:星陵高校
 水泳歴:16年
 水泳部に入った理由:やる事がなかったから
 血液型:B
 特技:花のみずやり
 あなたにとって水泳部とは:遊び場
 性格をひとことで:ツンデレ
 好きなタイプ:不細工な人・やらかそうなひと
 今ほしいもの:新しいゴーグル
 座右の銘:座右の銘ってなんですか?
 あなたの元気の源は?:彼女
 目標:いんかれ個人出場
 一言:俺はこんなもんじゃないまだ



今瀬 将太 (2回生・新歓委員) 専門:Br・Vo



あだ名:今瀬将太
 学部学科:経済学部経済学科
 出身高校:西京高校エンタープライジング科
 水泳歴:真面目にやり始めて5年目
 水泳部に入った理由:事は成り行き
 血液型:Rh+
 趣味や特技:即興謎掛け。
 上手くいくときは10秒あればできる
 あなたにとって水泳部とは:
 己を高める修業の場あるよ
 性格をひとことで:
 理屈屋でマイペースな操作系
 自分を動物に例えるなら:猫?
 好きなタイプ:連敗続きのこの俺にいいですよと
 言ってくれる人
 今ほしいもの:繋がってる誰かとの出会い
 座右の銘:
 残さず食べる
 あなたの元気の源は?:飯・笑・ロックンロール
 これからの目標、ひとこと:
 実は少年サンデー派です。

上田 信也(2回生・副務)専門:Fr・セカンド



あだ名:しんやさん
 学部学科:経済学部経済学科
 出身高校:(神大水泳部唯一の)大阪星光学院高校(生え抜き)
 水泳歴:大学から始めました
 水泳部に入った理由:もうわからない
 血液型:意外とA型
 趣味や特技:野球観戦
 あなたにとって水泳部とは:東京ドーム的なもの
 性格をひとことで:気難しい
 自分を動物に例えるなら:ふくろう
 好きなタイプ:笑ってくれる人
 今ほしいもの:抑えを任せられる投手
 座右の銘:巨人軍は紳士たれ
 あなたの元気の源は?:
 横浜 DeNA ベイスターズが
 上位チーム相手に勝つこと
 これからの目標、ひとこと:
 躍動、そして日本一



植原 興平(2回生・HP 係)専門:Fr



あだ名:
 うえこう、ばらうえ
 うえこうと呼ばれると嬉しいです
 学部学科:海事科学部
 出身高校:明星高校
 水泳歴:二年
 水泳部に入った理由:一に雰囲気、二に速くなりたい、三四がなくて、五になんとか
 血液型:O 型
 趣味や特技:インテリア鑑賞が趣味。
 そのうち自分の部屋を改造したい!
 あ、あと最近紙袋集めるのにハマってます笑
 あなたにとって水泳部とは:学校
 性格をひとことで:よく自分から墓穴ほりにいきます。ようするにアホです
 自分を動物に例えるなら:
 塾の教え子曰く、ちわわ
 好きなタイプ≡好きな髪型
 今ほしいもの:脂肪、筋肉、お金、
 吠えるボンデライオン
 座右の銘:何かで頼られる存在に
 あなたの元気の源は?:インテリア・雑貨・歌・
 ポイントカード
 これからの目標、ひとこと:苗字、性格、趣味などなどいろんな面において草食(装飾)系男子らしいです。よろしくお願いします!

後藤 哲弥 (2回生・関西学連) 専門: Br



あだ名: ごぼうちゃん、なぎ
 学部学科: 発達科学部人間環境学科
 出身高校: 浜松西
 水泳歴: 4年
 水泳部に入った理由: もっと伸びると思ったから
 血液型: B
 趣味や特技: 本
 あなたにとって水泳部とは:
 熱い仲間のいる場所
 性格をひとことで: 挙動不審
 自分を動物に例えるなら: アメンボ
 好きなタイプ: 笑顔な人
 今ほしいもの: 筋肉、単位
 座右の銘: 明日は明日の風がふく
 あなたの元気の源は?: 誉められること!
 これからの目標、ひとこと:

無理しないよう
 一生懸命やります



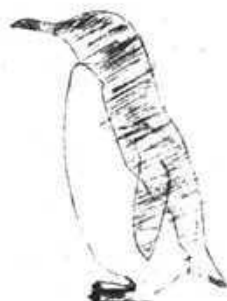
RAKURAKU

後藤 元成 (2回生・本スポ係) 専門: Fly



あだ名: 元成
 学部学科: 理学部生物学科
 出身高校: 大阪府立高津高校
 水泳歴: 6年
 水泳部に入った理由:
 新歓で入ってもいいかなと思ったから
 血液型: B 型
 趣味や特技: 特になし
 あなたにとって水泳部とは: 必要な場所
 性格をひとことで: 楽観的
 自分を動物に例えるなら: 猫
 好きなタイプ: 分からない
 今ほしいもの: 体力
 座右の銘: Practice makes perfect
 あなたの元気の源は?: 睡眠
 これからの目標、ひとこと:

Fly で全国公に
 出場出来るように
 頑張ります



阪本 清一郎(2回生・ハマデ係)専門:Fr



あだ名:清一郎

学部学科:海事

出身高校:星陵

水泳歴:18年

水泳部に入った理由:

おなかをかつこよくしたかった

血液型:A型

趣味や特技:スノーボーを趣味にしたい

あなたにとって水泳部とは:肉体改造部

性格をひとことで:平和

自分を動物に例えるなら:犬

好きなタイプ:今は石原さとみ

今ほしいもの:お金と地位

座右の銘:なるようになる

あなたの元気の源は?:りぼD

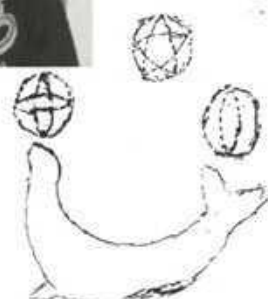
これからの目標、ひとこと:

肉体改造に励みます。



原 祥吾(2回生・内渉/渉外)専門:Fly

※本当に一回生です!



あだ名:ばら

学部学科:名門経済学部経済学科

出身高校:後藤元成といっしょ

水泳歴:8~12年

水泳部に入った理由:新入生歓迎会で拓也さ

んが「水泳部入ってなかったらきっと今ほど大
学生生活は面白くないと思う」って言ったから

血液型:A型

趣味や特技:ジャグリング・マイクロキング・

献血 ヘッドホン探し・カラオケ

あなたにとって水泳部とは:長い付き合い

性格をひとことで:あまのじゃく

自分を動物に例えるなら:鶏

好きなタイプ:いっしょにいて楽しい人

今ほしいもの:ドルフィンキック力増強シューズ

座右の銘:「A secret makes a woman woman...」

あなたの元気の源は?:

後藤君が時折みせるくったくない笑顔

これからの目標、ひとこと:2回生ががんばるかー。

森島 大詞 (2回生) 専門:Fr



あだ名:もりし、ドミンゴ

学部学科:海事科学部

出身高校:大阪桐蔭

水泳歴:7年

水泳部に入った理由:

牧場さんがそこに行ったから

血液型:O型

趣味や特技:毎週欠かさず、タウンワークを読む

あなたにとって水泳部とは:

しんどいけど、また行きたくなる場所

性格をひとことで:めんどくさがり

自分を動物に例えるなら:クラゲ

好きなタイプ:泳いでいる人

今ほしいもの:お金、免許、時間

座右の銘:今日の成果は、過去の努力の結果

であり、未来はこれからの努力で決まる。

あなたの元気の源は?:甘いもの(特に洋菓子)

これからの目標、ひとこと:いざ、インカレ!!

吉田 理人 (2回生・システム) 専門:Fr



あだ名:りじん

学部学科:海事科学部

出身高校:関西大学第一高校

水泳歴:12年

水泳部に入った理由:なんとなく

血液型:AB

趣味や特技:野球

あなたにとって水泳部とは:

落ち着いてますよね。

自分の性格をひとことで:めんどくさがり

自分を動物に例えるなら:赤ちゃん

好きなタイプ:岡本玲

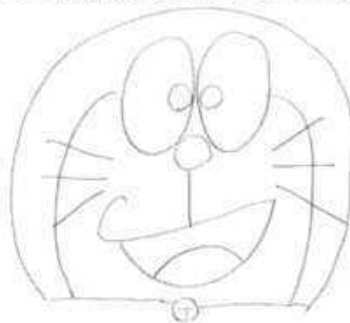
今ほしいもの:お金

座右の銘:初志貫徹

あなたの元気の源は?:

いじりやすい人をいじること

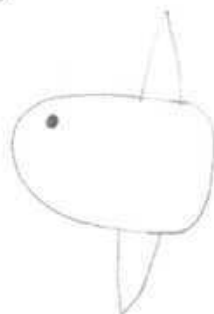
これからの目標、ひとこと:ぼちぼち頑張ります。



諸岡 舞 (2回生) 専門: Bk



あだ名: まいちゃん、ドミ子
 学部学科: 発達科学部人間形成学科
 出身高校: 京都市立塔南高校
 水泳歴: 13年
 水泳部に入った理由: 楽しそうな空気だったから
 血液型: O型
 趣味や特技: いつでもどこでも寝れる
 あなたにとって水泳部とは:
 欠けた一般常識を学ぶ場
 性格をひとことで: めんどくさがり
 自分を動物に例えるなら: マンボウ
 好きなタイプ: 一緒にのほほんと過ごせる人
 今ほしいもの: 睡眠時間
 座右の銘: 睡眠第一
 あなたの元気の源は?: 睡眠
 これからの目標、ひとこと:
 1日に6時間は寝る



新見 卓也 (2回生・凌泳委員) 専門: 水球



あだ名: ニーミ氏
 学部学科: 経営学部
 出身高校: 修道高校
 水球歴: 6年
 水泳部に入った理由: 太らないために
 血液型: B型
 趣味や特技: 昼寝
 あなたにとって水泳部とは: 運動するとこ
 性格をひとことで: めんどくさがり
 自分を動物に例えるなら: コアラ
 好きなタイプ: ショートカットの人
 今ほしいもの: 免許・座椅子
 座右の銘: やるときはやる
 あなたの元気の源は?: 睡眠
 これからの目標、ひとこと:
 チームを引っ張っていきたいです

松田 龍介 (2回生) 専門:水球



あだ名: まっつん

学部学科: 海事科学部

出身高校: 報徳学園

水泳歴: 小さい頃に少々

水泳部に入った理由: なんてだろ? 雰囲気かな

血液型: A型

趣味や特技: エビを飼ってます!

あなたにとって水泳部とは: 居場所

性格をひとことで: 自分でもよく分からない

自分を動物に例えるなら: ネコ

好きなタイプ: 好きになった女の子

今ほしいもの: ささいな幸せ

座右の銘: 男には、負けると分かっているけど戦

わねばならない時がある。

あなたの元気の源は?: ヒミツ

これからの目標、ひとこと: 水泳部なんだから

バタフライは泳げるようになるよ



青木 隆幸 (2回生) 専門:水球



あだ名: ロス

学部学科: 経営学部経営学科

出身高校: 東京学芸大学附属大泉高等学校

水泳歴: 17年(水球歴は1年)

水泳部に入った理由: 泳げたから。

血液型: B型

趣味: 読書

特技: 英語

あなたにとって水泳部とは: 「神大の星☆」

性格をひとことで: 裏表がない

自分を動物に例えるなら: ソウ

好きなタイプ: 一緒にいて楽しい人

今ほしいもの: マネー

座右の銘: 「今日できることを明日に延ばすな」

あなたの元気の源は?: 食べること

これからの目標、ひとこと: 頑張りましょう!



南谷 夏未(2回生)専門:水球マネ



あだ名:なつみ、姉さん

学部学科:経営学部経営学科

出身高校:大阪府立北野高校

水泳歴:14年

水泳部に入った理由:楽しそうな部活だったから

血液型:A

趣味や特技:物をなくすこと

あなたにとって水泳部とは:キャラが濃すぎて
平凡な私にはついていけません

性格をひとことで:真ん中っ子

自分を動物に例えるなら:虎(動物占いの時は)

好きなタイプ:欧米人

今ほしいもの:後1歩踏み出す力

座右の銘:二兎を追うもの二兎を得る

あなたの元気の源は?:ミスのドーナツ

これからの目標、ひとこと:

人間的に

大きくなってみせます。

けど体重は減らします。



北野 怜 (1回生) 専門: Br



あだ名: さとし

学部学科: 経済学部経済学科

出身高校: 大阪府立高津高校

水泳歴: 6年

水泳部に入った理由: ノリ

血液型: A型

趣味: 昼寝

性格をひとことで: ヘタレ

自分を動物に例えるなら: チンパンジー

好きなタイプ: いい人

今ほしいもの: 時間

座右の銘: 一日一善

あなたの元気の源は?: リボピタン D

これからの目標、ひとこと:

試合出れるように頑張ります。

北御門 祥平 (1回生) 専門: Bk



あだ名: みかど、しょうへい

学部学科: 工学部情報知能工学科

出身高校: 福岡県立東筑高校

水泳歴: 四歳から現在

水泳部に入った理由:

みなさんの熱い説得による

血液型: O型

趣味や特技: 音楽を聴きます

性格をひとことで: 大雑把

自分を動物に例えるなら: いるか?

好きなタイプ: 話があう人

今ほしいもの: テレビ台

座右の銘: 初志貫徹

楠原 達樹(1回生)専門:Fr(長距離)



あだ名: たつき

学部学科: 医学部医学科

出身高校: 私立須磨学園

水泳歴: 14年目

水泳部に入った理由:

陸では生きていけないから

血液型: A型

趣味や特技: 新聞の切り抜き

性格をひとことで: 瞬間センチメンタル

自分を動物に例えるなら: ありんこ

好きなタイプ:

地域医療に従事することに異論のない方

今ほしいもの: コミュニケーション能力

座右の銘: Continuation is power.

あなたの元気の源は?: 仲間

これからの目標、ひとこと:

高校時代の自分に勝つ

関カレで一部昇格出来るようチームに貢献

佐藤 健太(1回生)専門:Br



あだ名: さとけん

学部学科: 経済学部

出身高校: 三重県 私立高田高校

水泳歴: 小学校数年間と高校3年間

水泳部に入った理由:

一番なじみのあるスポーツだったため

血液型: A型

趣味や特技: ありません

性格をひとことで: マイペースです

自分を動物に例えるなら:

ねずみって言われたことがあります

好きなタイプ: いろいろです

今ほしいもの: 友達、彼女

あなたの元気の源は?: 部活

これからの目標、ひとこと: リレメンに入ること

田中 光(1回生)専門:Bk



あだ名:ひかる

学部学科:法学部法律学科

出身高校:大阪府立天王寺高校

水泳歴:小学校から

水泳部に入った理由:

先輩方や同回生が素敵だったから。

血液型:O型

趣味や特技:マンガの反復学習、映画観賞

性格をひとことで:チキン

自分を動物に例えるなら:にわとり

好きなタイプ:

何かに打ち込んでいて尊敬できる人

今ほしいもの:クロスバイク

座右の銘:全てが最高

あなたの元気の源は?:ラーメン

これからの目標、ひとこと:

日々の練習で皆さんから少しでも多くのことを学びたいと思います。よろしくお願ひします。

玉川 智嗣(1回生)専門:Fly



あだ名:たまちゃん、さとし、たまがわ

学部学科:発達科学部人間行動学科

出身高校:京都市立西京高等学校

水泳歴:14年(選手歴は8年)

水泳部に入った理由:水泳がしたいから

血液型:O型

趣味や特技:地図を持たずにサイクリング

性格をひとことで:まじめ、落ち込みがち

自分を動物に例えるなら:ハムスター(寂しがり)

好きなタイプ:かわいい人、オシャレな人

今ほしいもの:時間

座右の銘:冬は必ず春となる

あなたの元気の源は?:寝ること

これからの目標、ひとこと:

インカレ、日本選手権突破

関カレ1部昇格

強い神大水泳部を見せつけてやりましょう!!

中島 隼輔 (1回生) 専門:Fr



あだ名:隼輔

学部学科:海事科学部

出身高校:兵庫県立川西緑台高校

水泳歴:小学生～

水泳部に入った理由:

高校で水泳部だったから

血液型:A型

趣味:ラジオ

性格をひとことで:人見知り

自分を動物に例えるなら:こじか

好きなタイプ:色白,目が大きい人

今ほしいもの:コンボ

座右の銘:明日は明日の風が吹く

あなたの元気の源は?:学食

これからの目標、ひとこと:

半フリで全国公出場

中路 尋貴 (1回生) 専門:Fr



あだ名:なかじ

学部学科:経営学部経営学科

出身高校:京都市立西京高等学校

水泳歴:本格的に水泳を始めたのは中学一年。

水泳部に入った理由:

先輩が神戸大学体育会水泳部に入っていて、同輩も大学入学前から入部を決めていた。自分も大学でも水泳を続けたかったから。

血液型:A型

趣味や特技:最近の趣味は折り紙です。

性格をひとことで:めんどくさがりで気まぐれ

自分を動物に例えるなら:わかりません。

好きなタイプ:常に笑顔の人

今ほしいもの:原付

座右の銘:ケ・セラ・セラ(なるようになる)

あなたの元気の源は?:人の笑顔

これからの目標、ひとこと:

自分の理想の自分になることです。

中部屋 大輔(1回生)専門:Fr



あだ名:ペーやん

学部学科:海事科学部

出身高校:兵庫県立長田高校

水泳歴:高校三年間

水泳部に入った理由:

高校での水泳が楽しかったから

血液型:B型

趣味や特技:映画観るのが好きです

性格をひとことで:短絡的

自分を動物に例えるなら:きりん

好きなタイプ:ボーイッシュな子

今ほしいもの:バイクの免許

座右の銘:日進月歩

あなたの元気の源は?:ペットとの憩いの時間

これからの目標、ひとこと:

半年で高校の夏のタイムを取り戻す

難波 みどり(1回生)専門:Bk



あだ名:未定

学部学科:工学部情報知能工学科

出身高校:奈良高校

水泳歴:3歳~

水泳部に入った理由:ずっとやってたから

血液型:B型

趣味:サザエさんとじゃんけん

性格をひとことで:

ちょっと抜けてる(友達より)

自分を動物に例えるなら:コアラ(友達より)

好きなタイプ:

身長が高い、器が大きい、細マッチョ

今ほしいもの:リーディングの単位

座右の銘:初志貫徹

あなたの元気の源は?:睡眠

これからの目標、ひとこと:ベスト更新!!!

鳥山 比呂子(1回生)専門:未定



あだ名:ひろこ

学部学科:医学部保健学科

出身高校:開明高校

水泳歴:3歳から11歳まで

水泳部に入った理由:

先輩がみんないい人そうだったから

血液型:AB型

趣味:韓国ドラマの鑑賞

性格をひとことで:めんどくさがりや

自分を動物に例えるなら:ももんが

好きなタイプ:身長168以上・優しい

今ほしいもの:車の免許

座右の銘:有言実行!!

あなたの元気の源は?:寝ること

これからの目標、ひとこと:

目指せ!素敵舞さん!

越 智洋(1回生)専門:水球



あだ名:こっしー

学部学科:海事科学部

出身高校:北広島高校(北海道)

水泳歴:0年

水泳部に入った理由:水球に一目惚れ!!

血液型:O型

趣味や特技:読書、サッカー、玉乗り

性格をひとことで:自由奔放

自分を動物に例えるなら?:柴犬

好きなタイプ:目が大きい人でショートヘア

今ほしいもの:泳力と英語力と掃除機

座右の銘:

勇気がなければ、他のすべての資質は意味をなさない。

あなたの元気の源は?:

水球部のセンパイの温かさ

これからの目標:インカレ出場

ひとこと:ひたむきに頑張ります(-)/

水 球 歴 代 戦 績

平成20年度号から、主要な歴代戦績を記録として掲載することにしました。

(注)・ここに掲載するものは、『凌泳』の記載をもとに、昭和63年度以降を抜粋したものです。

- ・得点王は、春・秋リーグ戦及び日本学生選手権の試合を対象としています。
- ・この掲載方法について異議のある方、集計上の間違いにお気づきの方は編集委員までご連絡ください。
- ・前回(平成22年度)と今回(平成23年度)は関西学生水球春季リーグがなくなったため、得点の集計の対象は関西学生水球選手権の試合のみとしています。

	関西学生水球 リーグ戦	関西学生 水球リーグ Jr 戦	日本学生 選手権	チーム得点王
昭和63年度	2位	2位	初戦敗退 (vs 専修大)	林 均 20点
平成元年度	5位	4位	—	西島 淳一 21点
平成 2年度	2位	2位	初戦敗退 (vs 明治大)	木村 一也 44点
平成 3年度	2位	優勝	初戦敗退 (vs 日体大)	木村 一也 54点
平成 4年度	不明	不明	不明	不明
平成 5年度	優勝	5位	初戦敗退 (vs 中央大)	木村 一也 43点

	関西学生水球 リーグ戦	関西学生水球 秋季戦	日本学生 選手権	チーム得点王
平成 6年度	1部6位	8位	—	大場 理世 13点
平成 7年度	2部優勝	6位	—	井村 大智 33点
平成 8年度	2部優勝	2回戦敗退	—	塚本 善隆 59点

	関西学生水球 春季リーグ戦	関西学生水球 秋季リーグ戦	日本学生 選手権	チーム得点王
平成 9年度	3位	3位	ベスト16 (vs 鹿児島 経済大 vs 慶応大)	塚本 善隆 58点
平成10年度	3位	2位	初戦敗退 (vs 中央大)	塚本 善隆 37点
平成11年度	1部2位	1部2位	初戦敗退 (vs 早稲田)	塚本 善隆 37点
平成12年度	1部5位	2部優勝	—	中島 太平 36点
平成13年度	4位	5位	—	中井 秀昭 28点
平成14年度	5位	7位	—	中井 秀昭 43点
平成15年度	2部優勝	6位	—	篠原 康彦 40点
平成16年度	不明	4位	—	井口 靖之 29点
平成17年度	3位	3位	初戦敗退 (vs 成蹊大)	井口 靖之 31点
平成18年度	2位	2位	ベスト16 (vs 大阪大学 vs 立命館)	井口 靖之 39点
平成19年度	5位	5位	—	畠山 秀一 20点
平成20年度	6位	7位	—	西澤 翔 22点
平成21年度	8位	8位	—	山崎 友 18点

	関西学生水球選手権	日本学生選手権	チーム得点王
平成22年度	7位	—	藤丸 晃弘 20点
平成23年度	6位	—	新見 卓也 15点

歴代10傑

平成20年号から、神戸商船大学と神戸大学の歴代10傑を統合しました。

神戸商船大学歴代10傑は『凌泳』平成18年度号・平成19年度号に掲載されております。ご了承ください。

なお、統合に際しましては注意をはらっておりますが、間違い等のご指摘がございましたら、ご連絡ください。

【男子】 *印は神戸商船大学歴代10傑からのランクインです。

50m自由形

1	濱出憲一郎	H10	25"21(L)
2	田中宗親	H18	25"24(L)
3	林 勇樹	H21	25"40(L)
4	矢野尊彦	H23	25"51(L)
5	横山千泰	H14	25"43(L)
6	松田有司	H14	25"77(L)
7	阪本清一郎	H23	25"93(L)
8	田畑直紀	H21	26"03(L)
9	久保達也	H12	26"06(L)
10	森島大詞	H23	26"07(L)

200m自由形

1	井出健太	H23	1'55"99(L)
2	矢野尊彦	H23	1'58"27(L)
3	段野光宏	H21	1'58"99(L)
4	小齋一彰	H17	1'59"88(L)
5	安倍健登	H23	2'00"05(L)
6	中村友彦	H19	2'01"05(L)
7	宮岡孝和	H17	2'01"46(L)
8	土方了輝	H19	2'01"84(L)
9	阪本清一郎	H15	2'02"70(L)
10	松田有司	H15	2'03"56(L)

100m自由形

1	井出健太	H23	53"40(L)
2	矢野尊彦	H23	54"12(L)
3	段野光宏	H21	54"18(L)
4	松田有司	H15	55"59(L)
4	濱出憲一郎	H10	55"59(L)
6	阪本清一郎	H23	55"87(L)
7	土方了輝	H19	56"10(L)
8	横山千泰	H16	56"35(L)
9	田中宗親	H18	56"37(L)
10	宮岡孝和	H17	56"38(L)

400m自由形

1	安倍健登	H23	4'13"56(L)
2	段野光宏	H21	4'19"11(L)
3	土方了輝	H19	4'19"14(L)
4	中村友彦	H19	4'19"91(L)
5	矢野尊彦	H22	4'21"95(L)
6	宮岡孝和	H17	4'22"40(L)
7	横尾 晋	H20	4'23"20(L)
8	阪本清一郎	H23	4'25"58(L)
9	福岡達信	H 8	4'25"62(L)
10	*松本照生	H 3	4'26"18(L)

800m自由形

1	土方了輝	H19	9'12"06(L)
2	横尾 晋	H 8	9'29"05(L)
3	福岡達信	H 8	9'29"12(L)
4	宮岡孝和	H14	9'29"43(L)
5	*松本照生	H 1	9'30"01(L)
6	古谷拓裕	S63	9'36"80(L)
7	高橋克哉	H13	9'43"43(L)
8	山田 篤	H 7	9'44"40(L)
9	藤本博之	H 3	9'45"90(L)
10	久保田克己	S57	9'49"00(L)

200m蝶泳

1	小齋一彰	H17	2'10"65(L)
2	横尾 晋	H20	2'13"42(L)
3	加藤亮二	H19	2'14"78(L)
4	小南裕明	H 5	2'14"84(L)
5	*石塚秀一	H 6	2'15"19(L)
6	*串辺由宇	H16	2'17"72(L)
7	*田内俊英	H19	2'21"40(L)
8	加藤有道	H 3	2'21"90(L)
9	西和田靖	H16	2'24"14(L)
10	當間尚正	H 2	2'24"20(L)

1500m自由形

1	土方了輝	H19	17'17"57(L)
2	安倍健登	H23	17'23"77(L)
3	矢野尊彦	H22	17'31"54(L)
4	宮岡孝和	H15	17'40"70(L)
5	福岡達信	H 9	17'49"01(L)
6	*田内俊英	H 3	17'50"10(L)
7	横尾 晋	H20	17'57"89(L)
8	*伊藤浩史	H 3	18'03"20(L)
9	*松本照生	H 3	18'12"78(L)
10	中村友彦	H17	18'19"25(L)

100m背泳

1	櫻田佑佑	H23	58"76(L)
2	平川 翔	H23	1'00"74(L)
3	真木謙造	H23	1'01"22(L)
4	西田憲史	H11	1'01"90(L)
5	*出口達也	H 5	1'03"78(L)
6	村上幸弘	H14	1'04"09(L)
7	水野教良	H 6	1'04"38(L)
8	木村由斉	H21	1'04"67(L)
9	*格谷 隆	H 1	1'05"58(L)
10	生山 裕	H 9	1'05"78(L)

100m蝶泳

1	加藤亮二	H19	59"52(L)
2	真木謙造	H23	59"84(L)
3	横尾 晋	H21	1'00"19(L)
4	*石塚秀一	H 7	1'00"75(L)
5	*串辺由宇	H16	1'01"12(L)
6	小南裕明	S63	1'01"40(L)
7	竹田匡志	H 6	1'01"99(L)
8	西和田靖	H16	1'02"18(L)
9	吉田理人	H23	1'02"21(L)
10	木村由斉	H21	1'02"26(L)

200m背泳

1	櫻田佑佑	H23	2'06"58(L)
2	西田憲史	H11	2'12"86(L)
3	真木謙造	H23	2'13"94(L)
4	平川 翔	H23	2'14"14(L)
5	*出口達也	H 5	2'19"36(L)
6	村上幸弘	H14	2'20"32(L)
7	*水野教良	H 6	2'20"65(L)
8	木村由斉	H21	2'22"32(L)
9	生山 裕	H10	2'23"08(L)
10	*格谷 隆	H 1	2'24"28(L)

100m平泳

1	後藤駿介	H23	1'08"46(L)
2	*西村 尚	H 5	1'09"28(L)
3	林 佑樹	H22	1'09"45(L)
4	藤尾幸平	H11	1'09"63(L)
5	吉田 俊	H21	1'09"83(L)
6	段野光宏	H19	1'10"34(L)
7	後呂忠祥	S61	1'10"50(L)
8	柴田 孝	H 5	1'10"81(L)
9	吉竹 望	H23	1'11"85(L)
10	西尾泰紀	H 4	1'12"60(L)

400m個人メドレー

1	小齋一彰	H12	4'43"25(L)
2	櫻田侑佑	H21	4'50"16(L)
3	土方了輝	H18	4'55"25(L)
4	中村友彦	H19	5'00"57(L)
5	宮岡孝和	H14	5'00"65(L)
6	*伊藤浩史	H 3	5'01"80(L)
7	吉田 楽	H22	5'02"30(L)
8	*木村由斉	H23	5'05"37(L)
9	*出口達也	H 5	5'06"10(L)
9	東 圭紀	S63	5'06"10(L)

200m平泳

1	後藤駿介	H23	2'27"82(L)
2	藤尾幸平	H11	2'30"37(L)
3	段野光宏	H19	2'31"86(L)
4	吉田 俊	H22	2'31"90(L)
5	*西村 尚	H 5	2'33"03(L)
6	林 佑樹	H22	2'34"76(L)
7	柴田 孝	H 5	2'36"56(L)
8	後呂忠祥	S60	2'37"90(L)
9	*記本貴寛	H 8	2'37"91(L)
10	長崎真人	S58	2'40"50(L)

400mリレー

1	矢野・平川 安倍・井出	H23	3'36"51(L)
2	矢野・吉田楽 井出・段野	H22	3'39"24(L)
3	松田・宮岡 小齋・横山	H15	3'42"20(L)
4	段野・横尾 井出・田畑	H21	3'42"50(L)
5	土方・横尾 段野・中村	H19	3'44"67(L)

200m個人メドレー

1	小齋一彰	H17	2'12"78(L)
2	櫻田侑佑	H23	2'12"91(L)
3	矢野尊彦	H23	2'15"74(L)
4	吉田 楽	H22	2'19"07(L)
5	宮岡孝和	H17	2'19"19(L)
6	木村由斉	H23	2'19"57(L)
7	東 圭紀	H 2	2'20"40(L)
8	*伊藤浩史	H 3	2'20"42(L)
9	田中宗親	H18	2'20"60(L)
10	中村友彦	H19	2'21"01(L)

800mリレー

1	矢野・平川 安倍・井出	H23	7'55"14(L)
2	矢野・吉田楽 井出・段野	H22	8'02"08(L)
3	小齋・宮岡 土方・中村	H17	8'06"43(L)
4	土方・横尾 段野・中村	H19	8'06"99(L)
5	段野・吉田楽 井出・横尾	H21	8'08"67(L)

400mメドレーリレー

1	櫻田・後藤 井出・矢野	H23	3'57"25(L)
2	櫻田・後藤 井出・段野	H22	4'03"13(L)
3	櫻田・吉田俊 横尾・段野	H21	4'05"61(L)
4	櫻田・段野 横尾・土方	H20	4'08"48(L)
5	西田・藤尾 山田・濱出	H10	4'10"69(L)



【女子】 *印は神戸商船大学歴代10傑からのランクインです。

女子については従来5傑までの掲載となっていましたが、平成20年度以降に新たにランクインした場合、7傑まで掲載することになりました。同様の手順で将来的に10傑まで掲載していく予定です。

50m自由形

1	田中理恵	H 8	28"54(L)
2	砂留沙季子	H18	28"58(L)
3	加藤 優	H21	29"35(L)
4	多田羅美帆	H11	29"76(L)
5	河原あや	H16	29"89(L)
6	田中桂子	H13	30"21(L)

200m自由形

1	田中理恵	H10	2'16"82(L)
2	多田羅美帆	H10	2'21"06(L)
3	河原あや	H15	2'23"42(L)
4	川上景子	S62	2'26"40(L)
5	田中桂子	H14	2'29"27(L)

100m自由形

1	砂留沙季子	H18	1'01"69(L)
2	田中理恵	H 8	1'02"18(L)
3	多田羅美帆	H11	1'05"14(L)
4	河原あや	H16	1'05"24(L)
5	加藤 優	H22	1'05"48(L)
6	寺井美穂子	H 3	1'06"78(L)

400m自由形

1	田中理恵	H10	4'57"16(L)
2	多田羅美帆	H10	5'00"01(L)
3	中山美穂香	H12	5'05"54(L)
4	河原あや	H16	5'07"46(L)
5	村山依子	H 9	5'07"96(L)

100m背泳

1	田中理恵	H10	1'12"68(L)
2	西川弥穂	H15	1'14"09(L)
3	渡辺祥子	H23	1'14"73(L)
4	村上美和	S61	1'15"78(L)
5	田中桂子	H14	1'15"93(L)
6	中山美穂香	H12	1'16"60(L)

200m背泳

1	田中理恵	H10	2'36"51(L)
2	渡辺祥子	H23	2'41"69(L)
3	中山美穂	H12	2'43"11(L)
4	村上美和	S63	2'48"40(L)
5	西川弥穂	H15	2'48"63(L)
6	寺井美穂子	H 6	2'49"19(L)

100m蝶泳

1	寺井美穂子	H 4	1'08"02(L)
2	砂留沙季子	H17	1'08"03(L)
3	村山依子	H 8	1'09"69(L)
4	坂東美枝	S57	1'14"30(L)
5	横野恵理香	H14	1'16"71(L)

200m蝶泳

1	村山依子	H 8	2'30"67(L)
2	寺井美穂子	H 3	2'33"05(L)
3	坂東美枝	S57	2'44"77(L)
4	横野恵理香	H14	2'57"86(L)
5	川上景子	S60	3'00"02(L)

100m平泳

1	山本奈穂	H 8	1'21"19(L)
2	臼井景子	H21	1'25"40(L)
3	番場順子	H 8	1'26"70(L)
4	清水めぐみ	H13	1'27"45(L)
5	宮下静子	S63	1'27"57(L)
6	西田野生子	H10	1'27"68(L)

200m平泳

1	山本奈穂	H 9	2'59"59(L)
2	清水めぐみ	H13	3'01"97(L)
3	番場順子	H 8	3'02"17(L)
4	臼井景子	H21	3'03"36(L)
5	西田野生子	H10	3'08"35(L)
6	川上景子	S60	3'10"02(L)
7	吉川智子	H 5	3'10"02(L)

200m個人メドレー

1	田中理恵	H10	2'34"05(L)
2	加島宏子	H 8	2'41"73(L)
3	寺井美穂子	H 3	2'43"40(L)
4	川上景子	S60	2'45"50(L)
5	番場順子	H 7	2'48"02(L)

400m個人メドレー

1	田中理恵	H10	5'32"51(L)
2	加島宏子	H 8	5'48"97(L)
3	川上景子	H 4	5'53"00(L)
4	寺井美穂子	H 3	5'54"07(L)
5	番場順子	H 7	5'55"99(L)

200mリレー

1	田中・多田羅 山本・村山	H10	1'59"92(L)
2	田中・多田羅 山本・加島	H 9	2'00"63(L)
3	田中・多田羅 加島・村山	H 8	2'01"04(L)
4	多田羅・田中 清水・村山	H11	2'01"87(L)
5	田中・清水 河原・横野	H13	2'03"03(L)

400mリレー

1	多田羅・山本 加島・田中	H 9	4'23"03(L)
2	多田羅・村山 加島・田中	H 9	4'23"23(L)
3	多田羅・山本 村山・田中	H10	4'23"42(L)
4	多田羅・村山 清水・田中	H11	4'27"55(L)
5	河原・清水 田中・横野	H13	4'32"84(L)

400mメドレーリレー

1	田中・山本 村山・多田羅	H 8	4'51"28(L)
2	田中・清水 村山・多田羅	H11	4'56"04(L)
3	加島・山本 村山・田中	H 8	4'59"63(L)
4	加島・山本 田中・多田羅	H 9	5'04"15(L)
5	吉川・番場 寺井・小笠原	H 5	5'08"80(L)



2011年 日本学生選手権が行われた横浜国際プール

平成 23 年度 凌泳会総会議事録

2011年 5 月 28 日(土)

会場 発達科学部 B210 教室(総会)、さくら[六甲台レストラン](懇親会)

■出席者(敬称略)

柳田 泰義(特別会員) 本間正信(特別会員) 石井 義章(昭 27) 佐藤 一夫(昭 30) 岡村 司(昭 34)
北村 敏(昭 34) 野田 浩志(昭 36) 岡田 重義(昭 37) 得丸 哲士(昭 46) 長谷川 健(昭 49)
川本 典子(昭 51) 酒井 正人(昭 53) 金 一波(昭 58) 長崎 真人(昭 59) 甲野 賢(昭 63)
西村 尚(平 6) 諫山 大介(平 9) 松村 將由(平 19) 司馬 竜也(平 21) 土方 了輝(平 21)
芝井 隆(平 21) 西澤 翔(平 21) 北野 達也(平 22) 田畑 直紀(平 23)

[総会の部]

冒頭、昨年総会以後にご逝去の報に接した下記物故会員に対し、出席者全員で黙とうを捧げ、凌泳会の発展へのご尽力を感謝とご冥福を祈り、議題の審議に移った。

(1) 野田会長挨拶

大勢の OB/OG にお越しいただきうれしく思う。今年の顔ぶれを見ていると世代間のつながりを強く感じる。最近では学生の賑わいがよく見え、昨年にも多大な功績を残し、今年もいい成績が予言される雰囲気。関東大震災で、被害を受けた方々にはご冥福の方をお祈りしている。今年は凌泳会 90 周年ということもあり、厚く活発な審議を期待している。

(2) 本間水泳部副部長挨拶

平素よりお世話になっている OB の方々に大勢お集まりいただき大変心強い。凌泳会からは多岐にわたるご支援を頂き、非常に有難く思っている。現役諸君には、このような環境で活動が出来ていることに感謝して、頑張ってもらいたい。

(3) 長谷川幹事長による昨年度活動報告

水泳部に関しては、インカレ出場など充実したシーズンだった。凌泳会に関しては、インカレ支援を中心にさせていただいた。厚いご援助のお陰もあり、寄付金は目標額を達成することができた。今年も引き続きご支援願いたい。また、現役部員には、連絡先不明者の所在判明作業等、名簿充実活動に努力してもらって、成果も出ている。OB と現役との接点の機会も増えているし、記念大会開催をきっかけに今後ますます発展させていきたい。

(4) 第一号議案 審議

まず佐藤幹事より、昨年度の予算監査について、会計帳簿がすべて適正に処理されているとの報告がなされた。続いて諫山幹事から、大きな赤字はなかったとの会計報告がなされた。またインカレ応援のための寄付金や、現役部員の活動による会費納入率向上の成果に関しても報告がなされた。

(5) 第二号議案 審議

得丸副会長より、今回の会則改正に至った経緯の説明があり、神戸商船大学卒のOBで希望する者のみが準会員ではなく正式な凌泳会の会員として認められることが議決された。

続いて、神戸商船大学OB西村尚(平 6)より、みずむし会上層部の態度が堅い現状があり、もう一度仕切り直し諸先輩方に連絡するという報告があった。

最後に野田会長から、みずむし会会員が凌泳会準会員のままでは、凌泳会における議決権がなく、不自然であるから正会員にするのであって、決してみずむし会を吸収するつもりではないという話があった。

(6) 第三号議案 審議

今年の活動方針について、長谷川幹事長(以下、長谷川)から報告があった。

[1]水泳部による義援金の活用に関して

後藤主務 収集した義援金についてどのように活用するか、以下の3点で考えている。

- ①日本水泳連盟を通しての寄付
- ②具体的な被災地の水泳連盟への寄付
- ③体育会の義援金活動を通しての寄付

金幹事 今回は水泳部として義援金を募集したのであり、具体的な被災地の水泳関係者に直接支援する方法を考えるべき。

本間副部長 日本水泳連盟に送ると結局赤十字社に義援金がまわって行方が分からなくなると相談を受けたので、より具体的な支援先として県水連を支援先の候補として現役部員に提案させて頂いた。

長谷川 凌泳会は義援金に協賛したという話なので、水泳部の中で柳田水泳部長と本間副部長と話し合っ決めていただこうと思う。

[2]インカレ寄付金に関して

今年度のインカレ寄付金は目標額を750,000円とし、一口3000円で寄付を募る。昨年は寄付金に対するお礼の品を出したが、今年も同様に行うこととする。

[3]凌泳会行事の活性化の推進

川本典子(昭 51)(以下、川本)より、凌泳冊子に関して報告があった。

凌泳誌について、90周年にちなんで今年度を前編、来年度を後編とし、凌泳七十年史が発行されて以降の歴史を振り返るようなものにしたい。今年度の凌泳誌については、多くの皆様のご協力により、よいものを作成することが出来た。

[4]名簿の充実に関して

長谷川より、現役部員の積極的な活動による転居先不明者の所在判明や、OB 訪問実施による効果により、会費納入率が向上したとの報告があった。また、連絡先不明者増加防止策として、凌泳会名簿に携帯番号やアドレスを記載することが決定した。さらに、アドレスが判明している会員は全員、凌泳会メーリングリストへ参加させ、そこで現状を知って頂くことから始めると説明があった。

(7) 第四号議案

予算案について諫山幹事から説明があった。

会費徴収目標額については、実際に達成するには難しい部分もあり、努力目標的な面もある。昨年度の会費納入者は、現役諸君の活動の効果もあり、163名。会費徴収目標額オーバー分は、規則に則り、そのまま凌泳会から部活への支援金になるので、現役諸君には頑張ってもらいたい。

(8) 水泳部 会計報告

はじめに現役部員の須藤会計担当から H22 年度会計報告および、H23 年度の予算案についての報告がなされた。

須藤会計担当(以下、須藤)

収入の部

H21 年度より大きく変わった点について。神戸薬科大学、甲南女子大学の2 大学と分離実施。インカレ出場。大学側から多額の助成金を頂けた等の点が挙げられた。

支出の部

ビデオカメラなどといった備品購入の点において予算内ではあるが例年よりも少し多額になっている。また、収入にインカレの寄付金が入ったものを別途作成することが報告された。その際に、合宿費の訂正もおこなう。

(9) 活動報告

後藤主務(以下、後藤)より、昨年 9 月からの活動報告があった。

後藤 昨年度に行ったOB訪問は良い成果を上げることが出来た。来年以降も積極的に行いたい。OB訪問により、現役との関係が疎遠になっていたOBが会費を納入しやすくなるのではないかと。現役の活動を知ってもらい、今後ご支援いただけるように努力していきたい。

インカレの寄付金に関して、昨年度は多くのご支援を頂き大変心強く思っている。この場をお借りしてお礼を申し上げたい。今年度は昨年度と同様の方法で支援をお願いするが、今後もこのような形を継続した場合、募金が減ることが予想されるため、新しい方法を考えていきたい。

また、転居先不明者調査については、会員の皆様のご協力のお陰もあり、不明者のうち 45%の方の所在を特定することが出来た。これらの活動は会費納入率向上や将来の凌泳会のより良い活動に繋がるの

ではないか。

また、林競泳副主任より、新凌泳会公式HPの開設に関して報告があった。問題点としては、他大学と比較してみても交流の場である掲示板の活気のなさがうかがえるので、これから告知をしていってどのように掲示板を活用していくかを定める。

(10) 柳田水泳部長挨拶

年々お集まり頂いくOBの方々の数が多くなって大変嬉しく思う。今年度は昨年に比べて沢山の学生がインカレに出場してくれること等、さらなる活躍を期待している。今年は凌泳会が90周年を迎える年であり、現役の活動もよい方向に向かっており、1回生が18人入部したことも心強く思う。学生諸君には、仲間とともに学業と水泳を通して人間を磨いてほしい。

(11) 90周年記念全国大会について

後藤より、90周年記念全国大会についての概要の説明があった。

後藤 講演会の実施、記念品販売、スライドショー放映をイベントとして考えている。

金幹事 スライドショーをうまく編集し成功させれば盛り上がるのではないだろうか。

また、記念品としては大きめのオリジナルスポーツタオルを作成したい。

石井(昭 27) 六甲台講堂を使用できるということを前面に押し出した方がOBはたくさん集まると思われる。

金幹事 来るか来ないかは別として、田口信教さんに招待状を送り、講演をお願いすべき。

後藤 神戸大学副学長や関東凌泳会副会長などにも、お話を頂くことも考えている。

川本 電話などで積極的に呼びかけを行わないと目標人数には達成できない。

西澤(平 21) 月見の宴での競泳の部に関して、オフ明けでもあり記録会の意義があまり感じられないので、時間の都合上今年度に関しては割愛して、午前に水球のOB戦、午後は90周年記念全国大会という流れはどうか。

後藤 異論がないため、そのような方向で調整したい。また、全国大会についての告示を積極的に行い、より大勢の方にお越し頂けるよう努力する。

以上

[懇親会の部]

会場をレストランさくらに移し会食が行われた。総勢18名の新入生の自己紹介、今季幹部の決意表明およびOB、OG各々による激励などで大変盛り上がり、最後に「商神」を高らかに斉唱し、解散した。

2010年度 神戸大学体育会水泳部決算報告書

(H22.4.1～H22.3.31)

<収入の部>

科目	内訳	予算額	実績	備考
前年度繰越		682,660	682,660	
現役負担	部費現役負担分	126,000	123,000	選手 6,000 円/年、マネ 3,000 円/年
	合宿費現役負担分	700,000	61,9000	選手 40,000 円/人、マネ 33,000 円/人
	携帯電話代	16,000	16,000	競泳のみ一人 1,000 円
学校助成金	育友会助成金	45,000	187,000	
凌泳会	凌泳会援助金	1,000,000	1,000,000	
収入合計		2,569,660	2,627,660	

<支出の部>

科目	内訳	予算額	実績	備考
試合出場関係費	水泳連盟登録費	100,000	78,000	
	競泳エントリー代	550,000	494,535	春季短水路、夏季公認、兵庫学生、関西国公立、天理チャレンジ、関西学生、全国国公立、近畿国公立、天理スプリント、冬季公認、兵庫県短水路、チャレンジミート、春季室内
	水球エントリー代	200,000	91,000	オープンリーグ、学生リーグ、西日本選手権、なみはやカップ
合宿費	競泳、水球合同	1,000,000	835,451	宿泊代、食事代、施設料など
プール使用料		30,000	-	外部練習
体育会費		60,000	-	部員1人あたり1,000円/年2回(今年度請求なし)
交際費		6,000	13,898	応援団交流の広場、追いコン
燃料費		2,000	1,404	水球風呂用灯油
通信費	郵送	40,000	21,715	郵送費、葉書代、インク代
	携帯電話	50,000	52,381	水泳部専用携帯電話使用料(競泳のみ部員負担 一人 1,000 円/年)
会合費	OB関係行事	8,000	9,600	初泳ぎプール使用料
新歓費		15,000	0	新歓イベント開催費 ブース代、新歓冊子代、文具など(全て現役負担、25,000 円/人)
六甲祭費		30,000	12,000	出店設備代、材料費など(全て現役負担、円/人)
広告費		20,000	3,000	関西学生プログラム広告掲載費
交通費		20,000	5,320	エントリー会議交通費
備品購入費	全体用備品	30,000	46,810	HP サーバ、スポーツ保険
	競泳用備品	50,000	60,070	ビデオカメラ、ビデオカメラ修理代
	水球用備品	50,000	33,170	研修代、ビデオカメラ
雑費		-	2,481	資料作成費など
次年度繰越金		308,660	866,825	
支出合計		2,569,660	2,627,660	

2011年度 神戸大学体育会水泳部予算案

(H.23.4.1～H24.3.31)

<収入の部>

科目	内訳	予算額	対前年比	備考
前年度繰越		866,825	184,165	
現役負担	部費現役負担分	198,000	75,000	6,000円/人(年2回)
	合宿費	500,000	-119,000	選手30,000円/人 マネ25,000円/人
	携帯電話代	-	-16,000	携帯電話解約済み
学校助成金	育友会助成金	187,000	0	
凌泳会	凌泳会援助金	1,000,000	0	
収入合計		2,751,825	124,165	

<支出の部>

科目	内訳	予算額	対前年比	備考
試合出場関係費	水泳連盟登録費	100,000	22,000	日本水泳連盟選手登録費
	競泳エントリー代	550,000	55,465	春季短水路、夏季公認、兵庫学生、関西国公立、天理チャレンジ、関西学生、全国国公立、近畿国公立、天理スプリント、冬季公認、兵庫県短水路、チャレンジミート、春季室内
	水球エントリー代	100,000	9,000	オープンリーグ、学生リーグ、西日本選手権、なみはやカップ
インカレ積立金		200,000	200,000	
合宿費	競泳、水球合同	1,000,000	164,549	現役負担(選手30,000円、マネ25,000円)
プール使用料		30,000	30,000	
体育会費		60,000	60,000	1,000円/人(年2回)
交際費		20,000	6,102	応援団との交流等
燃料費		2,000	596	
通信費	郵送	20,000	-1,715	初泳ぎ案内等
	携帯電話	-	-52,381	携帯電話解約済み
会合費	OB関係行事	10,000	400	初泳ぎプール使用料
新歓費		15,000	15,000	
六甲祭費		30,000	18,000	
広告費		5,000	2,000	関西学生プログラム広告掲載費
交通費		10,000	4,680	エントリー会議交通費等
備品購入費	全体用備品	30,000	-16,810	
	競泳用備品	50,000	-10,070	
	水球用備品	50,000	16,830	
雑費		3,000	519	
次年度繰越金		466,825	-400,000	
支出合計		2,751,825	124,165	

平成22年度 凌泳会決算報告書

平成22. 4. 1～平成23. 3. 31

(単位:円)

<収入の部>

科目	予算額	実績額	備考
会費	1,300,000 (165名)	1,260,000 (163名)	新入会員5名、会費免除者9名増 会費納入対象者398名
寄付金	350,000	347,425	46名 マネージャー用長袖Tシャツ代61425円含む
インカレ寄付金	500,000	507,000	79名
小計	2,150,000	2,114,425	
雑収入	500	263	郵便局、銀行預金利息
前年度繰越金	821,391	821,391	
合計	2,971,891	2,936,079	

【参照】会員総数521名(会費免除者109、夫婦会員15、準会員60)

<支出の部>

総会、凌泳誌作成発送 90周年記念誌関係	350000	354,086	案内業書代等(2.2万円)、懇親会補助(4.9万円) 「凌泳」印刷(16万円)、発送代(6.0万円)、関東総会交通費(2.3万円)
月見の宴	50000	52,163	月見の宴案内状発送、懇親会補助(1.5万円)
会費督促	30000	24,135	督促状作成、発送、OB訪問交通費
郵便振込手数料負担	20000	11,730	支払い手数料、振込用紙代
銀行振替手数料負担	70000	69,510	内年会費5万円、登録費、管理費
水泳部援助	1000000	1,061,425	収入に占める割合約66%
インカレ援助	500000	507,000	
全国大会積立	20000	20,000	H18年度より再スタート(累計10万円)
名簿発行準備積立	50000	50,000	累計5万円
その他、事務連絡、雑費	15,000	5,473	振込手数料、事務連絡通信費等
予備費	866,891	780,557	
合計	2,971,891	2,936,079	

※監事役による会計監査済みの印

平成23年4月16日

凌泳会監事役 佐藤 一夫 印

平成23年度 凌泳会予算案

平成23. 4. 1～平成24. 3. 31

(単位:円)

<収入の部>

科目	予算額	対前年	備考
会費	1,300,000 (165名)	40,000	新入会員7名、会費免除者4名増 会費納入対象者399名
寄付金	350,000	2,575	
インカレ寄付金	500,000	-	
小計	2,150,000	42,575	
雑収入	300	37	郵便局、銀行預金利息
前年度繰越金	780,557	-40,834	
合計	2,930,857	1,778	

【参照】会員総数526名(会費免除者113、夫婦会員15、準会員60)

<支出の部>

総会、凌泳誌作成発送	400000	45,914	総会補助、「凌泳90周年記念」印刷、発送
月見の宴	50000	-2,163	月見の宴案内状発送等
会費督促	30000	5,865	督促状作成、発送、OB訪問交通費補助
郵便振込手数料負担	20000	8,270	支払い手数料
銀行振替手数料負担	70,000	490	内年会費5万円、登録費、管理費
水泳部援助	1000000	-61,425	6月に出金
インカレ援助	500000	-	
全国大会積立	20000	0	H18年度より再スタート(累計12万円)
名簿発行準備積立	50000		累計10万円
その他、事務連絡、雑費	15,000	9,527	振込手数料、慶弔、事務連絡通信費等
予備費	775,857	-4,700	
合計	2,930,857	1,778	

編集後記

加藤 あずさ・3回生/競泳マネ

現役パート、競泳面の編集を担当した加藤あずさです。昨年の秋に川本さんと新見さんと今回の凌泳の打ち合わせをし、ここまでできました。

今年に入ってから本格的に編集をはじめましたが、競泳戦績や部員紹介など、部員が増えた分編集も大変でした。

また、川本さんに我儘を言って、今年度の凌泳には新入生の部員紹介を掲載いたしました。

そのために編集が遅れてしまい、川本さんには多大な迷惑をかけました。

編集は凄く大変な作業でしたが、部員紹介に回生の集合写真を載せたり、部員の皆さんの自筆の絵を載せたりするなど、読んでいて楽しい凌泳にしようと思って作成しました。

私が不器用なために、見づらい部分もあるかと思いますが、現役部員のことを少しでも凌泳会の皆さんに知っていただきたいという思いで作成しましたので、ぜひ全てのパートを見ていただければと思います。

水球の凌泳編集担当である新見君をはじめ、現役部員の皆さんにも部員紹介やランキングなど、多大な協力をいただきました。

大変な作業でしたが、ここまでできたのは本当に皆さんのお陰です。

ありがとうございました。

新見 卓也・2回生/Polo

凌泳の編集は過去の試合を見直すいい機会になりました。また去年の試合を観ることで今年はやってみようと思うことができました。

川本 典子・昭51

2年に渡る90周年記念編集がやっと終わりました。お忙しい中、執筆くださった皆様、編集委員をお引き受けくださった諸氏、Photo Reportをお寄せくださった得丸副会長、現役パートを担当した加藤さん・新見さん、本当に有難うございました。

終わってみて第一に書き留めておきたいのは、『凌泳七十年史』がいかに凄いかということです。今回は20年分ですが、七十年史は70年分です。それはそれは大変だったことと思います。

日中韓の中で、最も歴史と遺産を大切に保存しているのが日本です。中国では文化大革命時に、韓国では朝鮮戦争時に多くの歴史遺産が破壊・焼失してしまったそうです。中国・韓国で歴史に造詣の深い知識人は奈良や飛鳥に来ると涙が出ると言います。海を渡った自国の文化が日本で堂々と美しく保存されているからです。古いものを大切に、歴史を受け継ぐというのは非常に日本的事(もちろんヨーロッパにも同様の価値観はある)のようです。

ビジネスにおいてもレビューをすることは大切なことで、優れた企業は定期的にレビューして保存しています。過去何をしてきて今があるのかを素早く把握することができ、次に何をすべきかを考えるヒントがそこにあるからです。現役諸君はこの「凌泳」や年史を面倒くさい文集と思わず、歴史を今に生かすためのツールと心得てください。

最後に、今号の編集に当たっては、加藤さん・新見さんと直接会ってコミュニケーションする時間が取れず申し訳ないことをしました。編集作業で一番しんどいのは毎年競泳担当です。にもかかわらず、いろいろ工夫をしてくれて、楽しい編集に仕上げられてくれてありがとうございました。